

2.1%、堀之内2式で0.8%の順となる。

主な土器を第790図1～6・第791図7～22・第792図23～44に示した。1～24・33は条痕文系深鉢形土器の口縁部、25～32は胴部、34は底部の破片である。このうち15・16・32には外面の一部に縄文の施文がみられる。33は口唇部に波状の隆帯が施されるもので、早期末に位置づけられるものとみられる。35・36は称名寺式、37～44は堀之内2式のものともみられる。

礫類は36点・5,891g出土している。このうち、67.4%に被熱のあとがみられる。礫石器は6点出土している。

#### D8区

133,087gの土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、条痕文系、条痕・縄文、条痕文系（早期末）、早期（東海系）、羽状縄文系・関山式、浮島・興津式、諸磯式、堀之内1・2式、加曾利B式、曾谷式、安行3a式で、このうち最も多いのが条痕文で94.9%、次が条痕・縄文で3.4%、堀之内1式で0.2%の順となる。

主な土器を第793図1～21・第794図22～36・第795図37～56・第796図57～74・第797図75～93・第798図94～110・第799図111～130・第800図131～149・第801図150～169・第802図170～186・第803図187～202・第804図203～215・第805図216～243に示した。1は撚糸文系深鉢形土器の胴部破片である。2～106・225～228は条痕文系深鉢形土器の口縁部、107～210は胴部、211～224は底部の破片である。このうち225～228は口唇部や口縁部の隆帯上にフネガイ科貝類腹縁圧痕文を有するもので、早期末に属すものとみられる。229・230は横位の波状隆帯をもち胎土の砂礫を多く含む特徴的な土器で、早期（東海系）のものともみられる。上ノ山式であろう。239・240は横位の波状隆帯を施すもので、いずれも胎土に小礫を含む特徴がある。東海系のものともみられる。231は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の胴部破片、232～234は諸磯式深鉢形土器の口縁部および胴部破片、235は称名寺式深鉢形土器の胴部破片、236～240は堀之内1式深鉢形土器の口縁部および胴部破片、241は堀之内2式深鉢形土器の把手部の破片である。242は加曾利B式深鉢形土器の胴部破片とみられる。

礫類は290点・26,058g出土している。このうち、77.2%に被熱のあとがみられる。礫石器は14点出土している。

#### D10区

6,946gの土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、羽状縄文系・花積下層式、羽状縄文系・関山式、浮島・興津式、諸磯式、堀之内1式、加曾利B式、曾谷式、安行3a式で、このうち最も多いのが羽状縄文系・関山式で92.5%、次が撚糸文系で2.3%、諸磯式で1%の順となる。

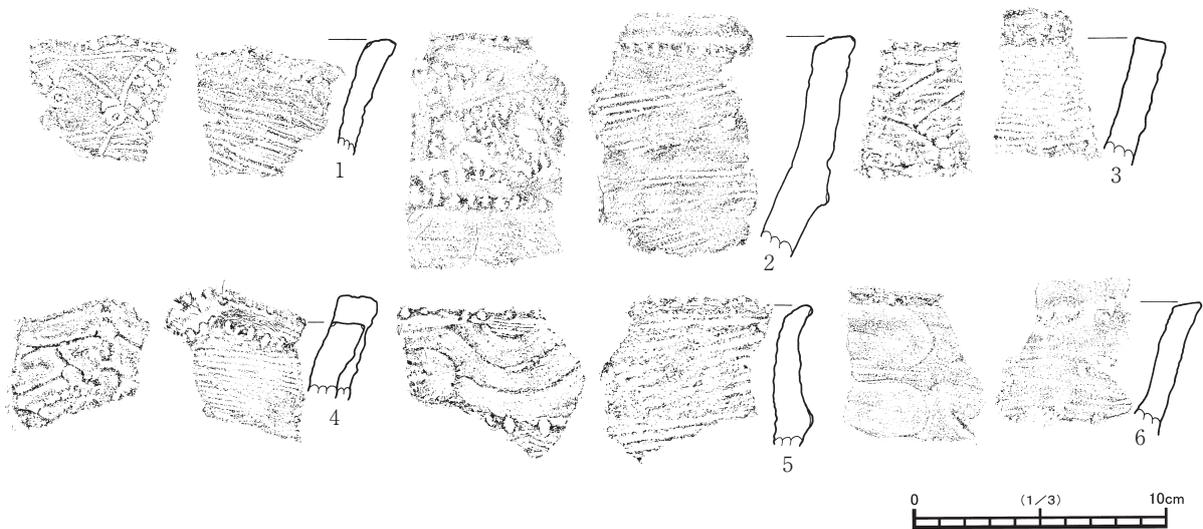
主な土器を第806図1～37に示した。1・2は撚糸文系深鉢形土器の胴部、3～9は条痕文系深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。10は羽状縄文系・花積下層式深鉢形土器の胴部で、ハイガイ殻表圧痕による擬縄文が施される。11～33は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部、胴部および底部破片である。円形貼付文・梯子状文・コンパス文・ループ文・付加条文などがみられる。30～33の底部はいずれも上げ底である。34・35は諸磯式深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。

礫類は26点・3,677g出土している。このうち、81.4%に被熱のあとがみられる。礫石器は3点出土している。

#### E8区



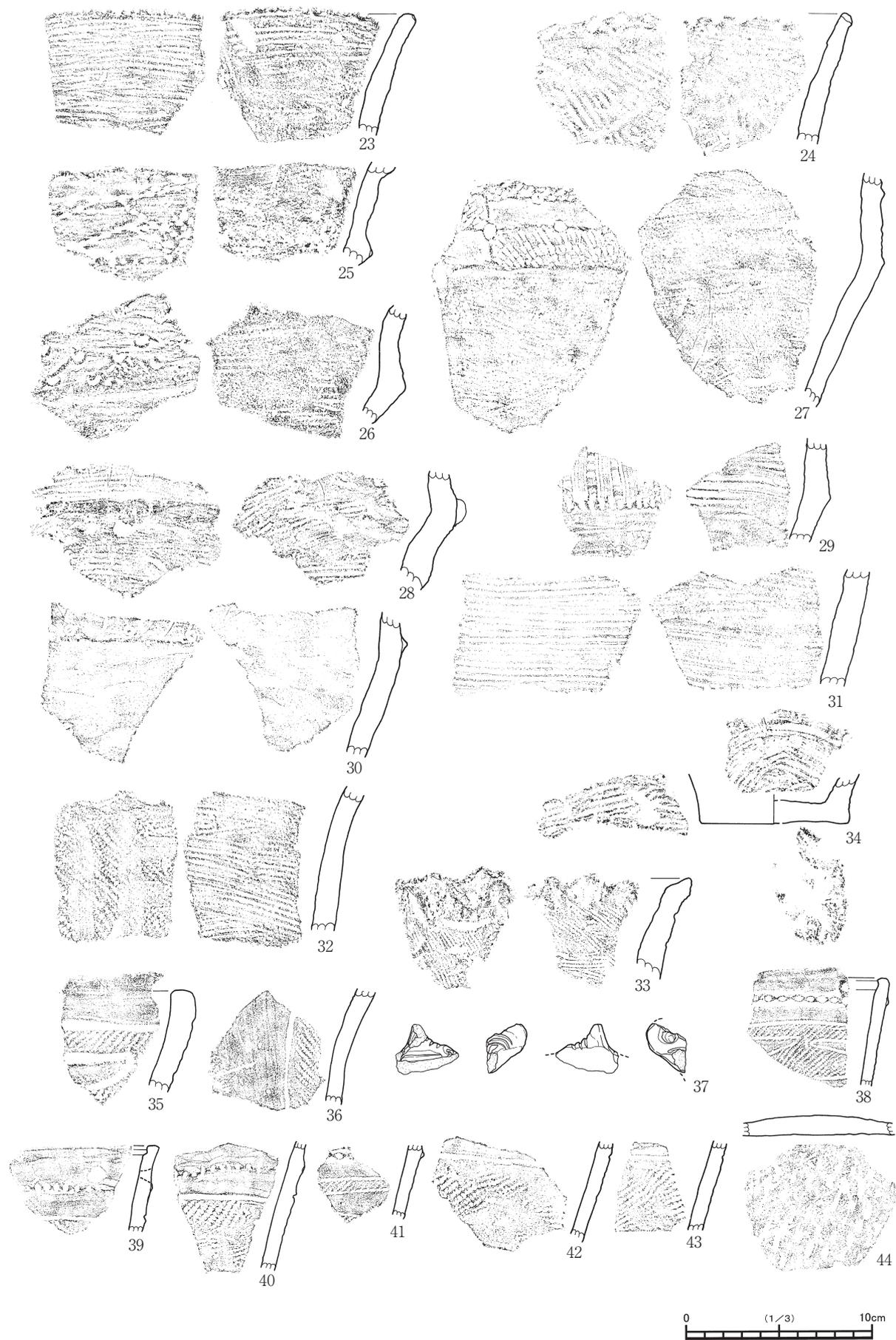
第789图 七28·C7、C7·C8区包含層出土遺物実測図



第790图 七28·C8区包含層出土遺物実測図(1)



第791图 七28・C8区包含層出土遺物実測図(2)



第792図 セ28・C8区包含層出土遺物実測図(3)



第793图 七28·D8区包含层出土遗物实测图(1)



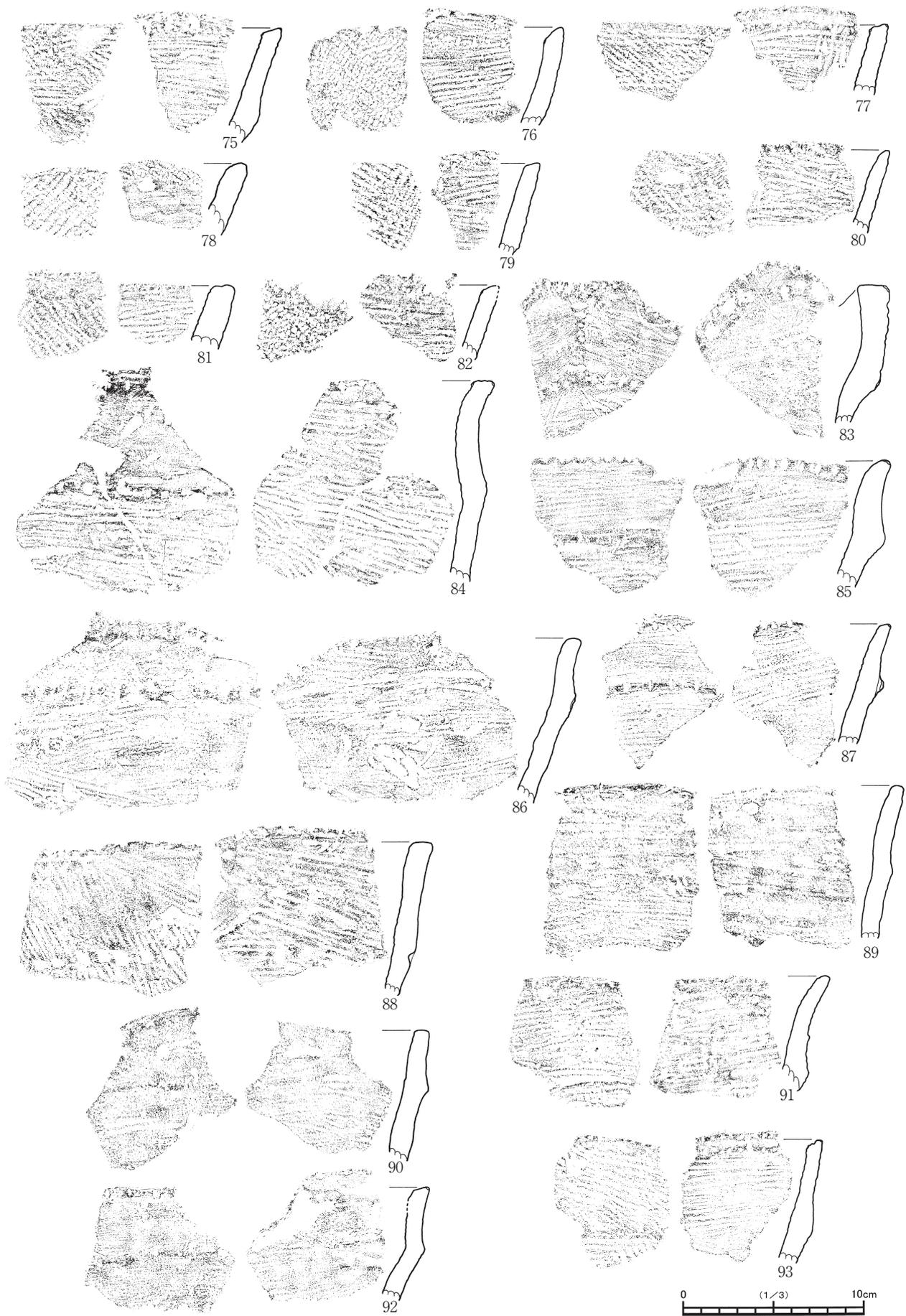
第794図 セ28・D8区包含層出土遺物実測図(2)



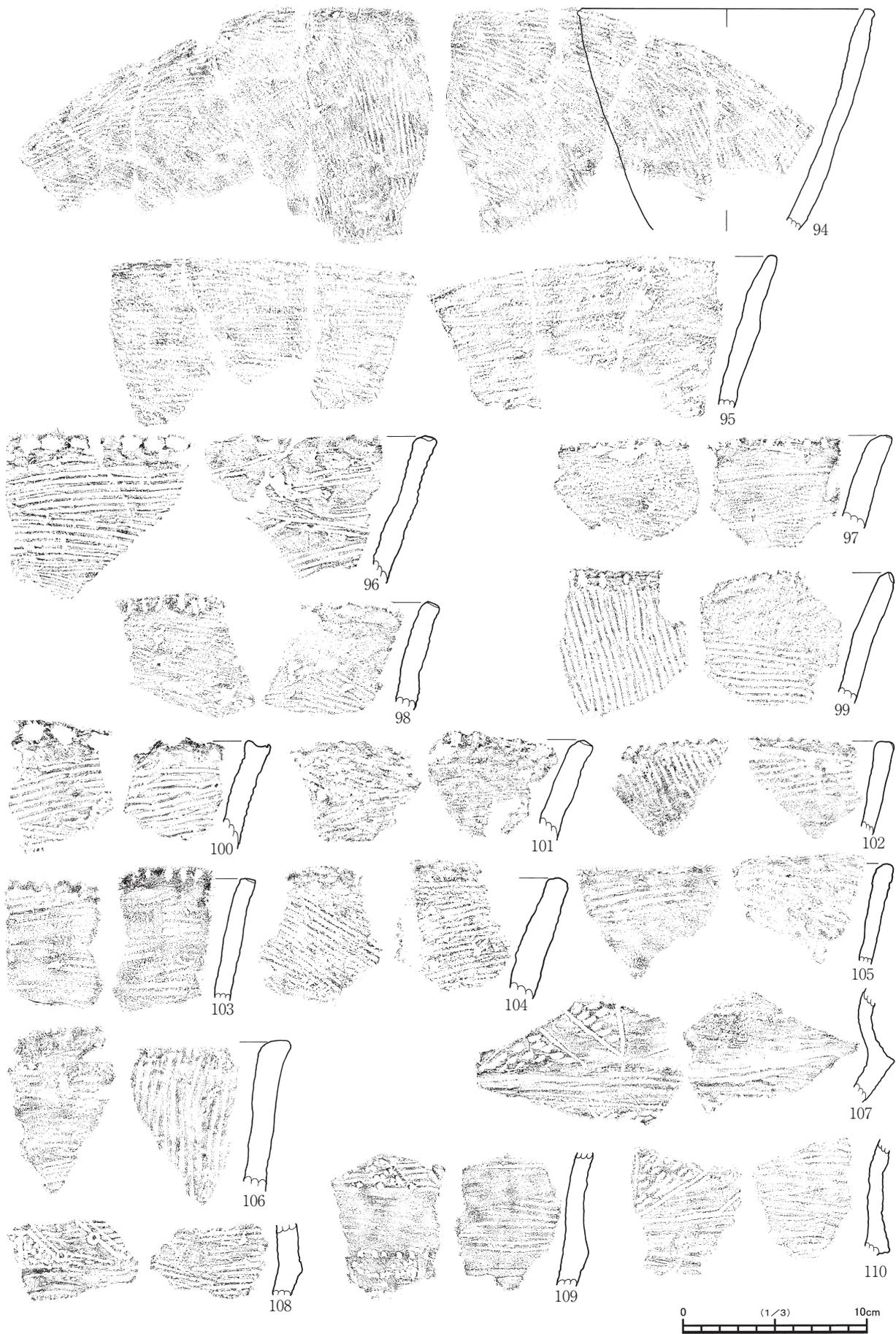
第795図 セ28・D8区包含層出土遺物実測図(3)



第796图 七28·D8区包含層出土遺物実測図(4)



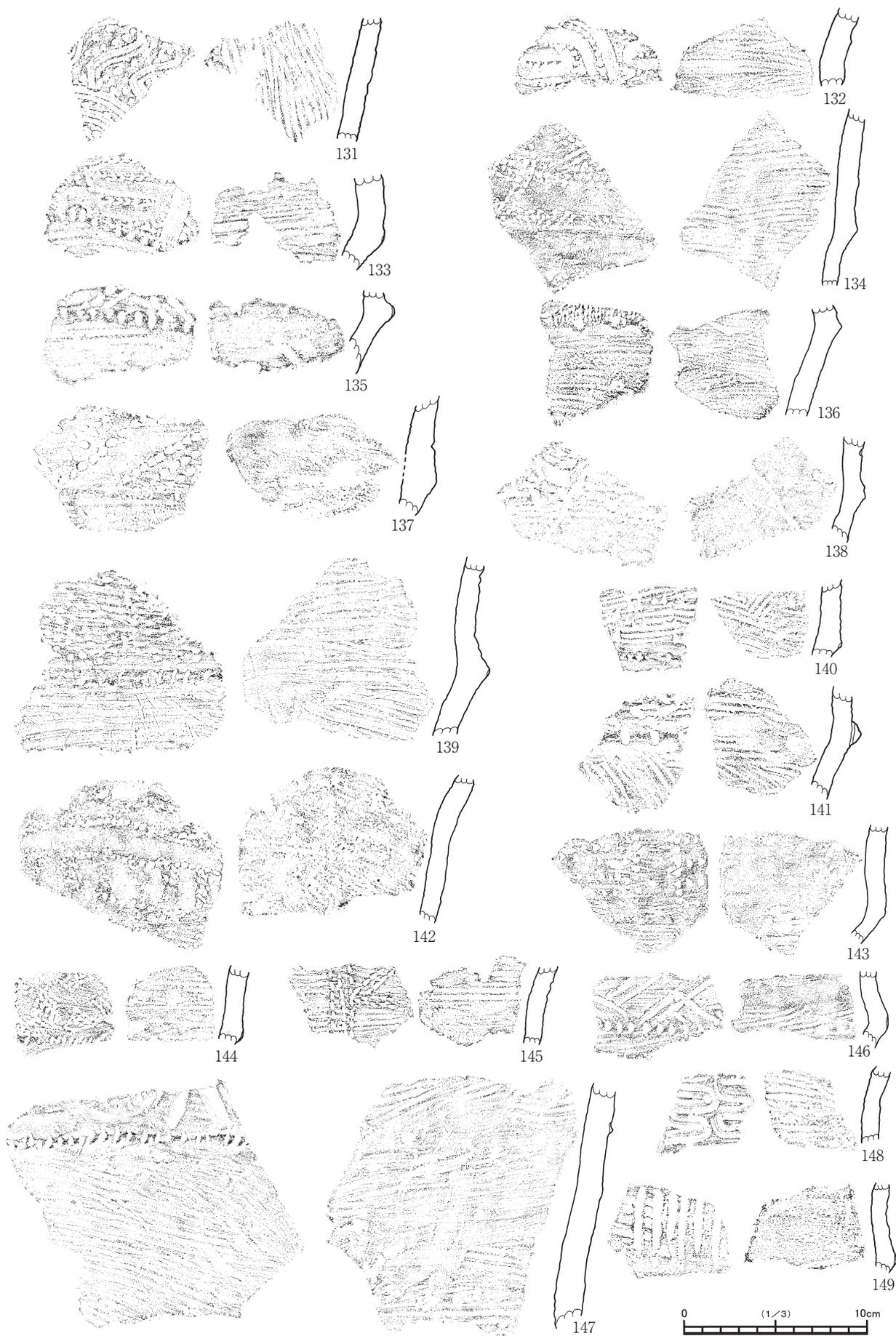
第797图 七28·D8区包含層出土遺物実測図(5)



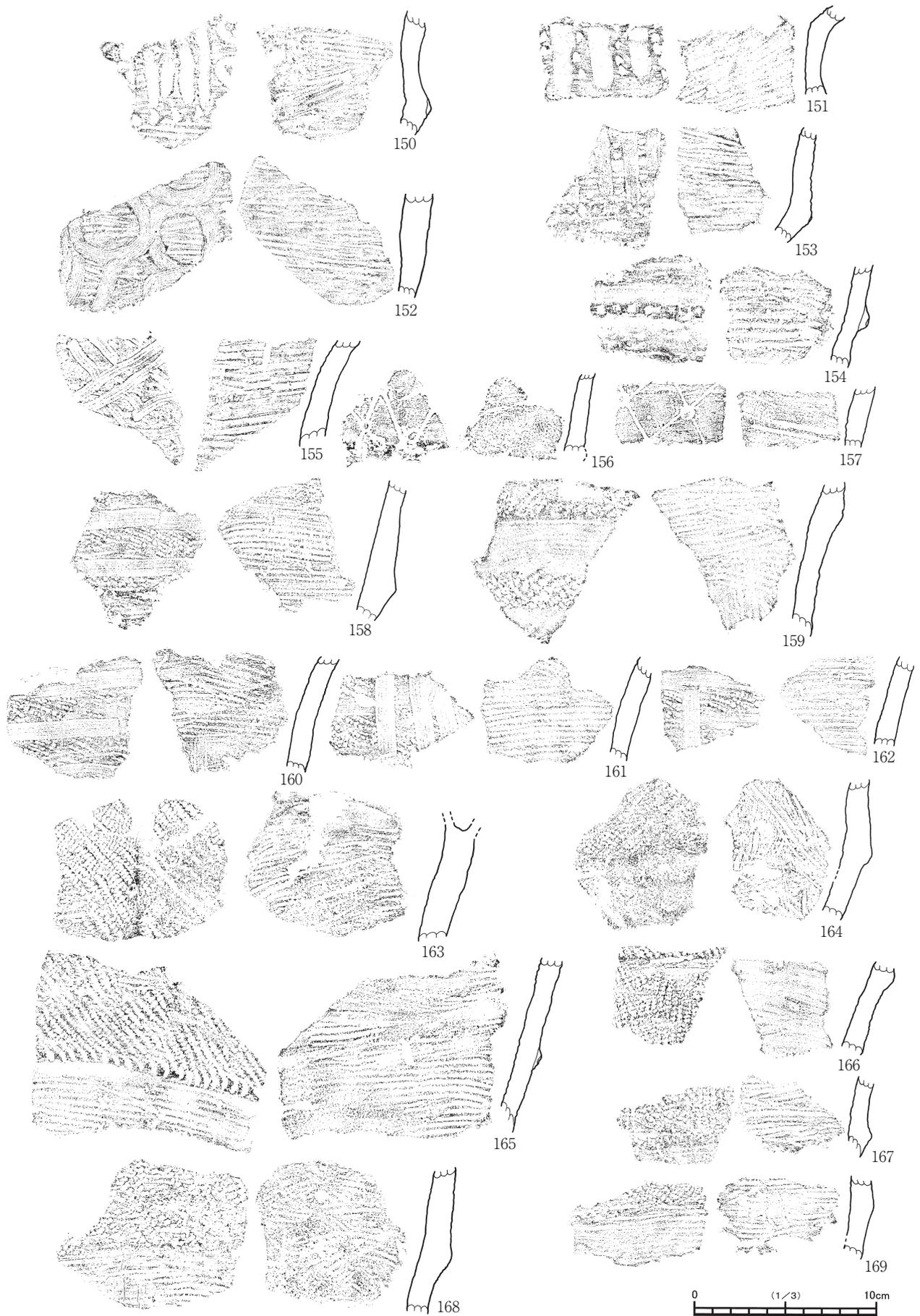
第798図 七28・D8区包含層出土遺物実測図(6)



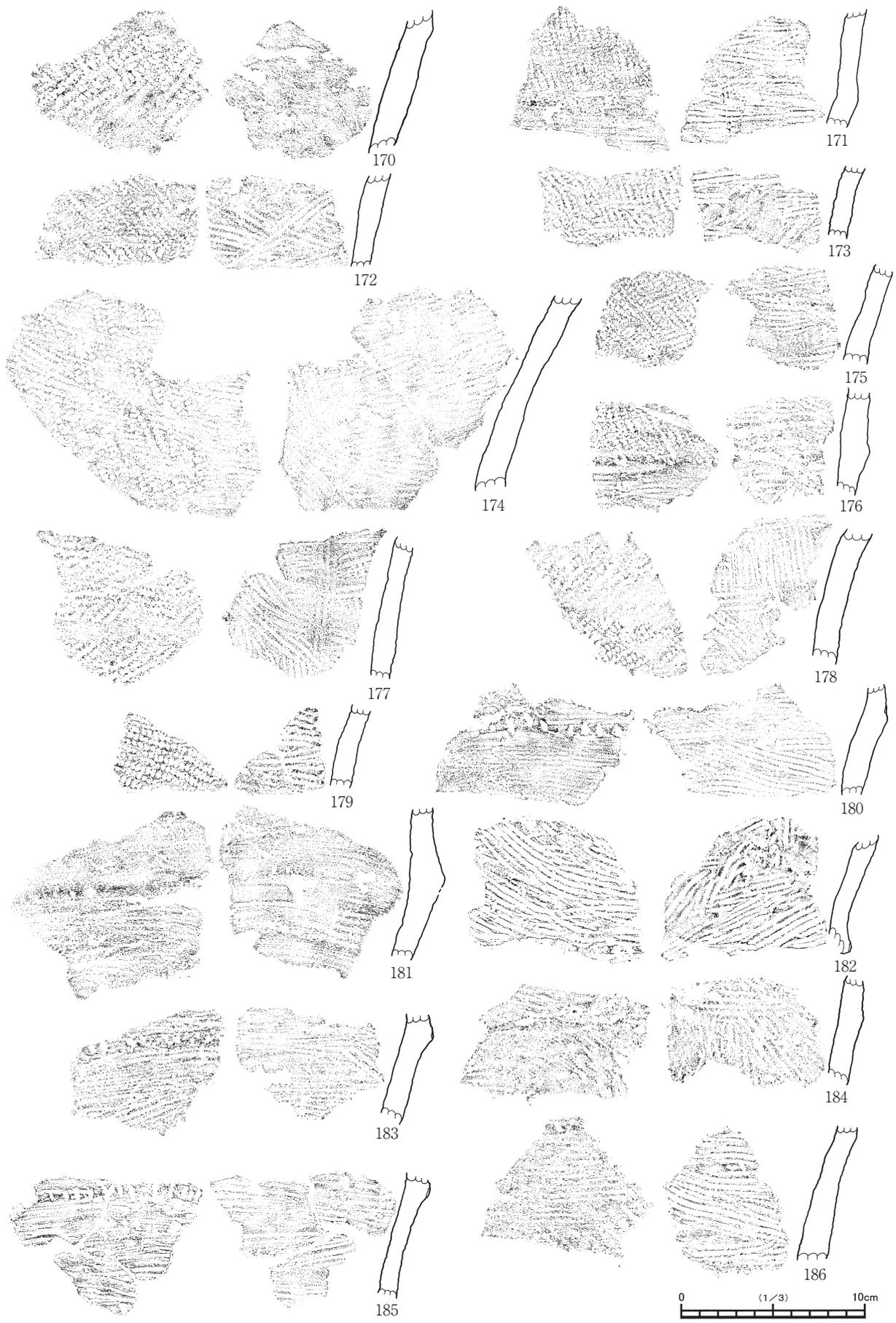
第799图 七28・D 8区包含層出土遺物実測図(7)



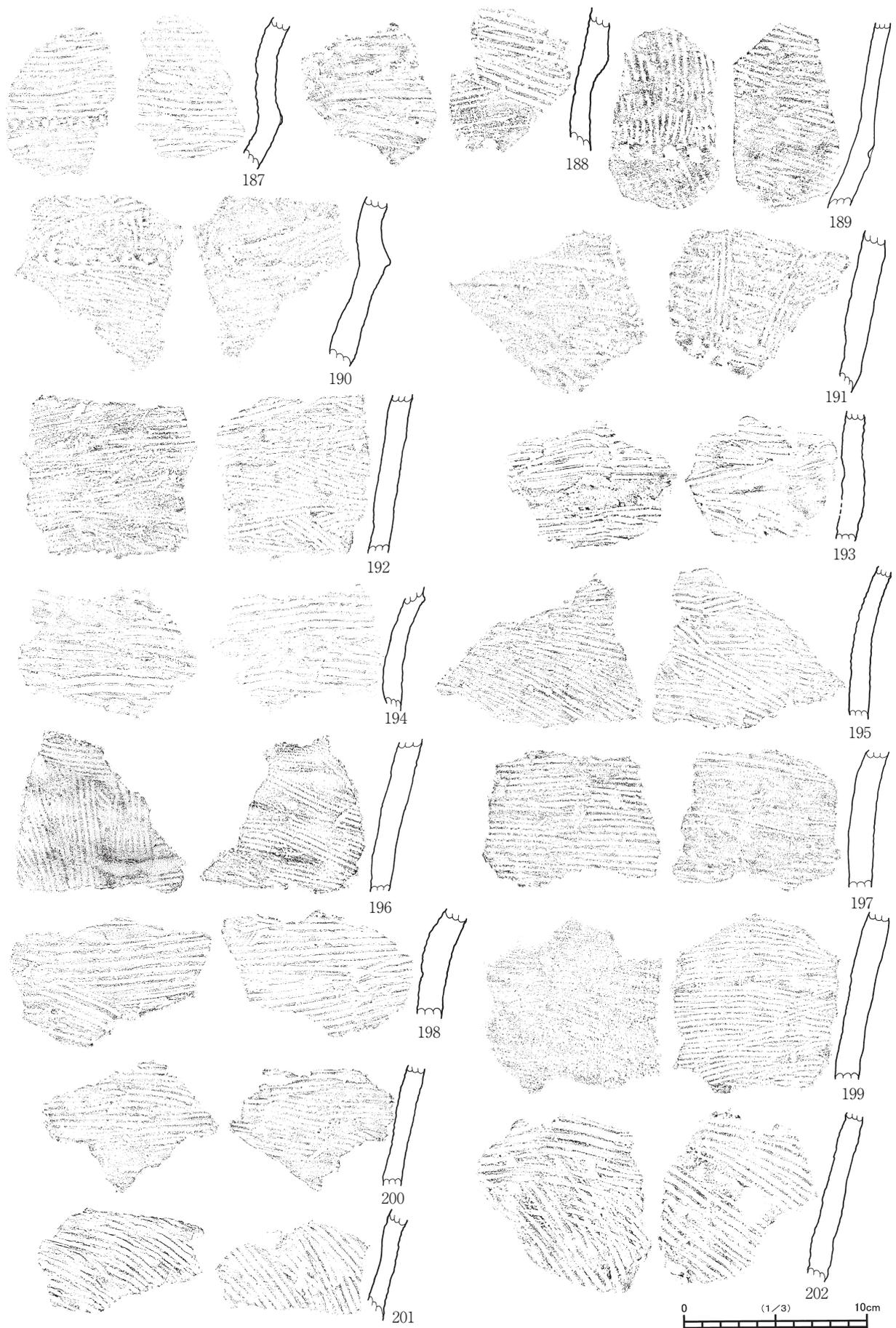
第800图 七28・D 8区包含層出土遺物実測図(8)



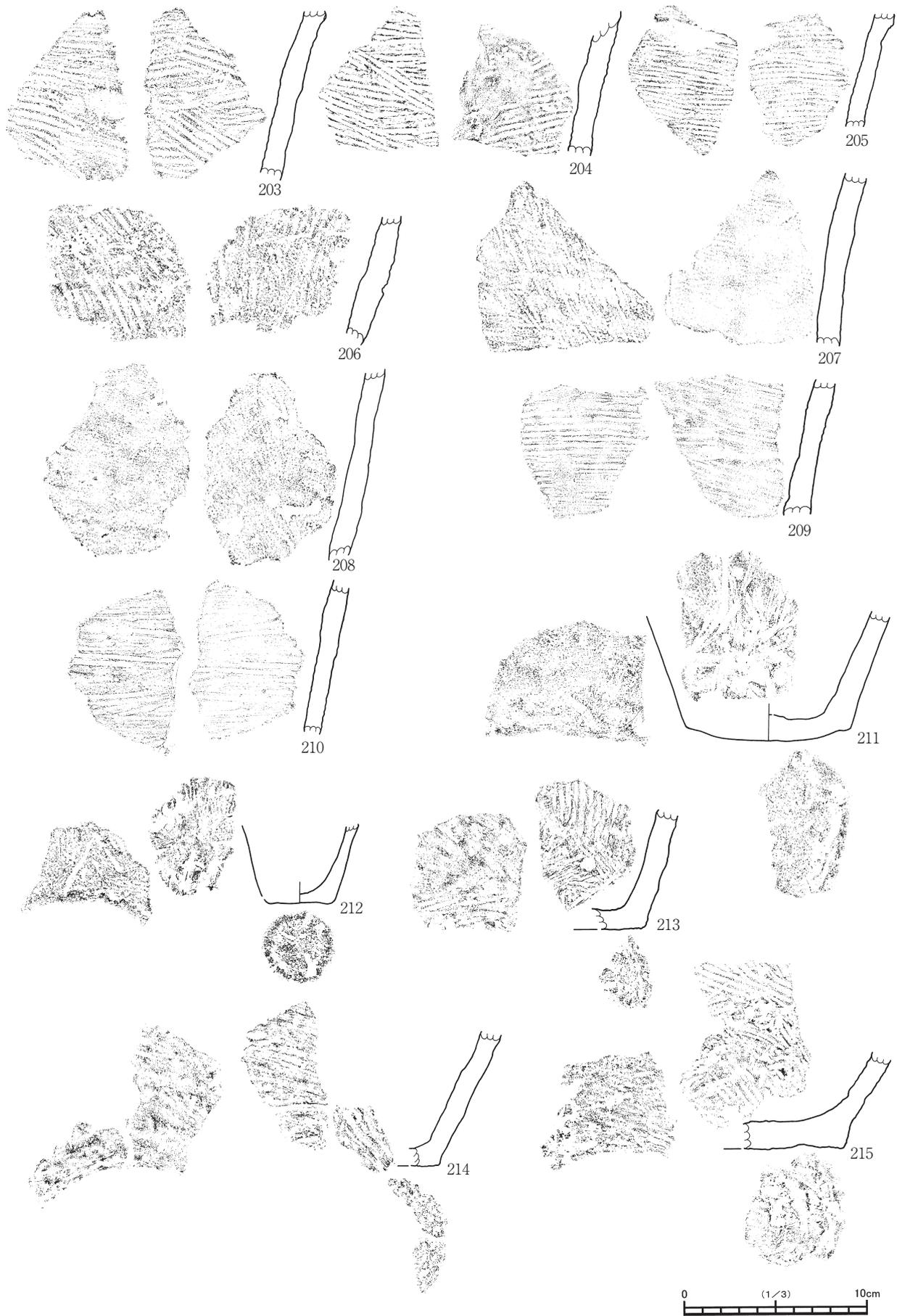
第801图 七28・D8区包含層出土遺物実測図(9)



第802図 セ28・D8区包含層出土遺物実測図(10)



第803图 七28·D8区包含層出土遺物実測図(11)



第804図 セ28・D8区包含層出土遺物実測図(12)



第805図 セ28・D8区包含層出土遺物実測図(13)

8,913 gの土器が出土している。うちわけは、条痕文系、条痕・縄文、条痕文系（早期末）、羽状縄文系・関山式、浮島・興津式、諸磯式、堀之内1式、加曾利B式、曾谷式で、このうち最も多いのが条痕文系で93.1%、次が条痕文系（早期末）で2.9%、条痕・縄文で1.1%の順となる。

主な土器を第807図1～12に示した。1～7は条痕文系深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。このうち3～7は早期末に属すものとみられ、口唇部に波状隆帯や胴部にハイガイ等による腹縁圧痕文が施される。8・9は横位の波状隆帯をもつもので、胎土に小礫を含むことを特徴とする。早期（東海系）のものともみられる。10・11は浮島式とみられ、波状貝殻文をもつものである。

礫類は74点・5,662 g出土している。このうち、81.8%に被熱のあとがみられる。礫石器は4点出土している。

#### F13区

2,229 gの土器が出土している。うちわけは、条痕文系、羽状縄文系・関山式で、このうち最も多いのが羽状縄文系・関山式で91.7%、次が条痕文系で7.5%の順となる。

主な土器を第808図1～6に示した。いずれも羽状縄文系・関山式の口縁部および胴部破片である。円形貼付文・ループ文・コンパス文などがみられる。

礫類は2点・90 g出土し、すべてに被熱のあとがみられる。

#### G8区

11,126 gの土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、条痕文系、羽状縄文系・関山式、堀之内1式、加曾利B式、曾谷式で、このうち最も多いのが条痕文系で97.4%、次が撚糸文系で1.1%、羽状縄文系・関山式で0.5%の順となる。

主な土器を第809図1～11に示した。1～9は条痕文系深鉢形土器の口縁部、胴部および底部破片である。10・11は加曾利B式粗製深鉢形土器の胴部破片である。

礫類は97点・100,015 g出土している。このうち、78.3%に被熱のあとがみられる。礫石器は3点出土している。

#### G8・G9区

14,923 gの土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、条痕文系、条痕・縄文で、このうち最も多いのが条痕文系で94.9%、次が撚糸文系で3.7%、条痕・縄文で0.1%の順となる。

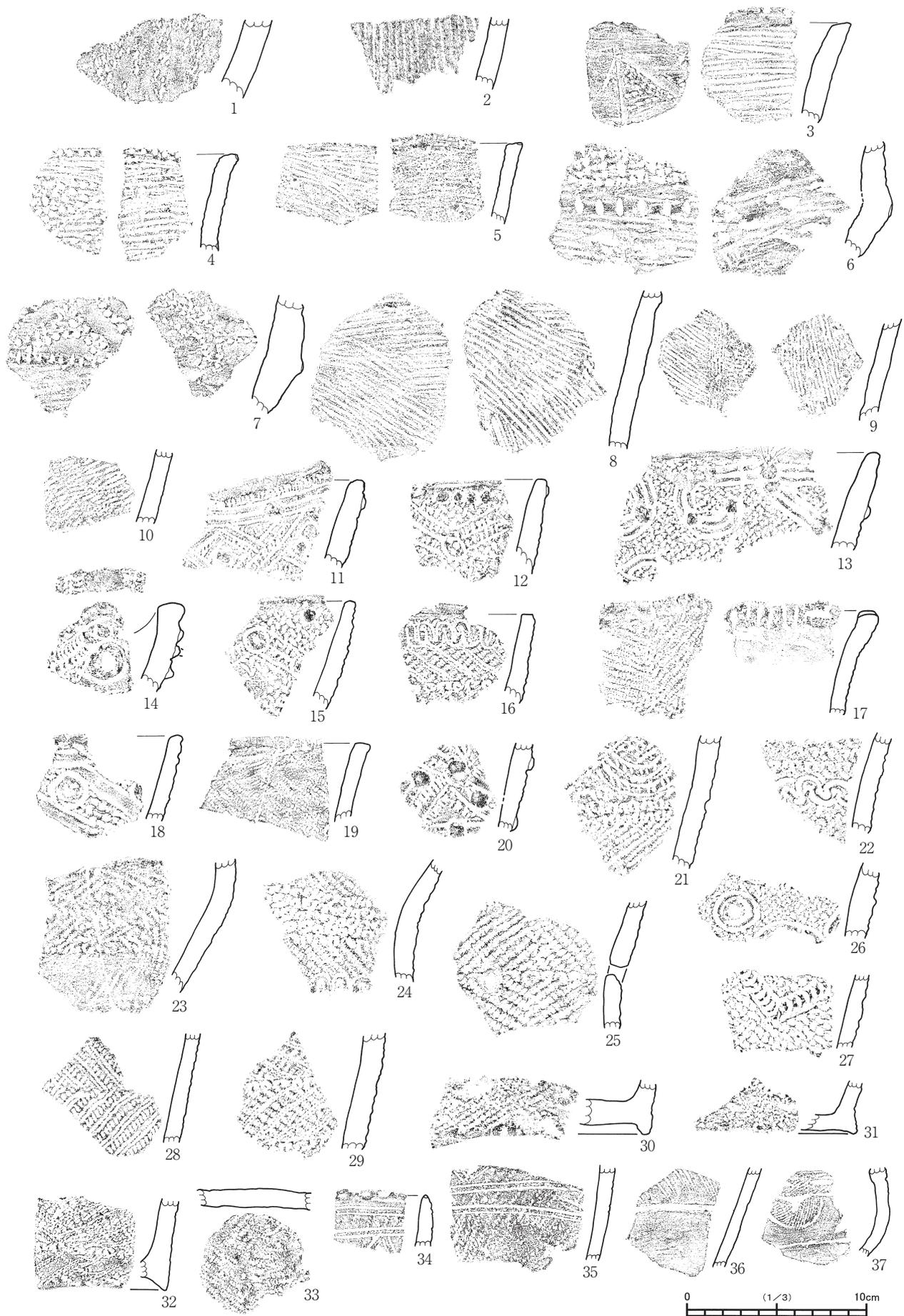
主な土器を第810図1～13・第811図14～18に示した。1～6は撚糸文系深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。7～18は条痕文系深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。

礫類は出土していない。

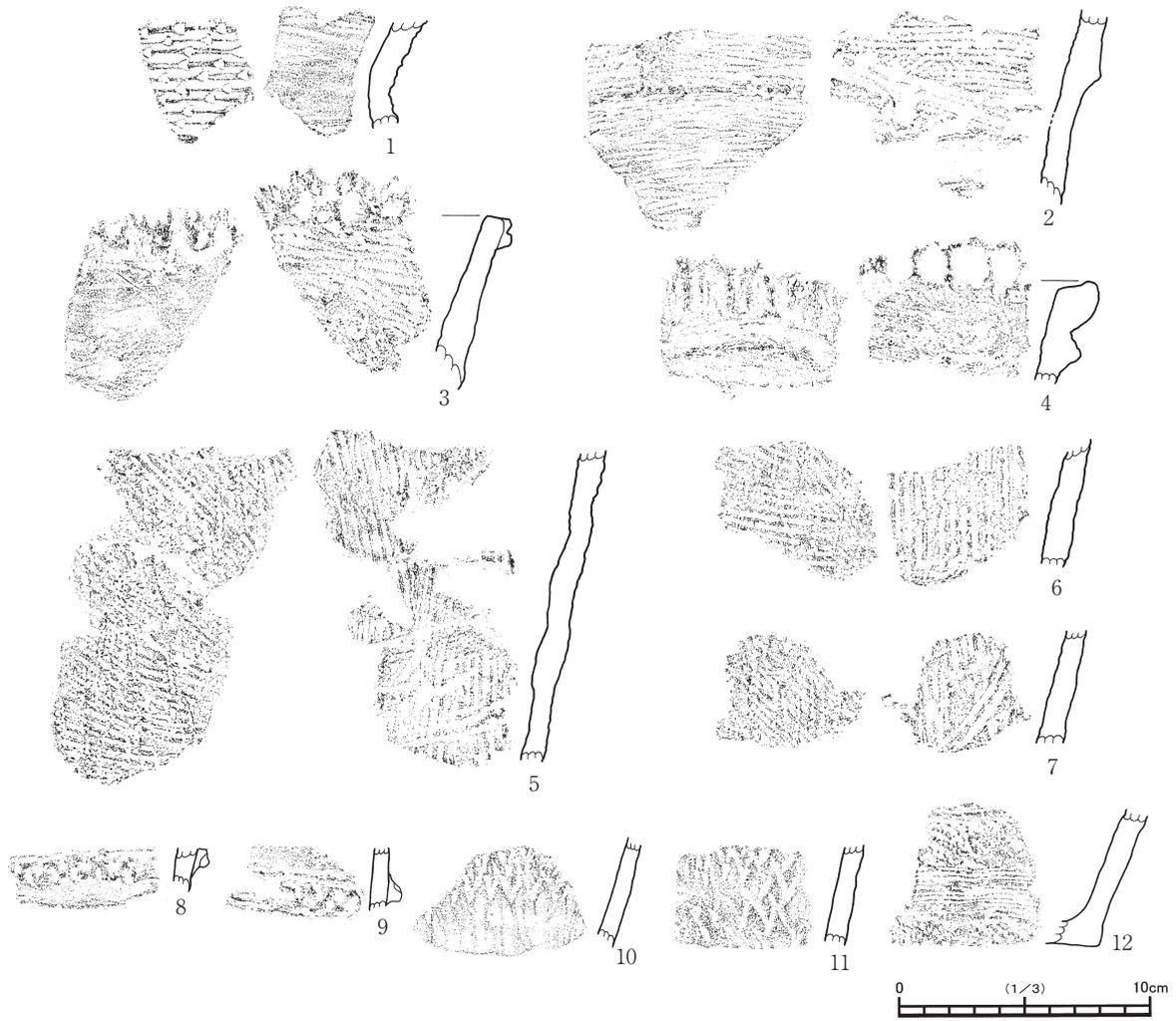
#### G9区

42,791 gの土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、条痕文系、条痕・縄文、羽状縄文系・関山式、加曾利B式、曾谷式、安行式で、このうち最も多いのが条痕文系で96.9%、次が条痕・縄文で1.2%、撚糸文系で1%の順となる。

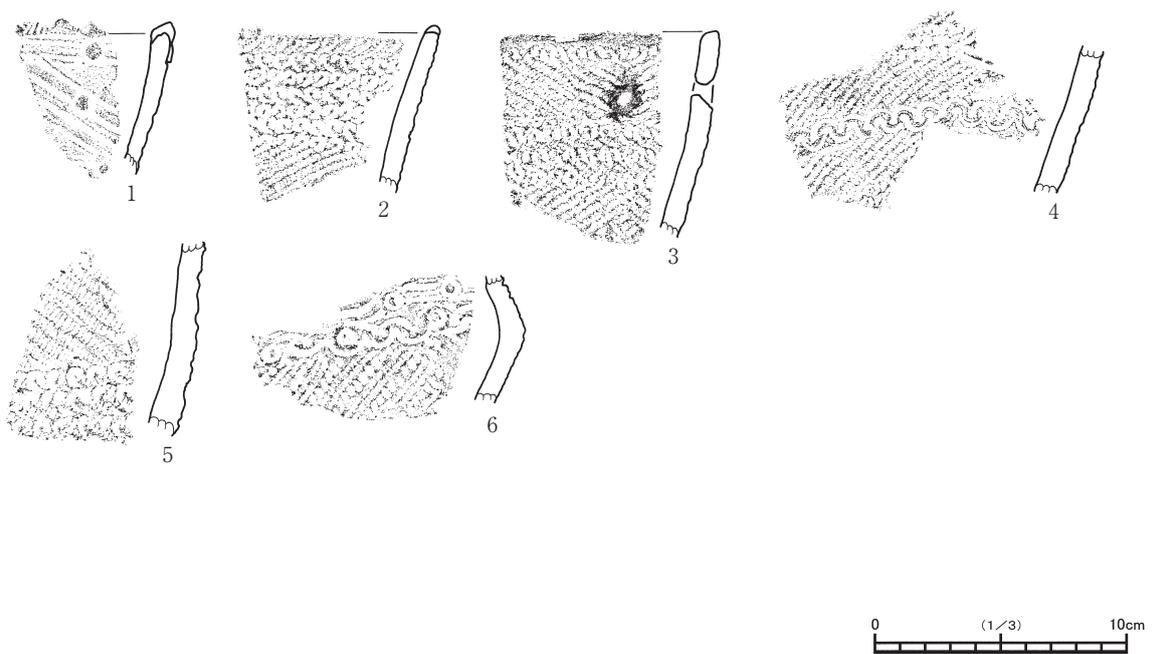
主な土器を第812図1～17・第813図18～34・第814図35～45に示した。1～6は撚糸文系深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。7～26は条痕文系深鉢形土器の口縁部、27～40は胴部、41は底部の破片である。このうち16・17には外面の一部や口唇部に縄文が施される。42は加曾利B式、45は曾谷式、43・44は安行式深鉢形土器の口縁部および胴部破片とみられる。



第806图 七28·D10区包含层出土遗物实测图



第807图 七28·E 8区包含層出土遺物実測図



第808图 七28·F 13区包含層出土遺物実測図

礫類は192点・27,733 g 出土している。このうち、84.6%に被熱のあとがみられる。礫石器は12点出土している。

#### G10区

1,188 g の土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、条痕文系、条痕・縄文、羽状縄文系・関山式で、このうち最も多いのが条痕文系で85.6%、次が撚糸文系で11.2%、羽状縄文系・関山式で2.5%の順となる。

主な土器を第815図1・2に示した。1は撚糸文系深鉢形土器の胴部破片である。2は条痕文系深鉢形土器の口縁部破片である。

礫類は45点・2,780 g 出土している。このうち、95.7%に被熱のあとがみられる。

#### G10・H10区

土器の出土はなかった。礫類は215点・14,929 g 出土している。このうち、90.9%に被熱のあとがみられる。礫石器は3点出土している。

#### G11区

2,046 g の土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、条痕文系、羽状縄文系・関山式、浮島・興津式で、このうち最も多いのが条痕文系で92.5%、次が羽状縄文系・関山式で5.6%、浮島・興津式で1.1%の順となる。

主な土器を第815図3～6に示した。3は撚糸文系深鉢形土器の胴部破片である。4は条痕文系深鉢形土器の口縁部破片である。5は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部破片である。円形貼付文・梯子状文がみられる。6は沈線区画内に貝殻文を充填する深鉢形土器の胴部破片で、興津式のもののみられる。

礫類は41点・3,520 g 出土している。このうち、すべてに被熱のあとがみられる。

#### G11・H11区

2,389 g の土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、条痕文系、条痕・縄文、羽状縄文系・関山式、加曾利B式で、このうち最も多いのが条痕文系で87.7%、次が羽状縄文系・関山式で7.7%、撚糸文系で0.8%の順となる。

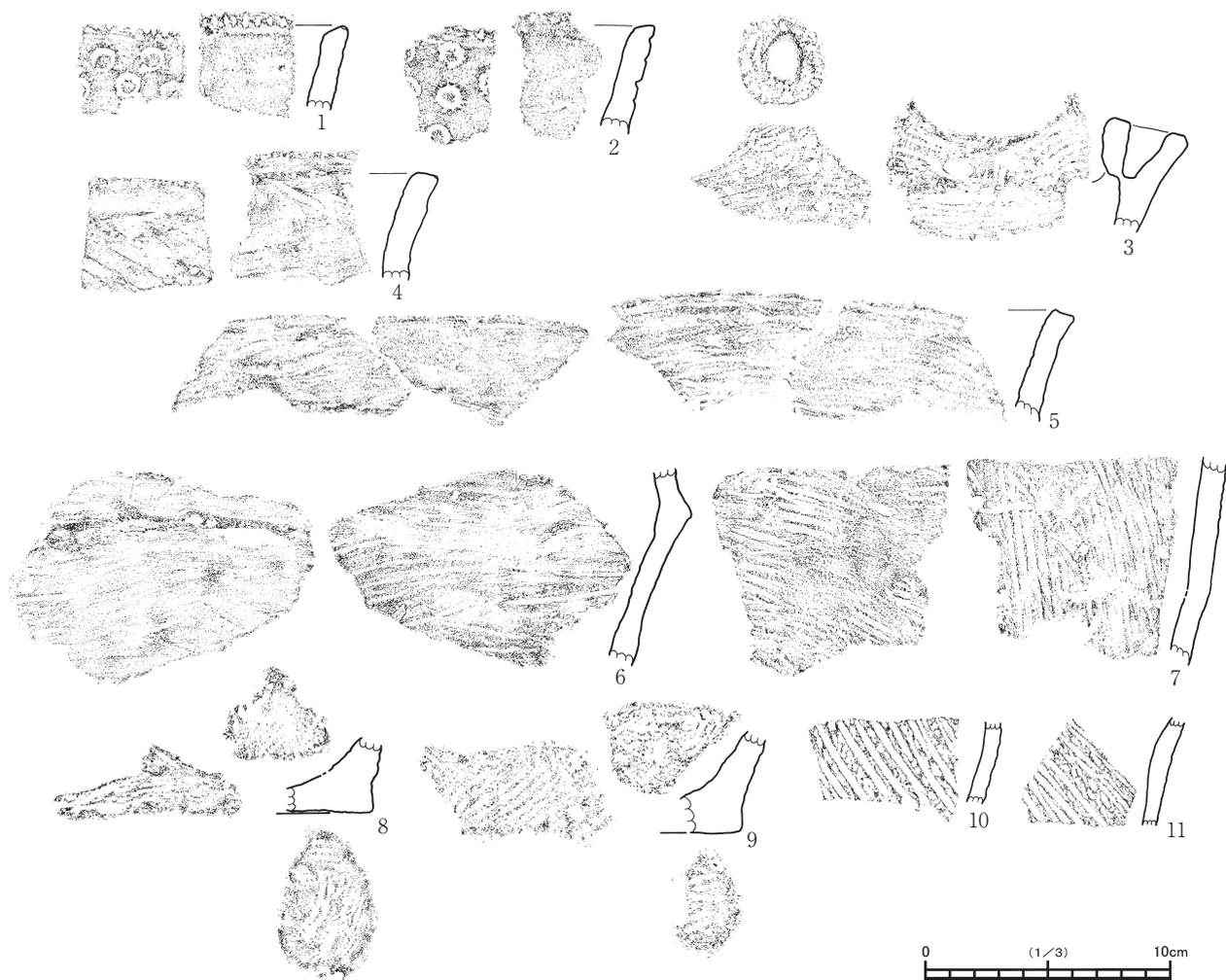
主な土器を第815図7～9に示した。7・8は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部および底部の破片である。8は底面にも縄文が施される。9は加曾利B式の波状口縁となる鉢形土器の口縁部破片である。

礫類は7点・1,341 g 出土している。このうち、26.1%に被熱のあとがみられる。礫石器は3点出土している。

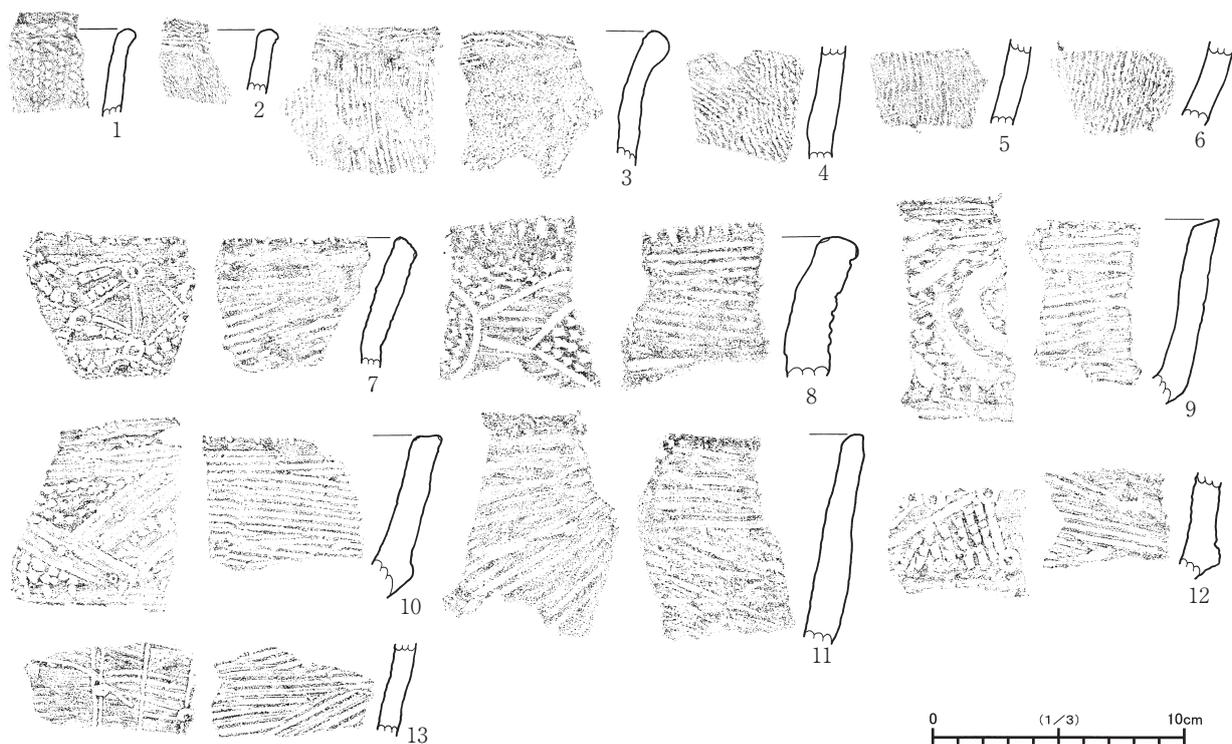
#### G12区

17,163 g の土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、条痕文系、羽状縄文系・関山式、浮島・興津式、称名寺式、堀之内1式、加曾利B式で、このうち最も多いのが羽状縄文系・関山式で58.9%、次が条痕文系で36.7%、浮島・興津式で0.9%の順となる。

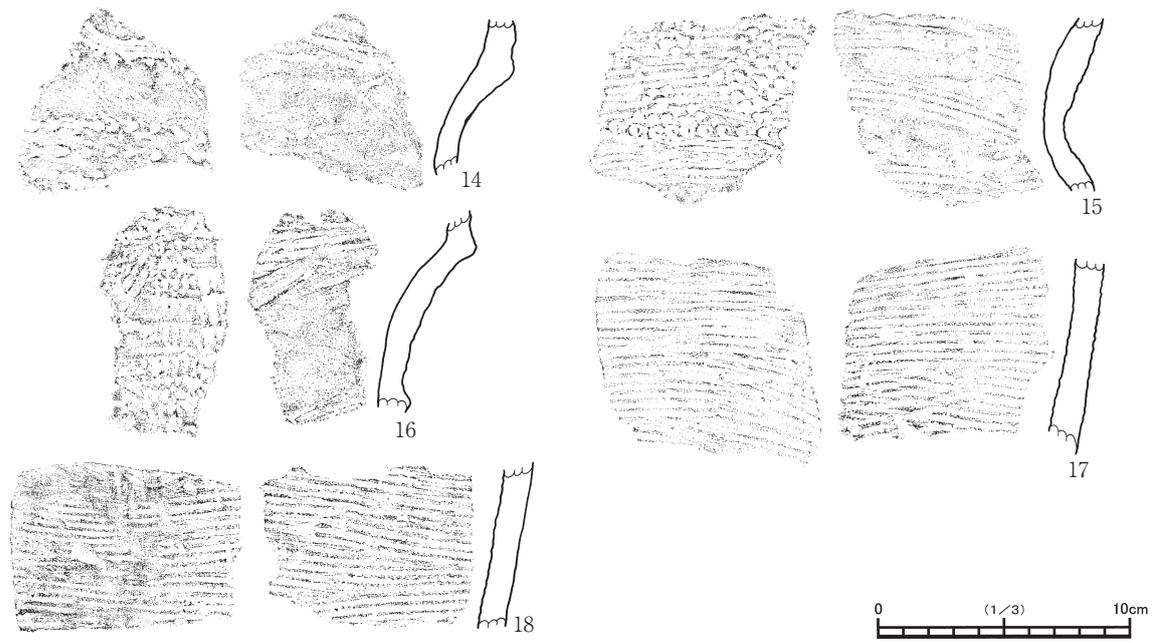
主な土器を第816図1～36・第817図37～58に示した。1～4は撚糸文系深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。5～11は条痕文系深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。12～25は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部、26～42は胴部、43～48は底部の破片である。円形貼付文・ループ文・



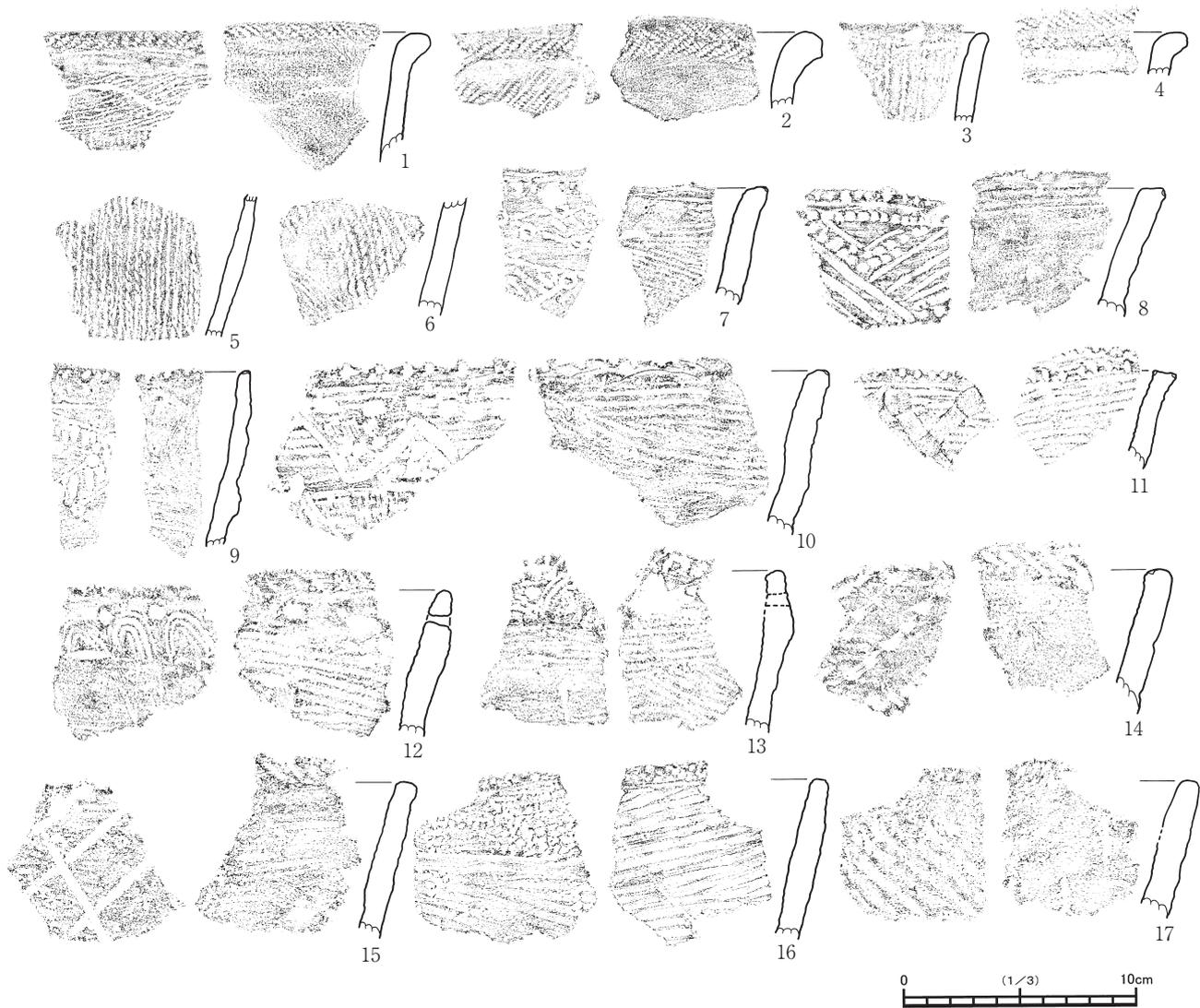
第809图 七28·G8区包含層出土遺物実測図



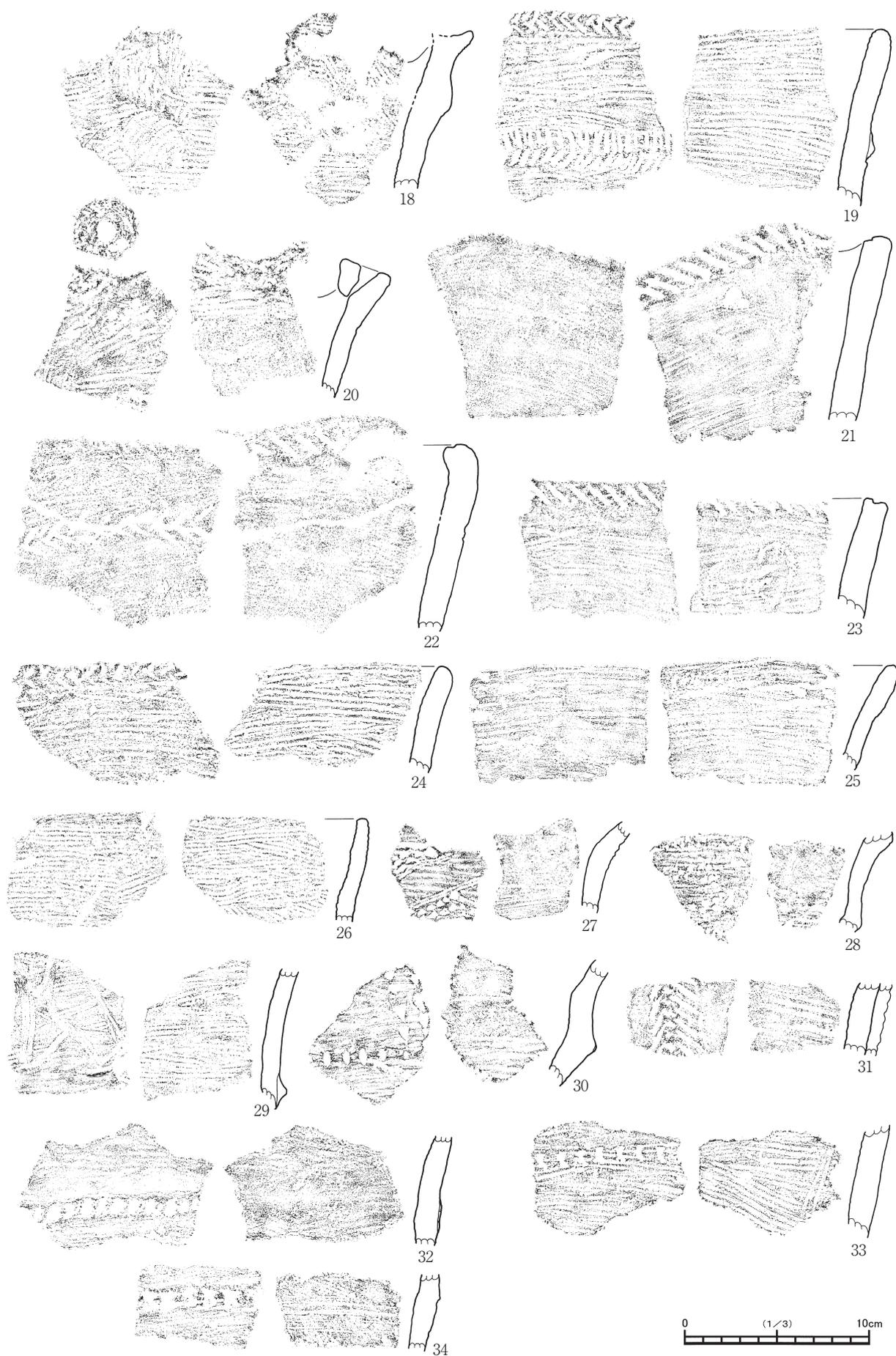
第810图 七28·G8·G9区包含層出土遺物実測図(1)



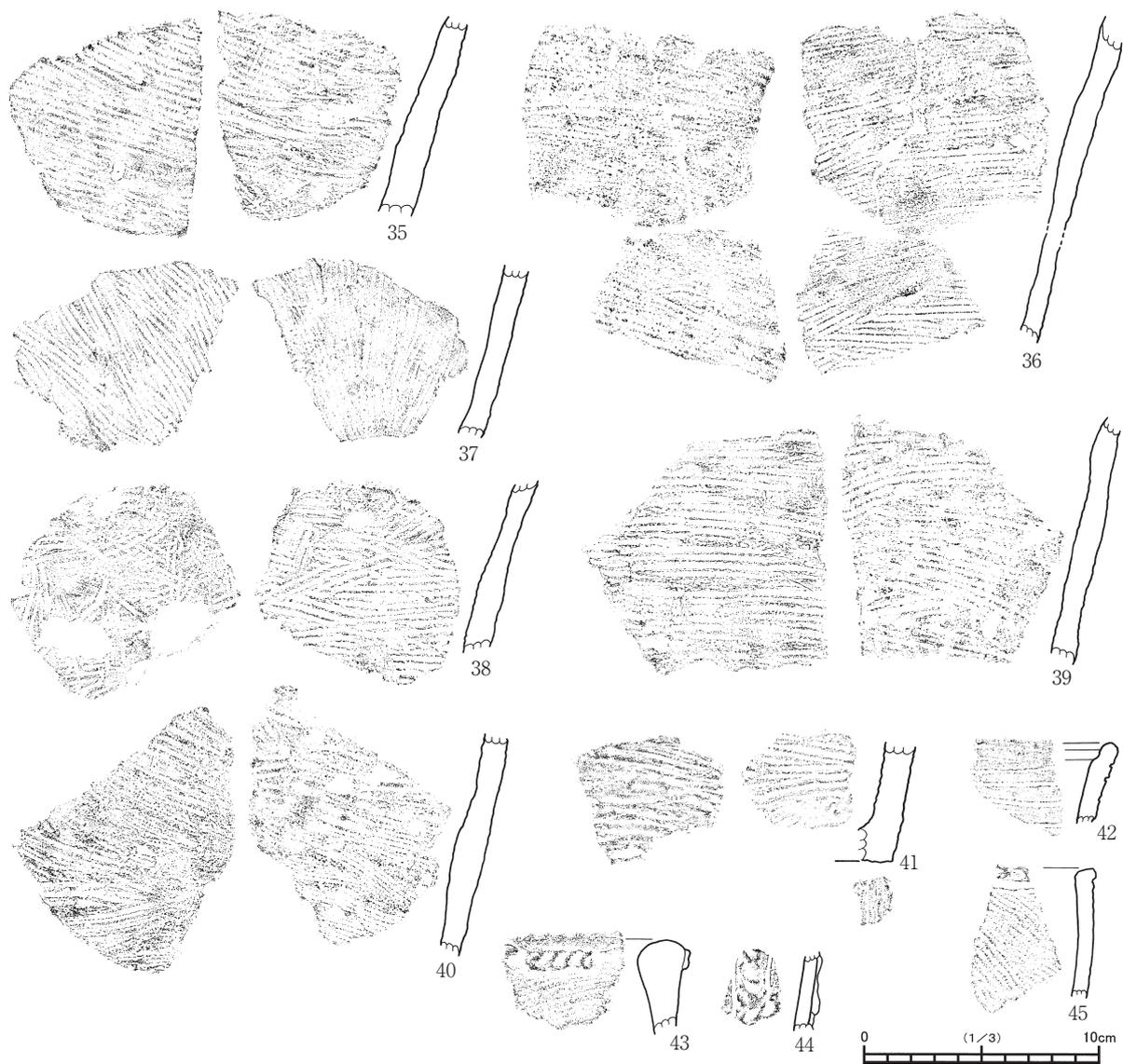
第811图 七28·G8·G9区包含層出土遺物実測図(2)



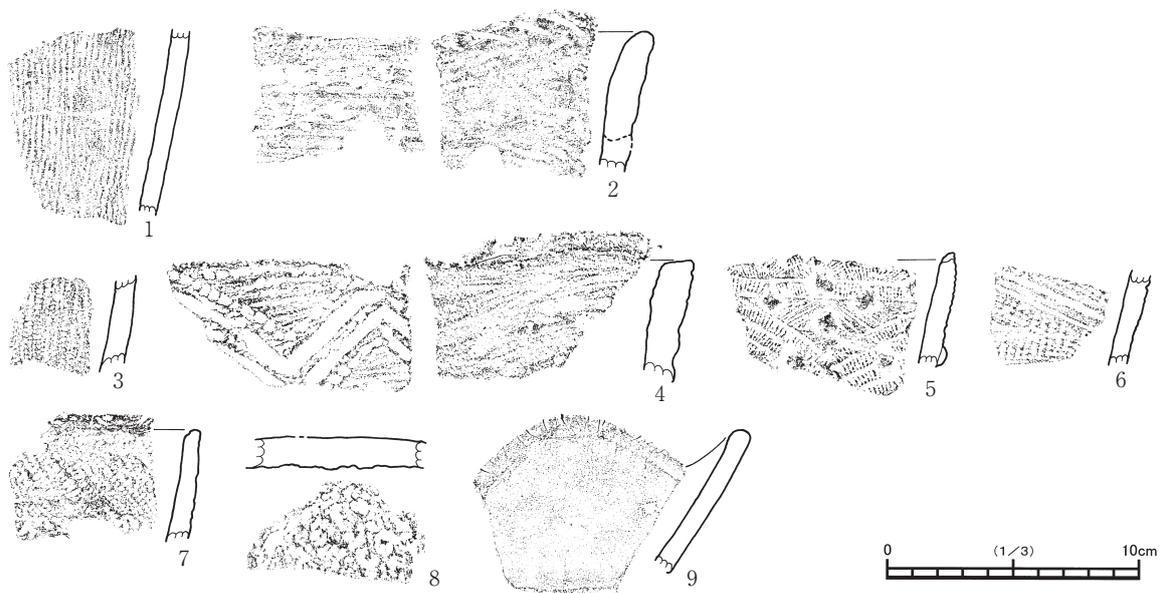
第812图 七28·G9区包含層出土遺物実測図(1)



第813图 七28·G9区包含層出土遺物実測図(2)



第814図 七28・G9区包含層出土遺物実測図(3)



第815図 七28・G10、G11、G11・H11区包含層出土遺物実測図

コンパス文・付加条文・鋸歯状文・丸組紐などがみられる。49～51は浮島式とみられ、波状貝殻文・爪形文・櫛歯文などがみられる。52～54は称名寺式深鉢形土器の胴部である。55～58は加曾利B式粗製深鉢形土器の口縁部および胴部破片で、55・56は紐線文が施される。

礫類は76点・8,706 g 出土している。このうち、84.4%に被熱のあとがみられる。礫石器は7点出土している。

#### G13区

18,226 gの土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、条痕文系、羽状縄文系・関山式、称名寺式、堀之内1式で、このうち最も多いのが羽状縄文系・関山式で84.5%、次が条痕文系で13.6%、称名寺式で0.8%の順となる。

主な土器を第818図1～8・第819図9～42・第820図43～65に示した。1は撚糸文系深鉢形土器の胴部破片である。2は条痕文系深鉢形土器の胴部、3は底部の破片である。4～33は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部、34～60は胴部、61～64は底部の破片である。円形貼付文・ループ文・コンパス文・付加条文・鋸歯状文・丸組紐などがみられる。31は片口をもつ土器である。65は称名寺式深鉢形土器の口縁部破片である。

礫類は110点・18,147 g 出土している。このうち、69.1%に被熱のあとがみられる。礫石器は8点出土している。

#### G14区

1,234 gの土器が出土している。うちわけは、条痕文系、羽状縄文系・関山式で、このうち最も多いのが羽状縄文系・関山式で84.7%、次が条痕文系で15.3%の順となる。

主な土器を第821図1～4に示した。1～3は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部および胴部の破片である。4は紐線文をもつ加曾利B式粗製深鉢形土器の口縁部破片である。

礫類は48点・2,423 g 出土している。このうち、91.6%に被熱のあとがみられる。礫石器は1点出土している。

#### G15区

380 gの土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、条痕文系、羽状縄文系・関山式で、このうち最も多いのが羽状縄文系・関山式で71.1%、次が条痕文系で25.3%、撚糸文系で3.7%の順となる。

主な土器を第821図5・6に示した。5は撚糸文系深鉢形土器の胴部破片である。6は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部破片である。

礫類は121点・6,965 g 出土している。このうち、すべてに被熱のあとがみられる。

#### G16区

2,369 gの土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、条痕文系、羽状縄文系・関山式、加曾利B式で、このうち最も多いのが羽状縄文系・関山式で66.4%、次が条痕文系で31.8%、加曾利B式で1%の順となる。

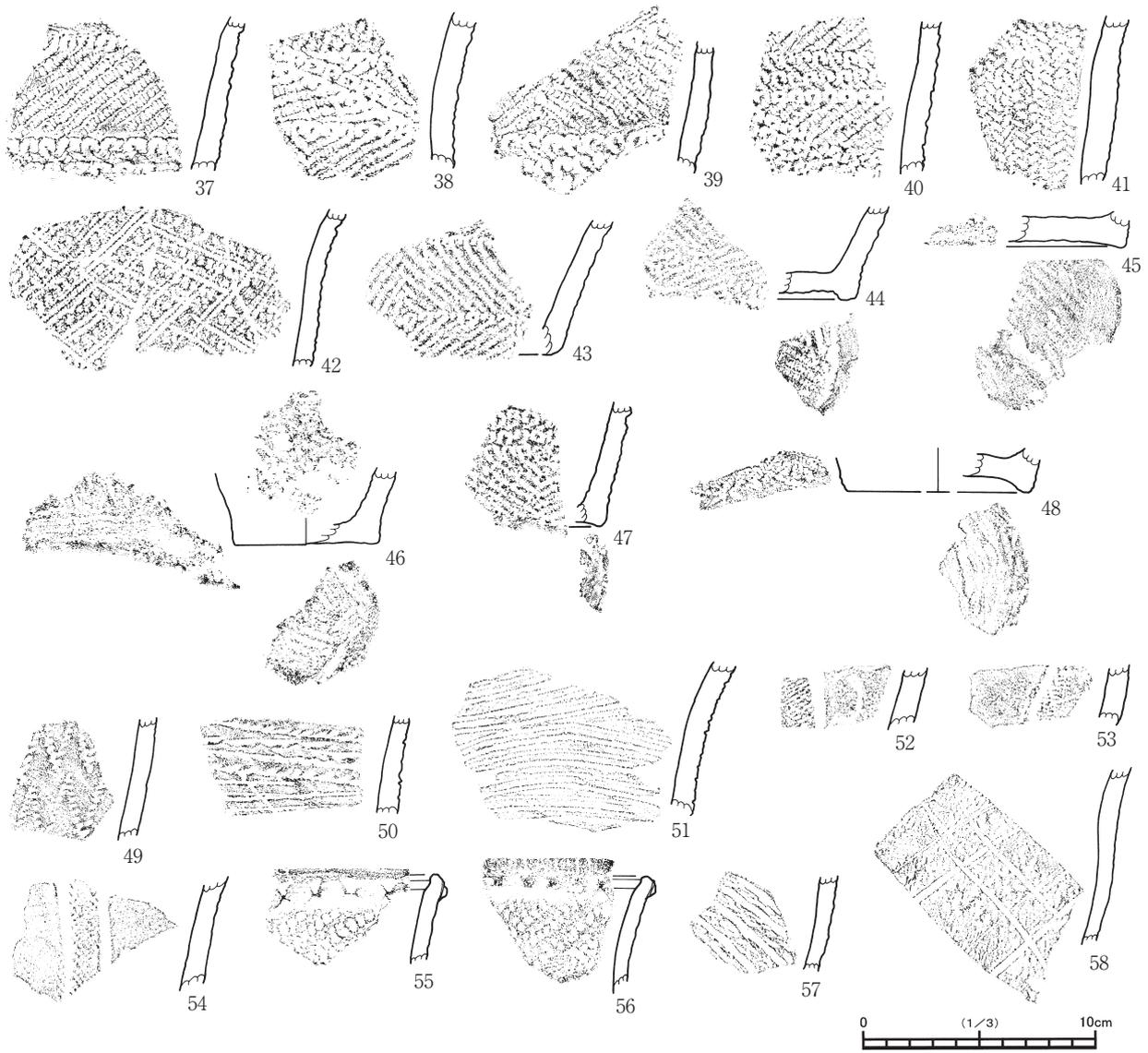
主な土器を第822図1～12に示した。1～11は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部および胴部の破片である。12は加曾利B式粗製深鉢形土器の胴部破片である。

礫類は6点・260 g 出土している。このうち、すべてに被熱のあとがみられる。

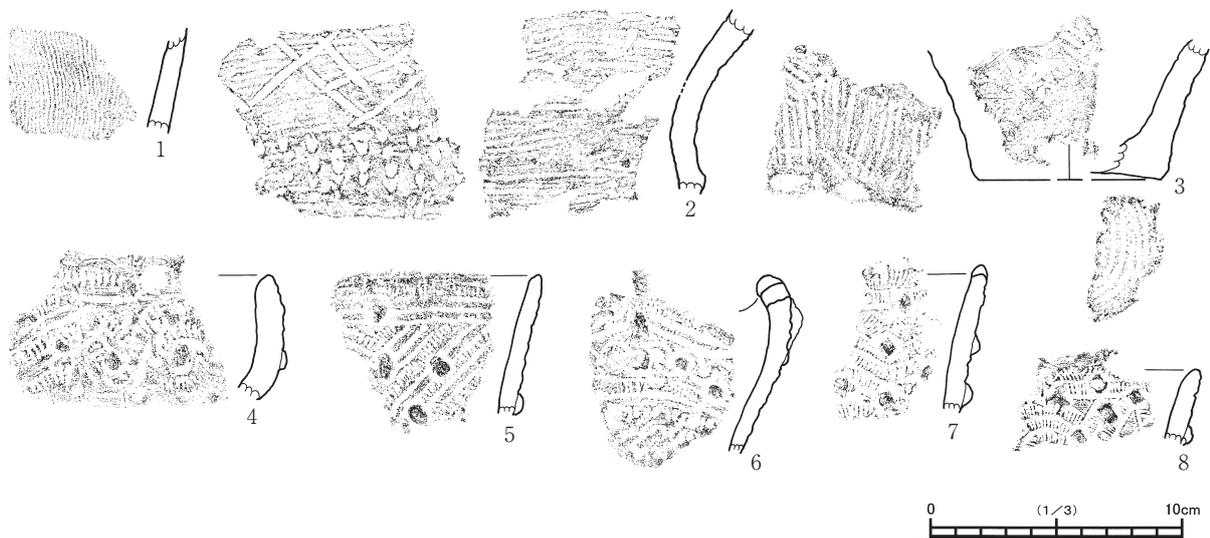
#### G17区



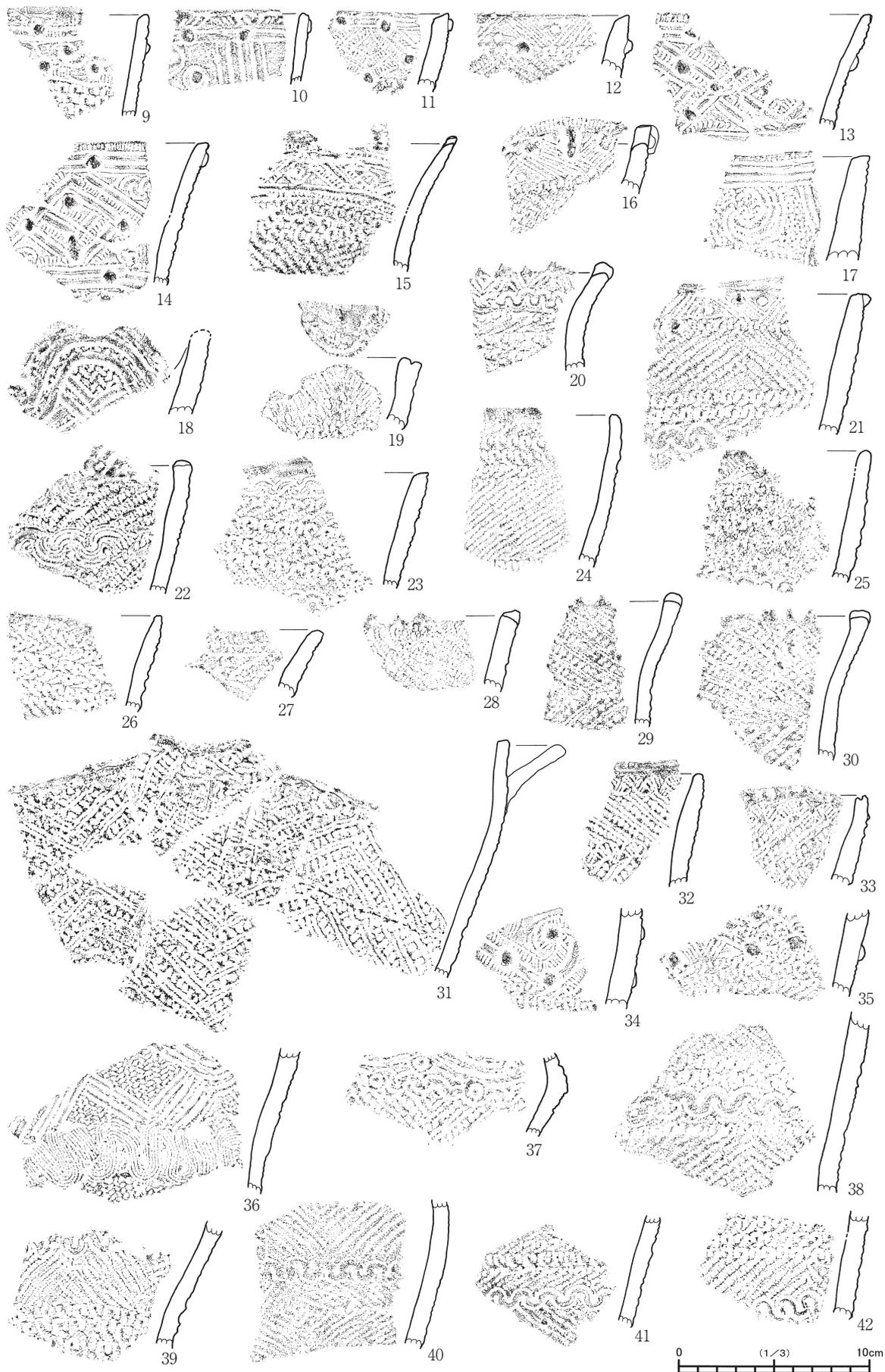
第816图 七28·G12区包含層出土遺物実測図(1)



第817图 七28・G12区包含層出土遺物実測図(2)



第818图 七28・G13区包含層出土遺物実測図(1)



第819图 七28・G13区包含層出土遺物実測図(2)

170 g の土器が出土している。うちわけは、条痕文系で48.2%となる。図示できる土器はなかった。礫類は28点・2,620 g 出土している。このうち、すべてに被熱のあとがみられる。

#### G18区

土器の出土はなかった。礫類は14点・1,967 g 出土している。このうち、91.5%に被熱のあとがみられる。礫石器は1点出土している。

#### G19区

391 g の土器が出土している。うちわけは、条痕文系、羽状縄文系・関山式、曾谷式で、このうち最も多いのが羽状縄文系・関山式で75.4%、次が条痕文系で21.2%、曾谷式で1%の順となる。図示できる土器はなかった。

礫類は255点・11,300 g 出土している。このうち、すべてに被熱のあとがみられる。

#### H2区

9 g の土器が出土している。条痕文系であるが、図示できる土器ではなかった。

礫類の出土はなかった。

#### H6区

1,468 g の土器が出土している。すべて条痕文系である。図示できる土器はなかった。

礫類は348点・14,377 g 出土している。このうち、56.8%に被熱のあとがみられる。礫石器は3点出土している。

#### H7区

4,548 g の土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、条痕文系、羽状縄文系・関山式で、このうち最も多いのが条痕文系で98.9%、次が羽状縄文系・関山式で0.5%、撚糸文系で0.3%の順となる。

主な土器を第823図1～5に示した。1～3は条痕文系深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。4は堀之内1式の口縁部、5は加曾利B式粗製深鉢形土器の胴部破片である。

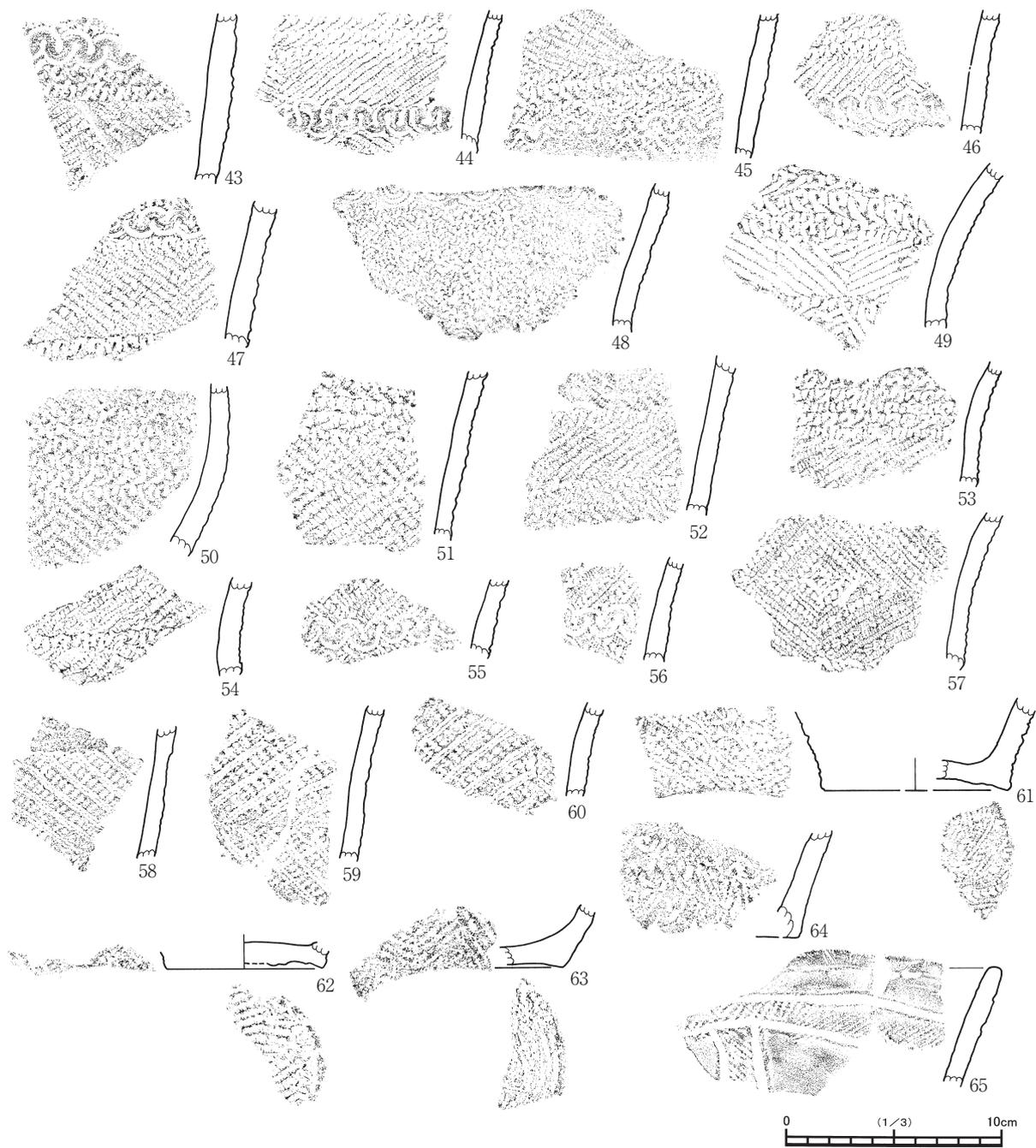
礫類は1,343点・73,671 g 出土している。このうち、68.8%に被熱のあとがみられる。礫石器は9点出土している。

#### H8区

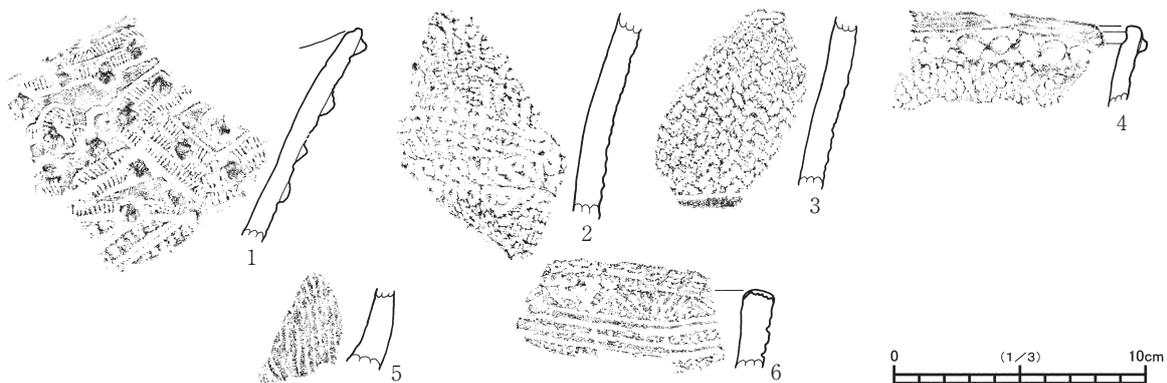
84,607 g の土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、条痕文系、条痕・縄文、早期（東海系）、羽状縄文系・花積下層式、羽状縄文系・関山式、称名寺式、堀之内1式、加曾利B式、曾谷式、安行式で、このうち最も多いのが条痕文系で95.8%、次が撚糸文系で1.8%、羽状縄文系・関山式で1.1%の順となる。

主な土器を第824図1～12・第825図13～30・第826図31～45に示した。1～12は撚糸文系深鉢形土器の口縁部および胴部・底部破片である。13～24は条痕文系深鉢形土器の口縁部、26・27は胴部、28～30は底部の破片である。25は斜位のキザミを横位に配列する文様がみられ、また口唇部には楕円刺突がめぐる。早期（東海系）のものともみられる。粕畑式であろう。31は羽状縄文系・花積下層式深鉢形土器の口縁部破片である。32・33は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部破片である。34・35は称名寺式深鉢形土器の口縁部破片である。36は堀之内1式深鉢形土器の胴部破片である。37～40は加曾利B式、41～44は曾谷式、45は安行式のものともみられる。

礫類は4,195点・206,574 g 出土している。このうち、84%に被熱のあとがみられる。礫石器は65点



第820图 七28·G13区包含層出土遺物実測図(3)



第821图 七28·G14、G15区包含層出土遺物実測図

出土している。

#### H9区

84,527 gの土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、沈線文系、条痕文系、条痕・縄文、条痕文系（早期末）、早期（東海系）、羽状縄文系・花積下層式、羽状縄文系・関山式、諸磯式、称名寺式、堀之内1式、堀之内2式、加曾利B式、曾谷式、安行式で、このうち最も多いのが条痕文系で92.1%、次が撚糸文系で3.1%、堀之内1式で1.9%の順となる。

主な土器を第827図1～25・第828図26～42・第829図43～57・第830図58～85に示した。1～20は撚糸文系深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。21は沈線文系深鉢形土器の口縁部破片である。22～42・59～63は条痕文系深鉢形土器の口縁部、43～55は胴部、56～58は底部破片である。このうち、38・40～42には外面の一部に縄文が施される。59～63は口縁部や口唇部に絡条体圧痕文やフネガイ科貝類の腹縁圧痕文が施されるもので、早期末のものともみられる。64～67は斜位の楕円刺突文を横位に並べる文様をもち、胎土中に小礫を多く含む特徴がある。早期（東海系）のものともみられる。粕畑式であろう。68～75は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部および胴部の破片である。76・77は諸磯式深鉢形土器の胴部破片である。78は称名寺式、79は堀之内1式、80～82は加曾利B式、83・84は曾谷式、85は安行式のものともみられる。

礫類は4,344点・223,890 g出土している。このうち、90%に被熱のあとがみられる。礫石器は62点出土している。

#### H10区

54,623 gの土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、条痕文系、条痕・縄文、条痕文系（早期末）、羽状縄文系・関山式、浮島・興津式、諸磯式、堀之内1式、堀之内2式、加曾利B式、曾谷式で、このうち最も多いのが条痕文系で92.5%、次が羽状縄文系・関山式で4.2%、撚糸文系で1.2%の順となる。

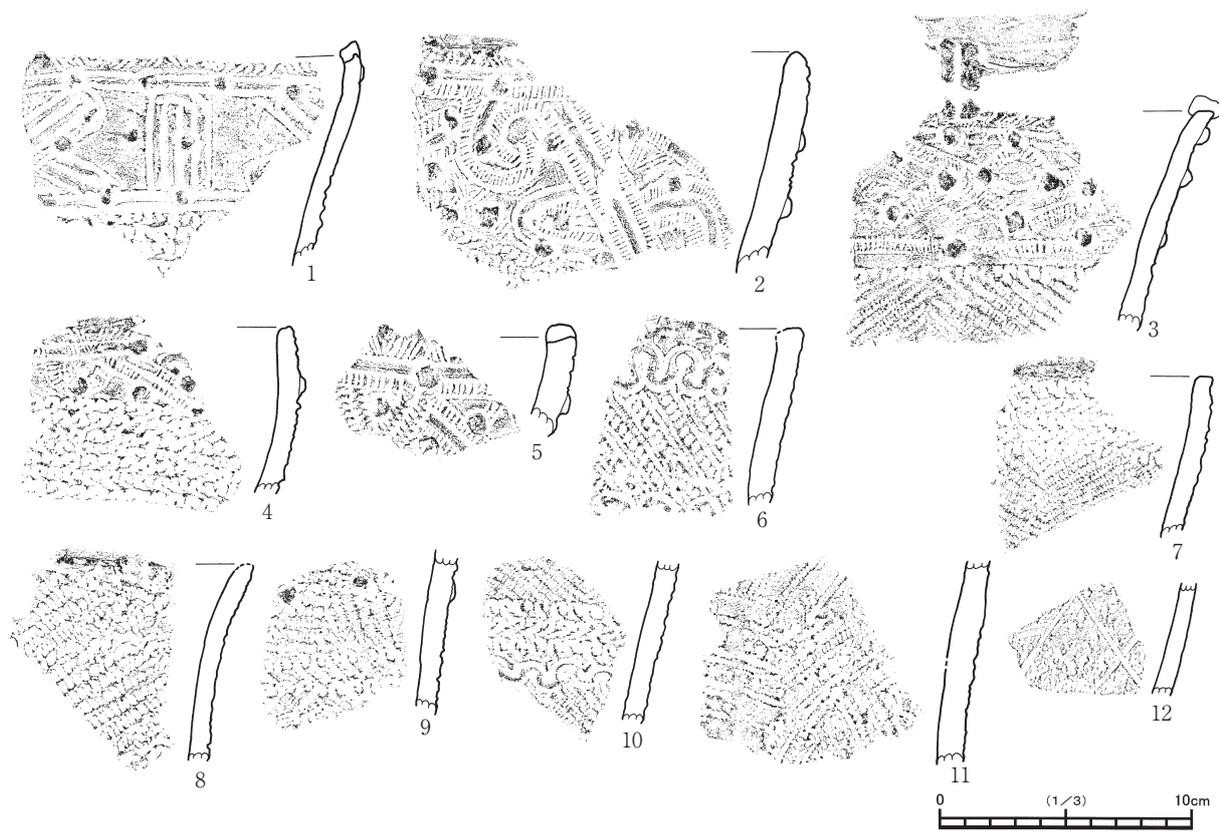
主な土器を第831図1～19・第832図20～29に示した。1は撚糸文系深鉢形土器の口縁部破片である。2～15は条痕文系深鉢形土器の口縁部、16・17は胴部、18・19は底部の破片である。このうち15は口縁部および口唇部に絡条体の圧痕が施される。早期末のものともみられる。20～28は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部および胴部の破片である。29は曾谷式とみられる。

礫類は693点・54,536 g出土している。このうち、83.4%に被熱のあとがみられる。礫石器は30点出土している。

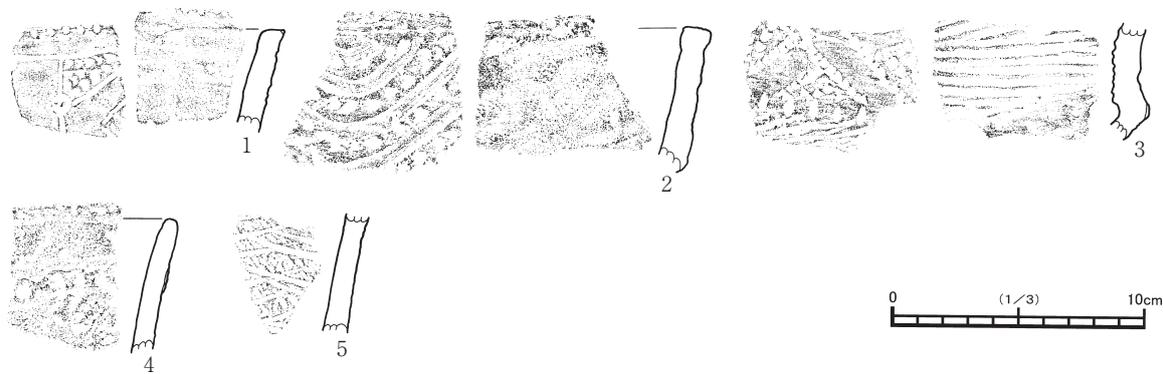
#### H11区

36,173 gの土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、条痕文系、羽状縄文系・関山式、浮島・興津式、諸磯式、加曾利B式、曾谷式で、このうち最も多いのが撚糸文系で94.6%、次が羽状縄文系・関山式で2.9%、撚糸文系で1.1%の順となる。

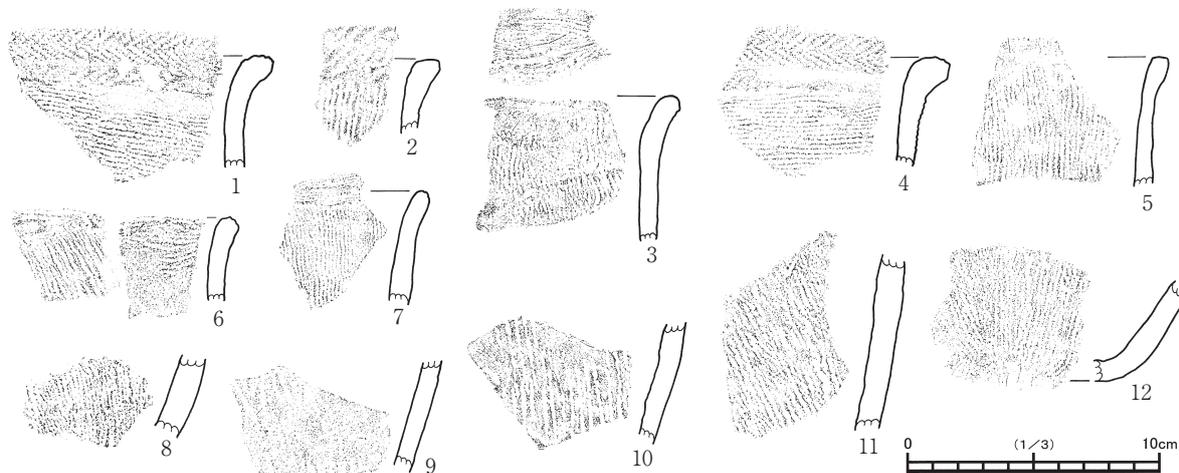
主な土器を第833図1～17・第834図18～31に示した。1～5は撚糸文系深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。6～12は条痕文系深鉢形土器の口縁部、13～17は胴部、18～23は底部の破片である。24・25は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部および胴部の破片である。26・27は浮島式深鉢形土器の口縁部破片である。28は諸磯式深鉢形土器の胴部破片である。29・30は紐線文をもつ加曾利B式深鉢形粗製土器の口縁部および胴部破片である。31は曾谷式とみられる。



第822图 七28·G16区包含層出土遺物実測図



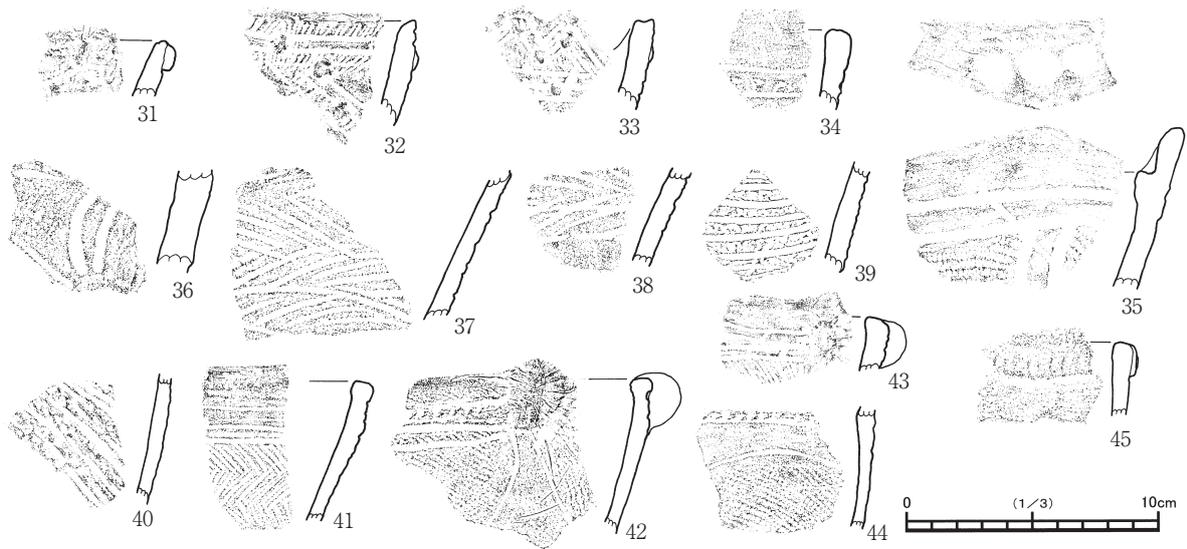
第823图 七28·H7区包含層出土遺物実測図



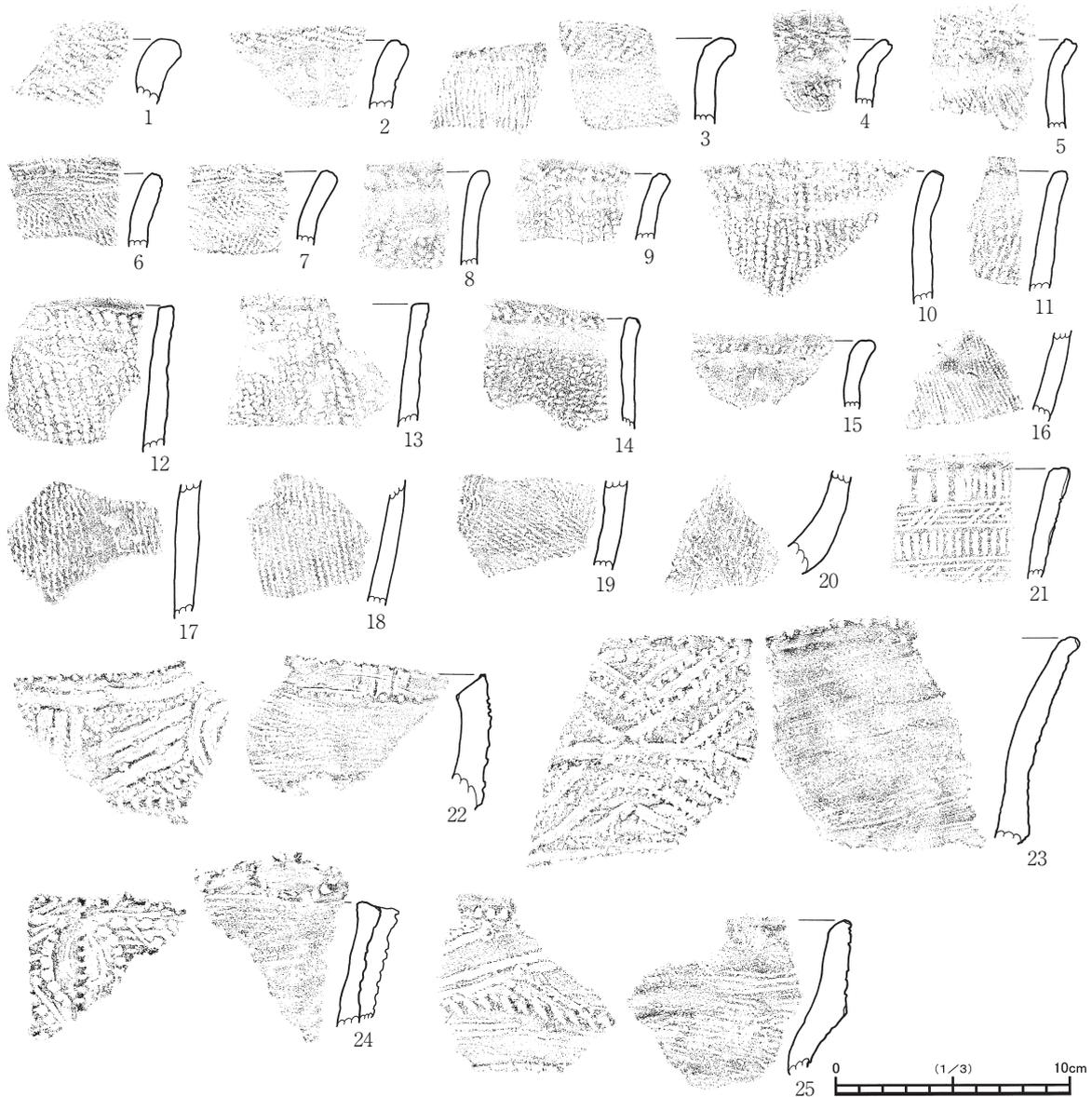
第824图 七28·H8区包含層出土遺物実測図(1)



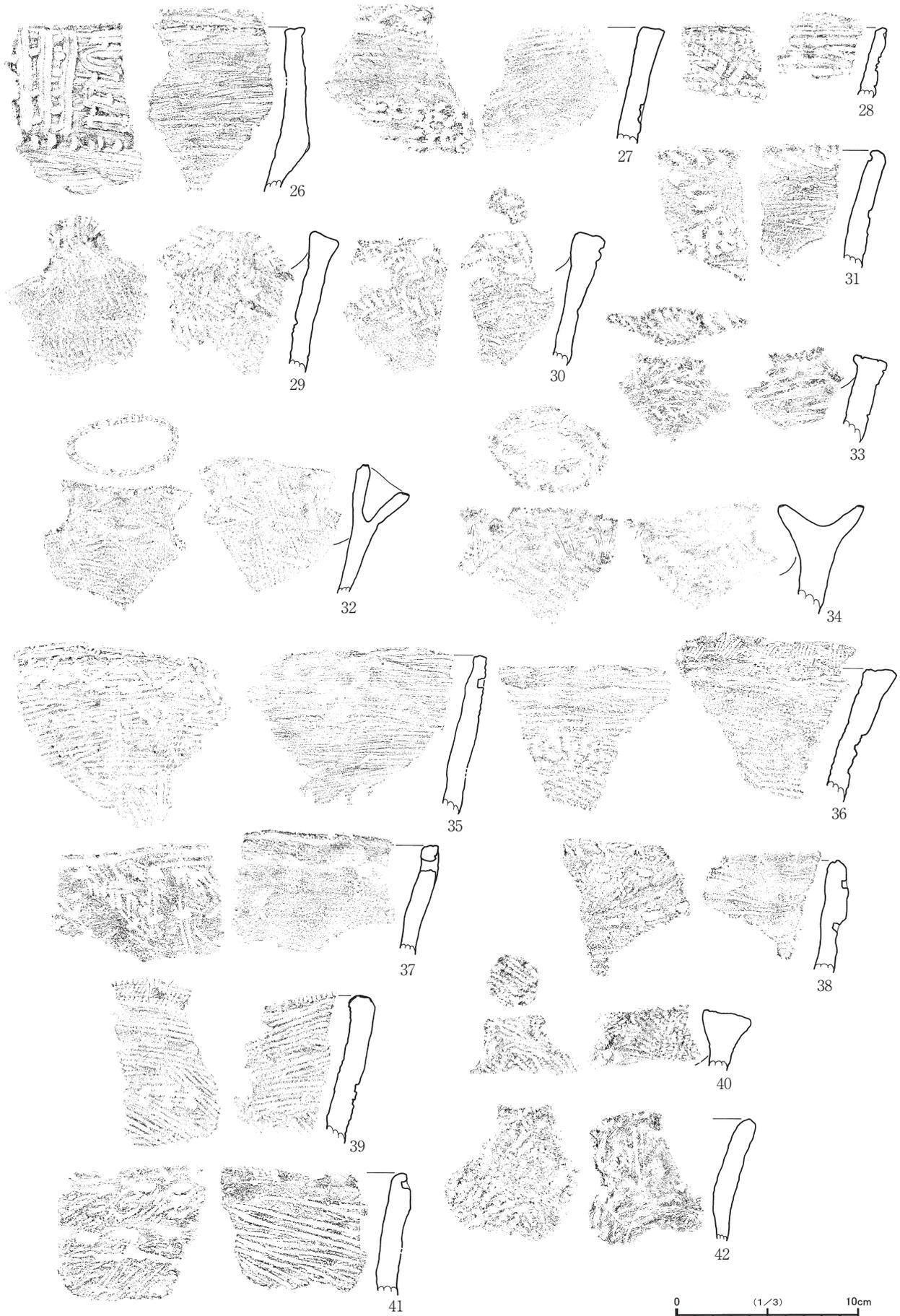
第825图 七28・H8区包含層出土遺物実測図(2)



第826图 七28·H8区包含層出土遺物実測図(3)



第827图 七28·H9区包含層出土遺物実測図(1)



第828图 七28·H9区包含层出土遗物实测图(2)



第829図 七28・H9区包含層出土遺物実測図(3)



第830图 七28・H9区包含層出土遺物実測図(4)

礫類は648点・52,324 g 出土している。このうち、86.1%に被熱のあとがみられる。礫石器は21点出土している。

#### H12区

30,201 g の土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、条痕文系、羽状縄文系・関山式、浮島・興津式、前期末～中期初頭、称名寺式、堀之内1式、加曾利B式、安行式で、このうち最も多いのが条痕文系で86.1%、次が羽状縄文系・関山式で8.8%、称名寺式で0.3%の順となる。

主な土器を第835図1～21に示した。1は撚糸文系深鉢形土器の口縁部破片である。2～8は条痕文系深鉢形土器の口縁部破片である。9～17は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部および胴部の破片である。18～20は口縁部に2～3段の縄の側面圧痕をもつ土器で、前期末から中期初頭のものともみられる。21は安行式深鉢形土器の胴部破片である。

礫類は1,677点・71,914 g 出土している。このうち、95.7%に被熱のあとがみられる。礫石器は6点出土している。

#### H13区

49,118 g の土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、撚糸文系（無文）、条痕文系、条痕・縄文、羽状縄文系・関山式、浮島・興津式、諸磯式、前期後葉、十三菩提式、前期末～中期初頭、称名寺式、堀之内1式、加曾利B式、安行式で、このうち最も多いのが条痕文系で70.7%、次が羽状縄文系・関山式で20.7%、加曾利B式で1.5%の順となる。加曾利B式が比較的多いのがこの区の特徴である。

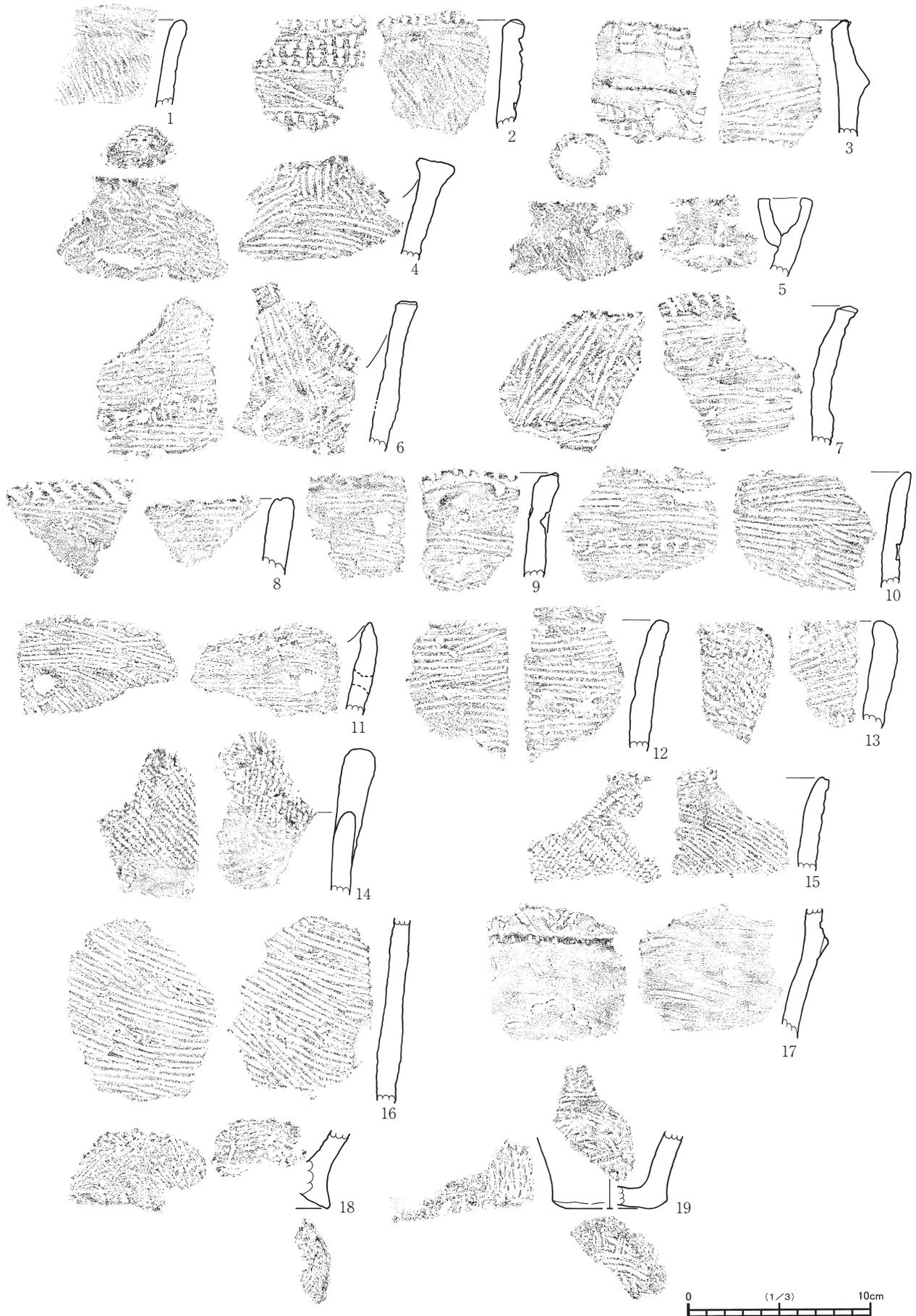
主な土器を第836図1～7・第837図8～24・第838図25～57・第839図58～75に示した。1～4は無文深鉢形土器の口縁部および胴部である。胎土中砂礫が器面調整時に移動したことによる擦痕がみられる。5～21は条痕文系深鉢形土器の口縁部、22～25は胴部の破片である。26～35は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部、36～45は胴部、46～49は底部の破片である。このうち35は、推定口径186 mm・現存器高66 mmを測る平縁の深鉢形土器である。全面にループ文が施される。50は浮島式、51・52は諸磯式、53・54は十三菩提式とみられる。55～57は口縁部に2～3段の縄の側面圧痕をもつ土器で、前期末から中期初頭のものともみられる。58～73は加曾利B式、74・75は安行式とみられる。

礫類は1,448点・72,780 g 出土している。このうち、93.1%に被熱のあとがみられる。礫石器は16点出土している。

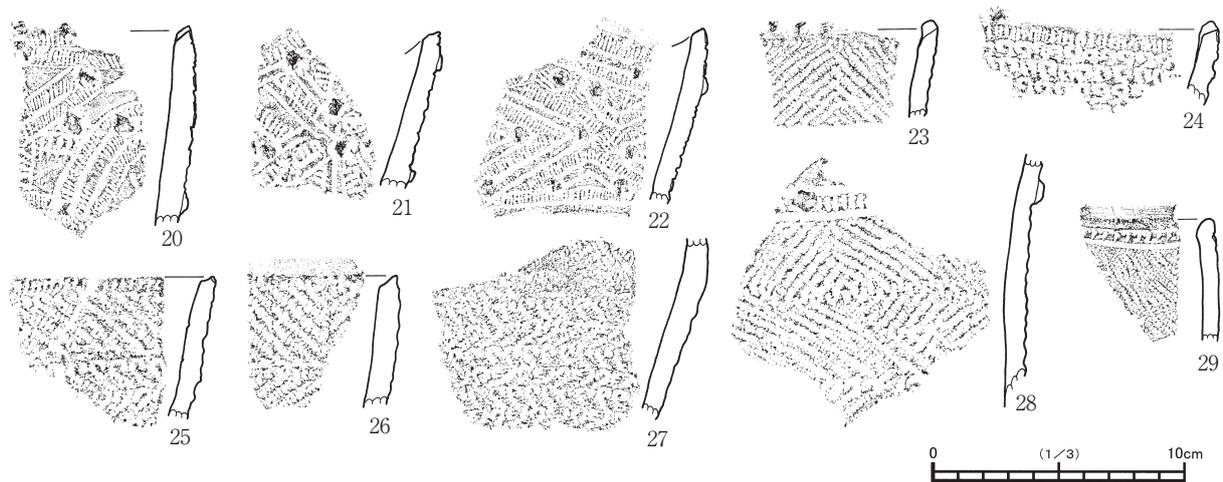
#### H14区

16,515 g の土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、撚糸文系（無文）、条痕文系、条痕文系（早期末）、羽状縄文系・関山式、浮島・興津式、諸磯式、前期後葉、前期末～中期初頭、堀之内1式、加曾利B式、安行式で、このうち最も多いのが羽状縄文系・関山式で63%、次が条痕文系で20.1%、撚糸文系で1.7%の順となる。

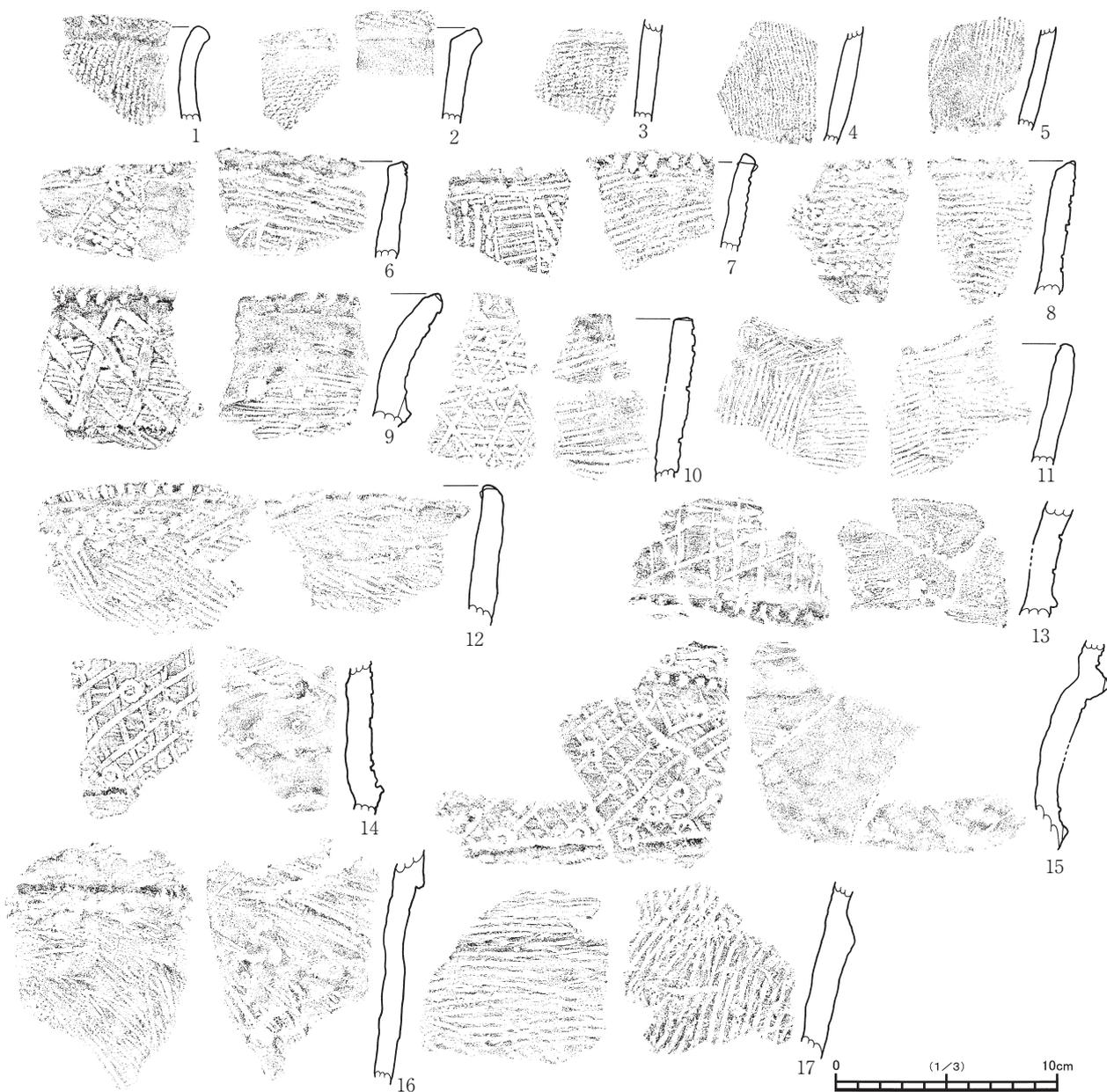
主な土器を第840図1～25・第841図26～49に示した。1～3は撚糸文系深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。4は無文深鉢形土器の胴部である。胎土中砂礫が器面調整時に移動したことによる擦痕がみられる。5・6は条痕文系深鉢形土器の口縁部破片である。このうち6には口唇部および口縁部にフネガイ科貝類腹縁圧痕がみられ、また焼成前穿孔が二箇所ある。早期末のものともみられる。7～25は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部、26～34は胴部、35は底部の破片である。円形貼付



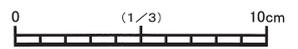
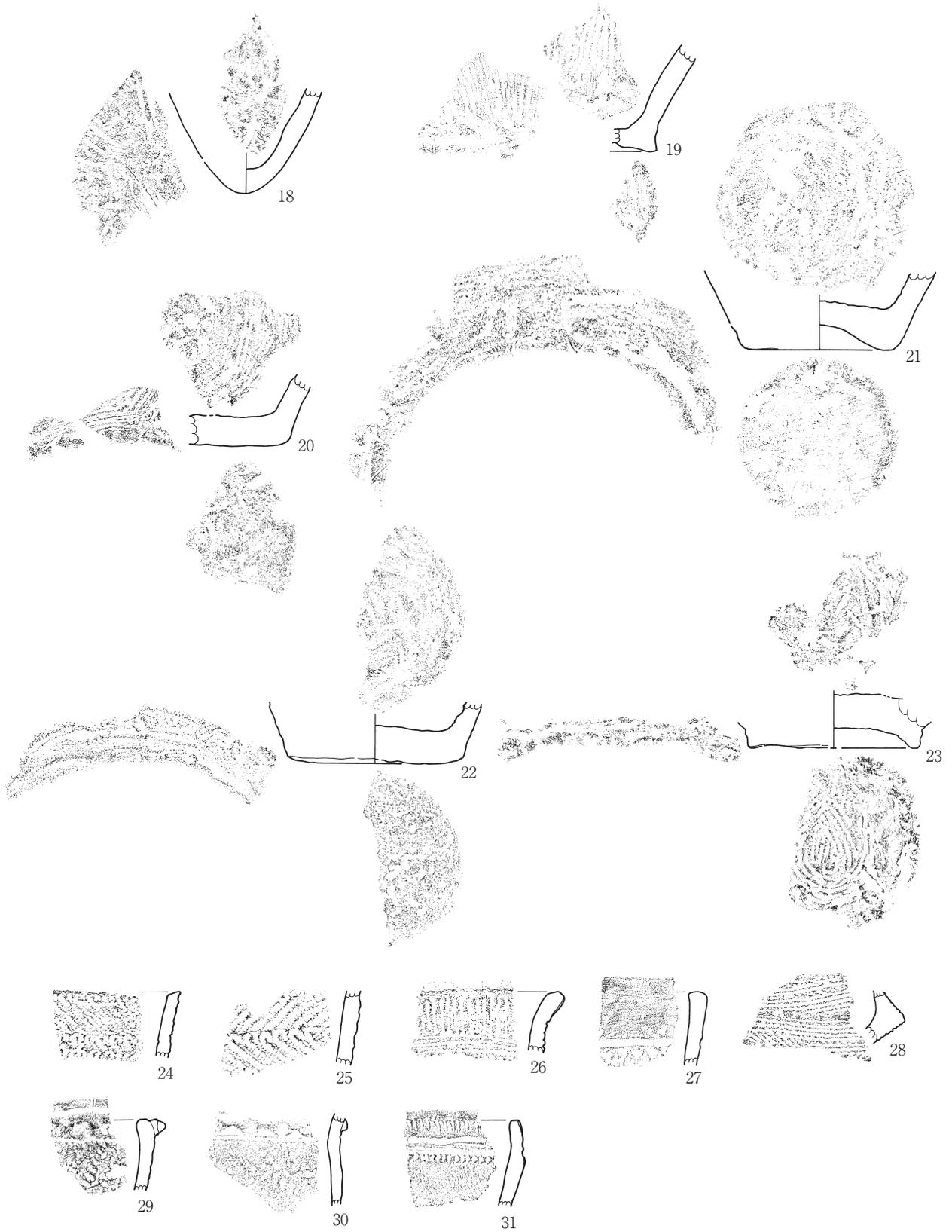
第831图 七28・H10区包含層出土遺物実測図(1)



第832图 七28・H10区包含層出土遺物実測図(2)



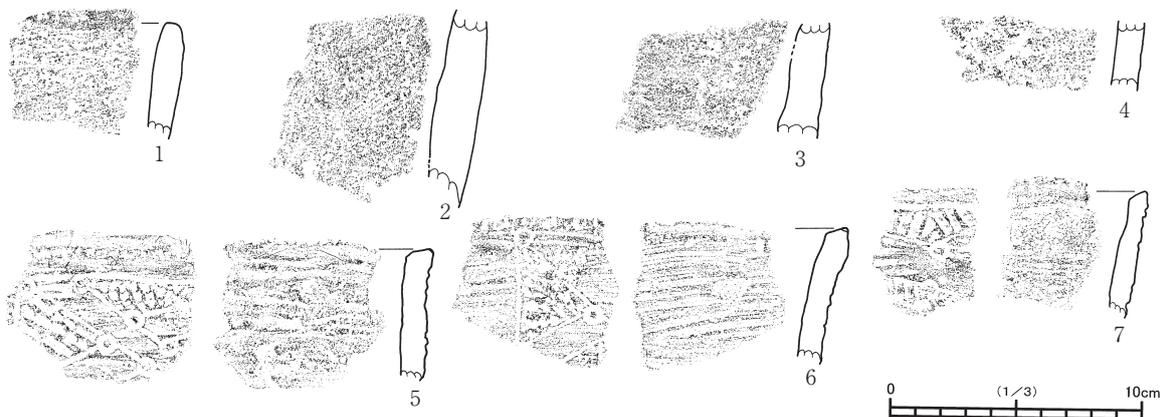
第833图 七28・H11区包含層出土遺物実測図(1)



第834图 七28・H11区包含層出土遺物実測図(2)



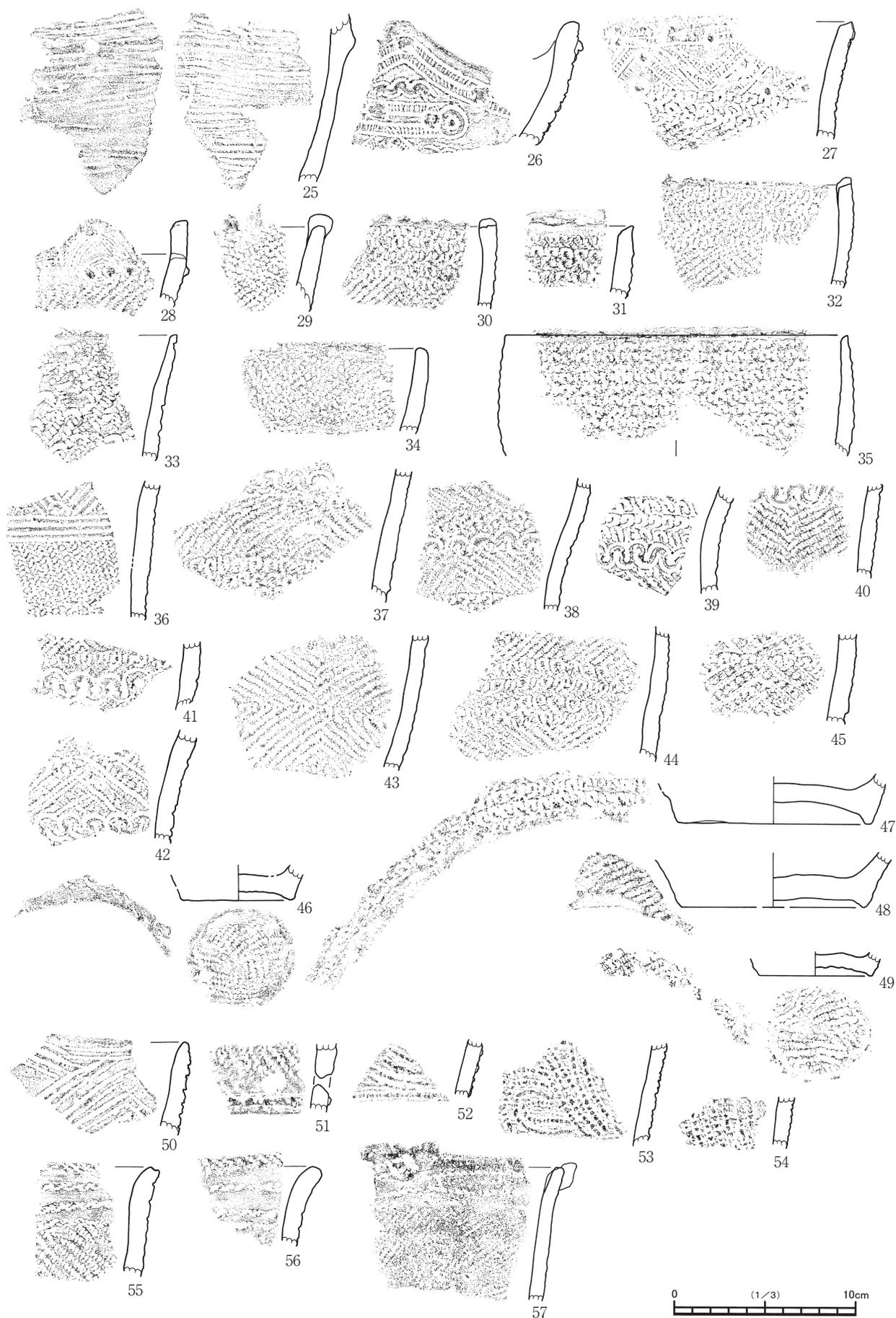
第835图 七28・H12区包含層出土遺物実測図



第836图 七28・H13区包含層出土遺物実測図(1)



第837图 七28·H13区包含層出土遺物実測図(2)



第838图 七28·H13区包含層出土遺物実測図(3)

文・コンパス文・ループ文・梯子状文・平行線文・付加条文などがみられる。36～38は浮島式、39～45は諸磯式、46は堀之内1式、47・48は加曾利B式、49は安行式とみられる。

礫類は479点・26,652g出土している。このうち、91.2%に被熱のあとがみられる。礫石器は8点出土している。

#### H15区

7,342gの土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、条痕文系、羽状縄文系・関山式、浮島・興津式、諸磯式、前期後葉、前期末～中期初頭、称名寺式、堀之内1式、加曾利B式、安行式で、このうち最も多いのが羽状縄文系・関山式で45.9%、次が条痕文系で22.8%、浮島・興津式で5.1%の順となる。

主な土器を第842図1～13・第843図14～35に示した。1・2は撚糸文系深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。3～14は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部および胴部・底部破片である。15～24は浮島式、25は諸磯式のものともみられる。33は横位の縄の側面圧痕をもつもので、前期末から中期初頭のものともみられる。34は堀之内1式深鉢形土器の口縁部破片、35は安行式の粗製深鉢形土器の口縁部破片である。

礫類は880点・49,378g出土している。このうち、98.8%に被熱のあとがみられる。礫石器は3点出土している。

#### H16区

2,041gの土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、撚糸文系（無文）、条痕文系、羽状縄文系・関山式、浮島・興津式で、このうち最も多いのが条痕文系で60.9%、次が羽状縄文系・関山式で21.5%、撚糸文系（無文）で5%の順となる。

主な土器を第844図1～6に示した。1は撚糸文系深鉢形土器の口縁部破片である。2は無文深鉢形土器の胴部である。胎土中砂礫が器面調整時に移動したことによる擦痕がみられる。3は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の胴部破片である。4～6は浮島式深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。

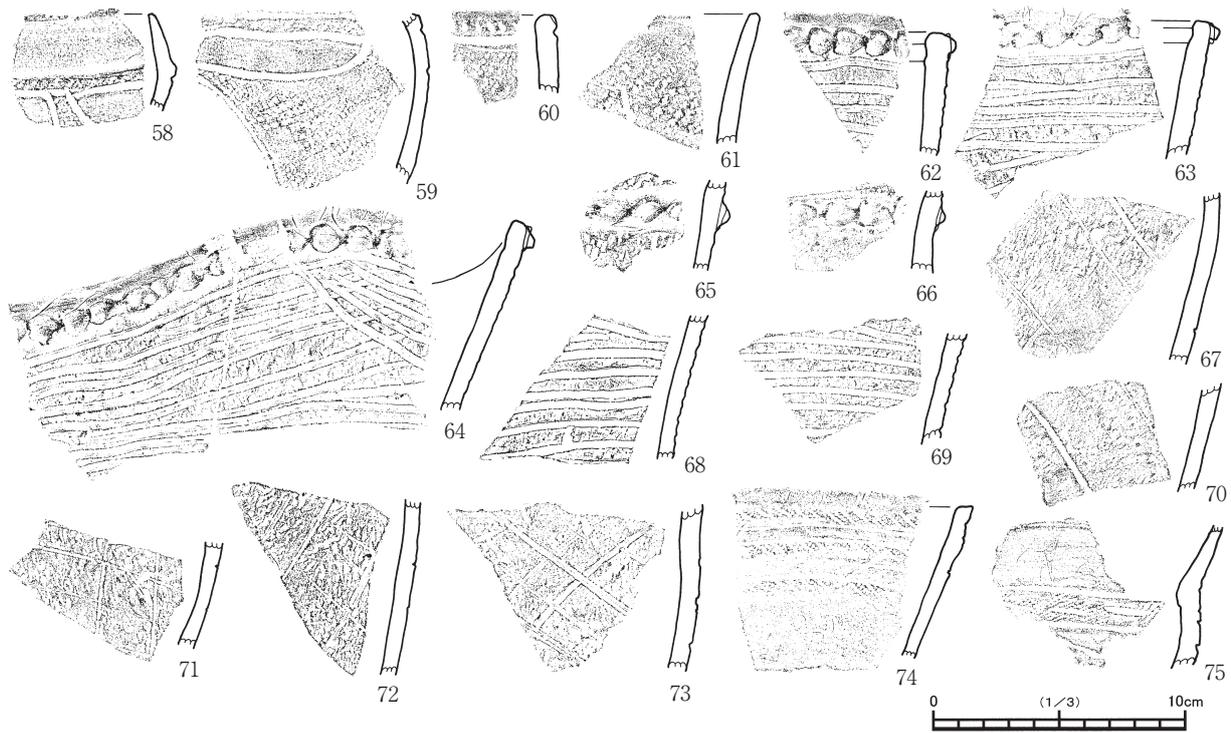
礫類は292点・12,818g出土している。このうち、91.9%に被熱のあとがみられる。礫石器は4点出土している。

#### H17区

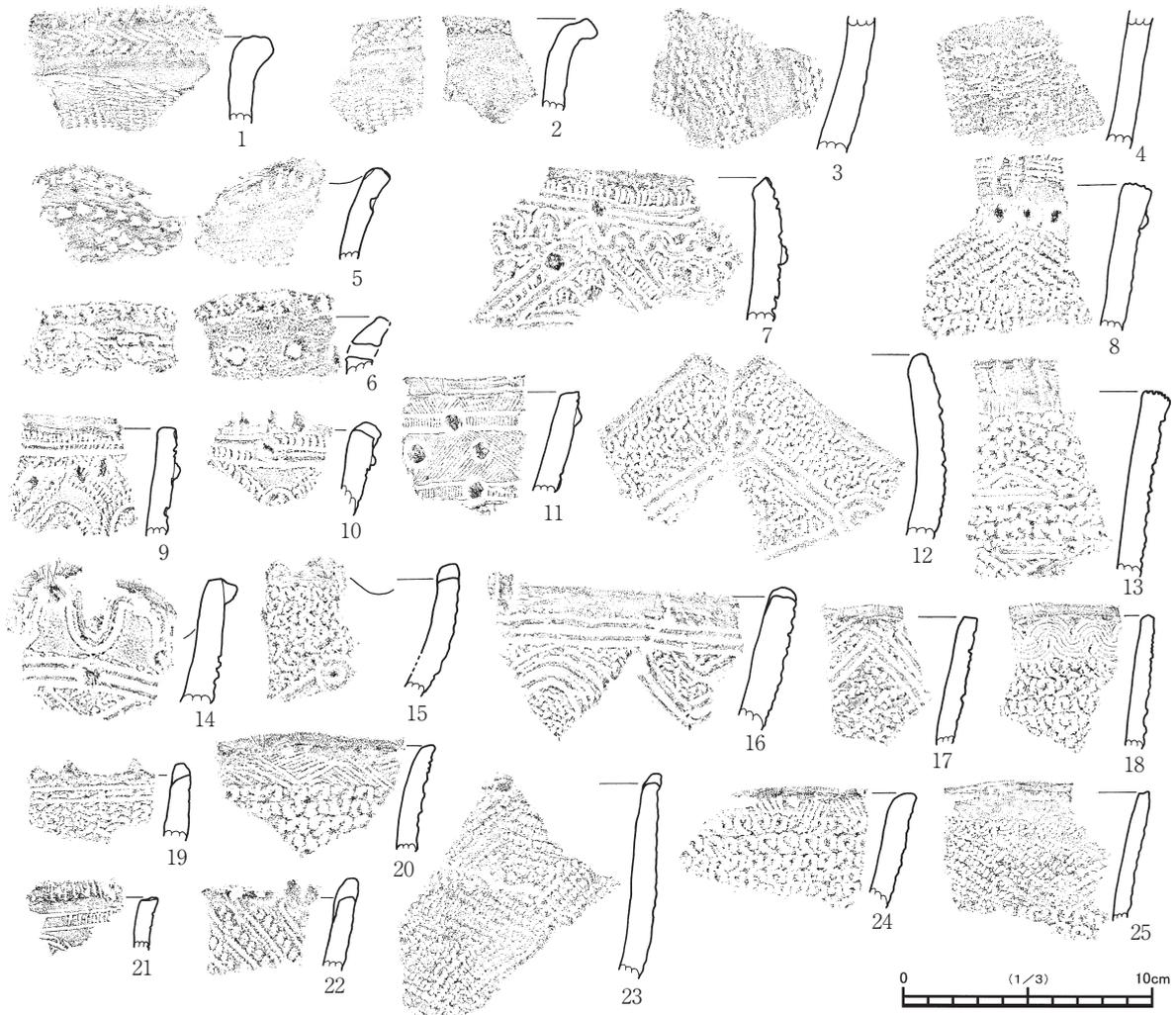
4,651gの土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、撚糸文系（無文）、条痕文系、条痕文（早期末）、羽状縄文系・関山式、浮島・興津式、諸磯式、前期後葉、加曾利B式、曾谷式で、このうち最も多いのが羽状縄文系・関山式で53.1%、次が条痕文系で21.3%、撚糸文系（無文）で4.8%の順となる。

主な土器を第844図7～23に示した。7・8は無文深鉢形土器の胴部である。胎土中砂礫が器面調整時に移動したことによる擦痕がみられる。9・10は条痕文系深鉢形土器の胴部破片で、隆帯上に絡条体圧痕が施される。早期末のものともみられる。11～14は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。15～17は諸磯式、18～20は櫛歯文や平行線文をもつもので前期後葉のものともみられる。21・22は紐線文をもつ加曾利B式粗製深鉢形土器の口縁部、23は曾谷式の底面が方形となる土器の底部である。

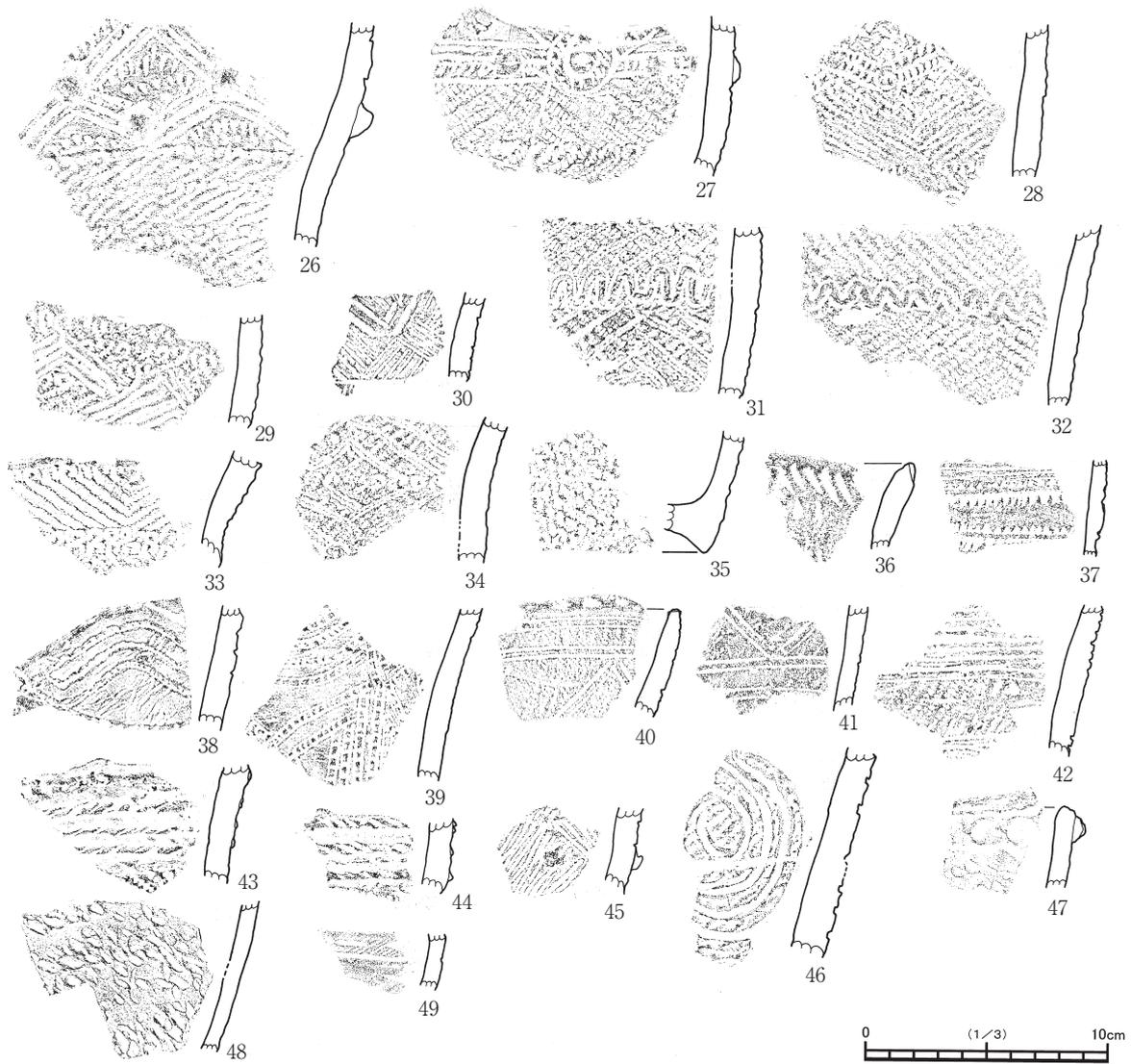
礫類は125点・8,300g出土している。このうち、すべてに被熱のあとがみられる。



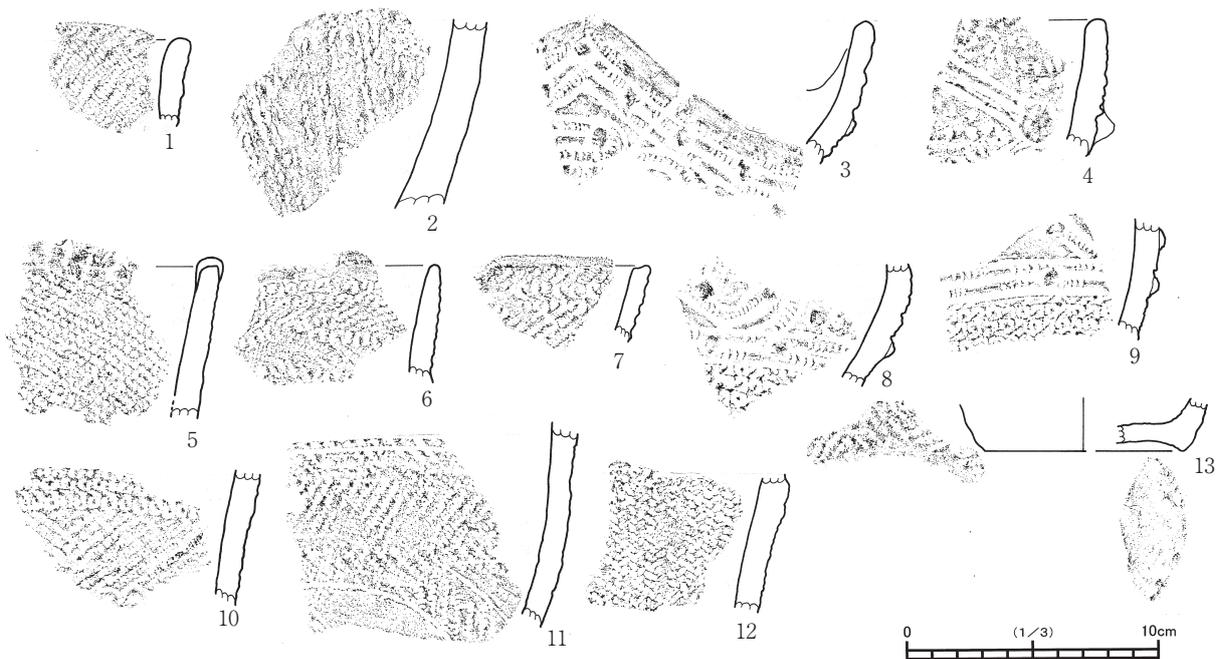
第839图 七28・H13区包含層出土遺物実測図(4)



第840图 七28・H14区包含層出土遺物実測図(1)



第841图 七28·H14区包含層出土遺物実測図(2)



第842图 七28·H15区包含層出土遺物実測図(1)

## H18区

579 gの土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、条痕文系、羽状縄文系・関山式、浮島・興津式、前期後葉で、このうち最も多いのが羽状縄文系・関山式で30.2%、次が条痕文系で17.3%、浮島・興津式で10.4%の順となる。

主な土器を第844図24～26に示した。24・25は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部、26は浮島式深鉢形土器の口縁部破片である。

礫類は69点・40,005 g出土している。このうち、ほぼすべてに被熱のあとがみられる。礫石器は1点出土している。

## H19区

土器の出土はなかった。礫類は227点・12,270 g出土している。このうち、すべてに被熱のあとがみられる。

## I 5区

12 gの土器が出土している。うちわけは、不明のもののみである。図示できる土器はなかった。

礫類は13点・487 g出土している。このうち、96.5%に被熱のあとがみられる。礫石器は1点出土している。

## I 6区

31,126 gの土器が出土している。うちわけは、撚糸文系・撚糸文系（無文）・条痕文系・早期（東海系）・称名寺式・加曾利B式・安行式（晩期）・前浦式で、このうち最も多いのが条痕文系で96.7%、次が安行式（晩期）で0.7%、撚糸文系で0.6%の順となる。

主な土器を第845図1～18・第846図19～23に示した。1は撚糸文系深鉢形土器の口縁部破片である。

2は無文深鉢形土器の尖底の底部破片である。胎土中砂礫が器面調整時に移動したことによる擦痕がみられる。3～18・20は条痕文系深鉢形土器の口縁部および胴部・底部破片である。20は絡条帯圧痕が施されており、早期末のものともみられる。19は斜位の刺突文が横位2段、内面にも1段施されるもので、早期（東海系）のものともみられる。粕畑式であろう。21は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部で片口部分の破片である。22は安行式の杵状文をもつ粗製深鉢形土器の口縁部破片、23は前浦式鉢形土器の口縁部破片である。

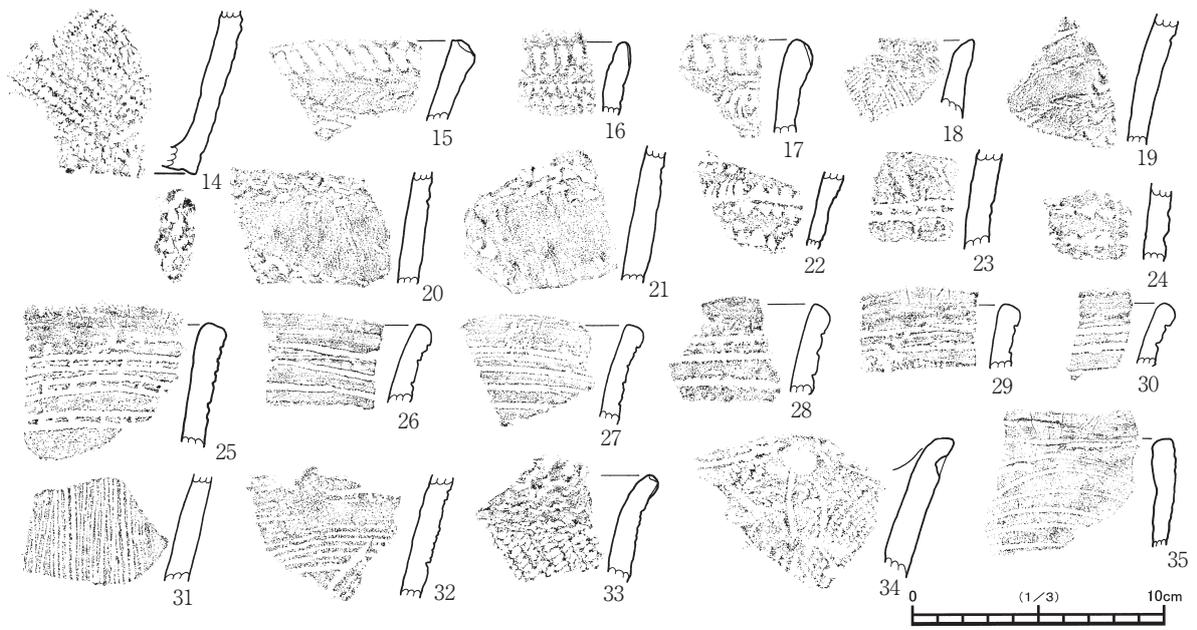
礫類は1,428点・106,432 g出土している。このうち、67.7%に被熱のあとがみられる。礫石器は23点出土している。

## I 7区

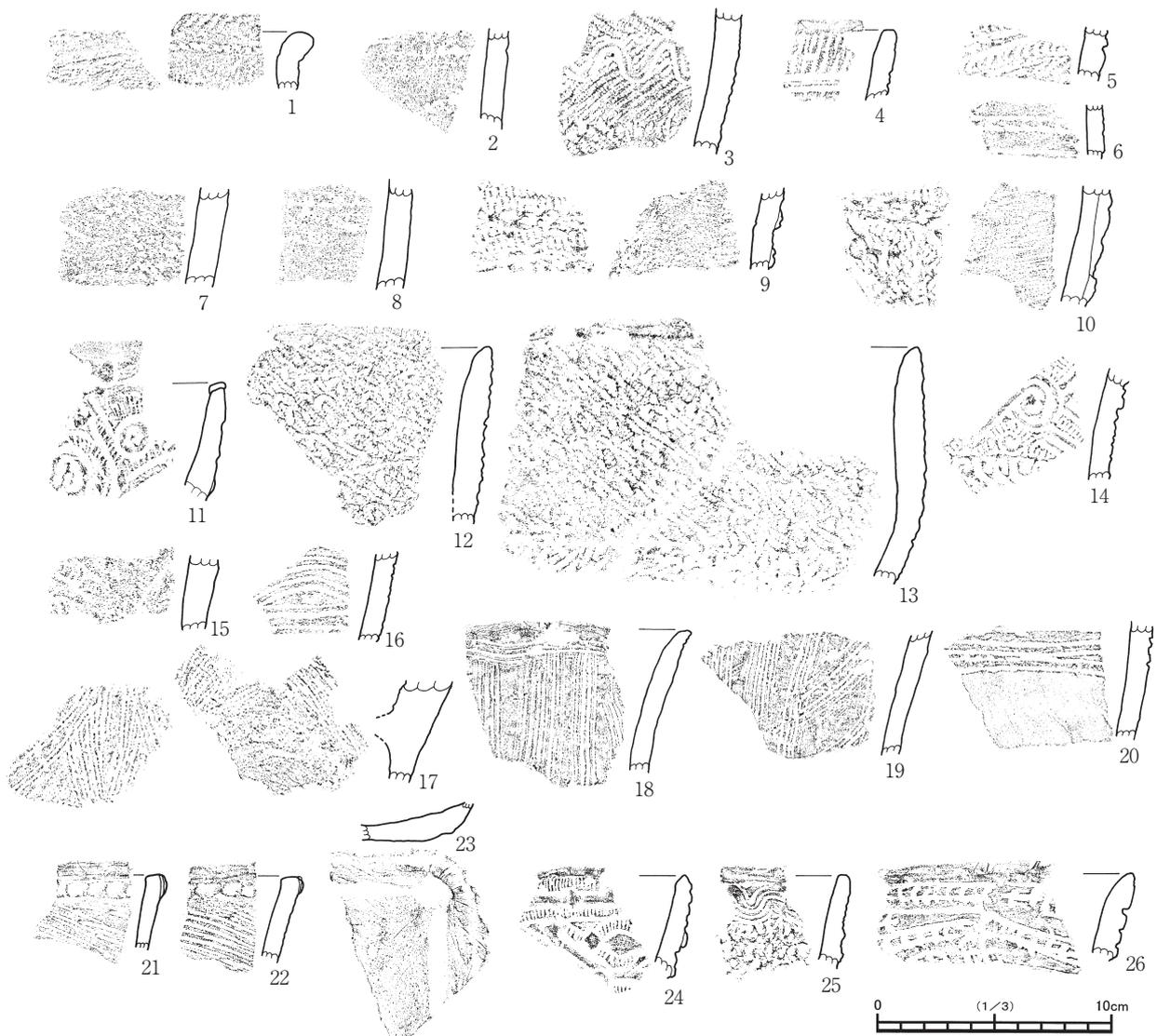
12,578 gの土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、条痕文系、条痕・縄文、羽状縄文系・関山式、浮島・興津式、諸磯式、加曾利E式、堀之内1式、加曾利B式、安行式、安行式（晩期）で、このうち最も多いのが条痕文系で91.7%、次が羽状縄文系・関山式で3.6%、撚糸文系で1.2%の順となる。

主な土器を第847図1～4に示した。1～3は条痕文系深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。2には焼成前の穿孔2箇所がみられ、3の外面には縄文が施される。4は加曾利E式深鉢形土器の胴部破片である。

礫類は3,778点・169,571 g出土している。このうち、84.7%に被熱のあとがみられる。礫石器は18



第843图 七28・H15区包含層出土遺物実測図(2)



第844图 七28・H16、H17、H18区包含層出土遺物実測図



第845图 七28·I 6区包含層出土遺物実測図(1)

点出土している。

### 18区

19,303 gの土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、条痕文系、条痕・縄文、条痕文系（早期末）、羽状縄文系・関山式、称名寺式、堀之内1式、加曾利B式、安行式、安行式（晚期）で、このうち最も多いのが条痕文系で86.9%、次が羽状縄文系・関山式で5%、撚糸文系で2.3%の順となる。

主な土器を第847図5～10に示した。5・6は撚糸文系深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。7・8は条痕文系深鉢形土器の口縁部破片である。9は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の胴部破片である。10は安行式の杵状文をもつ粗製深鉢形土器の口縁部破片である。

礫類は1,464点・100,366 g出土している。このうち、86.1%に被熱のあとがみられる。礫石器は26点出土している。

### 19区

29,477 gの土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、条痕文系、条痕・縄文、条痕文系（早期末）、羽状縄文系・関山式、諸磯式、前期後葉、前期末～中期中頭、称名寺式、堀之内1式、加曾利B式、曾谷式、安行式（晚期）で、このうち最も多いのが条痕文系で91.5%、次が羽状縄文系・関山式で2.5%、撚糸文系で1.8%の順となる。

主な土器を第848図1～9・第849図10～22に示した。1～3は撚糸文系深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。4～13は条痕文系深鉢形土器の口縁部および底部の破片である。このうち13はフネガイ科貝類の腹縁圧痕文が口縁部および口唇部に施されるもので、早期末のものともみられる。14・15は諸磯式、18～21は曾谷式、22は安行式の杵状文をもつ粗製深鉢形土器の口縁部破片である。

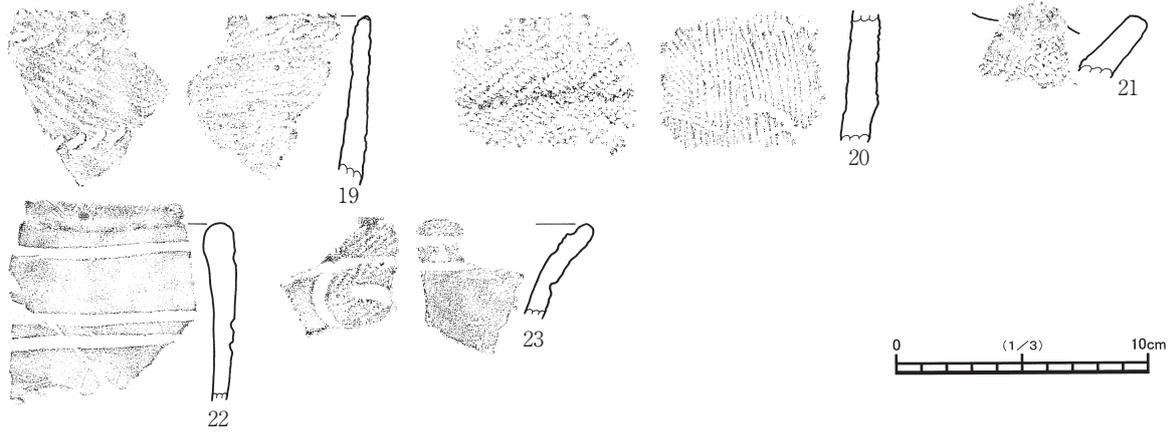
礫類は2,614点・138,670 g出土している。このうち、92.9%に被熱のあとがみられる。礫石器は22点出土している。

### 110区

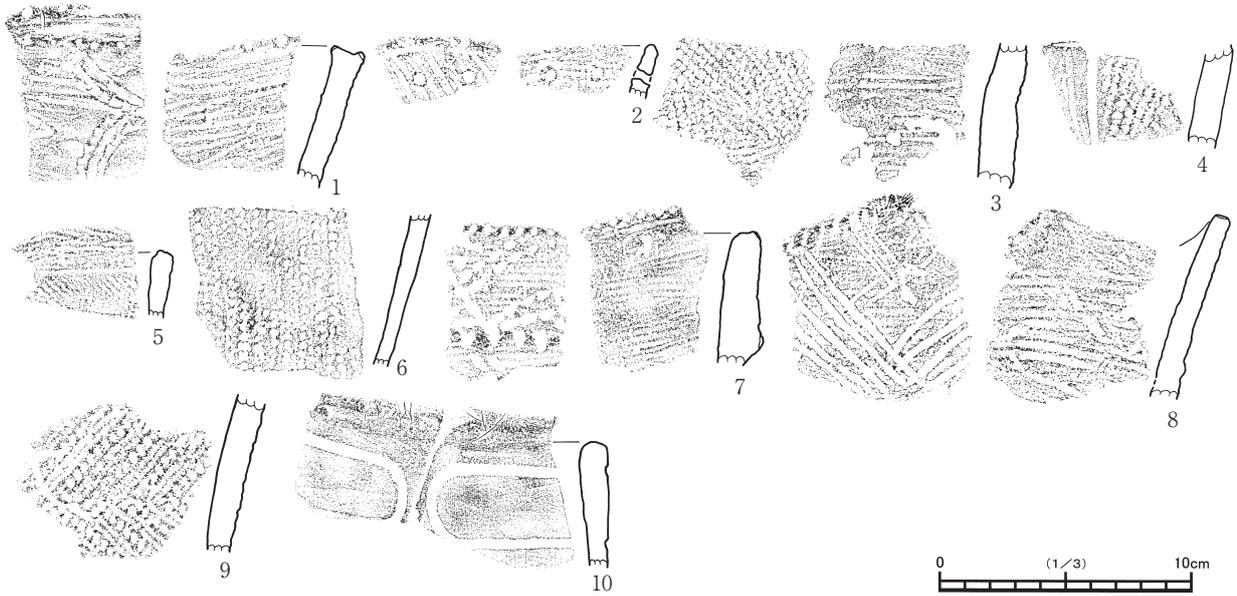
85,779 gの土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、条痕文系、条痕・縄文、条痕文系（早期末）、早期（東海系）、羽状縄文系・花積下層式、羽状縄文系・関山式、浮島・興津式、諸磯式、前期後葉、称名寺式、堀之内1式、堀之内2式、加曾利B式、曾谷式で、このうち最も多いのが条痕文系で94.6%、次が撚糸文系で1.1%、羽状縄文系・関山式で1.1%の順となる。

主な土器を第850図1～21・第851図22～36・第852図37～65に示した。1～7は撚糸文系深鉢形土器の口縁部、8～12は胴部の破片である。13～21・39は条痕文系深鉢形土器の口縁部、22～32は胴部、33～38は底部の破片である。このうち39は、横位・縦位の隆帯上および口唇部に綾杉状の沈線文が施されるもので、口縁部は緩い波状をなす。早期末のものともみられる。40・41は斜位の楕円刺突文を並べるもので、40は波頂部をもつ口縁部破片で内面にも同様の文様をもつ。早期（東海系）のものともみられる。粕畑式であろう。42・43は、ハイガイ殻表圧痕による擬縄文をもつもので、羽状縄文系・花積下層式とみられる。43は上げ底の底部破片で、底面にも同様の施文がある。44は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の胴部破片である。45～50は浮島式、51～54は諸磯式、56・57は称名寺式、58～63は加曾利B式、64は曾谷式とみられる。

礫類は2,488点・137,531 g出土している。このうち、90.4%に被熱のあとがみられる。礫石器は41点出土している。



第846図 セ28・16区包含層出土遺物実測図(2)



第847図 セ28・17、18区包含層出土遺物実測図



第848図 セ28・19区包含層出土遺物実測図(1)

## I 11区

48,507 gの土器が出土している。うちわけは、捺糸文系、捺糸文系（無文）、条痕文系、羽状縄文系・関山式、浮島・興津式、諸磯式、加曾利E式、称名寺式、加曾利B式、曾谷式、安行式で、このうち最も多いのが条痕文系で92.7%、次が捺糸文系で1%、羽状縄文系・関山式で0.9%の順となる。

主な土器を第853図1～21・第854図22～40に示した。1～5は捺糸文系深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。6～15は条痕文系深鉢形土器の口縁部、16～18は胴部、19・20は底部の破片である。21は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の胴部破片である。22～25は浮島式深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。26～35は諸磯式、36・37は加曾利E式、38は紐線文をもつ加曾利B式粗製深鉢形土器の口縁部破片、39・40は曾谷式とみられる。

礫類は767点・54,763 g出土している。このうち、88.2%に被熱のあとがみられる。礫石器は18点出土している。

## I 12区

70,239 gの土器が出土している。うちわけは、捺糸文系、捺糸文系（無文）、条痕文系、羽状縄文系・関山式、浮島・興津式、諸磯式、前期後葉、加曾利E式、称名寺式、加曾利B式、曾谷式、安行式で、このうち最も多いのが条痕文系で91.9%、次が羽状縄文系・関山式で2.4%、捺糸文系で0.8%の順となる。

主な土器を第855図1～14・第856図15～45に示した。1～3は捺糸文系深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。4・5は無文深鉢形土器の口縁部の破片である。胎土中砂礫が器面調整時に移動したことによる擦痕がみられる。6～16は条痕文系深鉢形土器の口縁部および胴部の破片である。17～22は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。23～30は浮島式、31～35は興津式、36～40は諸磯式とみられる。43・44は紐線文をもつ加曾利B式粗製深鉢形土器の口縁部破片である。45は曾谷式とみられる。

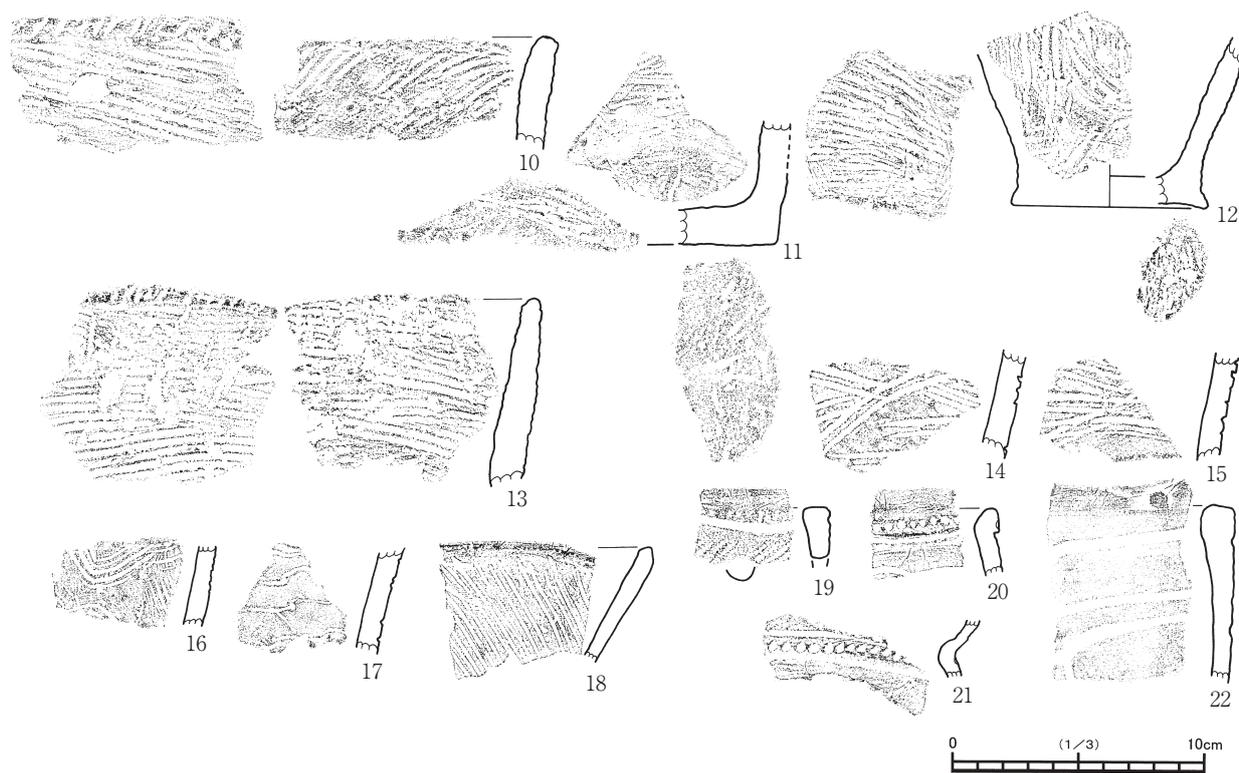
礫類は2,145点・136,470 g出土している。このうち、93.4%に被熱のあとがみられる。礫石器は32点出土している。

## I 13区

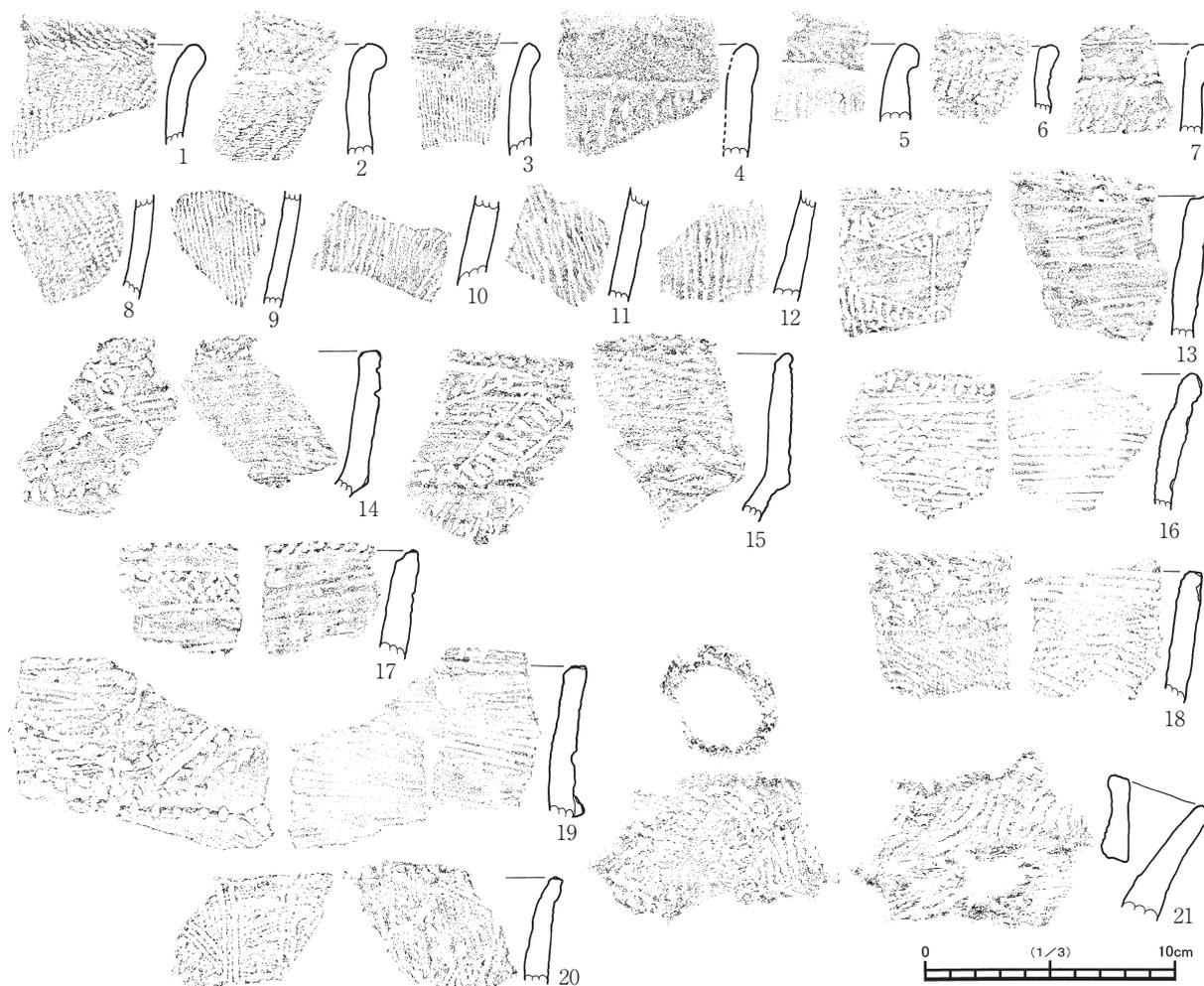
70,239 gの土器が出土している。うちわけは、捺糸文系、捺糸文系（無文）、条痕文系、条痕・縄文、条痕文系（早期末）、羽状縄文系・関山式、浮島・興津式、諸磯式、中期初頭、称名寺式、加曾利B式、曾谷式、安行式、安行式（晩期）で、このうち最も多いのが条痕文系で84.7%、次が羽状縄文系・関山式で9.3%、捺糸文系で1.7%の順となる。

主な土器を第857図1～13・第858図14～33・第859図34～69に示した。1～9は捺糸文系深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。10～15は無文深鉢形土器の口縁部および胴部の破片である。胎土中砂礫が器面調整時に移動したことによる擦痕がみられる。16～29は条痕文系深鉢形土器の口縁部、30～36は胴部の破片である。このうち20は、推定口径102mm・現存器高65mmを測る小型平縁の土器である。連続刺突による菱形区画文をもち、口唇部前面および屈曲部に刺突文を付す。37～49は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部、50～60は胴部の破片である。円形貼付文・ループ文・コンパス文・梯子状文などがみられる。61・62は浮島式、65・66は加曾利B式、67～69は安行式のものともみられる。

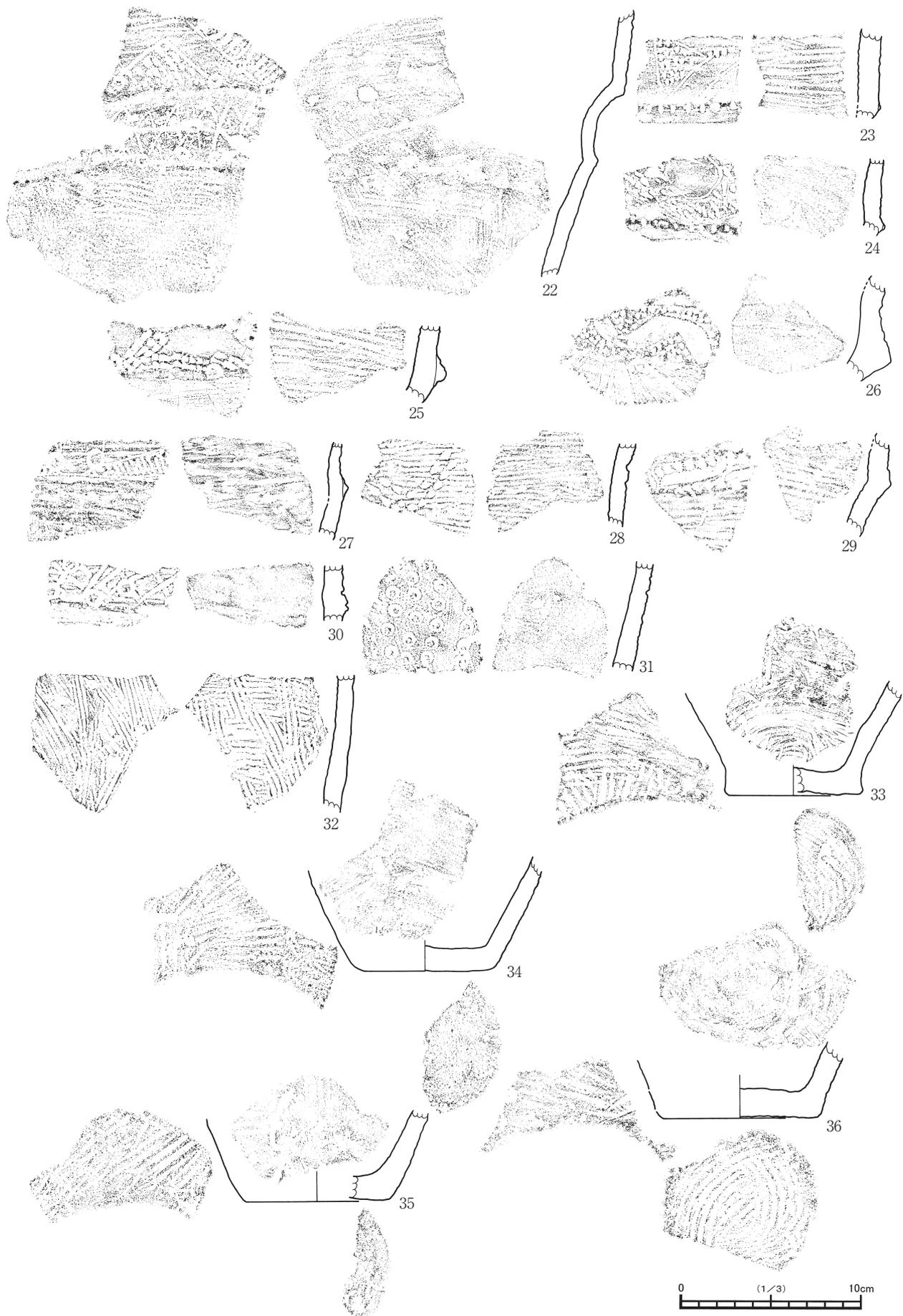
礫類は651点・51,419 g出土している。このうち、92.7%に被熱のあとがみられる。礫石器は10点



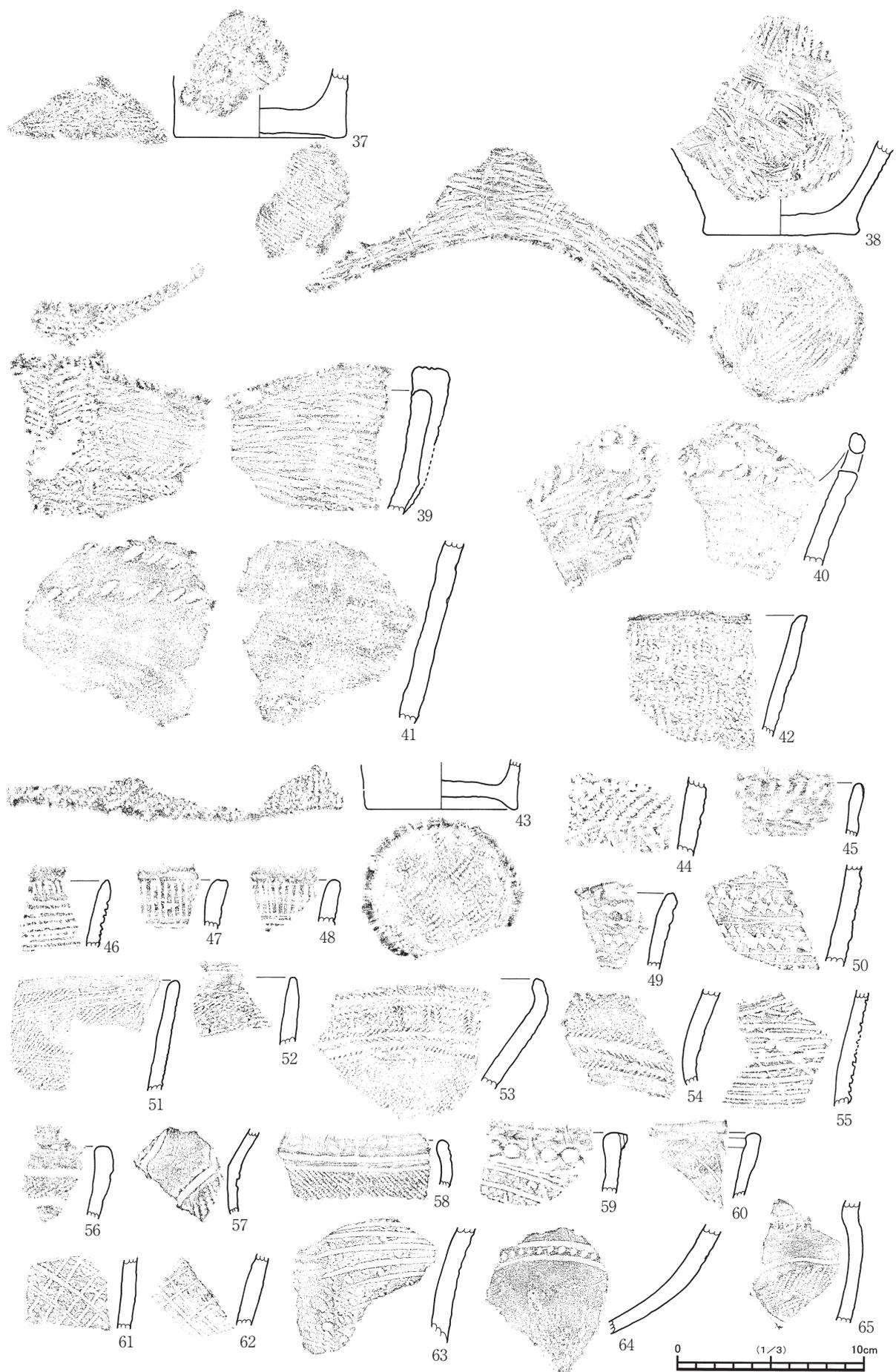
第849图 七28·I 9区包含層出土遺物実測図(2)



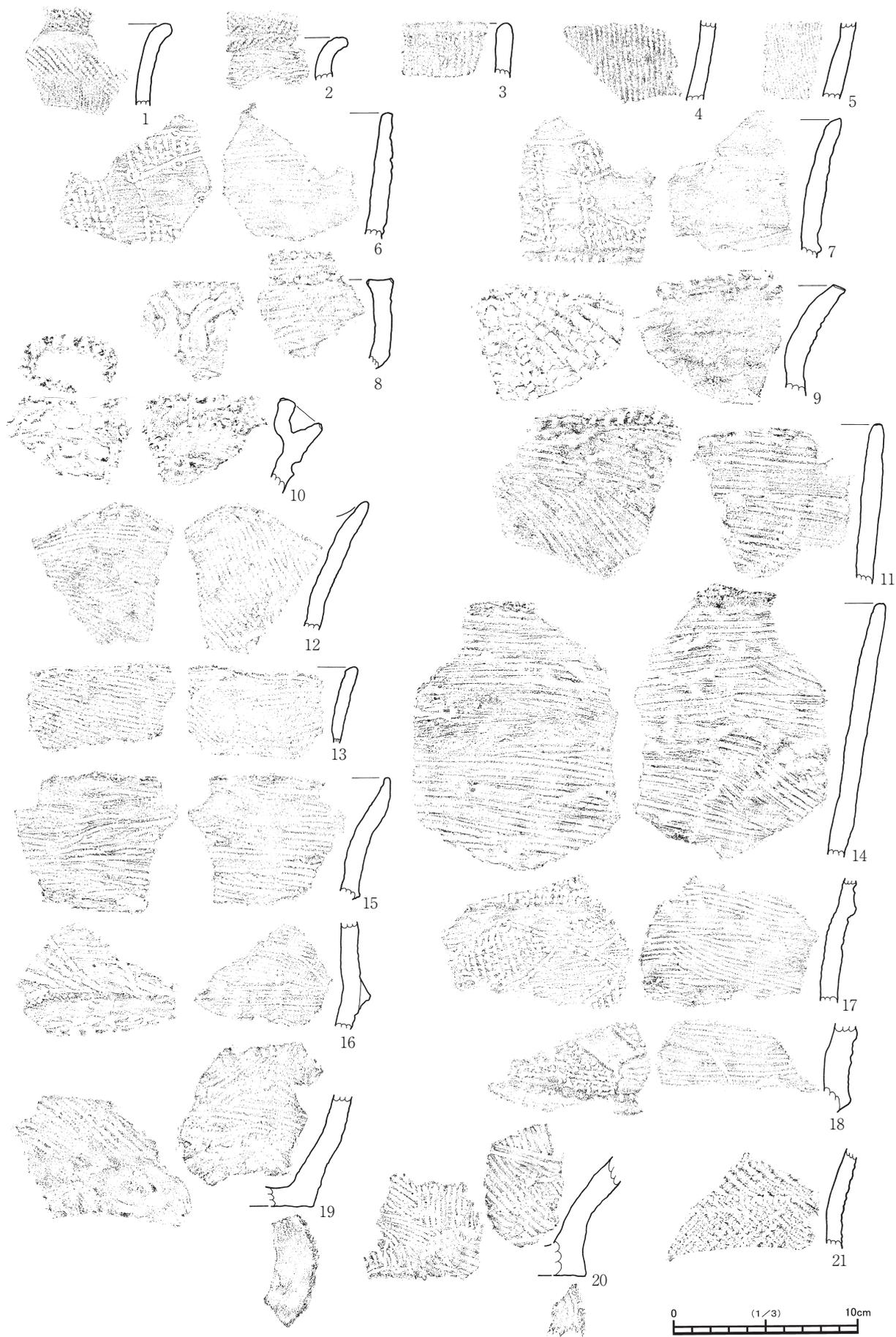
第850图 七28·I 10区包含層出土遺物実測図(1)



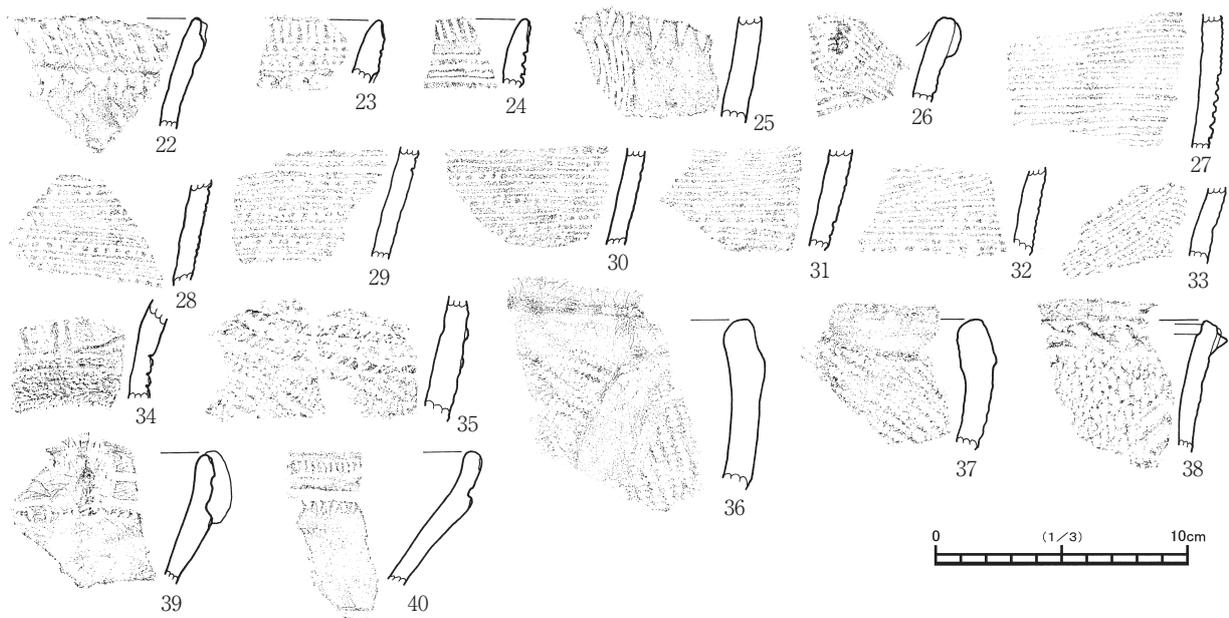
第851图 七28・I 10区包含層出土遺物実測図(2)



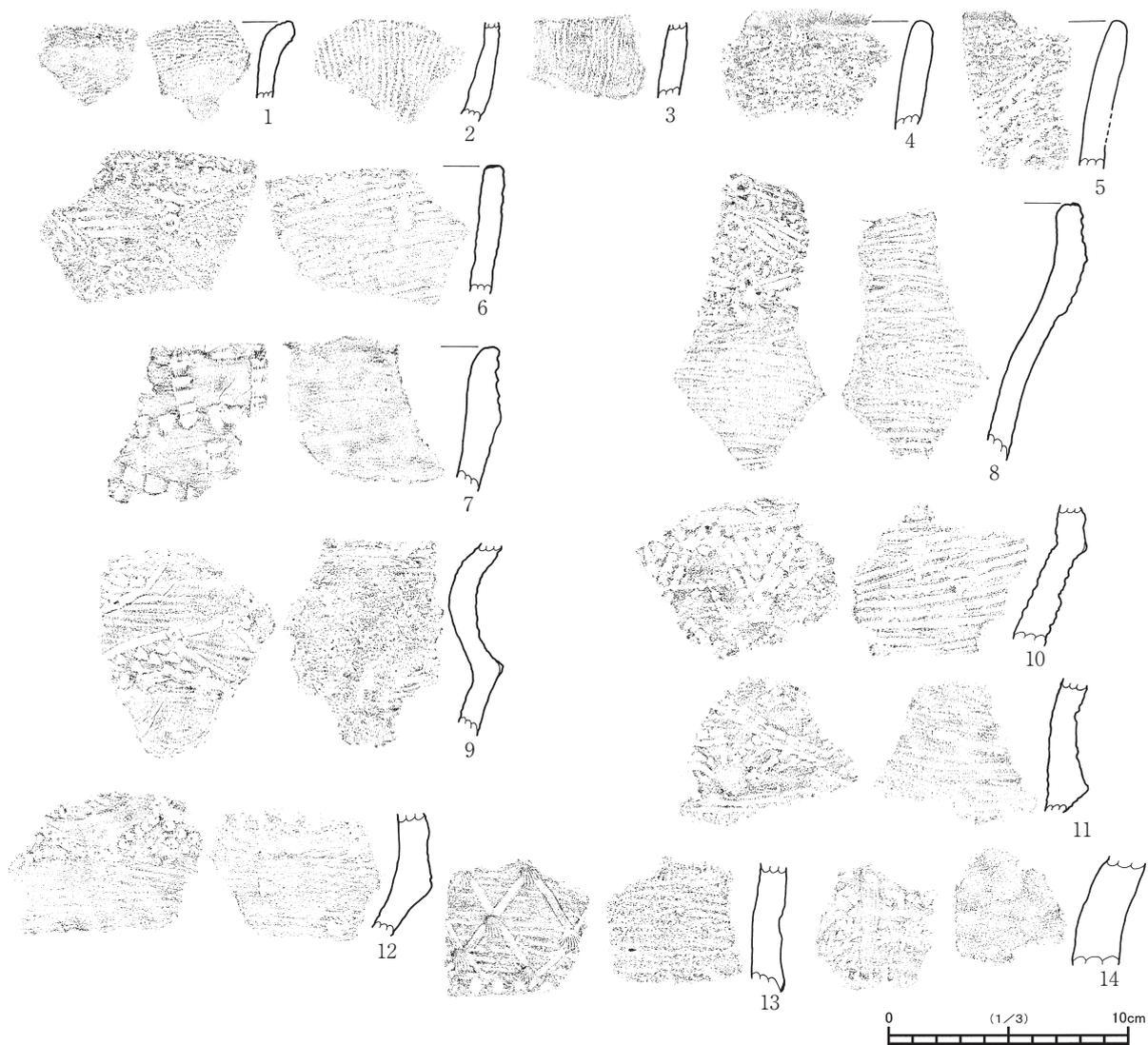
第852图 七28・I 10区包含層出土遺物実測図(3)



第853图 七28・I 11区包含層出土遺物実測図(1)



第854图 七28・I 11区包含層出土遺物実測図(2)



第855图 七28・I 12区包含層出土遺物実測図(1)

出土している。

#### I 14区

33,740 gの土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、撚糸文系（無文）、条痕文系、条痕・縄文、早期（東海系）、羽状縄文系・関山式、羽状縄文系・黒浜式、浮島・興津式、諸磯式、前期後葉、堀之内2式、加曾利B式で、このうち最も多いのが条痕文系で50.4%、次が羽状縄文系・関山式で27%、撚糸文系で3.6%の順となる。

主な土器を第860図1～39・第861図40～59に示した。1～5は撚糸文系深鉢形土器の口縁部、6～9は胴部、10は底部の破片である。11～14は無文深鉢形土器の口縁部および胴部破片で、胎土中砂礫が器面調整時に移動したことによる擦痕がみられる。15・16は条痕文系深鉢形土器の口縁部、18・19は胴部、20は底部の破片である。17は浅いキザミが口唇部と口縁部に連続して横位に施されるもので、胎土中に小礫を顕著に含む特徴をもつ。早期（東海系）のものともみられる。粕畑式であろう。21～38は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部、39～41は胴部、42は底部の破片である。43は羽状縄文系・黒浜式深鉢形土器の口縁部である。44～51は浮島式、52・53は諸磯式、56～59は加曾利B式粗製深鉢形土器の口縁部および胴部の破片である。

礫類は1,110点・61,598 g出土している。このうち、95.2%に被熱のあとがみられる。礫石器は11点出土している。

#### I 15区

9,789 gの土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、撚糸文系（無文）、沈線文系、条痕文系、羽状縄文系・関山式、浮島・興津式、諸磯式、前期後葉、十三菩提式、前期末～中期初頭で、このうち最も多いのが羽状縄文系・関山式で50.8%、次が条痕文系で8.9%、浮島・興津式で7.5%の順となる。

主な土器を第862図1～31・第863図32～52に示した。1・2は撚糸文系深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。3は無文深鉢形土器の底部破片で、胎土中砂礫が器面調整時に移動したことによる擦痕がみられる。4～11は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。12～29は浮島式深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。30・31は興津式、32～44は諸磯式、45は十三菩提式とみられる。

礫類は854点・32,689 g出土している。このうち、94.8%に被熱のあとがみられる。礫石器は5点出土している。

#### J 6区

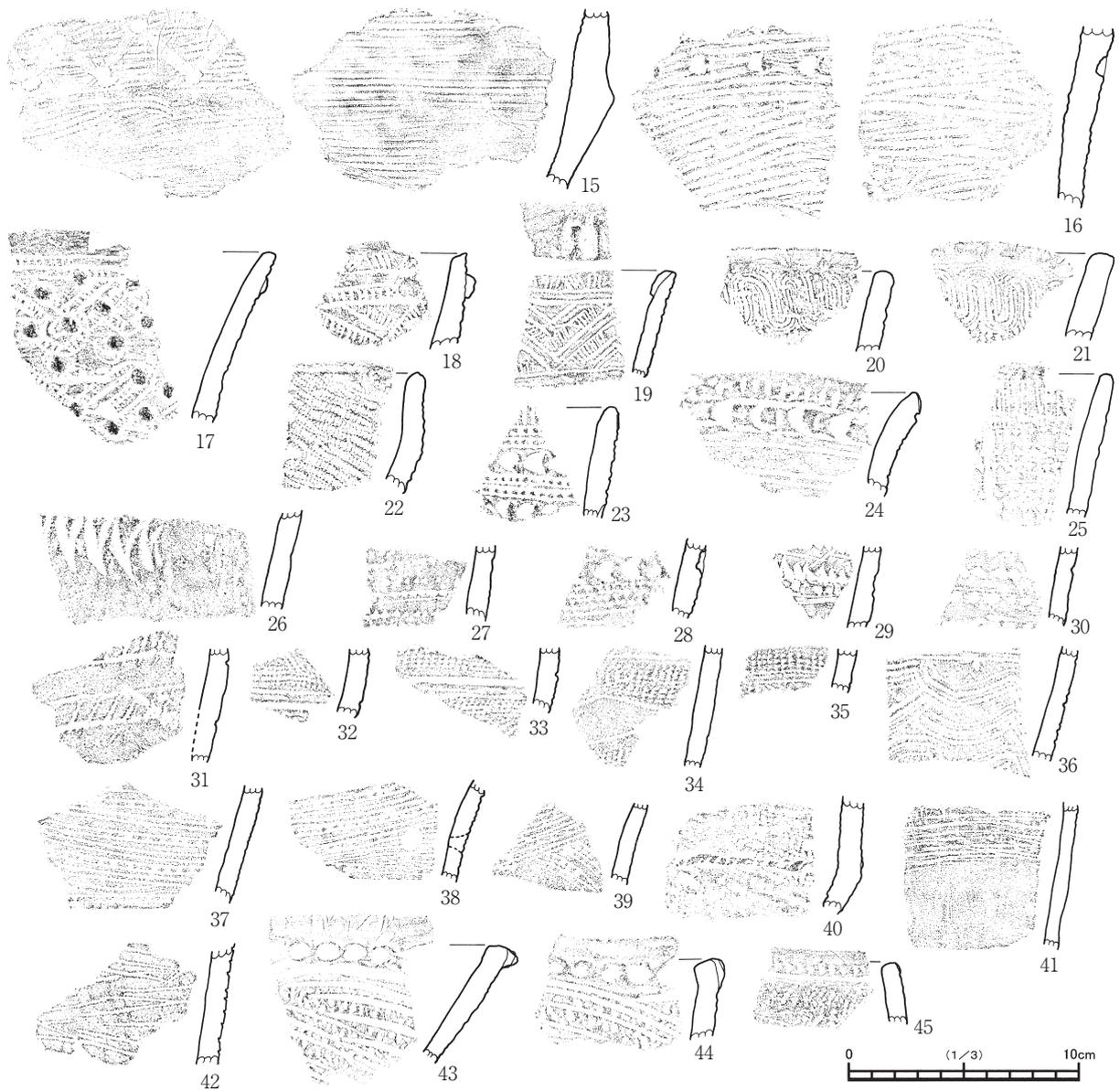
2,072 gの土器が出土している。うちわけは、条痕文系、条痕・縄文で、それぞれ92.7%、2.8%となる。図示できる土器はなかった。

礫類は442点・22,833 g出土している。このうち、64.3%に被熱のあとがみられる。礫石器は5点出土している。

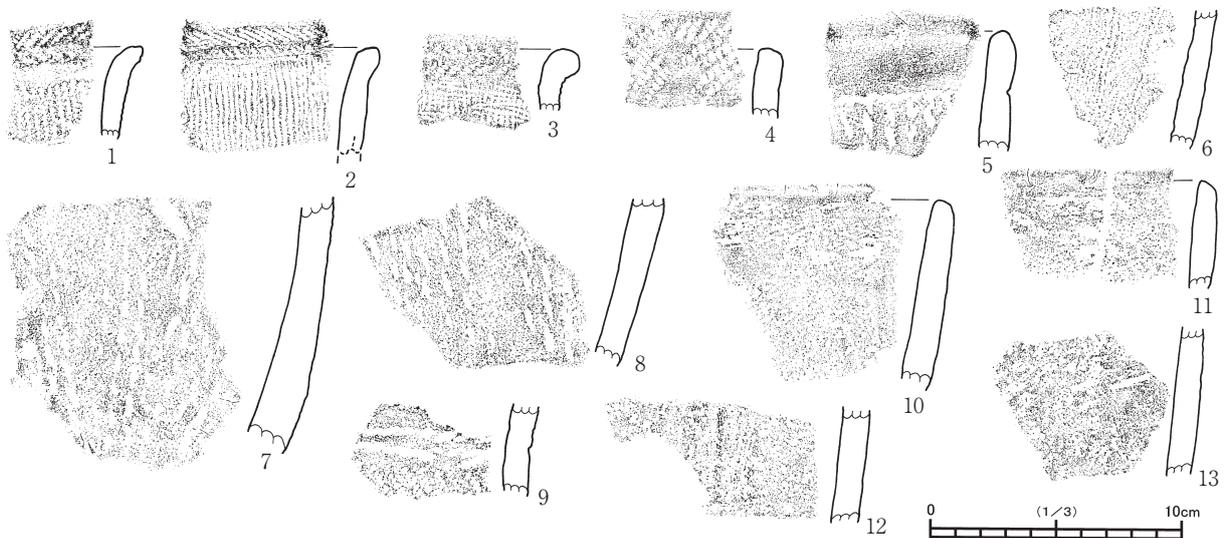
#### J 7区

1,851 gの土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、条痕文系、羽状縄文系・関山式、浮島・興津式、諸磯式、称名寺式で、このうち最も多いのが条痕文系で83.3%、次が羽状縄文系・関山式で10.4%、称名寺式で1.6%の順となる。

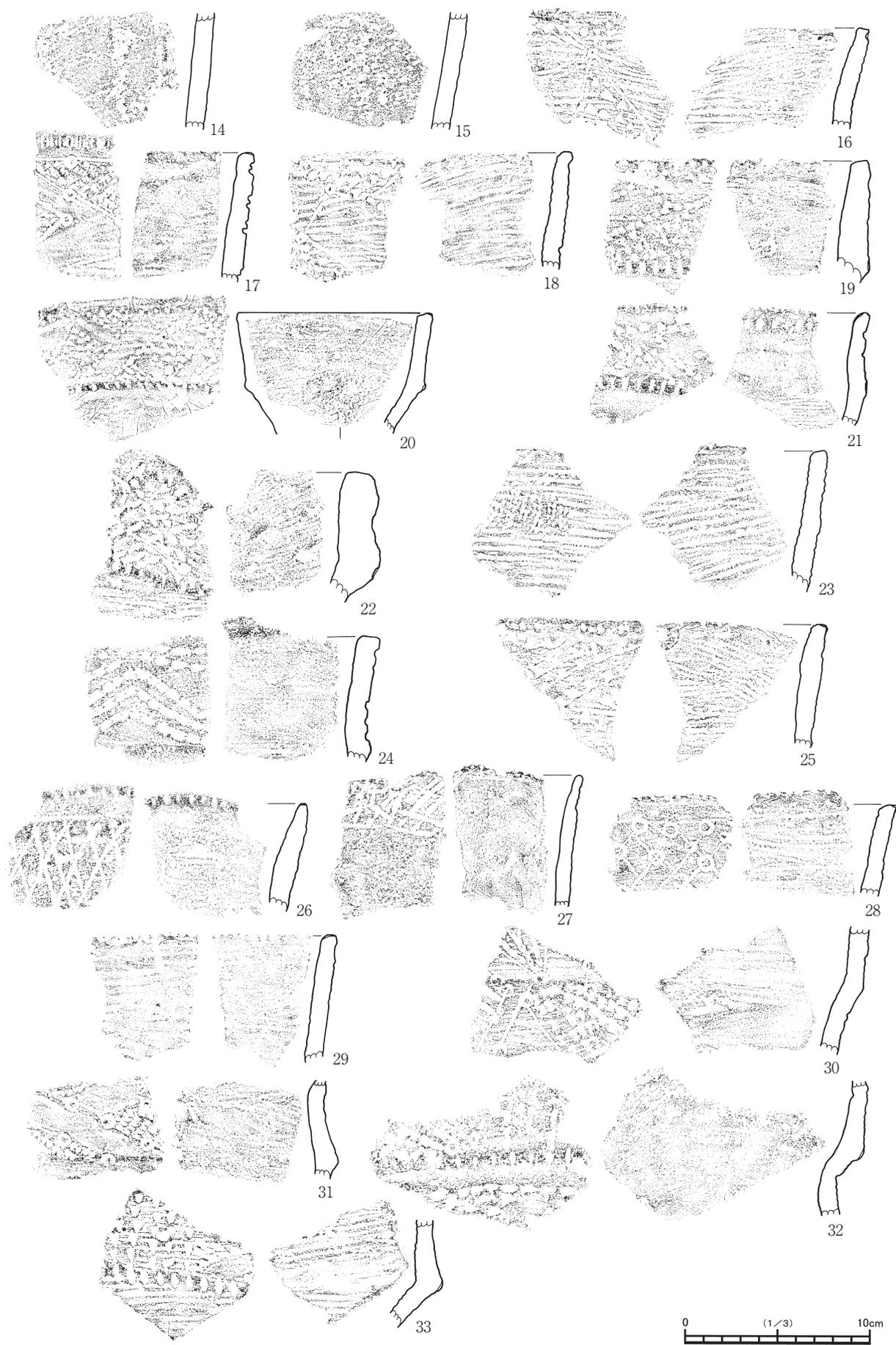
主な土器を第864図1に示した。称名寺式深鉢形土器の胴部破片である。



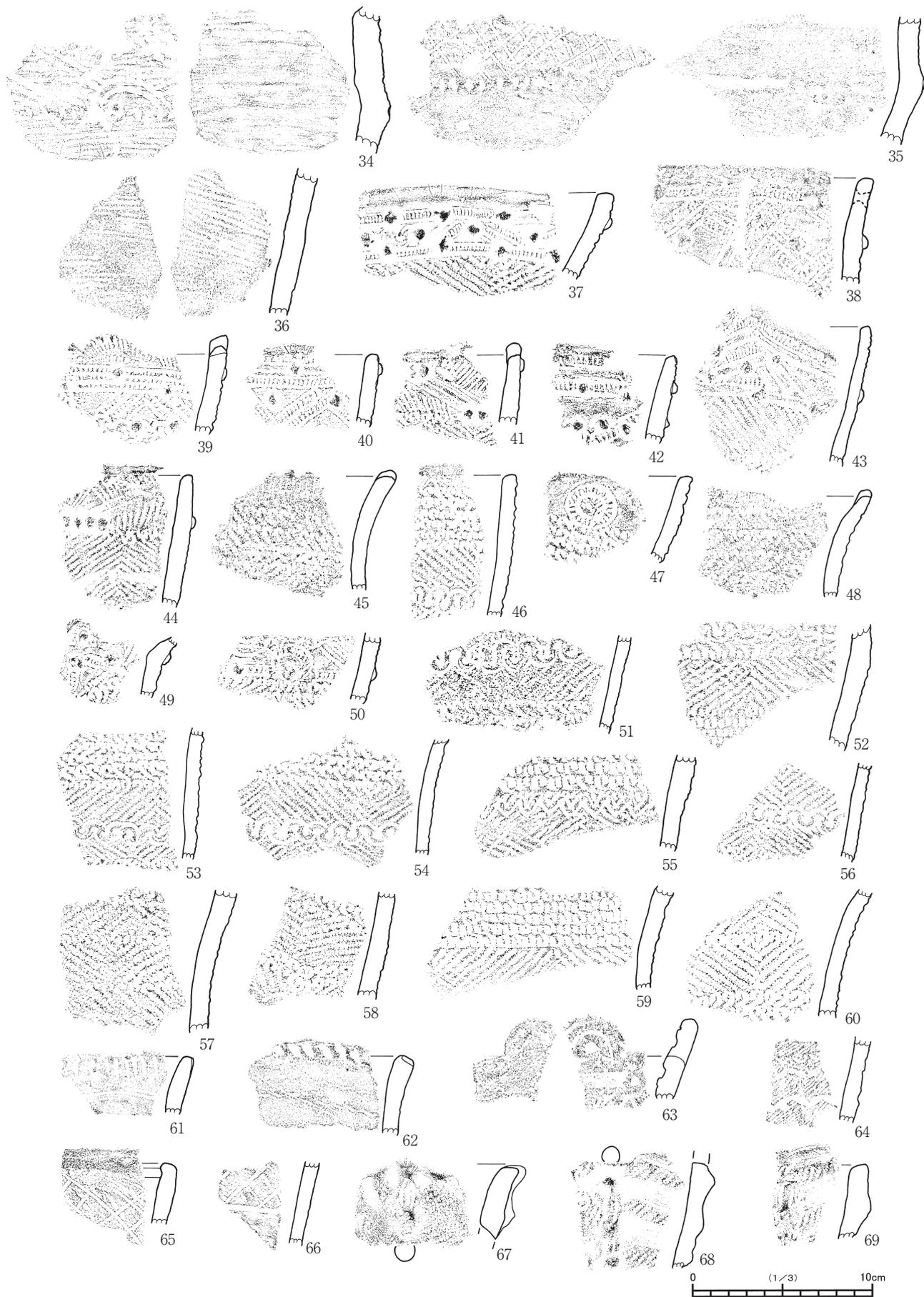
第856图 七28・I 12区包含層出土遺物実測図(2)



第857图 七28・I 13区包含層出土遺物実測図(1)



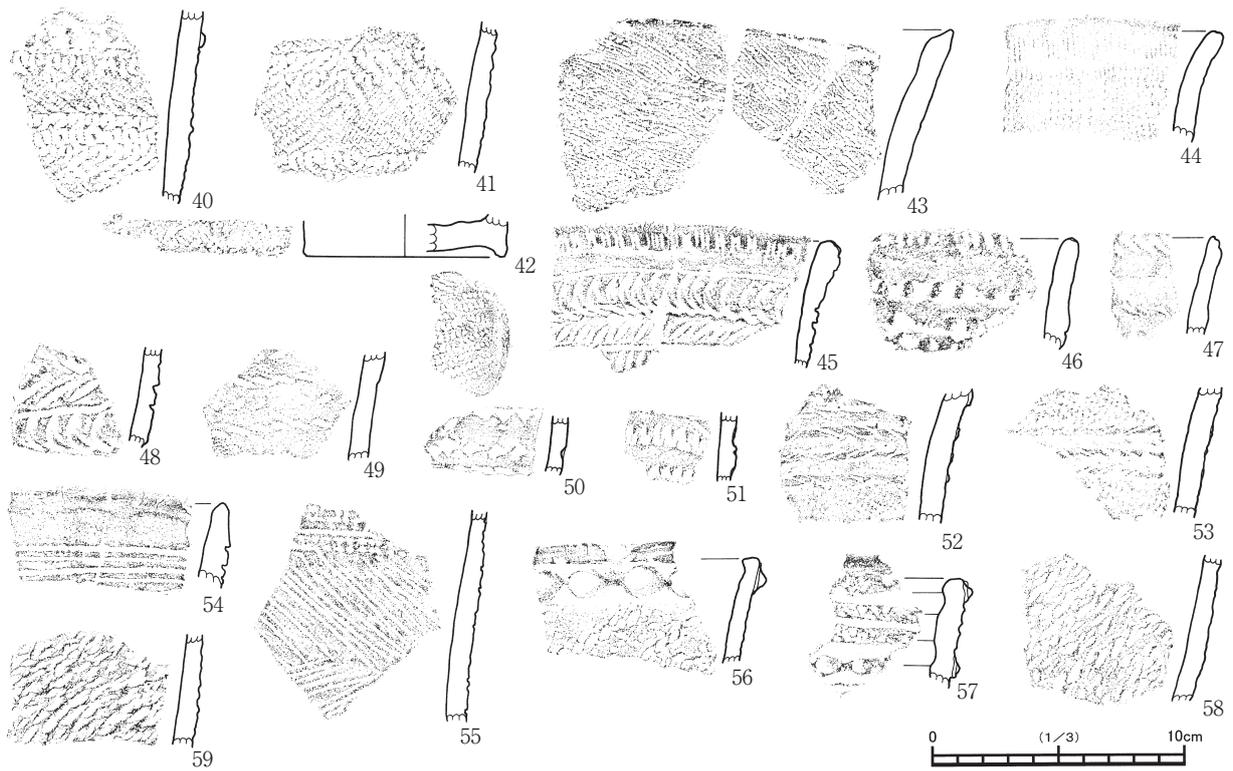
第858図 セ28・I 13区包含層出土遺物実測図(2)



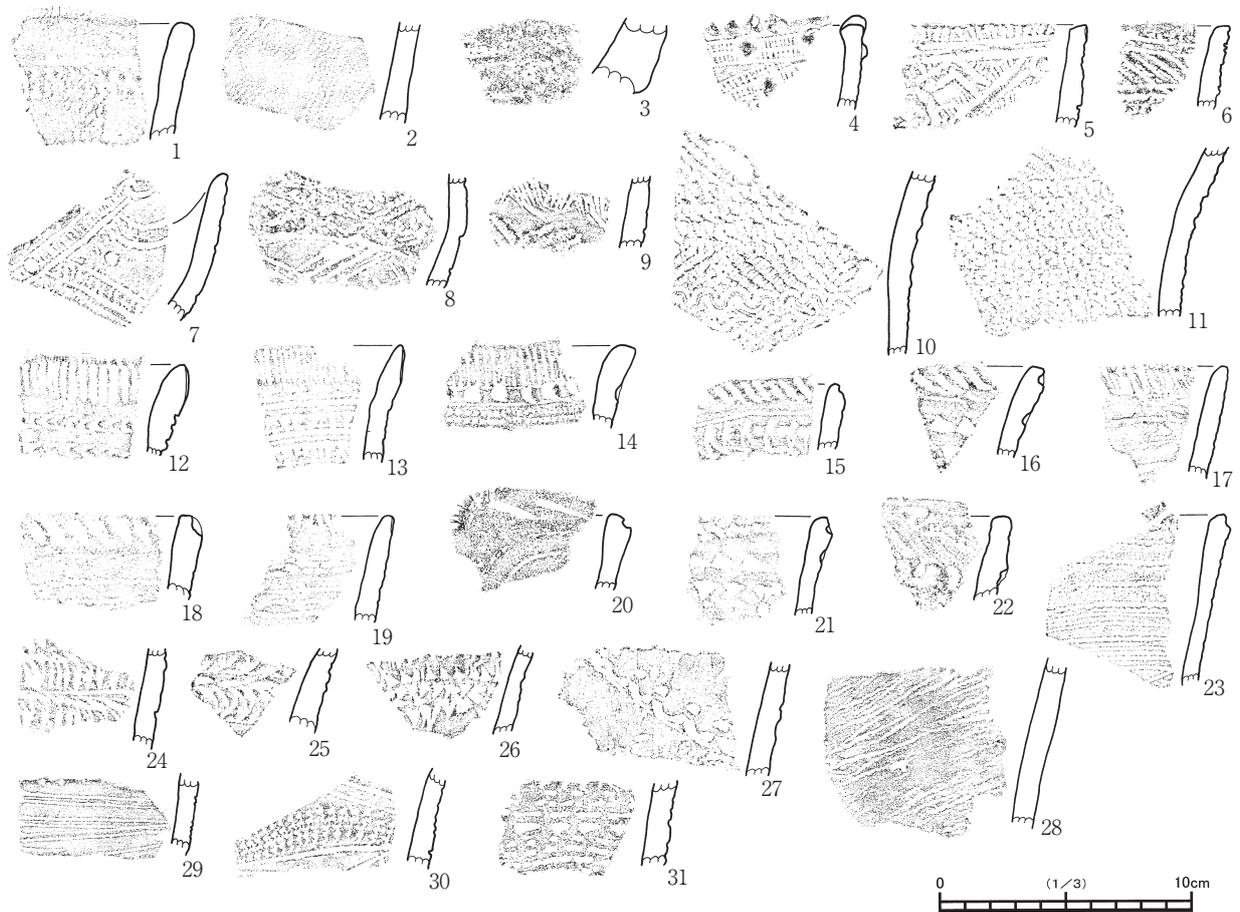
第859图 七28·I 13区包含層出土遺物実測図(3)



第860图 七28・I 14区包含層出土遺物実測図(1)



第861図 セ28・I 14区包含層出土遺物実測図(2)



第862図 セ28・I 15区包含層出土遺物実測図(1)

礫類は144点・6,577 g 出土している。このうち、94.4%に被熱のあとがみられる。礫石器は1点出土している。

#### J 8区

10,532 g の土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、条痕文系、羽状縄文系・関山式、加曾利B式で、このうち最も多いのが条痕文系で85.5%、次が羽状縄文系・関山式で10.4%、撚糸文系で2.3%の順となる。

主な土器を第864図2～9に示した。2・3は撚糸文系深鉢形土器の胴部破片である。4は条痕文系深鉢形土器の口縁部、5は胴部、6は底部の破片である。7～9は加曾利B式とみられる。

礫類は1,459点・68,771 g 出土している。このうち、88.8%に被熱のあとがみられる。礫石器は14点出土している。

#### J 9区

49,319 g の土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、条痕文系、条痕・縄文、早期（東海系）、羽状縄文系・関山式、前期後葉、称名寺式、加曾利B式、曾谷式、晩期のもので、このうち最も多いのが条痕文系で93.9%、次が撚糸文系で2.3%、羽状縄文系・関山式で1.6%の順となる。

主な土器を第865図1～7・第866図8～32に示した。1～4は撚糸文系深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。5は無文深鉢形土器の胴部破片で、胎土中砂礫が器面調整時に移動したことによる擦痕がみられる。6～19は条痕文系深鉢形土器の口縁部、20・21は胴部の破片である。22・23は、胎土中に金雲母が顕著にみられる土器で、横位・斜位の刺突文や縦位のコンパス状の文様などがみられる。早期（東海系）のものとみられる。24は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部、26は紐線文をもつ加曾利B式粗製深鉢形土器の口縁部、27～30は曾谷式、31・32は晩期の所産とみられる。

礫類は1,145点・70,105 g 出土している。このうち、87.7%に被熱のあとがみられる。礫石器は29点出土している。

#### J 10区

42,861 g の土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、条痕文系、早期（東海系）、羽状縄文系・花積下層式、羽状縄文系・関山式、浮島・興津式、諸磯式、前期前葉、称名寺式、堀之内1式、堀之内2式、加曾利B式、曾谷式で、このうち最も多いのが条痕文系で90.5%、次が羽状縄文系・関山式で3.9%、撚糸文系で1.5%の順となる。

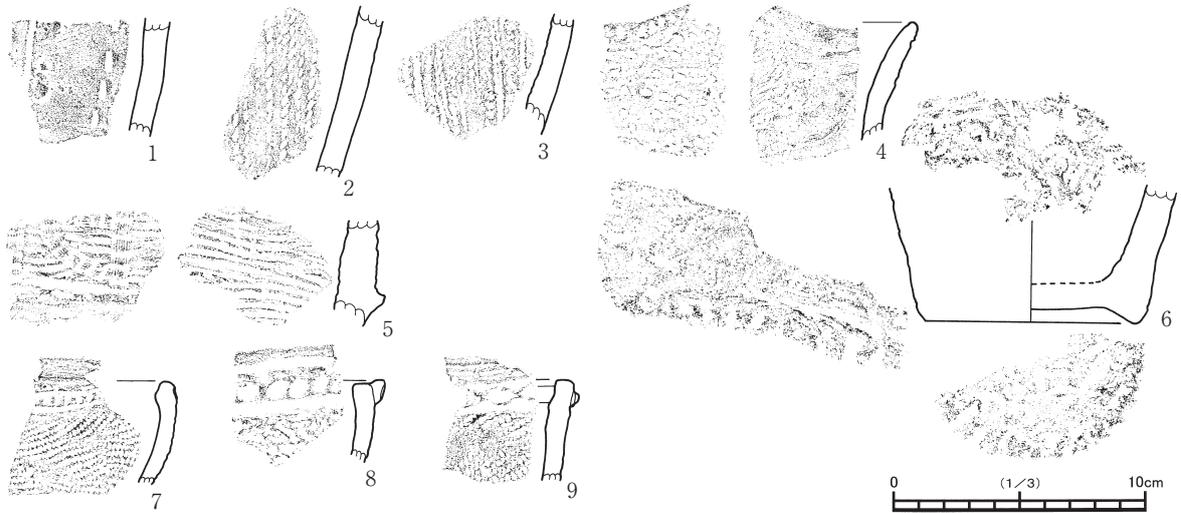
主な土器を第867図1～37・第868図38～43に示した。1～3は撚糸文系深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。4～18は条痕文系深鉢形土器の口縁部、胴部および底部破片である。12は尖底、13は平底の底部である。16・18は、貝殻腹縁圧痕文や絡条体圧痕文が施されるもので、早期末のものとみられる。19は横位の連続する刺突文が施され、胎土中に小礫を顕著に含む土器の胴部破片である。早期（東海系）のものとみられる。粕畑式であろう。20は羽状縄文系・花積下層式、21・22は関山式、23は浮島式、24は興津式、25～28は諸磯式、30～32は堀之内1・2式、33～43は加曾利B式および曾谷式のものとみられる。

礫類は3,689点・175,741 g 出土している。このうち、94.2%に被熱のあとがみられる。礫石器は35点出土している。

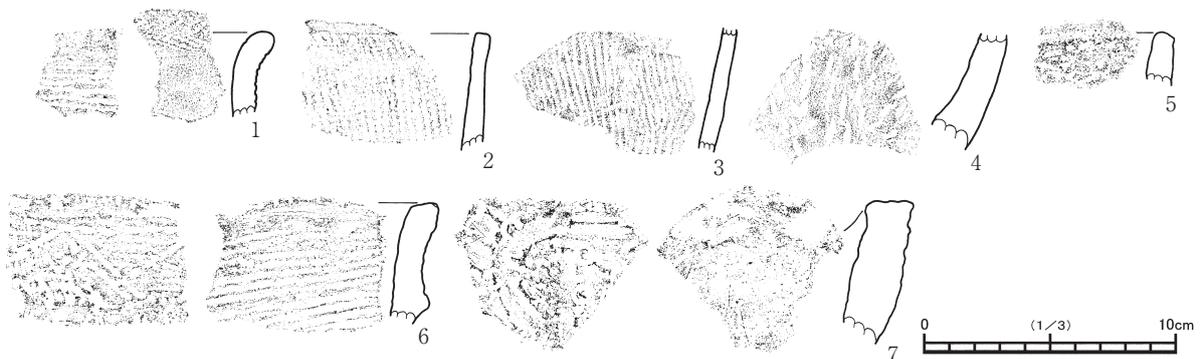
#### J 11区



第863图 七28·I 15区包含層出土遺物実測図(2)



第864图 七28·J 7、J 8区包含層出土遺物実測図



第865图 七28·J 9区包含層出土遺物実測図(1)



第866图 七28·J9区包含層出土遺物実測図(2)

28,335 gの土器が出土している。うちわけは、捺糸文系、条痕文系、羽状縄文系・関山式、浮島・興津式、諸磯式、前期後葉、加曽利E式、称名寺式、加曽利B式、曾谷式、安行式で、このうち最も多いのが条痕文系で87%、次が羽状縄文系・関山式で2.6%、諸磯式で1.3%の順となる。

主な土器を第869図1～15・第870図16～49に示した。1は捺糸文系深鉢形土器の口縁部破片である。2～16は条痕文系深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。17・18は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部破片である。19～25は浮島式、26～30は興津式、31～39は諸磯式のものともみられる。42は加曽利E式、43は称名寺式、44は加曽利B式、45～47は曾谷式、48・49は安行式深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。

礫類は307点・28,583 g出土している。このうち、76%に被熱のあとがみられる。礫石器は19点出土している。

#### J 12区

25,584 gの土器が出土している。うちわけは、捺糸文系、条痕文系、羽状縄文系・関山式、浮島・興津式、諸磯式、前期末～中期初頭、加曽利B式で、このうち最も多いのが条痕文系で91.6%、次が羽状縄文系・関山式で3.5%、捺糸文系で0.7%の順となる。

主な土器を第871図1～5・第872図6～15に示した。1～3は条痕文系深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。4・5は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部破片である。6～10は浮島式、11～13は諸磯式ともみられる。15は加曽利B式深鉢形土器の口縁部破片である。

礫類は988点・53,286 g出土している。このうち、93.4%に被熱のあとがみられる。礫石器は16点出土している。

#### J 13区

15,194 gの土器が出土している。うちわけは、捺糸文系、捺糸文系（無文）、押型文、条痕文系、羽状縄文系・関山式、浮島・興津式、諸磯式、前期後葉、前期末～中期初頭、称名寺式、加曽利B式、前浦式で、このうち最も多いのが条痕文系で80%、次が捺糸文系で3.7%、羽状縄文系・関山式で2.4%の順となる。

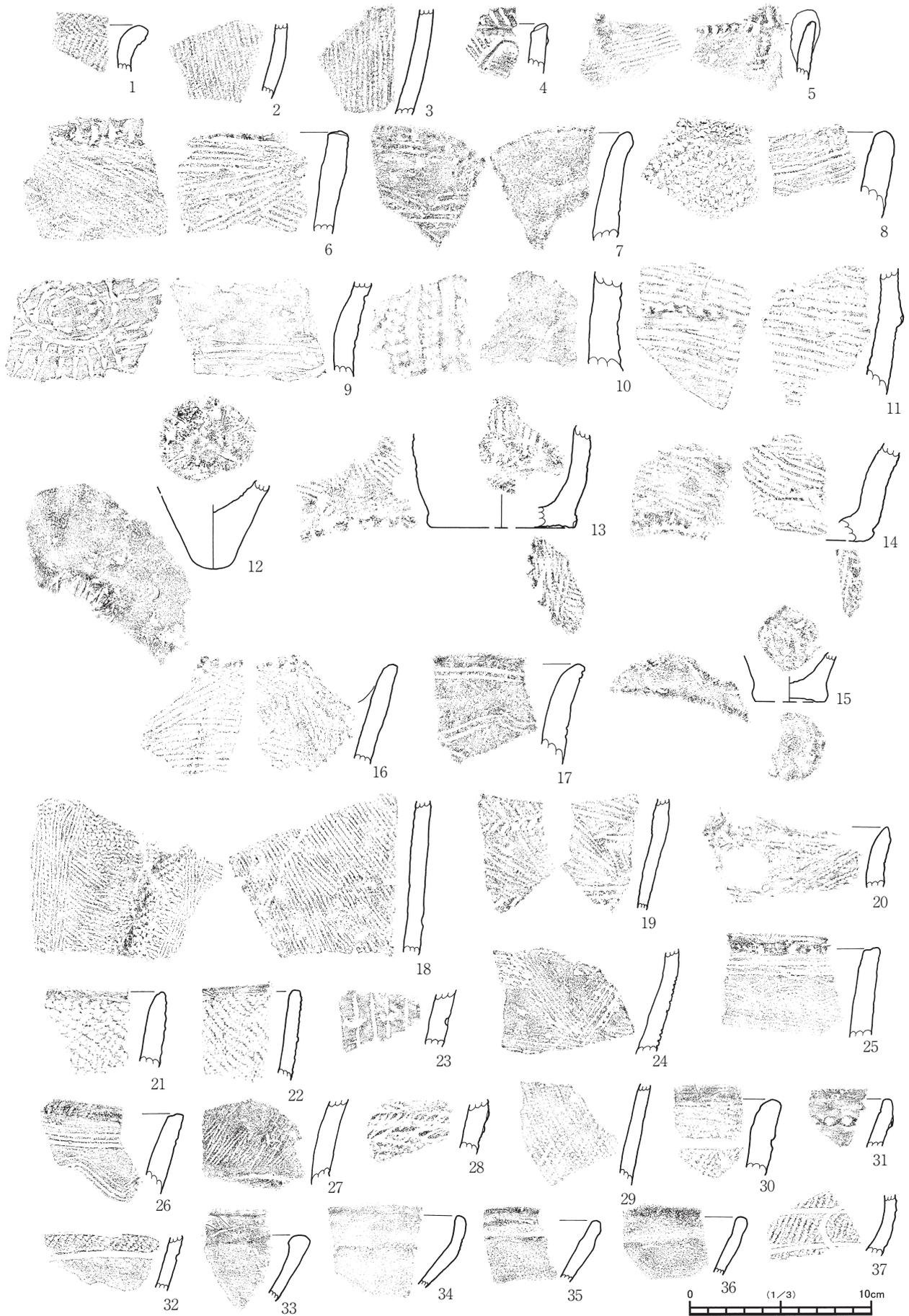
主な土器を第873図1～29に示した。1は捺糸文系深鉢形土器の口縁部、3は尖底の底部破片である。2は無文深鉢形土器の胴部破片で、胎土中砂礫が器面調整時に移動したことによる擦痕がみられる。4・5は山形の押型文土器の胴部破片である。6は条痕文系深鉢形土器の胴部破片である。7・8は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。9～17は浮島式、18は興津式、19・20は諸磯式ともみられる。21～27は櫛歯状文や平行線文の施される土器で前期後葉のものともみられる。28・29は格子状文をもつ加曽利B式粗製深鉢形土器の胴部破片である。

礫類は752点・500,008 g出土している。このうち、95.5%に被熱のあとがみられる。礫石器は6点出土している。

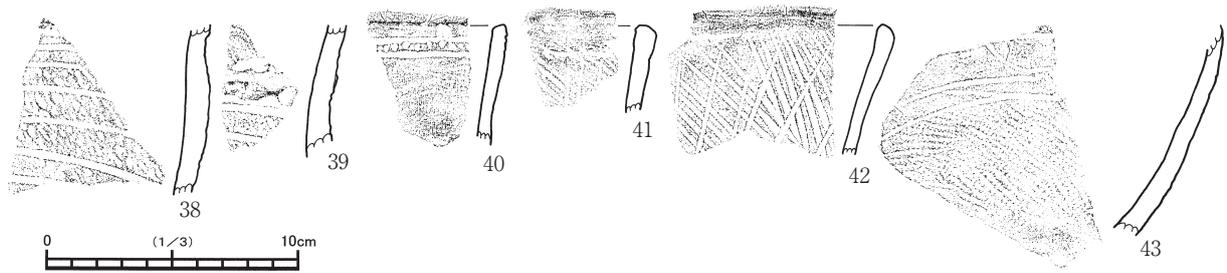
#### J 14区

3,857 gの土器が出土している。うちわけは、捺糸文系、条痕文系、条痕・縄文、羽状縄文系・関山式、浮島・興津式、諸磯式、前期後葉、前期末～中期初頭で、このうち最も多いのが条痕文系で64.6%、次が羽状縄文系・関山式で10%、条痕・縄文で8.3%の順となる。

主な土器を第874図1～12に示した。1～8は浮島式、9・10は諸磯式ともみられる深鉢形土器の口



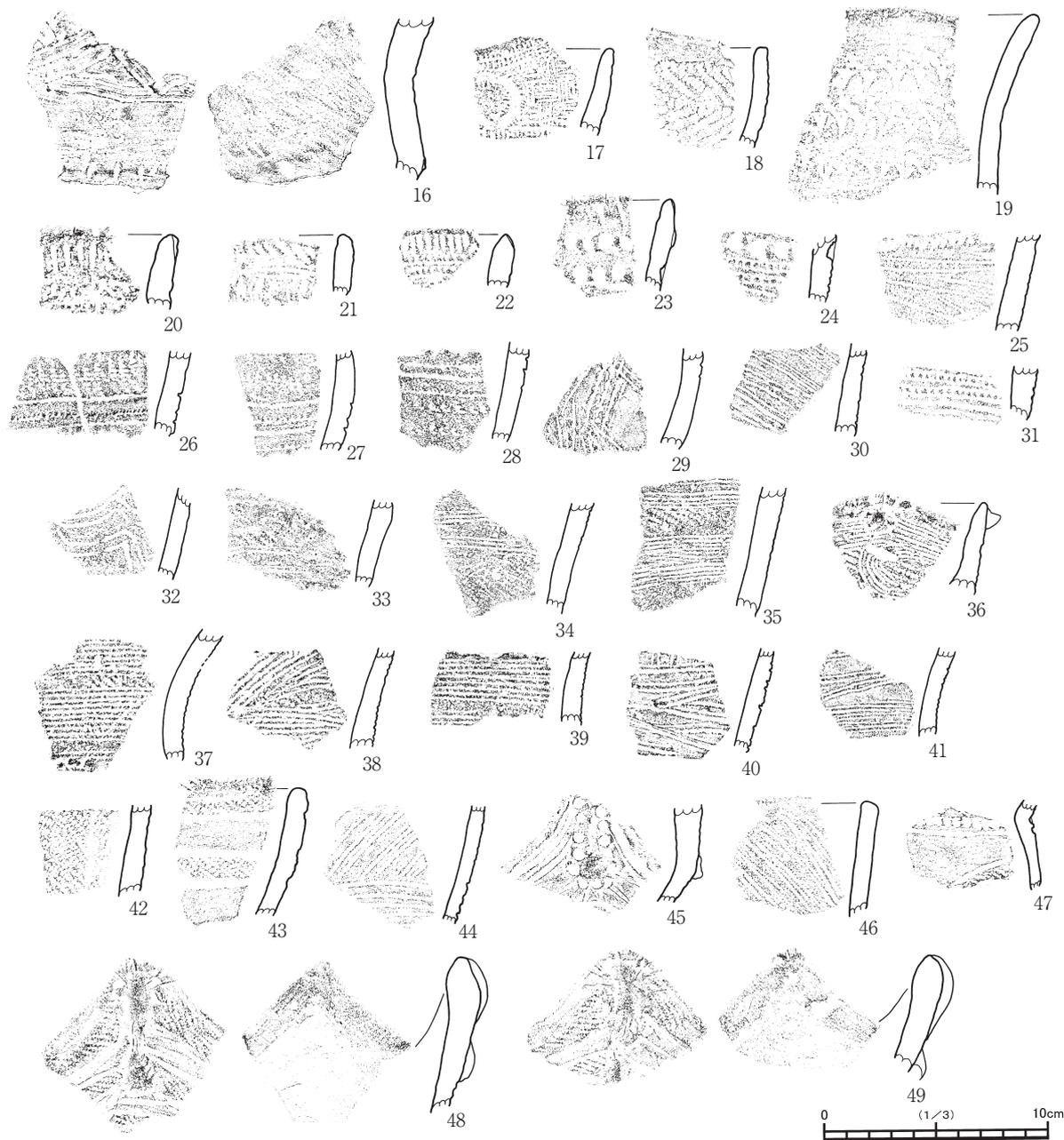
第867图 七28・J 10区包含層出土遺物実測図(1)



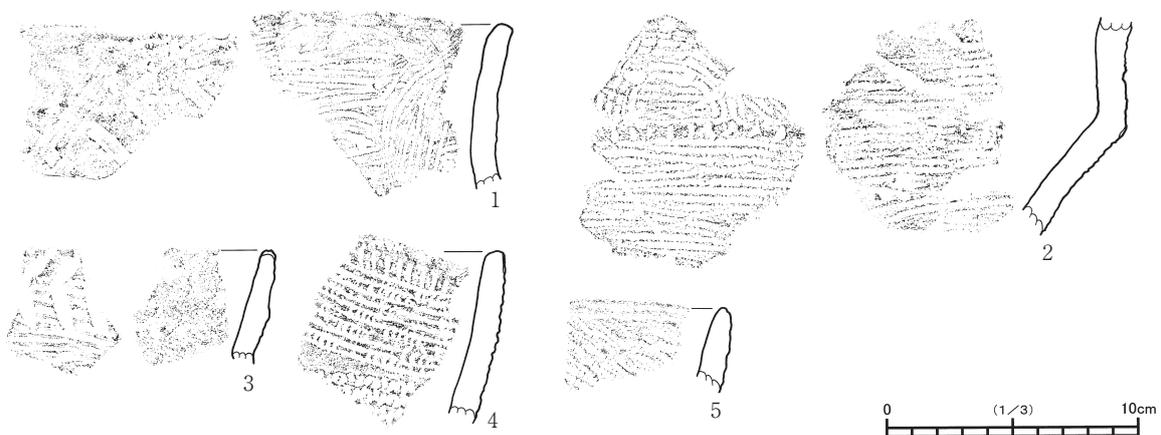
第868図 七28・J10区包含層出土遺物実測図(2)



第869図 七28・J11区包含層出土遺物実測図(1)



第870图 七28・J 11区包含層出土遺物実測図(2)



第871图 七28・J 12区包含層出土遺物実測図(1)

縁部および胴部破片である。11・12は前期末から中期初頭に位置づけられるとみられる土器である。11には口縁と平行して3段の縄の側面圧痕がみられる。

礫類は653点・36,077 g 出土している。このうち、98.1%に被熱のあとがみられる。礫石器は3点出土している。

#### J 15区

4,571 g の土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、条痕文系、条痕・縄文、羽状縄文系・関山式、浮島・興津式、諸磯式、前期後葉、前期末～中期初頭、中期初頭で、このうち最も多いのが条痕文系で34.3%、次が羽状縄文系・関山式で19.1%、浮島・興津式で13.7%の順となる。

主な土器を第875図1～31に示した。1は撚糸文系深鉢形土器の胴部破片である。2～6は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。7～14は浮島式、15・16は興津式、17～23は諸磯式深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。24～28は歯状文や平行線文の施される土器で前期後葉のものともみられる。29・30は前期末から中期初頭に位置づけられるとみられる土器である。29には横位の縄の側面圧痕がみられる。

礫類は244点・13,787 g 出土している。このうち、92.7%に被熱のあとがみられる。礫石器は3点出土している。

#### K 6区

400 g の土器が出土している。うちわけは、条痕文系、曾谷式で、このうち最も多いのが条痕文系で88.5%、次が曾谷式で2.8%の順となる。図示できる土器はなかった。

礫類は254点・15,846 g 出土している。このうち、75%に被熱のあとがみられる。礫石器は1点出土している。

#### K 7区

1,076 g の土器が出土している。うちわけは、条痕文系、条痕・縄文、羽状縄文系・関山式で、このうち最も多いのが条痕文系で82.9%、次が羽状縄文系・関山式で7.1%、条痕・縄文で1.8%の順となる。

主な土器を第876図1に示した。条痕文系深鉢形土器の波状を呈する口縁部の破片である。

礫類は353点・20,888 g 出土している。このうち、74.1%に被熱のあとがみられる。礫石器は7点出土している。

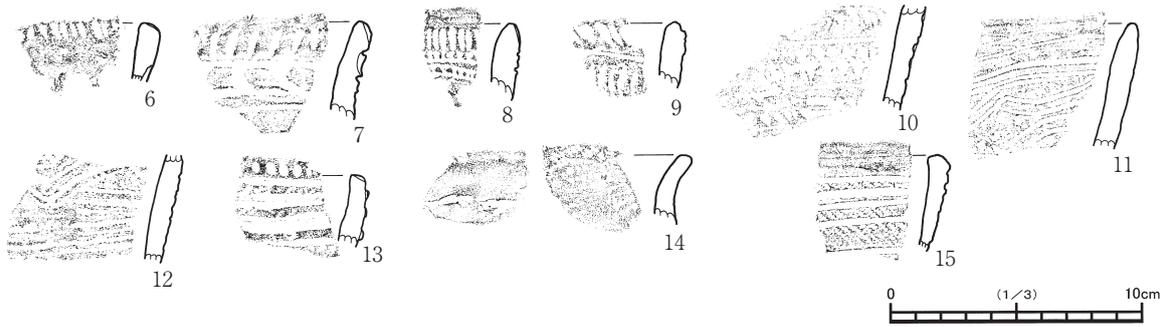
#### K 8区

6,766 g の土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、条痕文系、羽状縄文系・関山式、浮島・興津式、諸磯式、称名寺式、堀之内1式、曾谷式で、このうち最も多いのが条痕文系で76.4%、次が羽状縄文系・関山式で5.6%、撚糸文系で2.2%の順となる。

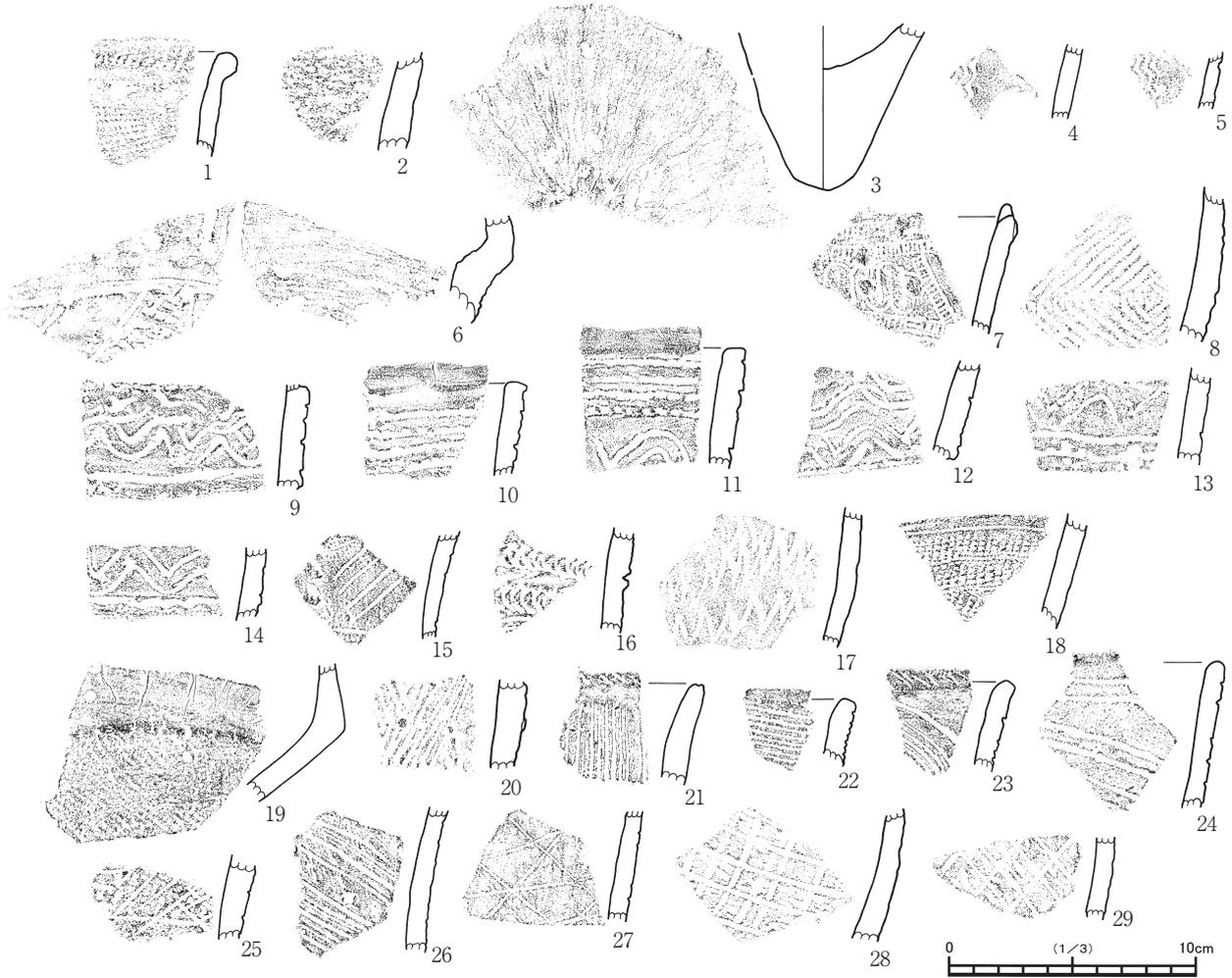
主な土器を第876図2～11に示した。2・3は撚糸文系深鉢形土器の口縁部破片である。4は条痕文系深鉢形土器の口縁部、5は平底の底部破片である。6は堀之内1式深鉢形土器の胴部、7～11は曾谷式土器の口縁部および胴部の破片である。

礫類は1,871点・78,831 g 出土している。このうち、88.5%に被熱のあとがみられる。礫石器は8点出土している。

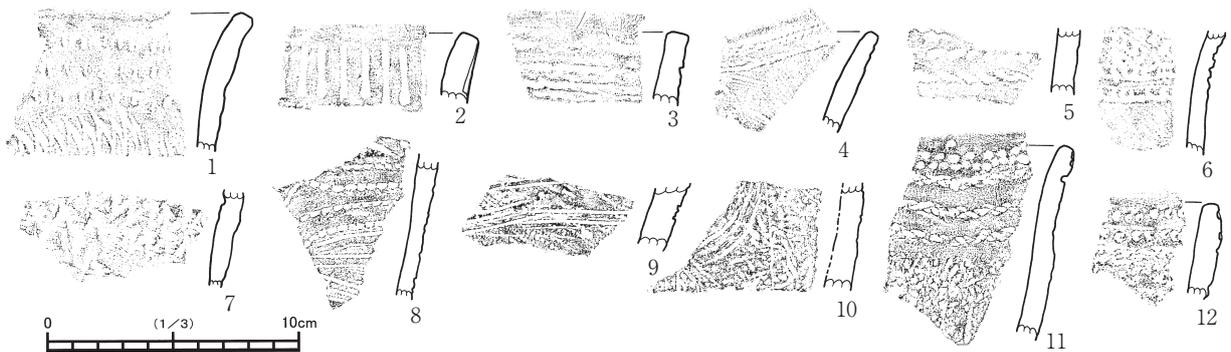
#### K 9区



第872图 七28・J 12区包含層出土遺物実測図(2)



第873图 七28・J 13区包含層出土遺物実測図



第874图 七28・J 14区包含層出土遺物実測図

24,085 gの土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、条痕文系、条痕・縄文、羽状縄文系・花積下層式、羽状縄文系・関山式、浮島・興津式、加曾利B式、曾谷式で、このうち最も多いのが条痕文系で93.3%、次が羽状縄文系・関山式で2.5%、撚糸文系で1.7%の順となる。

主な土器を第877図1～13に示した。1～4は撚糸文系深鉢形土器の口縁部および胴部の破片である。5・6は条痕文系深鉢形土器の口縁部、7はやや丸底の底部破片である。8・9は羽状縄文系・花積下層式深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。10・11は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。12は紐線文をもつ加曾利B式粗製深鉢形土器の口縁部破片である。13は曾谷式深鉢形土器の口縁部破片である。

礫類は2,114点・91,820 g出土している。このうち、95.2%に被熱のあとがみられる。礫石器は12点出土している。

#### K10区

22,057 gの土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、条痕文系、条痕・縄文、羽状縄文系・関山式、諸磯式、堀之内2式、加曾利B式、曾谷式、安行式で、このうち最も多いのが条痕文系で87.4%、次が羽状縄文系・関山式で6.9%、撚糸文系で2.3%の順となる。

主な土器を第878図1～12に示した。1～4は条痕文系深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。5は堀之内2式深鉢形土器の把手部分の破片である。6～9は加曾利B式土器の口縁部および胴部破片で、7～9は紐線文をもつ粗製深鉢形土器である。10・11は曾谷式とみられる。

礫類は3,738点・195,811 g出土している。このうち、96.9%に被熱のあとがみられる。礫石器は21点出土している。

#### K11区

1,222 gの土器が出土している。うちわけは、条痕文系、羽状縄文系・関山式、曾谷式で、このうち最も多いのが条痕文系で86%、次が羽状縄文系・関山式で7.6%、曾谷式で2.3%の順となる。

主な土器を第878図13に示した。加曾利B式の紐線文をもつ粗製深鉢形土器の胴部破片である。

礫類は32点・3,213 g出土している。このうち、66.3%に被熱のあとがみられる。礫石器は2点出土している。

#### K10・K11区

321 gの土器が出土している。うちわけは、条痕文系、加曾利B式で、このうち最も多いのが条痕文系で76.9%、次が加曾利B式で8.7%の順となる。加曾利B式が比較的多いのがこの区の特徴である。

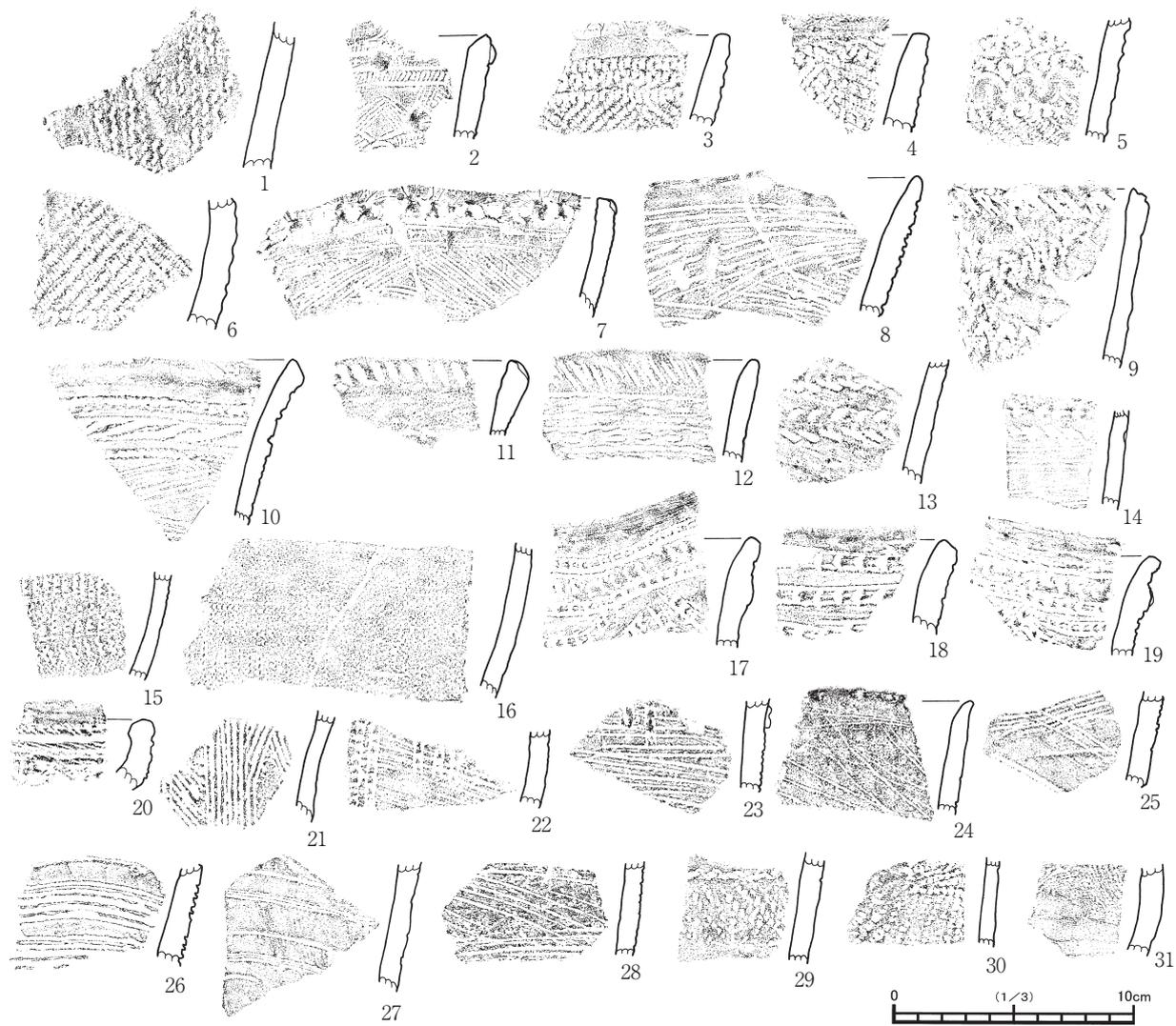
主な土器を第878図14に示した。加曾利B式の紐線文をもつ粗製深鉢形土器の口縁部破片である。

礫類は出土していない。

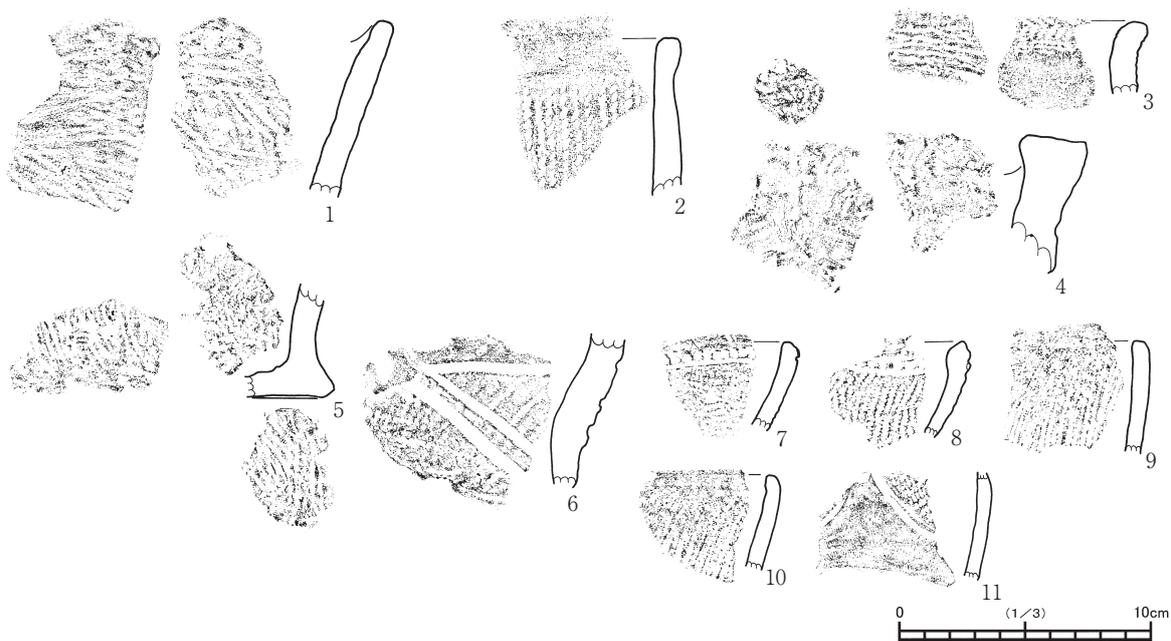
#### K12区

1,489 gの土器が出土している。うちわけは、条痕文系、羽状縄文系・関山式、浮島・興津式、諸磯式、前期後葉、前期末～中期初頭で、このうち最も多いのが条痕文系で68.7%、次が前期後葉で7%、諸磯式で5%の順となる。

主な土器を第878図15～21に示した。15・16は浮島式、17は諸磯式、18・19は横位・斜位の平行線文を施すもので前期後葉、20・21は結節文をもつもので前期末から中期初頭のものとみられる。



第875图 七28·J15区包含層出土遺物実測図



第876图 七28·K7、K8区包含層出土遺物実測図

礫類は260点・11,374 g 出土している。このうち、93.4%に被熱のあとがみられる。礫石器は3点出土している。

#### K13区

629 gの土器が出土している。うちわけは、条痕文系、浮島・興津式、前期後葉で、このうち最も多いのが条痕文系で85.9%、次が浮島・興津式で2.2%、前期後葉で1.1%の順となる。図示できる土器はなかった。

礫類は112点・3,910 g 出土している。このうち、97.3%に被熱のあとがみられる。礫石器は出土していない。

#### K14区

2,479 gの土器が出土している。うちわけは、条痕文系、条痕・縄文、羽状縄文系・関山式、曾谷式で、このうち最も多いのが条痕文系で94.9%、次が羽状縄文系・関山式で1.8%、条痕・縄文で0.9%の順となる。

主な土器を第878図22に示した。条痕文系深鉢形土器の口縁部破片である。

礫類は97点・7,044 g 出土している。このうち、97.8%に被熱のあとがみられる。礫石器は出土していない。

#### K19区

礫類は2点・150 g 出土している。いずれにも被熱のあとがみられる。礫石器は出土していない。

#### L9区

6,083 gの土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、条痕文系、羽状縄文系・関山式、早期末で、このうち最も多いのが条痕文系で94%、次が羽状縄文系・関山式で3%、撚糸文系で0.8%の順となる。

主な土器を第879図1・2に示した。1は条痕文系深鉢形土器の尖底の底部破片である。2は波状口縁をもつ深鉢形土器の口縁部破片で浅い沈線による直線・曲線文が施される。早期末に位置づけられるものとみられる。

礫類は894点・42,910 g 出土している。このうち、97.2%に被熱のあとがみられる。礫石器は3点出土している。

#### L10区

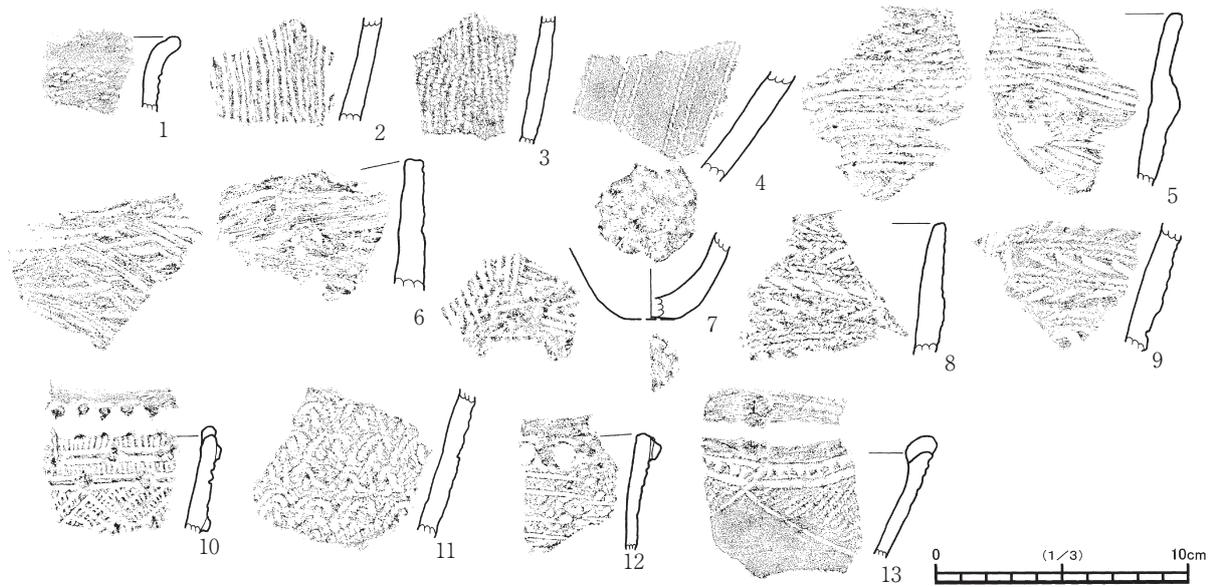
16,007 gの土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、条痕文系、羽状縄文系・関山式、羽状縄文系・黒浜式、浮島・興津式、諸磯式、前期後葉、加曾利B式で、このうち最も多いのが条痕文系で83.1%、次が羽状縄文系・関山式で8.4%、撚糸文系で2%の順となる。

主な土器を第879図3～13に示した。3～5は撚糸文系深鉢形土器の口縁部破片である。6～11は条痕文系深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。12は羽状縄文系・黒浜式深鉢形土器の口縁部破片である。13は加曾利B式の紐線文をもつ粗製深鉢形土器の口縁部破片である。

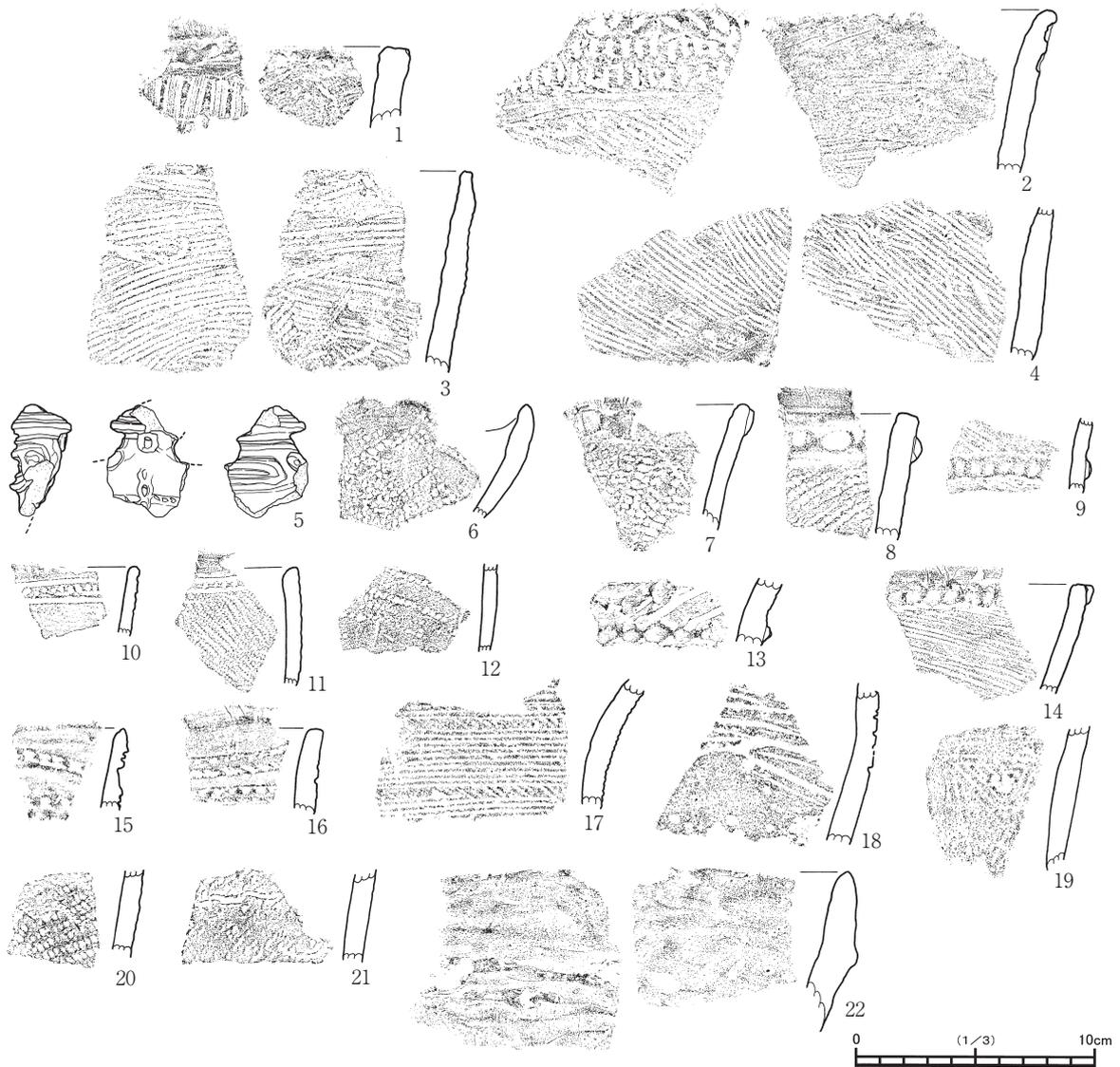
礫類は2,193点・113,905 g 出土している。このうち、96.8%に被熱のあとがみられる。礫石器は10点出土している。

#### L11区

土器は出土していない。礫類は9点・430 g 出土している。このうち、すべてに被熱のあとがみら



第877图 七28·K 9区包含層出土遺物実測図



第878图 七28·K10、K11、K10·K11、K12、K14区包含層出土遺物実測図

れる。礫石器は出土していない。

#### 不明区

表採など出土地区がよくわからない資料がある。それらをここにまとめた。23,181gの土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、押型文、条痕文系、羽状縄文系・関山式、浮島・興津式、諸磯式、前期後葉、前期末～中期初頭、称名寺式、加曽利B式、曾谷式、安行式で、このうち最も多いのが条痕文系で71%、次が羽状縄文系・関山式で15.8%、撚糸文系で1.8%の順となる。

主な土器を第880図1～5・第881図6～38に示した。1は撚糸文系深鉢形土器の口縁部破片である。2は山形の押型文土器の胴部破片である。3～8は条痕文系深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。9～26は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。14・15は片口をもつ土器である。27は浮島式、28・29は興津式、30～32は諸磯式、33は前期後葉、34は前期末～中期初頭、35・36は称名寺式、37は加曽利B式、38は安行式とみられる。

礫類は382点・12,728g出土している。このうち、91.8%に被熱のあとがみられる。礫石器は5点出土している。

#### セ54地区

セ54地区は、大グリッドを20mとし、ここにG19～M22まで46区画が設定され遺物が採集された。F19・F20・H15・I22・J16・J22・L17・N21については遺物は採集されていないので、遺物の採集されている大グリッドはこのうち37区画となる。大グリッドごとにそのうちわけを示し、図示した主要土器について記載する。

#### G19区

117gの土器が出土している。うちわけは、条痕文系、羽状縄文系・関山式で、比率は羽状縄文系・関山式が68.4%、条痕文系が31.6%となる。図示できる土器はなかった。

礫類は35点・861g出土している。このうち、すべてに被熱のあとがみられる。礫石器の出土はなかった。

#### G20区

2,734gの土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、条痕文系、羽状縄文系・関山式、堀之内1式で、このうち最も多いのが羽状縄文系・関山式で94.5%、次が堀之内1式で3.7%、条痕文系で0.9%の順となる。

主な土器を第882図1～14に示した。1～12は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。13・14は堀之内1式深鉢形土器の胴部破片である。

礫類は73点・4,880g出土している。このうち、85.4%に被熱のあとがみられる。礫石器は2点出土している。

#### G21区

424gの土器が出土している。うちわけは、条痕文系、羽状縄文系・関山式で、このうち最も多いのが羽状縄文系・関山式で90.8%、次が条痕文系で4.7%の順となる。主な土器を第882図15に示した。羽状縄文系・関山式深鉢形土器の胴部破片である。

礫類は13点・573g出土している。このうち、すべてに被熱のあとがみられる。礫石器の出土はな

かった。

#### H16区

247gの土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、条痕文系、条痕・縄文、羽状縄文系・関山式で、このうち最も多いのが条痕文系で31.6%、次が条痕・縄文で25.1%、羽状縄文系・関山式で15.4%の順となる。

主な土器を第883図1に示した。羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部破片である。

礫類は27点・1,658g出土している。このうち、91.4%に被熱のあとがみられる。礫石器は1点出土している。

#### H17区

447gの土器が出土している。うちわけは、条痕文系、羽状縄文系・関山式、浮島・興津式で、このうち最も多いのが羽状縄文系・関山式で16.6%、次が条痕文系で15.4%、浮島・興津式で4.3%の順となる。図示できる土器はなかった。

礫類は64点・3,427g出土している。このうち、すべてに被熱のあとがみられる。礫石器の出土はなかった。

#### H18区

394gの土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、撚糸文系（無文）、条痕文系、羽状縄文系・関山式、浮島・興津式、堀之内1式、曾谷式で、このうち最も多いのが撚糸文系（無文）で22.8%、次が堀之内1式で11.7%、浮島・興津式で7.6%の順となる。

主な土器を第883図2・3に示した。2は浮島式深鉢形土器の口縁部破片、3は堀之内1式の口縁部破片である。

礫類は41点・1,682g出土している。このうち、すべてに被熱のあとがみられる。礫石器の出土はなかった。

#### H19区

154gの土器が出土している。うちわけは、撚糸文系（無文）、条痕文系で、このうち最も多いのが条痕文系で76%、次が撚糸文系（無文）で11%の順となる。図示できる土器はなかった。

礫類は5点・327g出土している。このうち、すべてに被熱のあとがみられる。礫石器の出土はなかった。

#### H20区

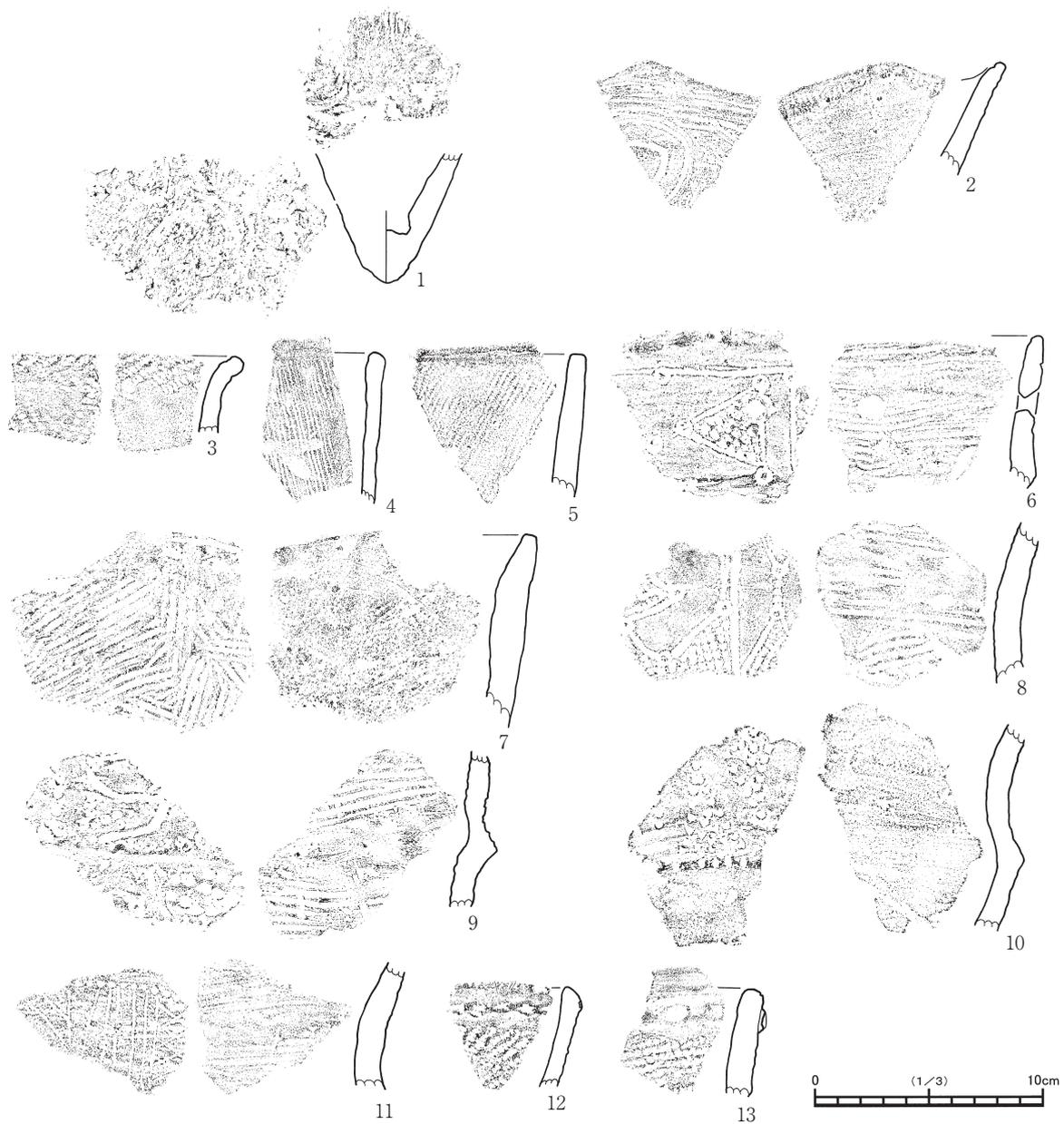
1,772gの土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、条痕文系、羽状縄文系・関山式、勝坂式で、このうち最も多いのが羽状縄文系・関山式で65.7%、次が条痕文系で12.9%、撚糸文系で8.7%の順となる。

主な土器を第883図4～8に示した。4～6は撚糸文系深鉢形土器の口縁部破片である。7は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部破片である。8は勝坂式深鉢形土器の口縁部破片である。

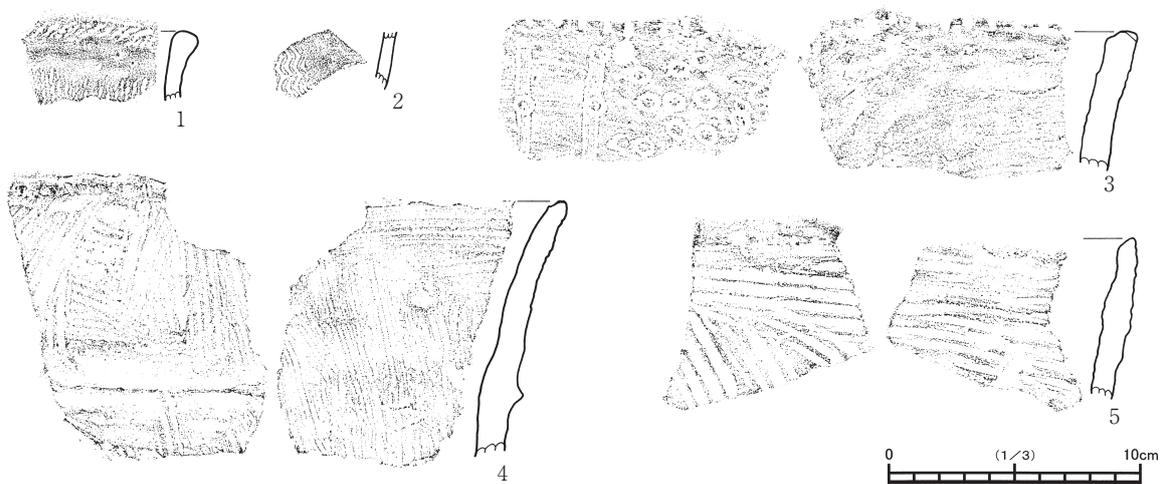
礫類は132点・6,395g出土している。このうち、98.4%に被熱のあとがみられる。礫石器は2点出土している。

#### H21区

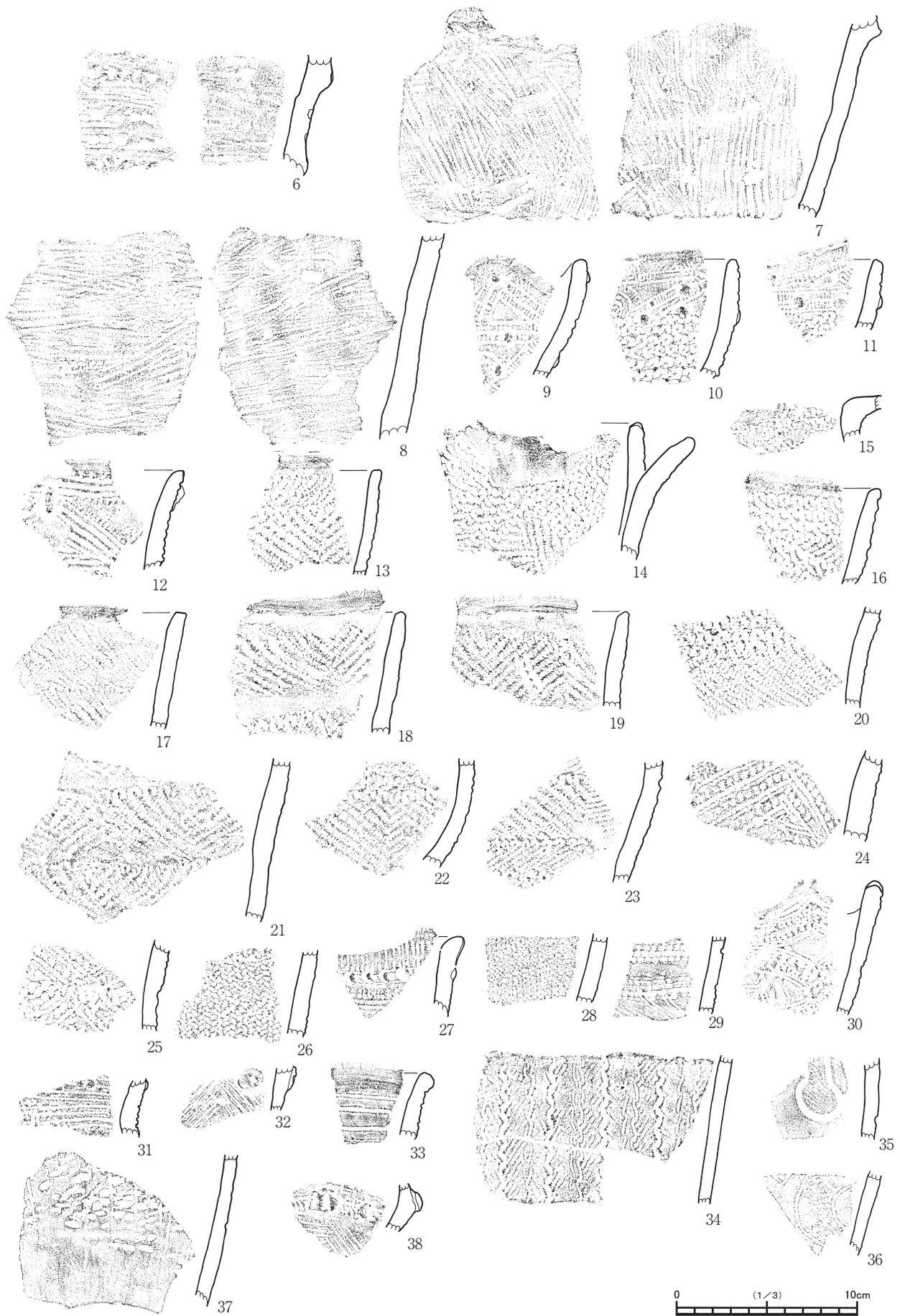
633gの土器が出土している。うちわけは、条痕文系、条痕・縄文、羽状縄文系・関山式で、この



第879図 セ28・L 9、L 10区包含層出土遺物実測図



第880図 セ28・不明区包含層出土遺物実測図(1)



第881图 七28・不明区包含層出土遺物実測図(2)

うち最も多いのが羽状縄文系・関山式で67.5%、次が条痕・縄文で21.5%、条痕文系で7.1%の順となる。主な土器を第883図9に示した。羽状縄文系・関山式深鉢形土器の胴部破片である。

礫類は32点・1,806 g 出土している。このうち、すべてに被熱のあとがみられる。礫石器の出土はなかった。

#### H22区

337 g の土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、条痕文系、条痕・縄文、羽状縄文系・関山式、浮島・興津式、堀之内1式、加曾利B式で、このうち最も多いのが撚糸文系で12.2%、次が堀之内1式で6.8%、羽状縄文系・関山式で4.7%の順となる。

主な土器を第883図10～12に示した。10は条痕文系深鉢形土器の口縁部破片である。11は堀之内1式、12は加曾利B式の紐線文をもつ粗製深鉢形土器の口縁部破片である。

礫類は4点・120 g 出土している。このうち、すべてに被熱のあとがみられる。礫石器の出土はなかった。

#### I 12区

3 g の土器が出土している。図示できる土器はなかった。

礫類は131点・2,984 g 出土している。このうち、99.4%に被熱のあとがみられる。礫石器は1点出土している。

#### I 13区

1,174 g の土器が出土している。うちわけは、条痕文系が98.5%である。

主な土器を第883図13～15に示した。13・14は条痕文系深鉢形土器の口縁部、15は底径40mmを測る平底の底部破片である。礫類は出土していない。

#### I 15区

39 g の土器が出土している。うちわけは、浮島・興津式が59%である。図示できる土器はなかった。

礫類は3点・105 g 出土している。いずれにも被熱のあとがみられる。礫石器の出土はなかった。

#### I 16区

1,308 g の土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、条痕文系、羽状縄文系・関山式、浮島・興津式、諸磯式、前期後葉、十三菩提式、前期末～中期初頭、安行式で、このうち最も多いのが羽状縄文系・関山式で26.9%、次が浮島・興津式で12.6%、撚糸文系で6.7%の順となる。

主な土器を第885図1～13に示した。1・2は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部、3は底部の破片である。4～6は浮島式、7は興津式、8は諸磯式、9・10は十三菩提式とみられる。11・12は前期末から中期初頭に位置づけられるもの、13は安行式の注口土器口縁部破片である。

礫類は74点・4,341 g 出土している。このうち、すべてに被熱のあとがみられる。礫石器の出土はなかった。

#### I 17区

8,421 g の土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、撚糸文系（無文）、条痕文系、羽状縄文系・関山式、浮島・興津式、諸磯式、前期後葉、前期末～中期初頭、加曾利B式、曾谷式、安行式で、このうち最も多いのが羽状縄文系・関山式で41.6%、次が条痕文系で7.5%、前期後葉で6%の順となる。

主な土器を第884図1～49に示した。1～3は撚糸文系深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。4～8は無文深鉢形土器の口縁部および胴部破片で、胎土中砂礫が器面調整時に移動したことによる擦痕がみられる。10～17は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。18～23は浮島式、24～32は諸磯式とみられる。33～39は櫛歯状文や平行線文が施され、前期後葉のものとみられる。40～42は口縁に平行して縄の側面圧痕が施されるもので、前期末から中期初頭に位置づけられる。43は中期初頭、44・45は加曾利B式、46・47は曾谷式、48は安行式のものとみられる。

礫類は308点・16,941g出土している。このうち、88.1%に被熱のあとがみられる。礫石器は6点出土している。

#### I 18区

722gの土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、撚糸文系（無文）、条痕・縄文、羽状縄文系・関山式で、このうち最も多いのが羽状縄文系・関山式で30.9%、次が撚糸文系で11.6%、条痕・縄文で5.1%の順となる。

主な土器を第885図14に示した。撚糸文系深鉢形土器の胴部破片である。

礫類は49点・2,100g出土している。このうち、94.4%に被熱のあとがみられる。礫石器は2点出土している。

#### I 19区

1,343gの土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、条痕・縄文、羽状縄文系・関山式で、このうち最も多いのが羽状縄文系・関山式で63.2%、次が撚糸文系で8.6%、条痕・縄文で6.7%の順となる。

主な土器を第885図15～20に示した。15～18は撚糸文系深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。19は条痕文系深鉢形土器の胴部破片である。20は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の胴部破片である。

礫類は63点・2,782g出土している。このうち、すべてに被熱のあとがみられる。礫石器の出土はなかった。

#### I 20区

1,106gの土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、撚糸文系（無文）、条痕文系、羽状縄文系・関山式で、このうち最も多いのが羽状縄文系・関山式で67.5%、次が条痕文系で17.5%、撚糸文系で8%の順となる。

主な土器を第885図21～24に示した。羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。

礫類は88点・4,541g出土している。このうち、89.4%に被熱のあとがみられる。礫石器は2点出土している。

#### I 21区

160gの土器が出土している。うちわけは、条痕文系、条痕・縄文、羽状縄文系・関山式で、このうち最も多いのが条痕文系で54.4%、次が羽状縄文系・関山式で27.5%、条痕・縄文で18.1%の順となる。

主な土器を第885図25に示した。条痕文系深鉢形土器の胴部破片である。

礫類は43点・2,075g出土している。このうち、68%に被熱のあとがみられる。礫石器は1点出土

している。

#### J 17区

363 gの土器が出土している。うちわけは、撚糸文系（無文）、条痕文系、条痕・縄文、羽状縄文系・関山式で、このうち最も多いのが撚糸文系（無文）で55.9%、次が羽状縄文系・関山式で33.3%、条痕・縄文で7.2%の順となる。

主な土器を第886図1に示した。厚手の無文深鉢形土器の口縁部破片である。

礫類は37点・1,871 g出土している。このうち、すべてに被熱のあとがみられる。礫石器の出土はなかった。

#### J 18区

1,800 gの土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、撚糸文系（無文）、条痕文系、羽状縄文系・関山式で、このうち最も多いのが条痕文系で33.4%、次が羽状縄文系・関山式で26.2%、撚糸文系（無文）で16.7%の順となる。

主な土器を第886図2～6に示した。2・3は撚糸文系深鉢形土器の胴部破片である。4・5は条痕文系深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。6は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部破片である。

礫類は56点・3,698 g出土している。このうち、すべてに被熱のあとがみられる。礫石器の出土はなかった。

#### J 19区

1,377 gの土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、撚糸文系（無文）、条痕文系、条痕・縄文、羽状縄文系・花積下層式、羽状縄文系・関山式、浮島・興津式、前期後葉、加曾利B式で、このうち最も多いのが羽状縄文系・関山式で51.9%、次が撚糸文系（無文）で16.8%、撚糸文系で12.2%の順となる。

主な土器を第886図7～11に示した。7・8は無文深鉢形土器の口縁部破片である。9はハイガイ殻表厚痕による擬縄文が施されるもので、羽状縄文系・花積下層式のものともみられる。10は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の胴部破片である。11は紐線文をもつ加曾利B式粗製深鉢形土器の口縁部破片である。

礫類は76点・2,499 g出土している。このうち、すべてに被熱のあとがみられる。礫石器の出土はなかった。

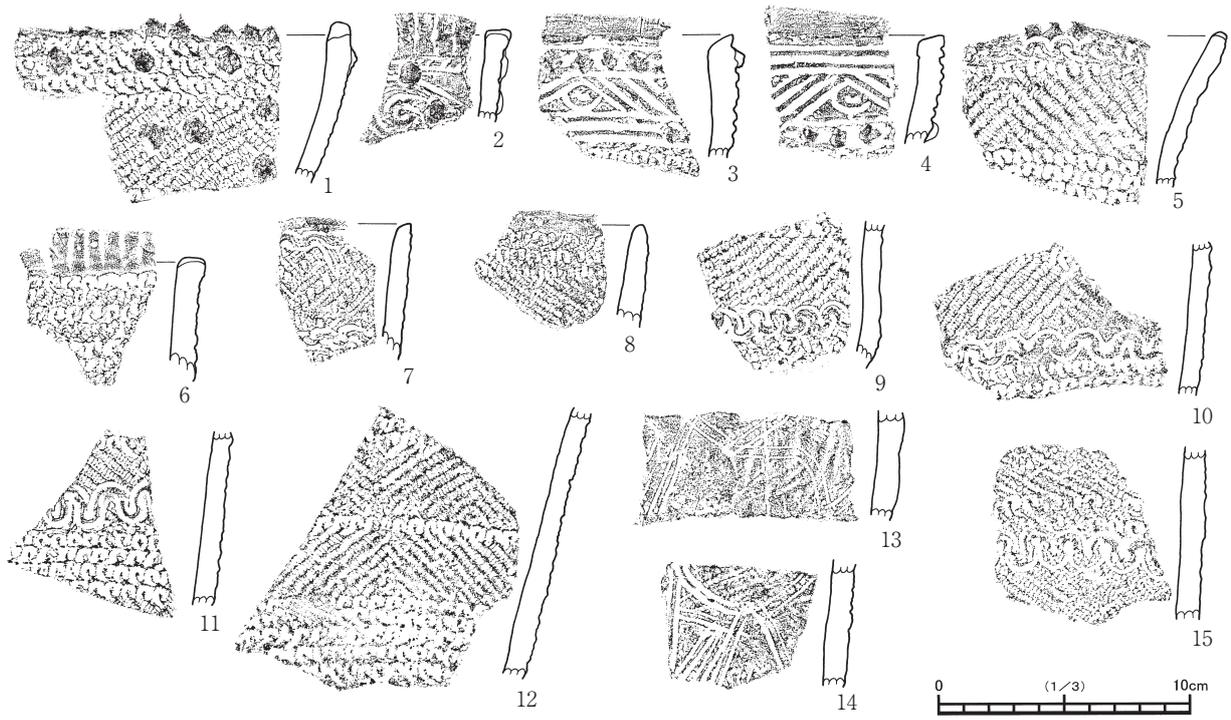
#### J 20区

506 gの土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、条痕文系、羽状縄文系・関山式で、このうち最も多いのが羽状縄文系・関山式で53.6%、次が条痕文系で34.8%、撚糸文系で2.8%の順となる。図示できる土器はなかった。

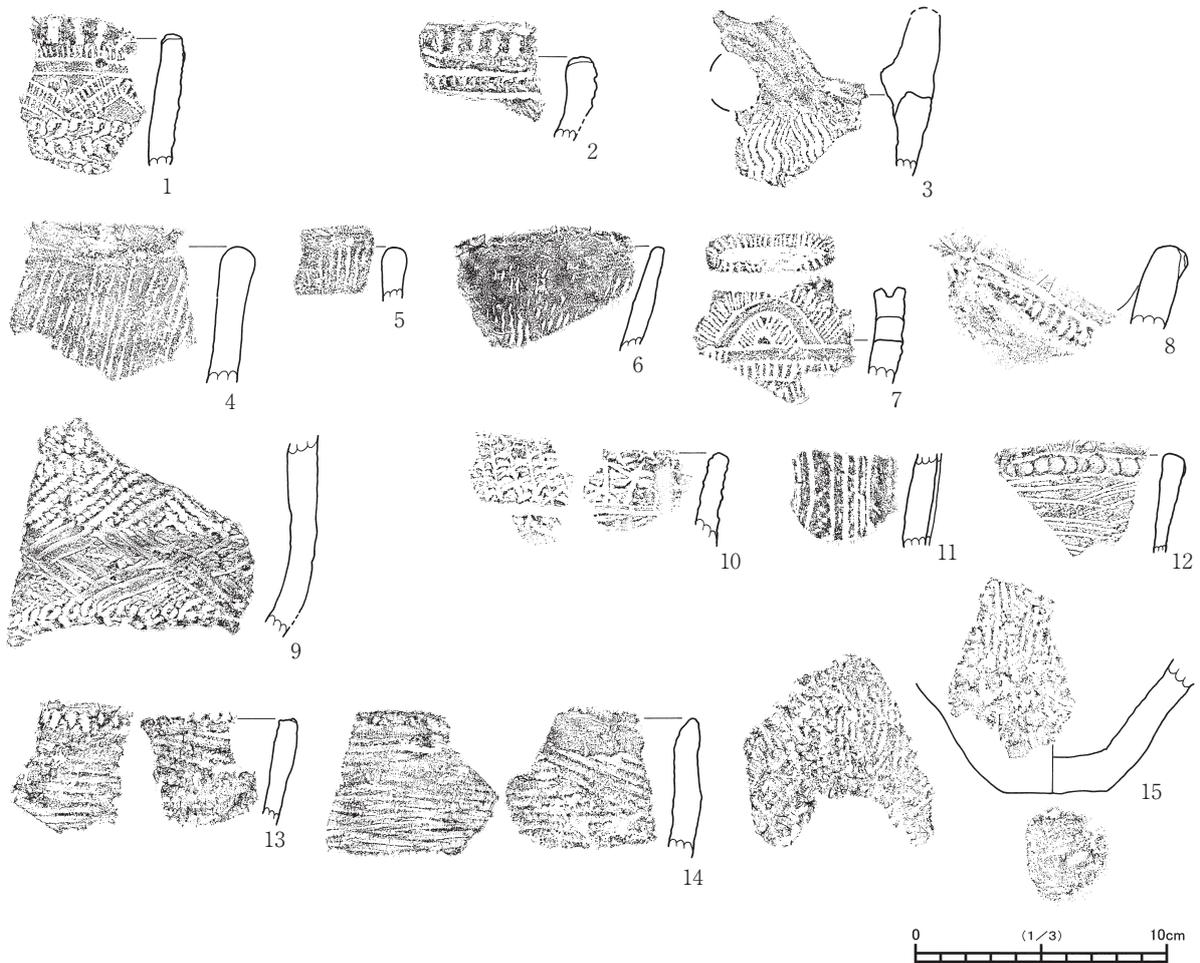
礫類は37点・1,407 g出土している。このうち、すべてに被熱のあとがみられる。礫石器の出土はなかった。

#### J 21区

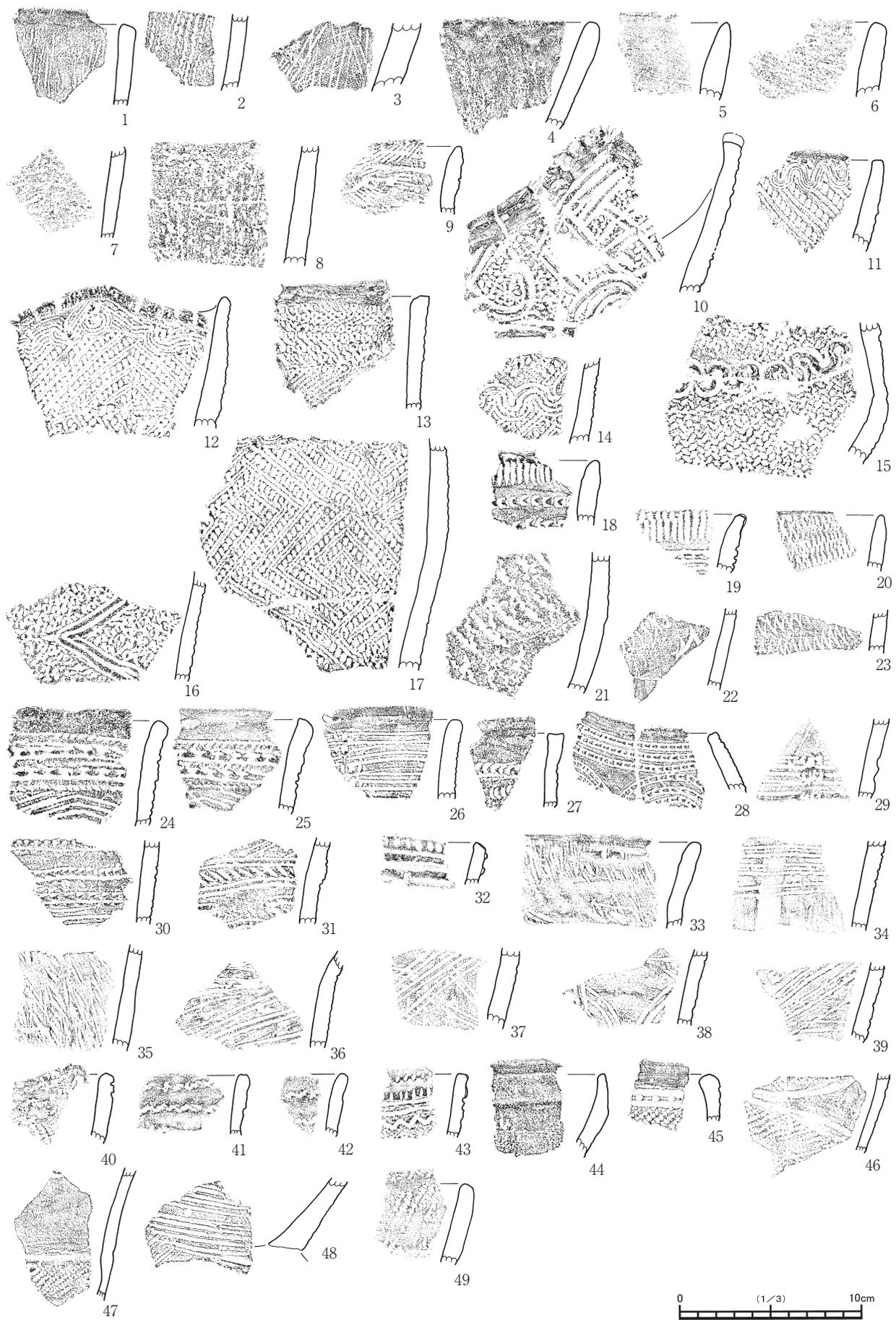
164 gの土器が出土している。うちわけは、条痕文系、条痕・縄文、羽状縄文系・関山式、前期後葉で、このうち最も多いのが前期後葉で23.2%、次が条痕・縄文で18.9%、条痕文系で17.1%の順と



第882図 セ54・G20、G21区包含層出土遺物実測図



第883図 セ54・H16、H18、H20、H21、H22、I13区包含層出土遺物実測図



第884图 七54·I 17区包含层出土遗物实测图

なる。

主な土器を第887図1～27に示した。1は条痕文系深鉢形土器の胴部破片である。内面は貝殻条痕文、外面には縄文が施される。2～26は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の胴部および底部破片である。2は推定口径256mm・現存器高68mmを測る土器で、器面には羽状縄文が施され、口唇部に2個一対の山形貼付文を付す。5は推定胴部最大径254mm・現存器高166mmを測る土器で、器面は羽状縄文とループ文が交互に施文される。25は推定底径98mm・現存器高133mmを測る上げ底となった平底の土器である。

礫類は24点・1,595g出土している。このうち、すべてに被熱のあとがみられる。礫石器の出土はなかった。

#### K14区

492gの土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、条痕文系、条痕・縄文、羽状縄文系・関山式、浮島・興津式、諸磯式で、このうち最も多いのが条痕文系で64.4%、次が撚糸文系で16.3%、諸磯式で10.2%の順となる。

主な土器を第888図1に示した。諸磯c式深鉢形土器の胴部破片である。

礫類の出土はなかった。

#### K17区

1,205gの土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、撚糸文系（無文）、条痕文系、羽状縄文系・関山式で、このうち最も多いのが羽状縄文系・関山式で44.1%、次が撚糸文系（無文）で23.3%、条痕文系で19.8%の順となる。

主な土器を第888図2～4に示した。2・3は無文深鉢形土器の口縁部破片である。2には、胎土中砂礫が器面調整時に移動したことによる擦痕がみられる。4は条痕文系深鉢形土器の胴部破片である。

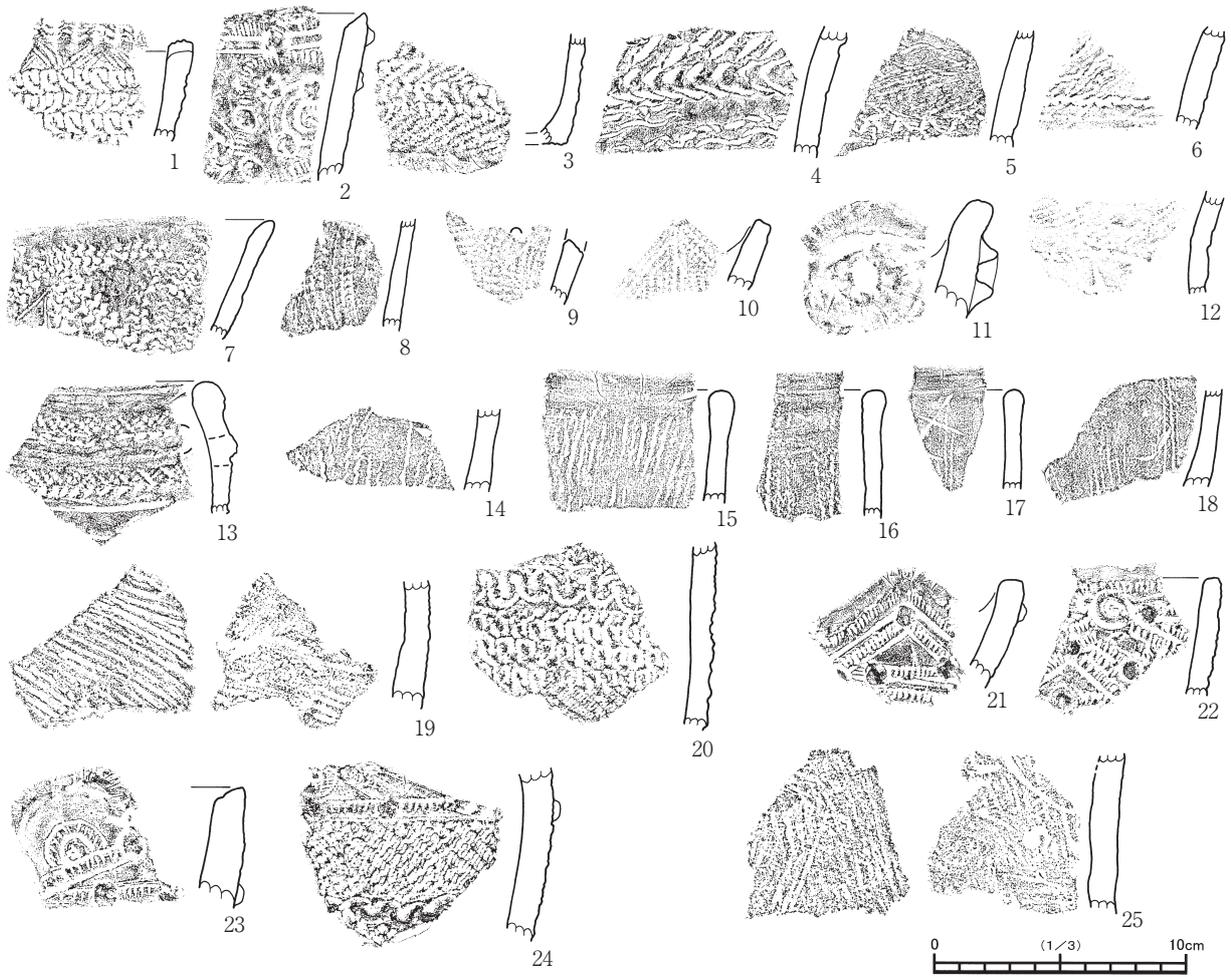
礫類は56点・3,074g出土している。このうち、95.4%に被熱のあとがみられる。礫石器は1点出土している。

#### K18区

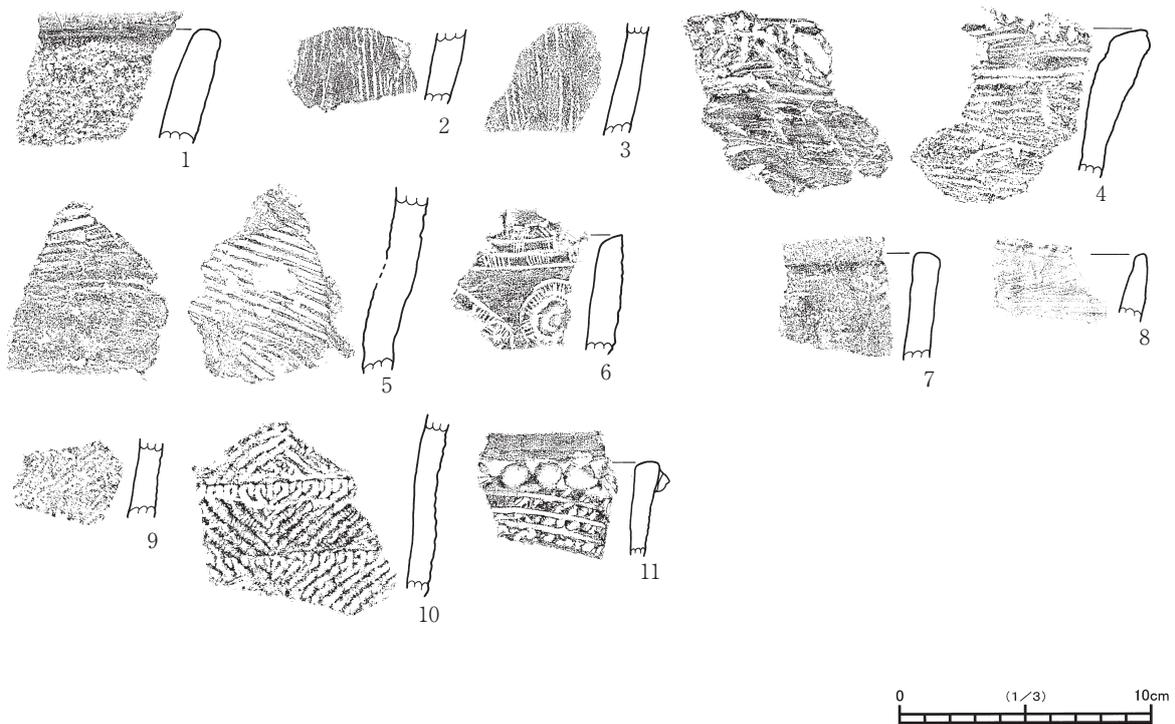
20,259gの土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、撚糸文系（無文）、条痕文系、条痕・縄文、羽状縄文系・関山式、羽状縄文系・黒浜式、浮島・興津式、諸磯式、加曾利E式、称名寺式、堀之内1式、加曾利B式、曾谷式で、このうち最も多いのが羽状縄文系・関山式で44.6%、次が撚糸文系（無文）で11.8%、条痕文系で8.5%の順となる。

主な土器を第889図1～40・第890図41～58に示した。1～13は撚糸文系深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。14～25は無文深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。このうちの多くに、胎土中砂礫が器面調整時に移動したことによる擦痕がみられる。26・27は条痕文系深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。28～40は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部、41～44は胴部、45～48は上げ底となる底部破片である。36～40は片口をもつものである。49は羽状縄文系・黒浜式、50は浮島式、51は諸磯式、52～54は称名寺式、55は加曾利B式、56～58は曾谷式とみられる。

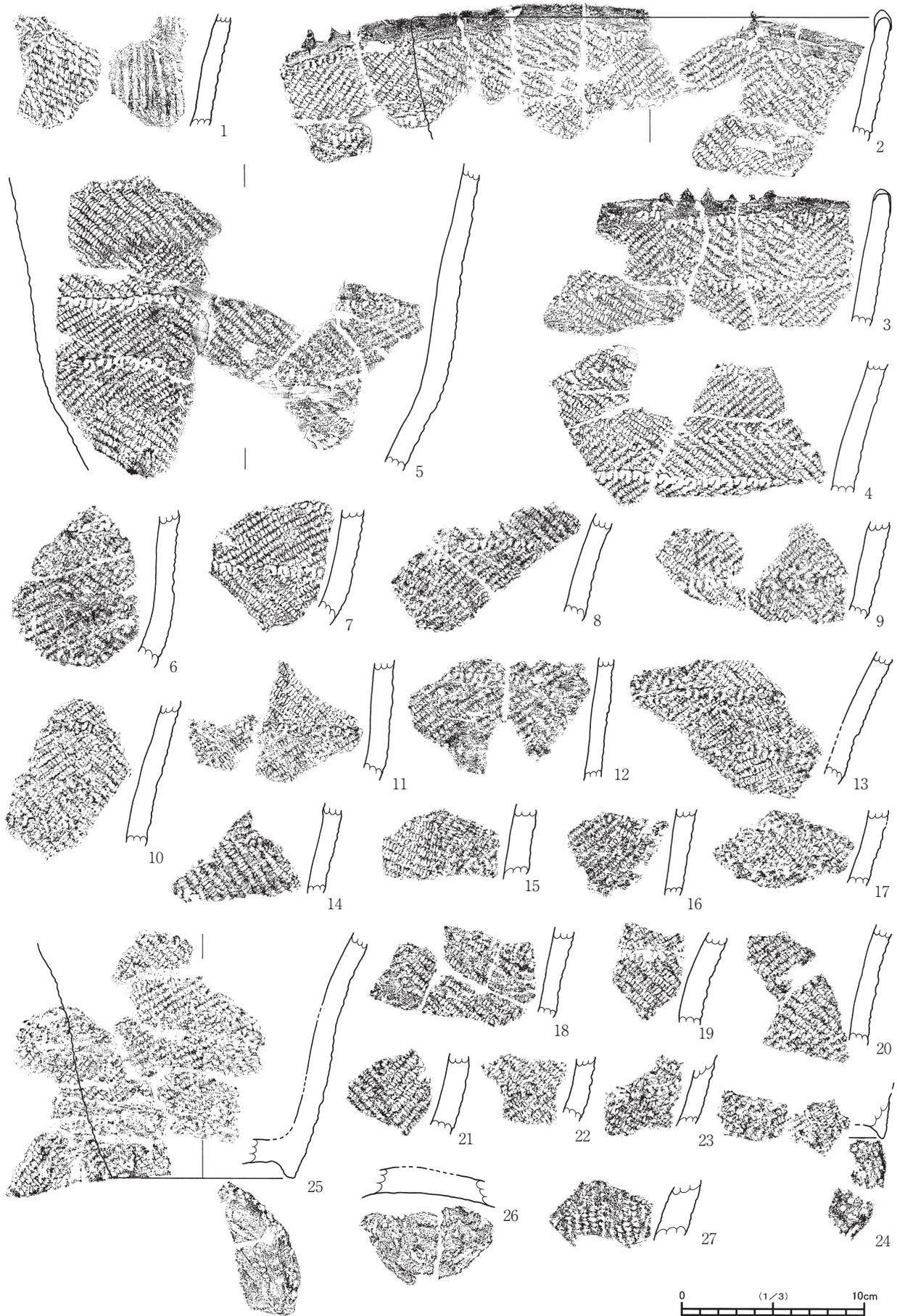
礫類は820点・45,490g出土している。このうち、98.2%に被熱のあとがみられる。礫石器は4点出土している。



第885图 七54·I 16、I 18、I 19、I 20、I 21区包含层出土遗物实测图



第886图 七54·J 17、J 18、J 19区包含层出土遗物实测图



第887图 七54·J21区包含层出土遗物实测图

#### K19区

9,531 gの土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、撚糸文系（無文）、条痕文系、条痕・縄文、羽状縄文系・関山式、前期後葉、称名寺式、曾谷式で、このうち最も多いのが羽状縄文系・関山式で35.8%、次が撚糸文系（無文）で26.7%、撚糸文系で7.9%の順となる。

主な土器を第891図1～16・第892図17～28に示した。1～3は撚糸文系深鉢形土器の口縁部、4は胴部、5は底部の破片である。6～14は無文深鉢形土器の口縁部、胴部および底部の破片である。このうちの多くに、胎土中砂礫が器面調整時に移動したことによる擦痕がみられる。15・16は条痕文系深鉢形土器の口縁部破片である。16の外面には縄文が施文される。17～19は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部、20～23は胴部、24～27は上げ底となる底部の破片である。このうち17は片口をもつ。

礫類は583点・33,198 g出土している。このうち、96.4%に被熱のあとがみられる。礫石器は3点出土している。

#### K20区

802 gの土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、撚糸文系（無文）、条痕文系、羽状縄文系・関山式、浮島・興津式、諸磯式、前期後葉、加曾利B式で、このうち最も多いのが条痕文系で25.8%、次が撚糸文系（無文）で18.8%、撚糸文系で7.7%の順となる。

主な土器を第893図1～3に示した。1は無文の深鉢形土器の口縁部破片である。2・3は横位・斜位の櫛歯状文が施されるもので、前期後葉のものともみられる。

礫類は69点・3,670 g出土している。このうち、95.4%に被熱のあとがみられる。礫石器は1点出土している。

#### K21区

1,083 gの土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、条痕文系、羽状縄文系・花積下層式、羽状縄文系・関山式、加曾利B式で、このうち最も多いのが撚糸文系で36.7%、次が条痕文系で23.5%、羽状縄文系・花積下層式で5.1%の順となる。

主な土器を第893図4～10に示した。4～7は撚糸文系深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。8～10は円形竹管文が施される深鉢形土器で、羽状縄文系・花積下層式とみられる。

礫類は105点・5,333 g出土している。このうち、98.8%に被熱のあとがみられる。礫石器は1点出土している。

#### K22区

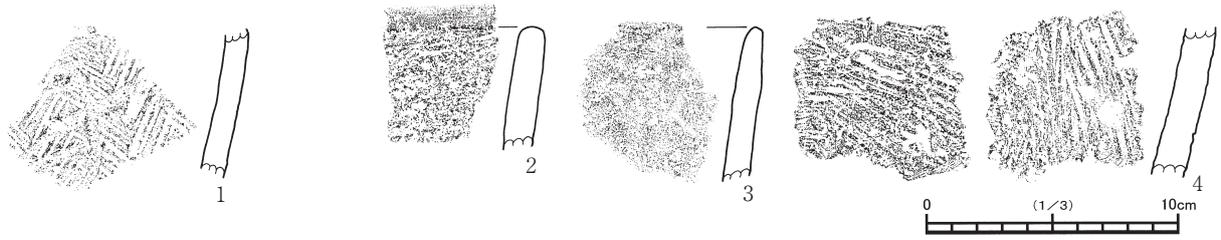
82 gの土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、称名寺式で、このうち最も多いのが称名寺式で59.8%、次が撚糸文系で18.3%の順となる。図示できる土器はなかった。

礫類は55点・2,478 g出土している。このうち、すべてに被熱のあとがみられる。礫石器の出土はなかった。

#### L17区

156 gの土器が出土している。うちわけは、条痕文系、羽状縄文系・関山式で、このうち最も多いのが羽状縄文系・関山式で50%、次が条痕文系で1.9%の順となる。図示できる土器はなかった。

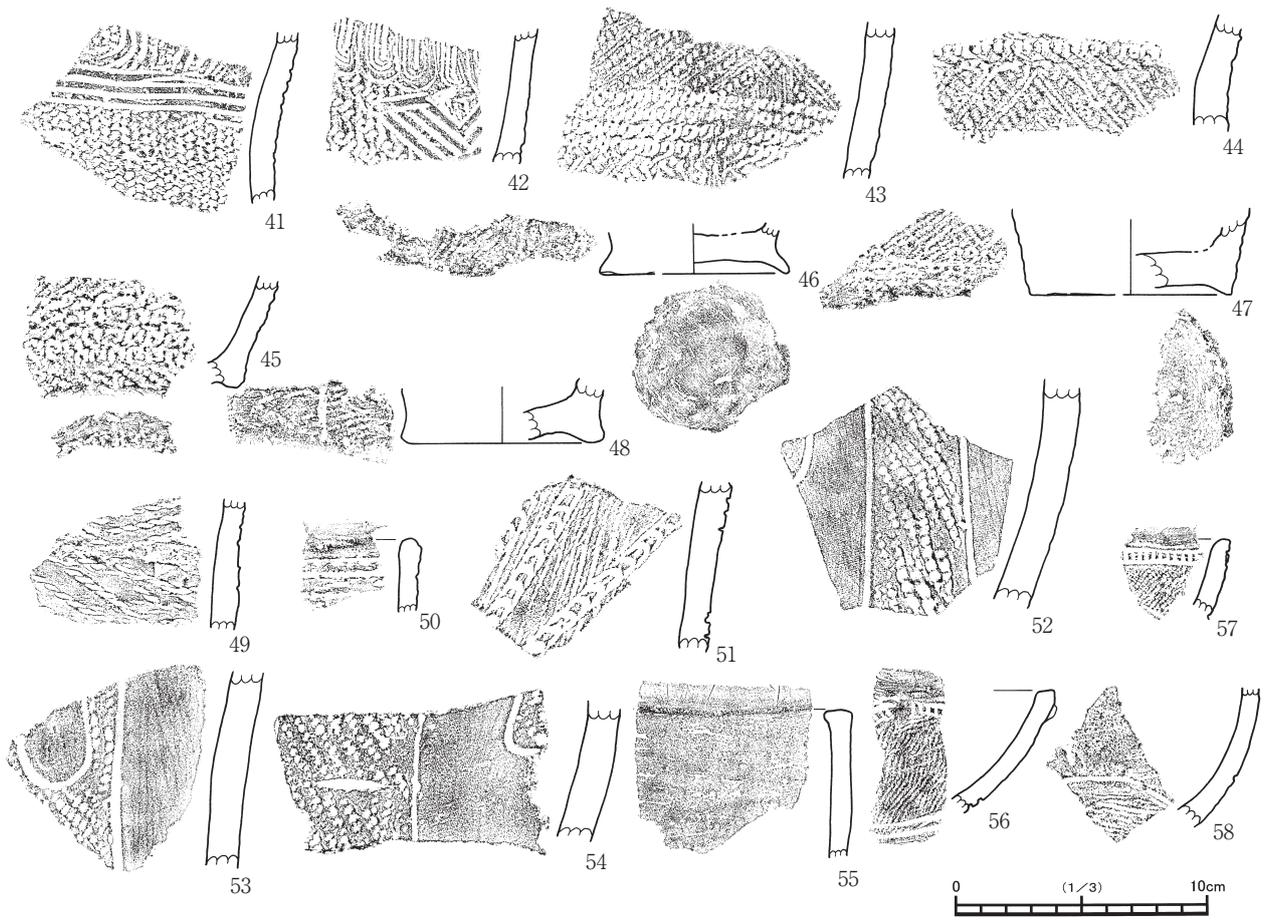
礫類は25点・853 g出土している。このうち、すべてに被熱のあとがみられる。礫石器の出土はなかった。



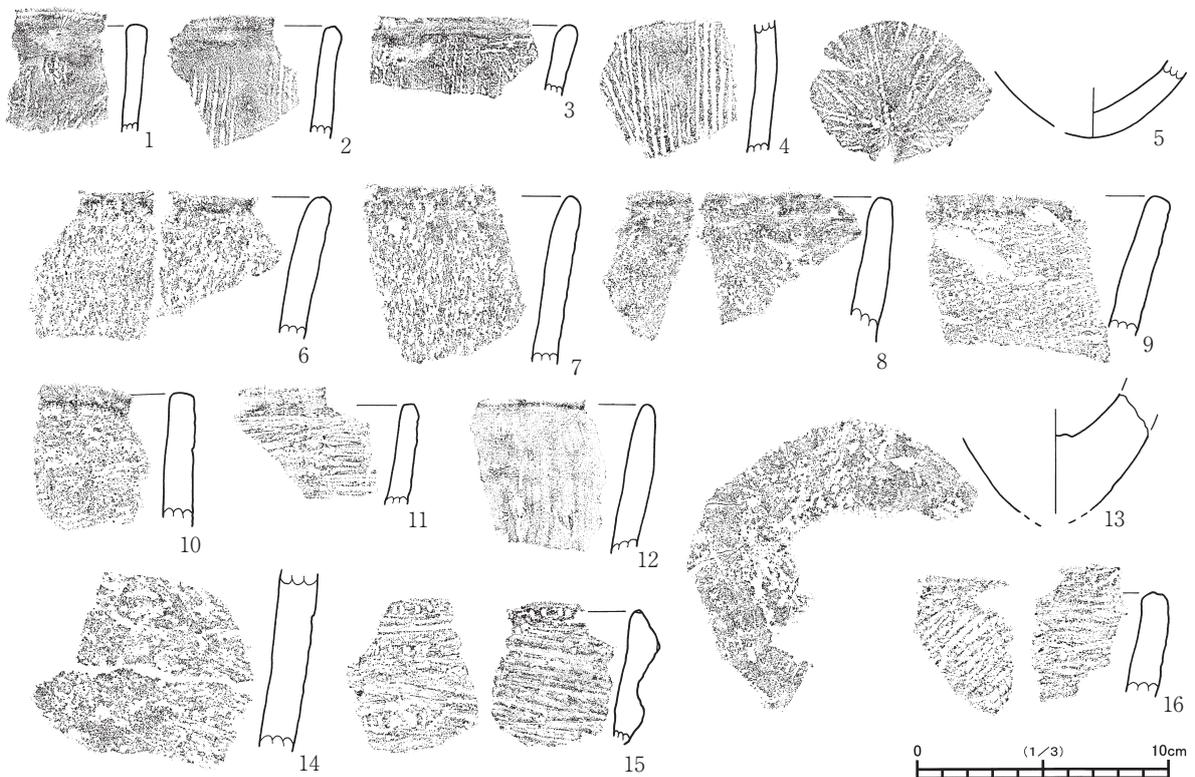
第888図 セ54・K14、K17区包含層出土遺物実測図



第889図 セ54・K18区包含層出土遺物実測図(1)



第890图 七54・K18区包含層出土遺物実測図(2)



第891图 七54・K19区包含層出土遺物実測図(1)

#### L 18区

958 gの土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、撚糸文系（無文）、条痕文系、羽状縄文系・関山式で、このうち最も多いのが羽状縄文系・関山式で58.9%、次が撚糸文系（無文）で11.8%、条痕文系で5.8%の順となる。

主な土器を第893図11・12に示した。11は撚糸文系深鉢形土器の胴部破片である。12は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部破片である。

礫類は104点・6,525 g出土している。このうち、98.9%に被熱のあとがみられる。礫石器は1点出土している。

#### L 19区

2,738 gの土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、撚糸文系（無文）、沈線文系、条痕文系、羽状縄文系・関山式、浮島・興津式、前期後葉、阿玉台式で、このうち最も多いのが撚糸文系（無文）で36.6%、次が羽状縄文系・関山式で33.3%、条痕文系で4.3%の順となる。

主な土器を第893図13～26に示した。13・14は撚糸文系深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。15・16は無文深鉢形土器の口縁部および胴部の破片で、胎土中砂礫が器面調整時に移動したことによる擦痕がみられる。18・19は沈線文系深鉢形土器の胴部破片である。17・20～23は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。20は片口をもつ。24は浮島式、25は前期後葉、26は阿玉台式とみられる。

礫類は211点・11,969 g出土している。このうち、93.8%に被熱のあとがみられる。礫石器は1点出土している。

#### L 20区

1,438 gの土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、撚糸文系（無文）、条痕文系、条痕・縄文、羽状縄文系・関山式、称名寺式、堀之内1式、加曾利B式で、このうち最も多いのが条痕文系で27.9%、次が撚糸文系で15%、条痕・縄文で13.9%の順となる。

主な土器を第894図1～12に示した。1～4は撚糸文系深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。5は沈線文系深鉢形土器の口縁部破片である。6は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部破片である。

7は称名寺式、8・9は堀之内1式、10～12は加曾利B式とみられる。

礫類は548点・25,005 g出土している。このうち、96.7%に被熱のあとがみられる。礫石器は5点出土している。

#### L 21区

778 gの土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、撚糸文系（無文）、沈線文系、条痕文系、羽状縄文系・関山式で、このうち最も多いのが撚糸文系で22.9%、次が条痕文系で19.9%、羽状縄文系・関山式で9.9%の順となる。

主な土器を第894図13・14に示した。13は撚糸文系深鉢形土器の口縁部破片である。14は沈線文系深鉢形土器の胴部破片である。

礫類は429点・19,191 g出土している。このうち、99.7%に被熱のあとがみられる。礫石器は2点出土している。

## L 22区

868 gの土器が出土している。うちわけは、撚糸文系・条痕文系・加曾利B式で、このうち最も多いのが撚糸文系で50.2%、次が条痕文系で38.4%、加曾利B式で1.5%の順となる。

主な土器を第894図15～21に示した。15は撚糸文系深鉢形土器の口縁部、16～19は胴部、20は底部の破片である。21は加曾利B式浅鉢形土器の口縁部破片とみられる。

礫類は72点・3,791 g出土している。このうち、89.2%に被熱のあとがみられる。礫石器は1点出土している。

## M 19区

79 gの土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、羽状縄文系・関山式で、比率は羽状縄文系・関山式が55.7%、撚糸文系が19%となる。図示できる土器はなかった。

礫類は17点・859 g出土している。このうち、すべてに被熱のあとがみられる。礫石器の出土はなかった。

## M 20区

52 gの土器が出土している。時期の明らかなものでは、加曾利B式が11.5%ある。図示できる土器はなかった。

礫類は5点・253 g出土している。このうち、すべてに被熱のあとがみられる。礫石器の出土はなかった。

## M 21区

237 gの土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、条痕文系、浮島・興津式、曾谷式で、このうち最も多いのが撚糸文系で70%、次が浮島・興津式で8.9%、曾谷式で4.2%の順となる。

主な土器を第894図22～24に示した。22は条痕文系深鉢形土器の口縁部破片である。23は興津式、24は曾谷式深鉢形土器の口縁部破片とみられる。

礫類は22点・1,637 g出土している。このうち、72.4%に被熱のあとがみられる。礫石器は1点出土している。

## M 22区

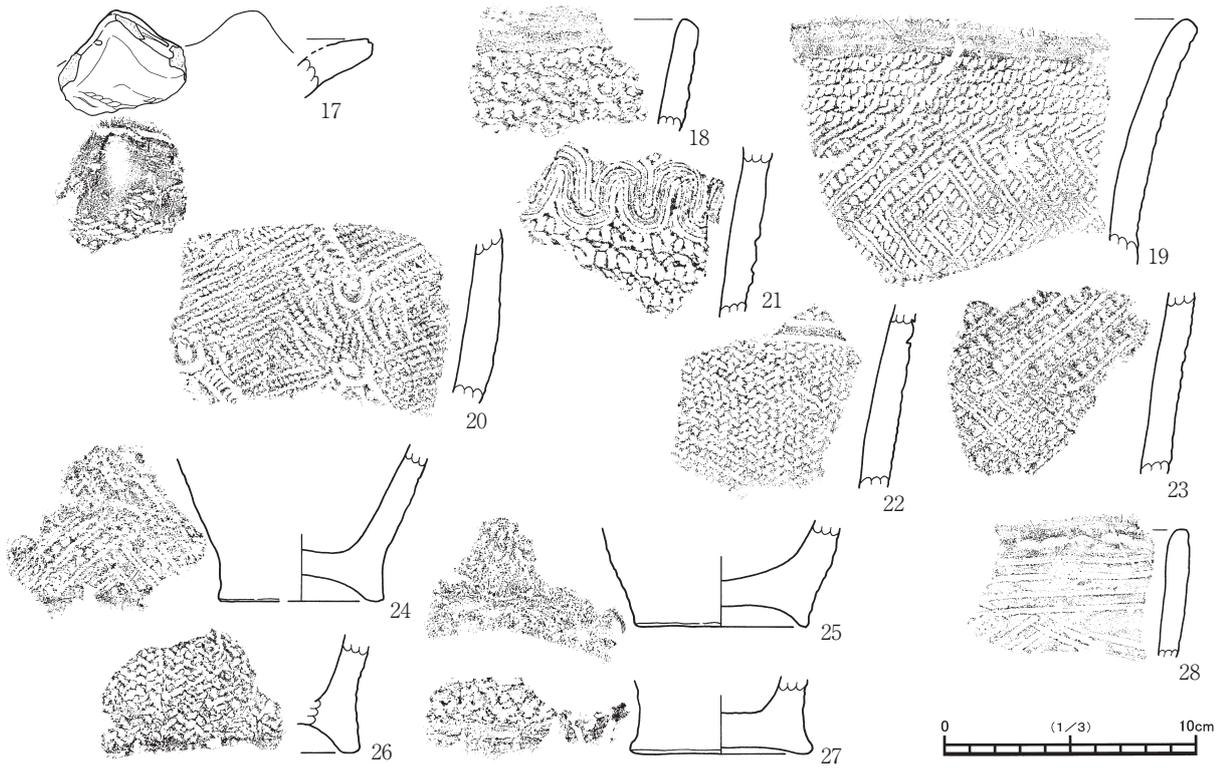
51 gの土器が出土している。時期の明らかなものでは、撚糸文系が25.5%ある。図示できる土器はなかった。

礫類は97点・4948 g出土している。このうち、すべてに被熱のあとがみられる。礫石器の出土はなかった。

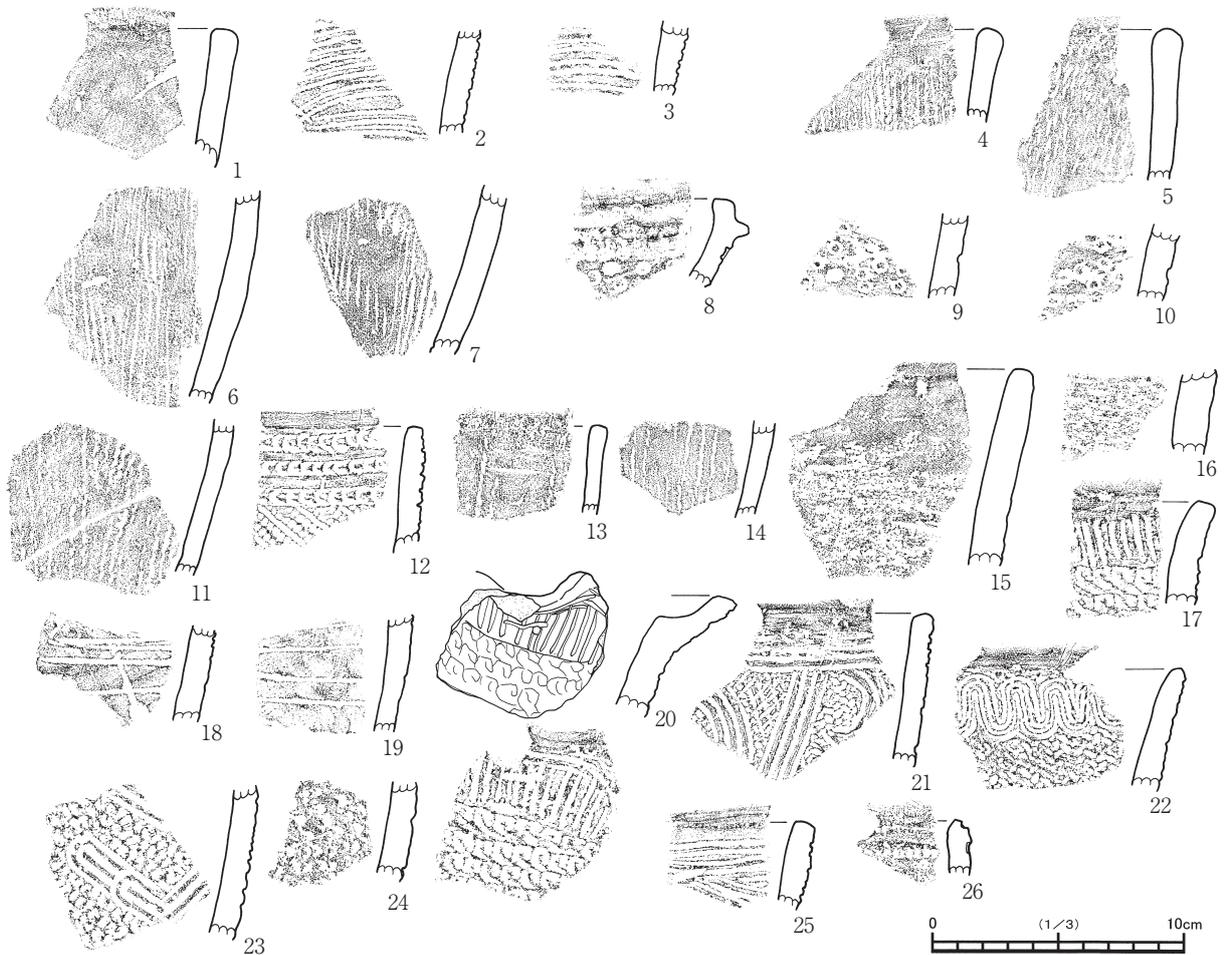
## SW83地区

SW83地区は、大グリッドを40mとし、ここにMH～PKまで18区画が設定され遺物が採集された。QH・PI・NJ・QJ・QKについては遺物は採集されていないので、遺物の採集されている大グリッドはこのうち13区画となる。大グリッド内部は5m単位の小グリッドに区分された。この調査区で、包含層中の遺物が採集されているのは小グリッド68箇所分である。大グリッドごとにそのうちわけを示し、図示した主要土器について記載する。

## MH区



第892図 セ54・K 19区包含層出土遺物実測図(2)



第893図 セ54・K 20、K 21、L 18、L 19区包含層出土遺物実測図

小グリッド4箇所から遺物を採集している。673gの土器が出土している。うちわけは、条痕文系、羽状縄文系・関山式、諸磯式、加曽利B式で、このうち最も多いのが羽状縄文系・関山式で46.1%、次が条痕文系で29.3%、加曽利B式で9.7%の順となる。平面的な分布としては、小グリッドの68・78などに、羽状縄文系・関山式が多くみられる傾向にある。

主な土器を第895図1～6に示した。1は条痕文系深鉢形土器の口縁部破片である。2～5は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。6は諸磯式のものともみられる。

礫類は52点・1,099g出土している。このうち、すべてに被熱のあとがみられる。礫石器の出土はなかった。平面的な分布としては、小グリッドの68・78などに礫の出土が多くみられる。

#### **NH区**

小グリッド16箇所から遺物を採集している。1,579gの土器が出土している。うちわけは、条痕文系、羽状縄文系・関山式、加曽利B式で、このうち最も多いのが加曽利B式で32.7%、次が条痕文系で6%、羽状縄文系・関山式で3.7%の順となる。加曽利B式が比較的多いのがこの区の特徴である。平面的な分布としては、小グリッドの62・72などに、加曽利B式が多くみられる傾向にある。

主な土器を第895図7～9に示した。いずれも加曽利B式粗製深鉢形土器の胴部破片とみられる。

礫類は139点・3,675g出土している。このうち、95.2%に被熱のあとがみられる。礫石器は2点出土している。平面的な分布としては、小グリッドの61・62・65・76などに礫の出土が多くみられる。

#### **OH区**

小グリッド不明扱いとして遺物を採集している。434gの土器が出土している。うちわけは、条痕文系、浮島・興津式、堀之内1式、加曽利B式で、このうち最も多いのが条痕文系で27.4%、次が浮島・興津式で14.1%、加曽利B式で9.7%の順となる。平面的な分布としては、小グリッドの63に、条痕文系が多くみられる傾向にある。

主な土器を第895図10・11に示した。10は興津式深鉢形土器の胴部破片、11は加曽利B式の波状口縁をもつ深鉢形土器の口縁部破片である。

礫類は59点・1,949g出土している。そのほとんどに被熱のあとがみられる。礫石器は1点出土している。平面的な分布としては、小グリッドの62・63などに礫の出土が多くみられる。

#### **PH区**

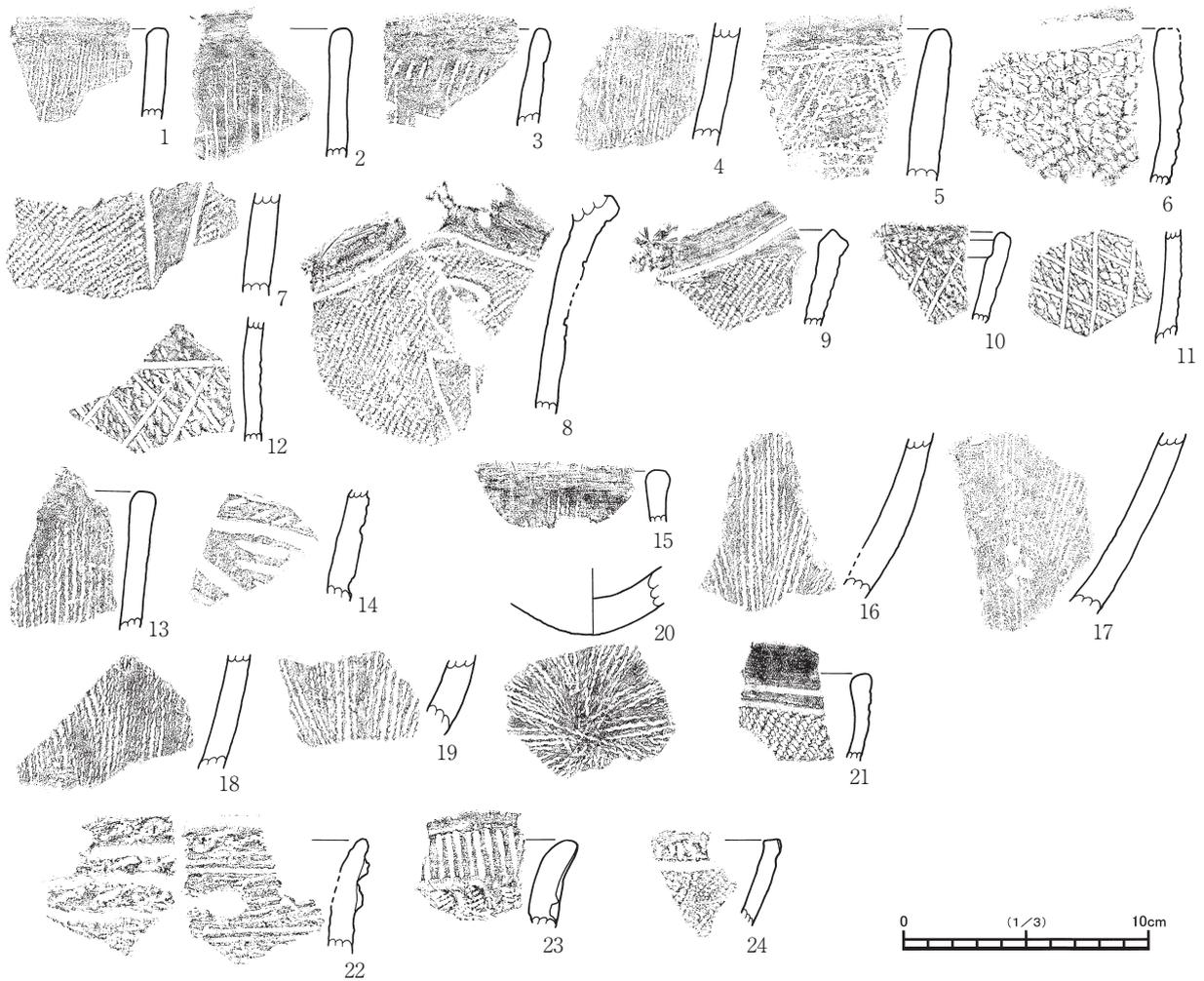
小グリッド不明の一括扱いの土器が214g出土している。うちわけは、浮島・興津式、諸磯式、後期～晩期で、このうち最も多いのが諸磯式で29.9%、次が浮島・興津式で5.1%、後期～晩期で4.2%の順となる。

主な土器を第895図12～15に示した。12～14は諸磯式深鉢形土器の胴部破片とみられる。15は器厚の薄い土器で、口縁下に横位の浅い沈線文をもつ。時期は明確でない。

礫類は1点・33g出土している。被熱のあとがみられる。礫石器の出土はなかった。

#### **MI区**

小グリッド3箇所から遺物を採集している。215gの土器が出土している。うちわけは、条痕文系、羽状縄文系・関山式、加曽利B式で、このうち最も多いのが条痕文系で61.4%、次が羽状縄文系・関山式で33.5%、加曽利B式で5.1%の順となる。平面的な分布としては、小グリッドの08に、条痕文系が多くみられる傾向にある。図示できる土器はなかった。



第894図 セ54・L 20、L 21、L 22、M21区包含層出土遺物実測図

礫類は28点・1,165g 出土している。このうち、すべてに被熱のあとがみられる。礫石器の出土はなかった。平面的な分布としては、小グリッドの08・10などに礫の出土が多くみられる。

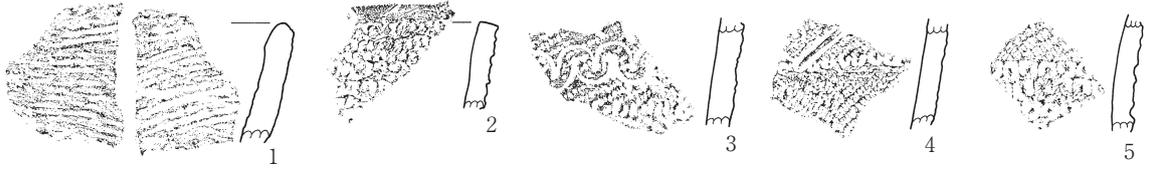
#### N I 区

小グリッド31箇所から遺物を採集している。2,690gの土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、条痕文系、羽状縄文系・関山式、諸磯式、前期後葉、加曾利E式、加曾利B式で、このうち最も多いのが条痕文系で32.3%、次が加曾利B式で28.1%、前期後葉で2.9%の順となる。加曾利B式が比較的多いのがこの区の特徴である。平面的な分布としては、小グリッドの07・18などに、条痕文系が多くみられる傾向にある。

主な土器を第895図16～22に示した。16は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の胴部破片である。17・18は横位・斜位の櫛歯状文を施すもので前期後葉のものとみられる。19は加曾利E式深鉢形土器の胴部破片である。20～22は加曾利B式深鉢形土器の口縁部破片である。

礫類は966点・30,776g 出土している。このうち、95.6%に被熱のあとがみられる。礫石器は7点出土している。平面的な分布としては、小グリッドの04・15・18・28・38などに礫の出土が多くみら

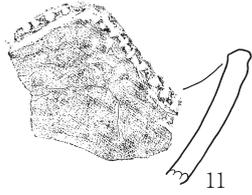
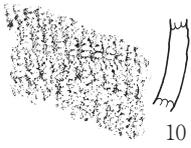
MH区



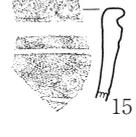
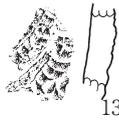
NH区



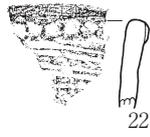
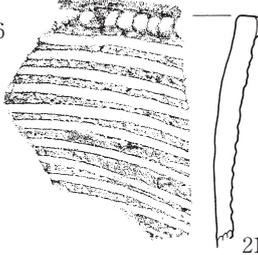
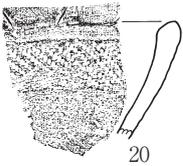
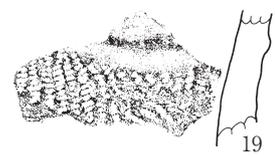
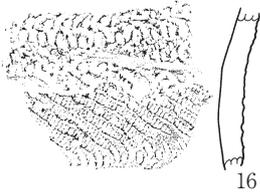
OH区



PH区



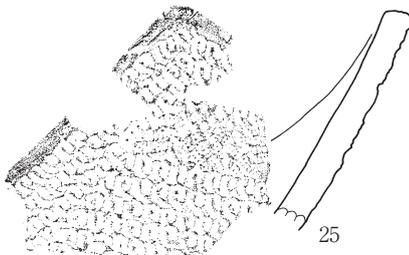
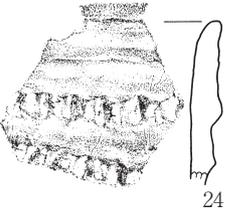
NI区



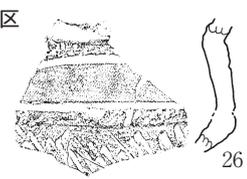
OI区



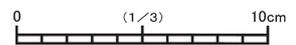
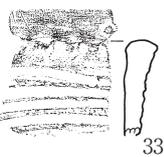
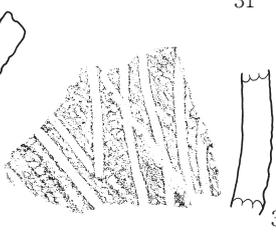
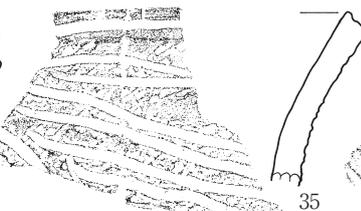
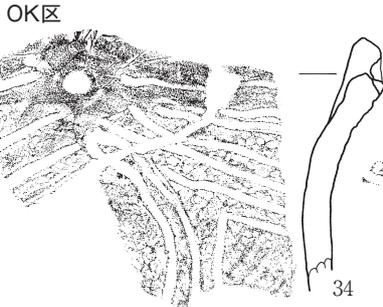
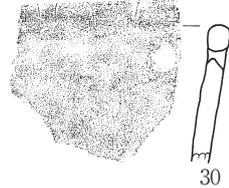
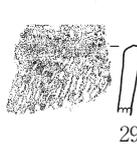
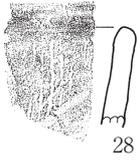
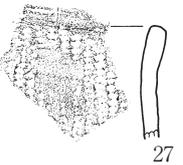
QI区



OJ区



PJ区



第895图 S W83 · 包含層出土遺物実測図

れる。

#### 〇I区

小グリッド8箇所から遺物を採集している。2,562gの土器が出土している。うちわけは、条痕文系、羽状縄文系・関山式、浮島・興津式、加曽利B式、安行式、曾谷式で、このうち最も多いのが条痕文系で50.9%、次が羽状縄文系・関山式で4.8%、加曽利B式で3%の順となる。平面的な分布としては、小グリッドの01・21・31などに、条痕文系が多くみられる傾向にある。

主な土器を第895図23に示した。曾谷式粗製深鉢形土器の口縁部破片である。

礫類は657点・32,396g出土している。このうち、95%に被熱のあとがみられる。礫石器は7点出土している。平面的な分布としては、小グリッドの01・21・31などに礫の出土が多くみられる。

#### QI区

484gの土器が出土している。うちわけは、条痕文系、羽状縄文系・関山式、浮島・興津式、加曽利B式で、このうち最も多いのが加曽利B式で26.9%、次が羽状縄文系・関山式で26.2%、条痕文系で12.4%の順となる。加曽利B式が比較的多いのがこの区の特徴である。

主な土器を第895図24・25に示した。24は浮島式深鉢形土器の口縁部破片である。25は波状口縁をもつ羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部破片である。

礫類は出土していない。

#### 〇J区

538gの土器が出土している。うちわけは、撚糸文系・条痕文系・加曽利B式・安行式で、このうち最も多いのが撚糸文系で24.7%、次が条痕文系で20.3%、加曽利B式で9%の順となる。加曽利B式が比較的多いのがこの区の特徴である。

主な土器を第895図26に示した。加曽利B式深鉢形土器の胴部破片である。

礫類は72点・4,973g出土している。このうち、85.8%に被熱のあとがみられる。礫石器は3点出土している。

#### PJ区

815gの土器が出土している。うちわけは、撚糸文系、条痕文系、羽状縄文系・関山式、浮島・興津式、加曽利B式、堀之内1式で、このうち最も多いのが条痕文系で53.6%、次が加曽利B式で14.6%、撚糸文系で13.9%の順となる。加曽利B式が比較的多いのがこの区の特徴である。

主な土器を第895図27～33に示した。27～30は撚糸文系深鉢形土器の口縁部破片である。31は条痕文系深鉢形土器の口縁部破片である。32は堀之内1式、33は加曽利B式深鉢形土器の口縁部破片である。

礫類は87点・5,976g出土している。このうち、98.1%に被熱のあとがみられる。礫石器は1点出土している。

#### NK区

26gの土器が出土しているが時期が不明で、図示できる土器はなかった。

礫類は120点・6,335g出土している。このうち、すべてに被熱のあとがみられる。礫石器の出土はなかった。

#### OK区

597 g の土器が出土している。うちわけは、条痕文系、堀之内 1 式で、その比率は堀之内 1 式が 96.1%、条痕文系が 3.9% となる。堀之内 1 式が多いのがこの区の特徴である。

主な土器を第 895 図 34～36 に示した。いずれも堀之内 1 式深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。礫類は出土していない。

#### **PK 区**

74 g の土器が出土している。このうち撚糸文系のものが 24.3% あるが、図示できる土器はなかった。礫類は出土していない。





表44 つづき

調査区	大サリット	重量(g)	割合(%)	調査文系 (種文)	割合(%)	調査文系 (種文)	割合(%)	法線文系		桑葉文系		羽化種文系		清島・興津	諸磯	前開後葉	前開末～ 中開初頃	その他		不明	上層土器 土師	須臾器	備考		
								重量(g)	割合(%)	重量(g)	割合(%)	重量(g)	割合(%)					重量(g)	割合(%)					重量(g)	割合(%)
セ73	C2	計																							
		296	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	6
セ73	C3	計																							
		1776	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	39
セ73	D2	計																							
		2346	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	33
セ73	D3	計																							
		449	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
セ73	D4	計																							
		1501	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	6
セ73	E4	計																							
		23146	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	4
セ73	E5	計																							
		1174	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	6
セ28	B6	計																							
		37984	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	8
セ28	B7	計																							
		2197	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	8
セ28	C7	計																							
		10805	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	4
セ28	C8	計																							
		6086	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	6
セ28	D8	計																							
		29302	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	13
セ28	D10	計																							
		133087	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	9
セ28	E8	計																							
		6946	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	12
セ28	F13	計																							
		8913	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	13
セ28	G8	計																							
		2229	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	15
セ28	G9	計																							
		11126	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	18
セ28	G10	計																							
		14923	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	8
セ28	G11	計																							
		47791	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	31
セ28	G11-H	計																							
		2046	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	84
セ28	G12	計																							
		2389	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	33
セ28	G13	計																							
		17163	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	71
セ28	G14	計																							
		18226	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	216
セ28	G15	計																							
		1234	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	8
セ28	G16	計																							
		380	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	5
セ28	G17	計																							
		2369	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	115
セ28	G19	計																							
		170	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	88
セ28	H2	計																							
		391	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	11
セ28	H6	計																							
		9	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	434
セ28	H7	計																							
		1468	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	11
セ28	H8	計																							
		4548	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	375
セ28	H9	計																							
		84607	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	5
セ28		計																							
		84527	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	8

表44 つづき

調査区	大サリット	重量(g)	動物文系		植物文系(雑文)		法蘭文系		桑葉文系		羽化種文系		清島・興津		諸磯		前開後葉		前開末～ 中開初葉		その他		不明		上層土器		備考
			重量(g)	割合(%)	重量(g)	割合(%)	重量(g)	割合(%)	重量(g)	割合(%)	重量(g)	割合(%)	重量(g)	割合(%)	重量(g)	割合(%)	重量(g)	割合(%)	重量(g)	割合(%)	重量(g)	割合(%)	重量(g)	割合(%)	重量(g)	割合(%)	
セ28	H10	計	642	0%	273	42	2302	11	11	0%	0%	2302	11	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	273	533	79	778		
		54623	1.2%	0%	0.5%	0.1%	4.2%	0%	0%	0%	0%	4.2%	0%	0.02%	0.02%	0%	0%	0%	0%	0%	0.5%	1.0%	1.0%	778			
セ28	H11	計	396	0%	34223	45	1035	45	24	0%	0%	1035	45	0.02%	0.1%	0%	0%	0%	0%	0%	127	323	148	205			
		36173	1.1%	0%	0.1%	0%	2.9%	0%	0%	0%	0%	2.9%	0%	0.1%	0.1%	0%	0%	0%	0%	0%	127	323	148	205			
セ28	H12	計	91	0%	26024	0%	2661	30	30	0%	0%	2661	30	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	94	1268	52	58			
		30217	0.3%	0%	0%	0%	8.8%	0%	0%	0%	0%	8.8%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	94	1268	52	58			
セ28	H13	計	236	0%	34727	41	10187	39	94	0%	0%	10187	39	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1100	2920	167	883			
		49118	0.5%	0%	0.1%	0%	20.7%	0%	0%	0%	0%	20.7%	0%	0%	0.2%	0.2%	0%	0%	0%	0%	1100	2920	167	883			
セ28	H14	計	175	0%	3320	21	6012	246	236	0%	0%	6012	246	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	50	1408	343	24			
		16515	1.7%	0%	0.1%	0%	63.0%	0%	0%	0%	0%	63.0%	0%	1.5%	1.4%	0%	0%	0%	0%	0%	50	1408	343	24			
セ28	H15	計	322	0%	1673	0%	3368	47	291	0%	0%	3368	47	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	130	1095	22	198			
		7342	4.5%	0%	0%	0%	45.9%	0%	0%	0%	0%	45.9%	0%	5.1%	0.6%	4.0%	0%	0%	0%	0%	130	1095	22	198			
セ28	H16	計	41	0%	1243	0%	439	63	63	0%	0%	439	63	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0	153	12	12			
		2041	2.0%	0%	0%	0%	21.5%	0%	0%	0%	0%	21.5%	0%	3.1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0	153	12	12			
セ28	H17	計	40	0%	990	53	2470	98	115	0%	0%	2470	98	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	97	414	15	15			
		4651	0.9%	0%	0%	1.1%	53.1%	0%	0%	0%	0%	53.1%	0%	2.1%	2.5%	3.3%	0%	0%	0%	2.1%	97	414	15	15			
セ28	H18	計	17	0%	100	0%	175	60	60	0%	0%	175	60	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	212	212	0	0			
		579	2.9%	0%	0%	0%	30.2%	0%	0%	0%	0%	30.2%	0%	10.4%	0%	2.6%	0%	0%	0%	0%	212	212	0	0			
セ28	15	計	12	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	12	12	0	0			
		12	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	12	12	0	0			
セ28	16	計	184	0%	30089	66	110	33	33	0%	0%	110	33	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	240	198	508	434			
		31126	0.6%	0%	0.5%	0.2%	0.4%	0%	0%	0%	0.4%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	240	198	508	434			
セ28	17	計	145	0%	11530	55	454	0%	0%	0%	0%	454	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	218	176	6	517			
		12578	1.2%	0%	0.4%	0%	3.6%	0%	0%	0%	3.6%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	218	176	6	517			
セ28	18	計	443	0%	16783	31	969	0%	0%	0%	0%	969	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	532	745	16	516			
		19303	2.3%	0%	0.2%	0%	5.0%	0%	0%	0%	5.0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	532	745	16	516			
セ28	19	計	539	0%	26965	97	740	0%	0%	0%	0%	740	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	333	581	82	365			
		29477	1.8%	0%	0.3%	0%	5.0%	0%	0%	0%	5.0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	333	581	82	365			
セ28	110	計	967	0%	81177	121	564	0%	0%	0%	0%	564	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	699	1225	218	1155			
		85779	1.1%	0%	0.3%	0%	117	186	117	0%	0%	117	186	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	699	1225	218	1155			
セ28	111	計	503	0%	49559	17	417	0%	0%	0%	0%	417	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	355	1724	111	831			
		48507	1.0%	0%	0.04%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	355	1724	111	831			
セ28	112	計	665	0%	75989	0%	1976	269	110	0%	0%	1976	269	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	359	2681	163	1816			
		82654	0.8%	0%	0%	0%	2.4%	0%	0%	0%	2.4%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	359	2681	163	1816			
セ28	113	計	1229	0%	58502	69	6539	74	4	0%	0%	6539	74	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	258	1764	115	694			
		70299	1.7%	0%	0.1%	0%	9.3%	0%	0%	0%	9.3%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	258	1764	115	694			
セ28	114	計	1200	0%	17015	28	9103	106	332	0%	0%	9103	106	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	163	521	81	776			
		33740	3.6%	0%	0.1%	0%	27.0%	0%	0%	0%	27.0%	0%	0%	1.0%	0.4%	0.3%	0%	0%	0%	0%	163	521	81	776			
セ28	115	計	125	0%	868	0%	4973	596	348	0%	0%	4973	596	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	27	1862	126	126			
		9789	1.3%	0%	0.5%	0%	50.8%	0%	0%	0%	50.8%	0%	0%	7.5%	6.1%	3.6%	0%	0%	0%	0%	27	1862	126	126			
セ28	116	計	2072	0%	1920	58	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0	94	94	111			
		2072	0%	0%	2.8%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0	94	94	111			
セ28	117	計	37	0%	1542	0%	182	0%	0%	0%	182	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	29	51	35	35			
		1851	2.0%	0%	0%	0%	10.4%	0%	0%	0%	10.4%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	29	51	35	35			
セ28	118	計	240	0%	9008	0%	664	0%	0%	0%	664	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	91	529	115	115			
		10532	2.3%	0%	0%	0%	6.3%	0%	0%	0%	6.3%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	91	529	115	115			
セ28	119	計	1140	0%	46315	51	775	17	41	0%	0%	775	17	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	358	585	336	701			
		49319	2.3%	0%	0.1%	0%	1.6%	0%	0%	0%	1.6%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	358	585	336	701			
セ28	110	計	629	0%	38769	183	1676	29	151	0%	0%	1676	29	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	438	912	1582	1582			
		42861	1.5%	0%	0%	0%	3.9%	0%	0%	0%	3.9%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	438	912	1582	1582			
セ28	111	計	232	0%	2465	0%	711	355	367	0%	0%	711	355	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	322	1565	1339	165			
		28335	0.9%	0%	0%	0%	2.6%	0%	0%	0%	2.6%	0%	0%	1.3%	1.3%	0.3%	0%	0%	0%	0%	322	1565	1339	165			
セ28	112	計	184	0%	2432	184	902	113	74	0%	0%	902	113	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	14	853	28	1636			
		25584	0.7%	0%	0%	0%	3.5%	0%	0%	0%	3.5%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	14	853	28	1636			
セ28	113	計	563	0%	12158	26	362	340	106	0%	0%	362	340	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	149	1148	7	1211			
		15194	3.7%	0%	0.2%	0%	2.4%	0%	0%	0%	2.4%	0%	0%	2.2%	0.7%	2.2%	0%										

表44 つづき

調査区	大サリット	重量 (g)	動物文系		植物文系		法線文系		藻類・細菌		浮島・藻津		諸磯		前期後葉		前期末～中期初葉		その他		不明		上層土器		備考
			重量 (g)	重量 (%)	重量 (g)	重量 (%)	重量 (g)	重量 (%)	重量 (g)	重量 (%)	重量 (g)	重量 (%)													
セ28	K9	計	414	0%	22475	56	0%	68	0%	614	10	0%	10	0%	0%	0%	0%	0%	111	0%	337	10	466	6	
			24085	1.7%	93.3%	0.2%	0%	0.3%	0%	2.5%	0%	0.04%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0.5%	0%	1.4%	10	466	6	
セ28	K10	計	488	0%	19279	23	0%	1521	0%	1521	0%	0%	20	0%	0%	0%	0%	263	0%	453	781	781	781	6	
			22057	2.3%	87.4%	0.1%	0%	0%	0%	6.9%	0%	0%	0%	0.1%	0%	0%	0%	0%	1.2%	0%	2.1%	10	466	6	
セ28	K10・K11	計	321	0%	247	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	28	0%	46	46	46	6	
			76.9%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	8.7%	0%	14.3%	10	466	6	
セ28	K11	計	1051	0%	1051	0%	0%	83	0%	83	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	55	0%	23	23	23	8	
			86.0%	0%	0%	0%	7.6%	0%	7.6%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	4.5%	0%	1.9%	23	23	8		
セ28	K12	計	1023	0%	1023	0%	0%	28	0%	28	0%	31	0%	24	0%	104	0%	43	0%	186	186	186	186	8	
			68.7%	0%	0%	0%	1.9%	0%	1.9%	0%	2.1%	0%	5.0%	7.0%	2.9%	0%	2.9%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	15	
セ28	K13	計	540	0%	540	0%	0%	44	0%	44	0%	14	0%	7	0%	7	0%	0%	0%	0%	0%	68	68	15	
			85.9%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2.2%	0%	0%	1.1%	0%	1.1%	0%	0%	0%	0%	10.8%	15	15		
セ28	K14	計	2352	0%	2352	22	0%	44	0%	44	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	21	0%	40	40	17		
			94.9%	0%	0%	0%	1.8%	0%	1.8%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0.8%	0%	1.6%	17	17	17		
セ28	L9	計	46	0%	5720	183	0%	183	0%	183	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	38	0%	96	96	62		
			0.8%	0%	0%	0%	3.0%	0%	3.0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0.6%	0%	1.6%	62	62	62		
セ28	L10	計	321	0%	13296	15	0%	15	0%	15	0%	5	0%	6	0%	48	0%	0%	55	0%	919	5	123		
			2.0%	0%	0%	0%	8.4%	0%	8.4%	0%	0.03%	0%	0.04%	0.3%	0%	0%	0%	0.3%	0%	5.7%	123	123	123		
セ28	出土地点不明分	計	420	0%	16453	3652	0%	3652	0%	3652	0%	148	0%	136	0%	101	0%	97	202	1972	2214	11	11		
			1.8%	0%	0%	0%	15.8%	0%	15.8%	0%	0.6%	0%	0.6%	0.4%	0%	0.4%	0%	0.4%	0%	8.5%	11	11	11		
セ54	G19	計	117	0%	37	80	0%	80	0%	80	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	12		
			0%	0%	31.6%	0%	68.4%	0%	68.4%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	12		
セ54	G20	計	2734	0.3%	29	2583	0%	2583	0%	2583	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100	0%	20	20	3		
			0.9%	0%	0%	0%	94.5%	0%	94.5%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	3.7%	0%	0.7%	20	3		
セ54	G21	計	424	0%	20	385	0%	385	0%	385	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	19	19	5		
			6.9%	0%	0%	0%	31.6%	0%	31.6%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	4.5%	5	5		
セ54	H16	計	17	0%	69	74	0%	74	0%	74	0%	19	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	52	52	4		
			0%	0%	15.4%	0%	16.6%	0%	16.6%	0%	4.3%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	21.1%	4	4		
セ54	H17	計	22	0%	27	15	0%	15	0%	15	0%	30	0%	0%	0%	0%	0%	0%	71	0%	139	15	15		
			5.6%	0%	6.9%	0%	3.8%	0%	3.8%	0%	7.6%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	18.0%	0%	35.3%	20	20	15		
セ54	H19	計	154	0%	228	1156	0%	1156	0%	1156	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	31	0%	193	14	14		
			11.0%	0%	12.9%	0%	65.7%	0%	65.7%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1.7%	0%	10.9%	14	14	14		
セ54	H20	計	1772	8.7%	45	136	0%	427	0%	427	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	25	25	4		
			0%	0%	7.1%	21.5%	0%	67.5%	0%	67.5%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	3.9%	4	4		
セ54	H21	計	633	0%	14	111	0%	111	0%	111	0%	12	0%	0%	0%	0%	0%	0%	42	0%	201	113	113		
			0%	0%	4.2%	3.3%	0%	4.7%	0%	4.7%	0%	3.6%	0%	0%	0%	0%	0%	12.5%	0%	59.6%	113	113	113		
セ54	H22	計	337	12.2%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	3	3	3		
			0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100.0%	3	3	3		
セ54	I 12	計	3	0%	1156	0%	1156	0%	1156	0%	1156	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	18	18	18		
			0%	0%	98.5%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1.5%	18	18		
セ54	I 13	計	1174	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	23	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	16	16	27		
			0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	59.0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	41.0%	16	27		
セ54	I 15	計	39	0%	45	0%	45	0%	45	0%	352	0%	165	29	17	65	462	0%	86	0%	462	10	10		
			6.7%	0%	3.4%	0%	26.9%	0%	26.9%	0%	12.6%	0%	2.2%	1.3%	1.3%	5.0%	0%	6.6%	0%	35.3%	10	10			
セ54	I 16	計	1308	6.7%	632	3503	0%	3503	0%	3503	0%	252	0%	274	508	47	2366	0%	153	0%	2366	18	18		
			2.5%	5.7%	0%	7.5%	0%	41.6%	0%	41.6%	0%	3.0%	0%	3.3%	6.0%	0.5%	1.8%	0%	28.1%	18	18	18			
セ54	I 17	計	8421	25.5%	29	37	0%	37	0%	37	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	349	349	349		
			11.6%	4.0%	0%	5.1%	0%	5.1%	0%	5.1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	48.3%	349	349	349		
セ54	I 18	計	722	11.6%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
			8.6%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	21.5%	0%	0%	0%		
セ54	I 19	計	1343	8.6%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	33	33	33		
			8.0%	4.1%	0%	17.5%	0%	17.5%	0%	17.5%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	3.0%	33	33	33		
セ54	I 20	計	89	0%	87	29	0%	29	0%	29	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
			0%	0%	54.4%	18.1%	0%	27.5%	0%	27.5%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
セ54	I 21	計	160	0%	203	26	0%	26	0%	26	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
			0%	0%	3.6%	7.2%	0%	3.6%	0%	3.6%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
セ54	J 17	計	363	0%	601	471	0%	471	0%	471	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	173	173	4		
			14.2%	16.7%	0%	33.4%	0%	26.2%	0%	26.2%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	9.6%	4	4	4		
セ54	J 18	計	1800	14.2%	45	16	0%	16	0%	16	0%	12	0%	7	0%	7	0%	0%	23	0%	160	160	9		
			12.2%	16.8%	0%	3.3%	0%	3.3%	0%	3.3%	0%	0.9%	0%	0.5%	0%	0.5%	0%	1.7%	0%	11.6%	9	9	9		
セ54	J 19	計	1377	12.2%	14	176	0%	176	0%	176	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	45	45	11		



表46 包含層出土礫集計 (大グリッド別)

調査区	大グリッド	合計		被熱						無被熱自然礫			礫石器		
		点数	重量 (g)	点数	重量 (g)	比率	点数	重量 (g)	比率	点数	重量 (g)	比率	点数	重量 (g)	比率
064	1A	117	6,319	32	1,973	31.2%	81	3,947	62.5%	0	0	0.0%	4	399	6.3%
064	1B	1,285	44,674	414	17,651	39.5%	852	24,504	54.9%	4	562	1.3%	15	1,957	4.4%
064	1C	765	34,846	413	18,046	51.8%	331	13,273	38.1%	6	1,146	3.3%	15	2,381	6.8%
064	2A	92	3,154	44	1,447	45.9%	47	1,594	50.5%	0	0	0.0%	1	113	3.6%
064	2B	4,655	153,786	1,565	56,172	36.5%	3,064	92,642	60.2%	0	0	0.0%	26	4,972	3.2%
064	2C	3,810	148,378	1,354	55,822	37.6%	2,405	81,808	55.1%	2	126	0.1%	49	10,622	7.2%
064	3B	1,865	59,721	572	22,645	37.9%	1,268	35,084	58.7%	1	31	0.1%	24	1,961	3.3%
064	3C	6	658	5	577	87.7%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	1	81	12.3%
099	1C	91	5,423	21	1,376	25.4%	68	3,285	60.6%	0	0	0.0%	2	762	14.1%
099	G D	267	10,227	51	3,083	30.1%	214	6,539	63.9%	0	0	0.0%	2	605	5.9%
099	H D	787	34,390	240	11,350	33.0%	537	21,469	62.4%	2	162	0.5%	8	1,409	4.1%
099	I D	365	18,726	111	5,998	32.0%	244	11,375	60.7%	0	0	0.0%	10	1,353	7.2%
099	J D	113	4,929	26	1,119	22.7%	84	3,544	71.9%	0	0	0.0%	3	266	5.4%
099	K D	1	85	0	0	0.0%	1	85	100.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%
099	E E	406	21,223	109	7,393	34.8%	285	12,710	59.9%	1	86	0.4%	11	1,034	4.9%
099	F E	343	16,995	78	5,337	31.4%	262	11,413	67.2%	0	0	0.0%	3	245	1.4%
099	G E	1,752	42,825	183	10,118	23.6%	1,548	30,609	71.5%	14	470	1.1%	7	1,628	3.8%
099	H E	401	26,481	103	7,729	29.2%	288	15,761	59.5%	0	0	0.0%	10	2,991	11.3%
099	I E	262	15,167	73	4,834	31.9%	185	9,843	64.9%	0	0	0.0%	4	490	3.2%
099	J E	215	12,187	50	2,854	23.4%	160	8,174	67.1%	1	128	1.1%	4	1,031	8.5%
099	K E	194	7,160	38	1,730	24.2%	153	4,828	67.4%	1	38	0.5%	2	564	7.9%
099	L E	25	1,362	10	324	23.8%	15	1,038	76.2%	0	0	0.0%	0	0	0.0%
099	E F	634	33,439	200	12,060	36.1%	428	20,183	60.4%	1	68	0.2%	5	1,128	3.4%
099	F F	1,346	58,460	323	18,337	31.4%	1,007	36,410	62.3%	1	138	0.2%	15	3,575	6.1%
099	G F	5,630	196,567	838	52,636	26.8%	4,751	134,560	68.5%	5	319	0.2%	36	9,052	4.6%
099	H F	313	22,270	106	7,982	35.8%	197	12,380	55.6%	2	139	0.6%	8	1,769	7.9%
099	I F	173	10,737	40	2,563	23.9%	129	7,286	67.9%	1	43	0.4%	3	845	7.9%
099	J F	1,293	61,905	394	19,584	31.6%	885	40,267	65.0%	3	318	0.5%	11	1,736	2.8%
099	K F	152	8,707	54	4,018	46.1%	95	3,955	45.4%	0	0	0.0%	3	734	8.4%
099	L F	1,135	50,331	291	12,693	25.2%	822	33,362	66.3%	0	0	0.0%	22	4,276	8.5%
099	M F	1,034	44,426	307	14,155	31.9%	711	27,385	61.6%	5	404	0.9%	11	2,482	5.6%
099	N F	86	5,985	18	824	13.8%	66	4,729	79.0%	0	0	0.0%	2	432	7.2%
099	O F	309	19,491	61	3,753	19.3%	244	14,950	76.7%	0	0	0.0%	4	788	4.0%
099	G G	2,562	120,647	581	32,491	26.9%	1,947	80,022	66.3%	8	1,351	1.1%	26	6,783	5.6%
099	H G	418	28,443	84	5,851	20.6%	320	17,912	63.0%	0	0	0.0%	14	4,680	16.5%
099	I G	475	23,357	2	188	0.8%	168	7,742	33.1%	291	11,742	50.3%	14	3,685	15.8%
099	J G	462	20,776	121	5,541	26.7%	333	13,699	65.9%	0	0	0.0%	8	1,536	7.4%
099	K G	7	704	2	50	7.1%	5	654	92.9%	0	0	0.0%	0	0	0.0%
099	L G	294	14,621	84	5,025	34.4%	205	8,492	58.1%	1	58	0.4%	4	1,046	7.2%
099	M G	2,390	109,137	630	31,163	28.6%	1,748	76,153	69.8%	1	50	0.0%	11	1,771	1.6%
099	N G	137	10,067	28	1,771	17.6%	106	5,790	57.5%	0	0	0.0%	3	2,506	24.9%
099	O G	492	30,162	137	7,964	26.4%	343	18,646	61.8%	1	349	1.2%	11	3,203	10.6%
099	P G	121	8,897	32	2,494	28.0%	83	4,284	48.2%	0	0	0.0%	6	2,119	23.8%
099	Q G	113	6,778	28	1,896	28.0%	84	4,504	66.5%	0	0	0.0%	1	378	5.6%
099	G H	366	18,792	69	4,087	21.7%	289	13,437	71.5%	2	3	0.0%	6	1,265	6.7%
099	H H	209	12,365	54	3,483	28.2%	152	8,012	64.8%	0	0	0.0%	3	870	7.0%
099	I H	80	11,222	32	1,315	11.7%	46	2,601	23.2%	0	0	0.0%	2	7,306	65.1%
099	J H	21	871	5	215	24.7%	16	656	75.3%	0	0	0.0%	0	0	0.0%
099	M H	33	2,314	11	1,024	44.3%	22	1,290	55.7%	0	0	0.0%	0	0	0.0%
099	N H	19	1,082	7	398	36.8%	11	524	48.4%	1	160	14.8%	0	0	0.0%
099	O H	473	30,420	97	6,124	20.1%	374	23,988	78.9%	0	0	0.0%	2	308	1.0%
099	P H	592	33,679	149	9,084	27.0%	436	23,512	69.8%	1	27	0.1%	6	1,056	3.1%
099	Q H	50	3,323	19	1,018	30.6%	28	1,876	56.5%	1	25	0.8%	2	404	12.2%
セ72	1A	280	14,103	60	3,601	25.5%	219	10,343	73.3%	0	0	0.0%	1	159	1.1%
セ72	1B	453	26,376	133	7,512	28.5%	316	17,677	67.0%	0	0	0.0%	4	1,187	4.5%
セ72	1C	973	51,687	336	20,592	39.8%	624	28,331	54.8%	3	286	0.6%	10	2,478	4.8%
セ72	2A	1,404	71,750	373	21,242	29.6%	1,020	47,416	66.1%	0	0	0.0%	11	3,092	4.3%
セ72	2B	2,064	117,600	524	32,510	27.6%	1,508	78,532	66.8%	1	109	0.1%	31	6,449	5.5%
セ72	2C	94	7,502	21	1,684	22.4%	73	5,818	77.6%	0	0	0.0%	0	0	0.0%
セ72	3A	3,428	141,054	684	43,644	30.9%	2,712	91,199	64.7%	0	0	0.0%	32	6,211	4.4%
セ72	3B	937	46,874	247	15,051	32.1%	676	29,774	63.5%	1	74	0.2%	13	1,975	4.2%
セ72	4A	182	10,813	47	2,744	25.4%	126	6,417	59.3%	0	0	0.0%	9	1,652	15.3%
セ72	4B	68	2,693	13	498	18.5%	53	1,395	51.8%	0	0	0.0%	2	800	29.7%
セ73	C3	4	1,407			0.0%	4	1,407	100.0%			0.0%			0.0%
セ73	D2	1	47			0.0%			0.0%			0.0%	1	47	100.0%
セ73	D3	1	12	1	12	100.0%			0.0%			0.0%			0.0%
セ73	D4	50	4,149	18	950	22.9%	24	1,873	45.1%			0.0%	8	1,326	32.0%
セ73	D14	2	92	1	5	5.4%			0.0%			0.0%	1	87	94.6%
セ73	E4	5	178	2	25	14.0%			0.0%			0.0%	3	153	86.0%
セ73	E5	5	678	2	166	24.5%	2	395	58.3%			0.0%	1	117	17.3%
セ73	E14	5	55	5	55	100.0%			0.0%			0.0%			0.0%
セ28	B-6	11	1,657	4	660	39.8%	3	230	13.9%	3	450	27.2%	1	317	19.1%
セ28	B-7	22	2,720	9	1,325	48.7%	10	1,075	39.5%	3	320	11.8%			0.0%
セ28	C-7	28	4,370	12	2,330	53.3%	16	2,040	46.7%			0.0%			0.0%
セ28	C-8	36	5,891	11	1,450	24.6%	19	2,520	42.8%			0.0%	6	1,921	32.6%
セ28	D-8	290	26,058	92	8,395	32.2%	173	11,725	45.0%	11	1,330	5.1%	14	4,608	17.7%
セ28	D-10	26	3,677	6	980	26.7%	17	2,010	54.7%			0.0%	3	687	18.7%
セ28	E-8	74	5,662	24	2,190	38.7%	44	2,440	43.1%	2	240	4.2%	4	792	14.0%
セ28	F-13	2	90			0.0%	2	90	100.0%			0.0%			0.0%
セ28	G-8	97	10,015	27	3,540	35.3%	51	4,310	43.0%	16	2,030	20.3%	3	135	1.3%
セ28	G-9	192	27,733	44	5,845	21.1%	127	17,610	63.5%	9	1,180	4.3%	12	3,098	11.2%
セ28	G-10	45	2,780	8	530	19.1%	35	2,130	76.6%	2	120	4.3%			0.0%
セ28	G-10~H-10	215	14,929	55	4,540	30.4%	148	9,030	60.5%	9	690	4.6%	3	669	4.5%
セ28	G-11	41	3,520	12	1,090	31.0%	29	2,430	69.0%			0.0%			0.0%
セ28	G-11, H-11	7	1,341			0.0%	3	350	26.1%	1	180	13.4%	3	811	60.5%
セ28	G-12	76	8,706	23	3,220	37.0%	46	4,165	47.8%			0.0%	7	1,321	15.2%
セ28	G-13	110	18,174	32	4,715	25.9%	67	7,860	43.2%	3	350	1.9%	8	5,249	28.9%
セ28	G-14	48	2,423	19	800	33.0%	28	1,420	58.6%			0.0%	1	203	8.4%
セ28	G-15	121	6,965	60	3,970	57.0%	61	2,995	43.0%			0.0%			0.0%
セ28	G-16	6	260	2	60	23.1%	4	200	76.9%			0.0%			0.0%
セ28	G-17	28	2,620	6	1,090	41.6%	22	1,530	58.4%			0.0%			0.0%
セ28	G-18	14	1,967	5	510	25.9%									

表46 つづき

調査区	大グリッド	合計		被熱						無被熱自然曝			曝石器		
				赤色化			黒・灰色化			点数	重量 (g)	比率	点数	重量 (g)	比率
		点数	重量 (g)	比率	点数	重量 (g)	比率								
セ28	H-11	648	52.324	193	16.360	31.3%	417	28.648	54.8%	17	1,960	3.7%	21	5,356	10.2%
セ28	H-12	1,677	71.941	517	27.420	38.1%	1,123	41.460	57.6%	31	1,910	2.7%	6	1,151	1.6%
セ28	H-13	1,448	72.780	377	25.255	34.7%	1,042	42.490	58.4%	13	1,005	1.4%	16	4,030	5.5%
セ28	H-14	479	26.652	94	7.180	26.9%	372	17.130	64.3%	5	570	2.1%	8	1,772	6.6%
セ28	H-15	880	49.374	330	20.500	41.5%	546	28.280	57.3%	1	50	0.1%	3	544	1.1%
セ28	H-16	292	12.818	78	3.800	29.6%	209	7.990	62.3%	1	30	0.2%	4	998	7.8%
セ28	H-17	125	8.300	55	3.680	44.3%	70	4.620	55.7%			0.0%			0.0%
セ28	H-18	69	4.055	30	2.160	53.3%	38	1.890	46.6%			0.0%	1	5	0.1%
セ28	H-19	227	12.270	120	6.600	53.8%	107	5.670	46.2%			0.0%			0.0%
セ28	I-5	13	487	10	350	71.9%	2	120	24.6%			0.0%	1	17	3.5%
セ28	I-6	1,428	106.432	602	48.380	45.5%	387	23.610	22.2%	416	30,600	28.8%	23	3,842	3.6%
セ28	I-7	3,778	169.571	1,459	74.720	44.1%	1,787	68.840	40.6%	514	22,940	13.5%	18	3,071	1.8%
セ28	I-8	1,464	100.366	505	35.924	35.8%	808	50.530	50.3%	125	9,320	9.3%	26	4,592	4.6%
セ28	I-9	2,614	138.670	544	39.910	28.8%	1,950	88.910	64.1%	98	5,990	4.3%	22	3,860	2.8%
セ28	I-10	2,488	137.531	520	35.600	25.9%	1,874	88.670	64.5%	53	3,555	2.6%	41	9,706	7.1%
セ28	I-11	767	54.763	188	15.045	27.5%	542	33.250	60.7%	19	2,590	4.7%	18	3,878	7.1%
セ28	I-12	2,145	136.470	627	45.750	33.5%	1,443	81.775	59.9%	43	2,530	1.9%	32	6,415	4.7%
セ28	I-13	651	51.491	201	19.380	37.6%	426	28.352	55.1%	14	1,425	2.8%	10	2,334	4.5%
セ28	I-14	1,110	61.598	428	25.680	41.7%	667	32.970	53.5%	4	470	0.8%	11	2,478	4.0%
セ28	I-15	854	32.689	216	10.065	30.8%	625	20.910	64.0%	8	360	1.1%	5	1,354	4.1%
セ28	J-6	442	22.833	189	10.550	46.2%	78	4.130	18.1%	170	7,520	32.9%	5	633	2.8%
セ28	J-7	144	6.577	63	3.880	59.0%	67	2.330	35.4%	13	360	5.5%	1	7	0.1%
セ28	J-8	1,459	68.771	339	19.450	28.3%	994	41.630	60.5%	112	5,620	8.2%	14	2,071	3.0%
セ28	J-9	1,145	70.105	169	15.650	22.3%	901	45.855	65.4%	46	3,330	4.8%	29	5,270	7.5%
セ28	J-10	3,689	175.741	627	39.520	22.5%	2,945	125.970	71.7%	82	5,520	3.1%	35	4,731	2.7%
セ28	J-11	307	28.583	98	7.590	26.6%	181	14.110	49.4%	9	1,370	4.8%	19	5,513	19.3%
セ28	J-12	988	53.286	331	18.840	35.4%	636	30.920	58.0%	5	610	1.1%	16	2,916	5.5%
セ28	J-13	752	50.008	271	19.435	38.9%	457	28.310	56.6%	18	1,370	2.7%	6	893	1.8%
セ28	J-14	653	36.077	215	13.730	38.1%	432	21.650	60.0%	3	260	0.7%	3	437	1.2%
セ28	J-15	244	13.787	77	4.570	33.1%	164	8.220	59.6%			0.0%	3	997	7.2%
セ28	K-6	254	15.846	106	6.600	41.7%	94	5.270	33.3%	53	3,700	23.3%	1	276	1.7%
セ28	K-7	353	20.888	131	7.960	38.1%	152	7.530	36.0%	63	4,150	19.9%	7	1,248	6.0%
セ28	K-8	1,871	78.831	375	17.680	22.4%	1,327	52.140	66.1%	161	7,350	9.3%	8	1,661	2.1%
セ28	K-9	2,114	91.820	300	18.190	19.8%	1,755	69.240	75.4%	47	2,240	2.4%	12	2,150	2.3%
セ28	K-10	3,738	195.811	955	55.570	28.4%	2,717	134.065	68.5%	45	2,610	1.3%	21	3,566	1.8%
セ28	K-11	32	3.213	9	760	23.7%	21	1.370	42.6%			0.0%	2	1,083	33.7%
セ28	K-12	260	11.374	92	4.490	39.5%	155	6.130	53.9%	10	480	4.2%	3	274	2.4%
セ28	K-13	112	3.910	31	1.350	34.5%	80	2.470	63.2%	1	90	2.3%			0.0%
セ28	K-14	97	7.044	53	4.320	61.3%	41	2.574	36.5%	3	150	2.1%			0.0%
セ28	K-19	2	150	2	150	100.0%			0.0%			0.0%			0.0%
セ28	L-9	894	42.910	159	8.850	20.6%	726	32.860	76.6%	6	440	1.0%	3	760	1.8%
セ28	L-10	2,193	113.905	438	26.000	22.8%	1,710	84.300	74.0%	35	2,120	1.9%	10	1,485	1.3%
セ28	L-11	9	430	5	230	53.5%	4	200	46.5%			0.0%			0.0%
セ28	不明・表採	382	12.728	98	4.900	38.5%	277	6.780	53.3%	2	55	0.4%	5	993	7.8%
セ54	G19	35	861	4	175	20.3%	31	686	79.7%			0.0%			0.0%
セ54	G20	73	4,880	8	573	11.7%	63	3,598	73.7%			0.0%	2	709	14.5%
セ54	G21	13	573			0.0%	13	573	100.0%			0.0%			0.0%
セ54	H16	27	1,658	4	327	19.7%	22	1,188	71.7%			0.0%	1	143	8.6%
セ54	H17	64	3,427	17	1,483	43.3%	47	1,944	56.7%			0.0%			0.0%
セ54	H18	41	1,682	13	721	42.9%	28	961	57.1%			0.0%			0.0%
セ54	H19	5	327	2	130	39.8%	3	197	60.2%			0.0%			0.0%
セ54	H20	132	6,395	46	2,402	37.6%	84	3,890	60.8%			0.0%	2	103	1.6%
セ54	H21	32	1,806	6	395	21.9%	26	1,411	78.1%			0.0%			0.0%
セ54	H22	4	120			0.0%	4	120	100.0%			0.0%			0.0%
セ54	I12	131	2,984	32	691	23.2%	98	2,274	76.2%			0.0%	1	19	0.6%
セ54	I15	3	105			0.0%	3	105	100.0%			0.0%			0.0%
セ54	I16	74	4,341	27	1,899	43.7%	47	2,442	56.3%			0.0%			0.0%
セ54	I17	308	16,941	55	3,072	18.1%	246	12,016	70.9%	1	296	1.7%	6	1,557	9.2%
セ54	I18	49	2,100	14	690	32.9%	33	1,291	61.5%			0.0%	2	119	5.7%
セ54	I19	63	2,782	16	682	24.5%	47	2,100	75.5%			0.0%			0.0%
セ54	I20	88	4,541	30	1,516	33.4%	56	2,544	56.0%			0.0%	2	481	10.6%
セ54	I21	43	2,075	15	592	28.5%	27	820	39.5%			0.0%	1	663	32.0%
セ54	J17	37	1,871	13	806	43.1%	24	1,065	56.9%			0.0%			0.0%
セ54	J18	56	3,698	24	1,161	31.4%	32	2,537	68.6%			0.0%			0.0%
セ54	J19	76	2,499	15	590	23.6%	61	1,909	76.4%			0.0%			0.0%
セ54	J20	37	1,407	10	499	35.5%	27	908	64.5%			0.0%			0.0%
セ54	J21	24	1,595	8	312	19.6%	16	1,283	80.4%			0.0%			0.0%
セ54	K17	56	3,074	15	905	29.4%	40	2,028	66.0%			0.0%	1	141	4.6%
セ54	K18	820	45,490	294	16,717	36.7%	522	27,973	61.5%			0.0%	4	800	1.8%
セ54	K19	583	33,198	187	11,007	33.2%	392	20,969	63.2%	1	133	0.4%	3	1,089	3.3%
セ54	K20	69	3,670	41	2,254	61.4%	27	1,248	34.0%			0.0%	1	168	4.6%
セ54	K21	105	5,333	67	3,368	63.2%	37	1,901	35.6%			0.0%	1	64	1.2%
セ54	K22	55	2,478	22	998	40.3%	33	1,480	59.7%			0.0%			0.0%
セ54	L17	25	853	12	614	72.0%	13	239	28.0%			0.0%			0.0%
セ54	L18	104	6,525	58	3,439	52.7%	45	3,016	46.2%			0.0%	1	70	1.1%
セ54	L19	211	11,969	80	5,153	43.1%	130	6,068	50.7%			0.0%	1	748	6.2%
セ54	L20	548	25,005	178	9,543	38.2%	365	14,622	58.5%			0.0%	5	840	3.4%
セ54	L21	429	19,191	162	7,422	38.7%	265	11,702	61.0%			0.0%	2	67	0.3%
セ54	L22	72	3,791	9	401	10.6%	61	2,978	78.6%	1	99	2.6%	1	313	8.3%
セ54	M19	17	859	2	181	21.1%	15	678	78.9%			0.0%			0.0%
セ54	M20	5	253			0.0%	5	253	100.0%			0.0%			0.0%
セ54	M21	22	1,637	4	224	13.7%	17	961	58.7%			0.0%	1	452	27.6%
セ54	M22	97	4,948	26	1,563	31.6%	71	3,385	68.4%			0.0%			0.0%
S W83	MH	52	1,099	10	202	18.4%	42	897	81.6%	0	0	0.0%	0	0	0.0%
S W83	NH	139	3,675	29	767	20.9%	108	2,729	74.3%	0	0	0.0%	2	179	4.9%
S W83	OH	59	1,949	27	1,138	58.4%	31	810	41.6%	0	0	0.0%	1	1	0.1%
S W83	PH	1	33	0	0	0.0%	1	33	100.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%
S W83	NI	966	30,776	271	9,585	31.1%	688	19,852	64.5%	0	0	0.0%	7	1,339	4.4%
S W83	MI	28	1,165	10	503	43.2%	18	662	56.8%	0	0	0.0%	0	0	0.0%
S W83	OI	657	32,396	205	10,242	31.6%	445	20,540	63.4%	0	0	0.0%	7	1,614	5.0%
S W83	OJ	72	4,973	24	1,141	22.9%	45	3,128	62.9%	0	0	0.0%	3	704	14.2%
S W83	PJ	87	5,967	22	1,443	24.2%	64	4,408	73.9%	0	0	0.0%	1	116	

## 第2節 土製品

土製品は総数16点、うちわけは土器片錘・珧状耳飾・土版などである（表47・第896図）。

### 土器片錘

セ72区から1点、099区から2点の計3点が出土しているにすぎない（1～3）。土器片錘が多く出土する中期末から後期前葉が、本遺跡では遺構・包含層ともに極めて希薄だったことによるとみられる。1は完形品で、最大長65mm・最大幅38mm・最大厚16mm・重さ46.3gをはかる。土器片周囲はよく研磨整形され、紐かけ用の抉りもしっかりしている。

### 珧状耳飾

099区から6点、セ28区から1点、TJ区から1点、セ54区から1点の計9点が出土している（4～12）。099区に多く出土しているのは、この区域に珧状耳飾が多く出土する前期の包含層が他の地区より顕著だったためとみられる。完形のものはないが、全体の形状をうかがえるものは多い。サイズ的には、最大長は30～40mm程度である。比較的扁平なものが多いが、6のようにやや厚いものもある。断面形は方形を基本とするが、11のように三角形を呈するものもある。また、4・5には側面に刻みが付され、6ではサメの椎骨のように楕円形の深い抉り込みが入れられ、装飾効果を高めている。

### 土版

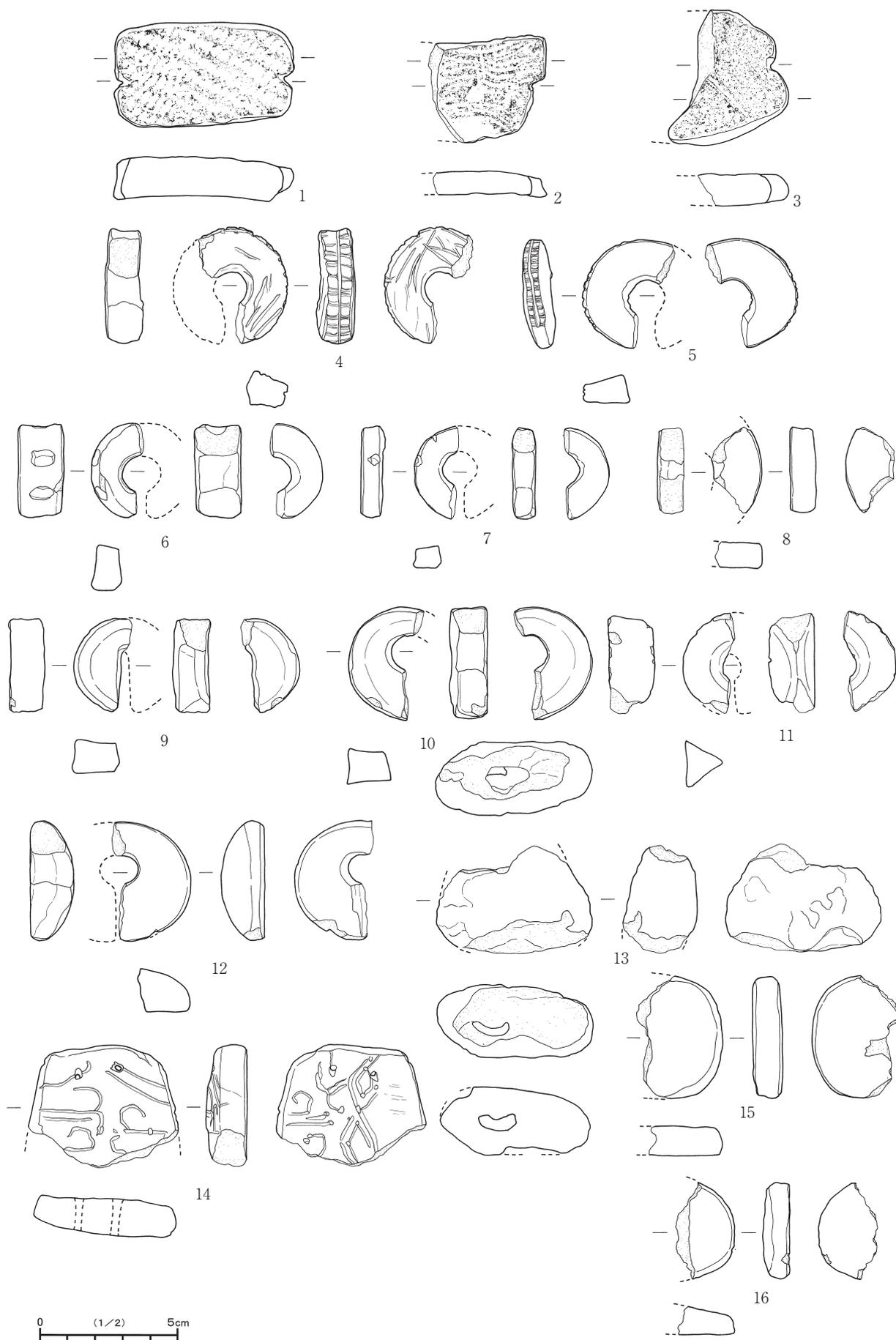
064区から1点出土している（14）。現存最大長44mm・最大幅54mm・最大厚15mmを測る。表裏面に浅く細い沈線による曲線文が描かれる。また上端部二箇所に小孔がある。形態からみて晩期にみられる土版と考えられるが、当該期の遺物は遺跡全体を通じてほとんど出土していない。とくに064区は、縄文期の遺構や包含層自体が希薄であったため、この土版は忽然と出土した感が否めない。

### 未詳土製品

13は、粘土塊がそのまま焼成されたような形状で、器体中央の穿孔も意図的とは考えづらい形状である。15・16は円形もしくは楕円形になるとみられる扁平な板状の製品である。表裏面や側面の面取り整形は丁寧で、焼成も良好である。

表47 包含層出土土製品属性表

挿図No.	報告No.	調査地区	グリッド他	上層遺構	採り上げNo.	層位	種別	残存状況	最大長 (mm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	備考
896	1	セ72	4A-01				土器片錘	完形	65	38	16	46.3	
896	2	099	GF-C				土器片錘	半欠	(41)	(39)	9	21.3	
896	3	099	GE-100				土器片錘	半欠	(43)	(49)	11	16.1	
896	4	099	OG-17				珧状耳飾	半欠	42	(32)	14	13.7	側面に刻み
896	5	099	PG-51				珧状耳飾	半欠	39	(33)	12	9.5	側面に刻み
896	6	099		4089		弥生方形周溝墓	珧状耳飾	半欠	34	(19)	17	9.0	側面二箇所の凹み
896	7	099		4103		方形区画遺構	珧状耳飾	半欠	33	(16)	8	4.3	
896	8	セ28	K12		02		珧状耳飾	破片	(31)	(18)	9	5.5	
896	9	099	4065-A			方墳	珧状耳飾	半欠	34	(21)	13	8.8	
896	10	TJ				表採	珧状耳飾	半欠	41	(25)	14	11.4	
896	11	セ54	I17-17				珧状耳飾	半欠	(36)	(19)	17	7.5	
896	12	099	IG-56～90				珧状耳飾	半欠	43	(28)	15	16.6	
896	13	セ28	H8				不明	半欠	(39)	(56)	27	42.4	
896	14	064	1B-00		6003		土版	半欠	(44)	(54)	15	33.0	表裏面に沈線文あり
896	15	099	4068-B			前方後円墳	不明	半欠	(45)	(31)	11	16.4	
896	16	099	D10				不明	半欠	(35)	(21)	10	6.0	



第896图 包含層出土土製品実測図

### 第3節 石器・石製品

#### はじめに

ここで扱う石器・石製品は、遺物包含層中のものに加え、弥生・古墳時代の遺構（天神台遺跡上層）覆土中や、古墳群の調査（諏訪台古墳群）に伴って古墳の墳丘・墳丘下の土層、周溝内などから出土したものを含む。遺物包含層中からは多量の被熱した礫が出土しており、磨石など礫石器の類の多くは、これら礫群に混じていたものを発掘調査後に抽出したものである。上層遺構中出土の石器群については、その形態的特徴から縄文時代に帰属するものであることが明らかなものを、今回の報告で扱うことにした。とくに剥片石器類については、総点数が多いことに加え形態が特徴的で良好な資料が多く、後に刊行される諏訪台古墳群・天神台遺跡Ⅱで扱うより縄文篇でまとめたほうが適当と思われるからである。ただし、諏訪台古墳群・天神台遺跡（上層）の整理作業は現在も進行中であるため、一部の調査区については石器類の抽出と整理作業が完全でない。したがって、ここでは剥片類と礫石器類を除く剥片石器類のみ掲載することにした。

#### 出土石器の種類と概要

調査区・グリッド別の石器組成を表48に示した。石器は総数で3,588点、このうち石鏃や楔形石器など剥片石器類が1,005点、剥片類が1,312点、磨石・敲石など礫石器類は1,271点ある。剥片石器類の中にはナイフ形石器や石刃等、旧石器時代もしくは縄文章創期のものとみられるもののほか、これらを再生して使用したと思われるものも含まれていた。また、石製品は、玦状耳飾・石棒など9点とわずかなものに限られた。石器の帰属時期については、包含層中や上層遺構中出土のものであることから不明と言わざるをえない。同地点から出土している土器類は、第2節で述べたように1グリッド中から比率の差はあるにせよ早期から後期までの様々な時期のものを含んでいるため、そのいずれの時期かの判断は難しい。ただし遺構の主体時期を見れば、早期後葉から前期前葉にほぼ限定されると考えてよいだろう。

以下、器種ごとにその特徴などについて記載していく。実測図については主だったものについて器種ごとに第897図～1003図に示し、上層遺構中のものについては調査地区ごとに器種順にまとめ第1004図～1029図に示した。それぞれの石器属性については表49にまとめたが、実測図を掲載しなかった資料については紙面の関係からここには掲載せず、そのすべてのデータを付録のDVD内に収録するかたちをとった。

#### 尖頭器

遺物包含層中から24点（第897図1～11・第898図12～18・第899図19～24）、上層遺構中から15点（第1004図3・4、第1007図63・64・68・69、第1011図106～110・第1012図111～114）、総数39点が出土している。出土地点別では、099地区とセ28地区に多い傾向がある。形態的には木葉状の尖頭器（第897図1・6など）や有舌尖頭器（第898図17・18など）、基部付近に両側から抉りを入れた特徴的な形態のもの（第899図21～24、第1011図106・107）などがある。石材としては、黒曜石・頁岩・珪質頁岩・無斑晶質安山岩・ガラス質安山岩などがある。第899図22は、砂質頁岩製で最大長は78.5mmを測る。第1011図106は、珪質頁岩製で最大長は155.0mmを測る。基部から先端部にかけてやや反りがある。第1011図107は、頁岩製で最大長は135.6mmを測る。いずれの資料も基部近くの両側に抉りが入

られる。この箇所の調整は、明らかに後から加えられたものとみられることから、尖頭器を再調整して使用したものである可能性が高い。

### 石鏃

遺物包含層中から228点（第900図25～55・第901図56～86・第902図87～118・第903図119～149・第904図150～176・第905図177～207・第906図208～239・第907図240～252）、上層遺構中から163点（第1004図1・2・5～24・第1005図25～51・第1006図52～57・第1007図70～75・第1008図76～81・第1012図115～136・第1013図137～168・第1014図169～199・第1015図200～203、第1028図340～342、第1029図352～355）、総数391点が出土している。出土地点別では、セ28地区に多い傾向があり、その数は222点と全体の56%を占める量である。このうち、20m角の大グリッド単位出土数として、H8区では25点と他よりかなり多い。また、地区全体ではセ28地区には及ばないものの、064地区では小区域ながら104点と全体の26%を占める数が出土しており、このうち50m角の大グリッド単位出土数として、2C区では21点と他よりかなり多い。形態的には、有茎鏃はほとんどなく、凹基か平基の無茎鏃である。サイズの最小8.3mm・最大37.6mm・平均17.7mm、重量的には最小0.1g・最大7.4g・平均1.2gを測る。石材としては、ガラス質安山岩・ガラス質黒色安山岩・珪質頁岩・頁岩・黒色緻密質安山岩・黒曜石・チャート・無斑晶ガラス質安山岩など多種の石材が使用されている。

### 石鏃未製品

遺物包含層中から42点（第907図253～262・第908図263～280・第909図281～294）、上層遺構中から28点（第1007図65・第1008図82・第1015図204～221・第1016図222～226・第1028図343・344・第1029図356）、総数70点が出土している。出土地点別では、石鏃と同様にセ28地区に多い傾向がある。形態的には、表裏面の剥離、三角形の形態への整形途中とみられる段階で止められた個体が多く、片面に石材の自然面を残すものや、一部が整形作業の段階で破損してしまったものなどがみられる。

### 石錐

遺物包含層中から3点（第909図295～297）、上層遺構中から3点（第1016図227～229）、総数6点が出土している。いずれも握りの部分を意識した形態に仕上げられている。出土地点別では、セ28地区のみとなる。石材としては、チャート・黒曜石・珪質頁岩・ガラス質黒色安山岩・無斑晶質安山岩がみられる。

### 角錐状石器

遺物包含層中から1点出土している（第910図298）。最大長56.6・最大幅27.5・最大厚24.1mmを測る。頁岩製で下端部は尖頭状、上端部には敲打痕が認められる。

### 彫器

遺物包含層中から2点（第910図299・300）、上層遺構中から2点（第1009図89・第1020図270）、総数4点出土している。チャート製と黒曜石製がある。

### 石匙

遺物包含層中から6点（第910図301～303・第911図304～306）が出土している。出土地点別では、099地区とセ28地区のみとなる。いずれも握りの部分を意識した形態に仕上げられている。302・303が縦型、301・304・306が横型になろう。302と303は形態・サイズともに非常によく似たつくりであり、石材も同じ珪質頁岩を使用している。305はやや不定形な仕上げで上端部に打面も残ることか

ら、完成に至らなかった未製品とみなした。石材としては、チャート・珪質頁岩・黒曜石がみられる。

#### 搔器・スクレーパー

遺物包含層中から13点（第911図307～310、第912図311～317、第913図318）、上層遺構中から5点（第1008図87、第1020図271～274）、総数18点が出土している。出土地点別では、セ28地区が13点と大半を占める。形態的には楕円形・円形を基調に多様で、大きさも最大長21～74mmまでと幅がある。片面に石材の自然面を残すもの、扁平な礫の一部に付刃しただけのものもある。石材としては、無斑晶質安山岩・安山岩・チャート・黒曜石・砂岩・無斑晶ガラス質安山岩・頁岩・砂質頁岩・堇青石ホルンフェルスがみられる。

#### 楔形石器

遺物包含層中から57点（第913図319～324、第914図325～333・第915図334～343・第916図344～352・第917図353～364・第918図365～372）、上層遺構中から25点（第1006図58～60、第1008図83～85、第1016図230～237、第1017図238～242、第1019図264～269）、総数82点が出土している。出土地点別では、セ28地区が63点と大半を占める。楔形石器は、形態的には、剥片を使用し、表裏両面に明確な上下方向からの剥離があり、それによって縦断面を楔状に整形し、一端に鋭い刃部を形成するもので、自然面は側面もしくは上端部の一部に見られるものを含む。全体形は方形もしくは長楕円形に近く、サイズは2～3センチ程度のもの（典型的なもので、三本指で摘める程度の大きさ）とした。石材としては、黒色緻密質安山岩・ガラス質黒色安山岩・無斑晶質安山岩・無斑晶ガラス質安山岩・珪質頁岩・頁岩・黒曜石・チャート・堇青石ホルンフェルス・変質流紋岩・玉随などがみられる。

#### 楔状石器

遺物包含層中から63点（第919図373～380・第920図381～389・第921図390～399・第922図400～407・第923図408～417・第924図418～424・第925図425～428）、上層遺構中から23点（第1008図86、第1017図243～246、第1018図247～255・第1019図256～263、第1028図345）、総数86点が出土している。

出土地点別では、セ28地区が68点と大半を占める。楔状石器は、形態的には、楔形石器として積極的に認定する事がためられる要素を有するものとした。すなわち断面が楔状を呈するものの、片面の大半が自然面で、主に片面だけの調整によっており、明確な上下剥離（両極打法による）が認定しがたいもの、また扁平な自然礫の一端に刃部が見られ縦断面は楔状に見えるが、上部には明確な調整がなく、打撃痕が見られるものなど。扁平な自然礫をそのまま用いるか縦割りにし、自然面は大きく残したままで主に刃部周辺のみ両面からの剥離が観察でき、上部に打撃による剥離もしくは部分的な調整のあるもので、4本指で摘める程度の大きさから片手で握れるほどのものも含むものとした。石材としては、黒色緻密質安山岩・ガラス質安山岩・ガラス質黒色安山岩・無斑晶質安山岩・無斑晶ガラス質安山岩・珪質頁岩・頁岩・チャート・玉随などがみられる。

#### 両極石核・石核

遺物包含層中から151点（第925図429・430、第926図431～435・第927図436～441・第928図442～446・第929図447～453・第930図454～458・第931図459～464・第932図465～471）、上層遺構中から14点（第1008図88、第1023図311～314・第1024図315～317・第1025図319～323、第1028図347）、総数165点が出土している。出土地点別では、各地区にみられるが、セ28地区が58点とやや多い。石材としては、黒曜石・チャート・珪質頁岩・緻密質安山岩・黒色緻密質安山岩・無斑晶質安山岩などがみ

られる。自然礫の両端部が敲打によって剥離された両極石核、これが片側のみに行われた石核、さらに礫の自然面が残らない程度に剥離加工がおこなわれたものなど形態差がある。

## RF

二次加工のある剥片類は、遺物包含層中から62点(第933図472～483・第934図484～496・第935図497～510図・第936図511～521・第937図522～533)、上層遺構中から37点(第1009図90～96・98・99)、総数99点が出土している。出土地点別では、セ28地区が77点と大半を占める。石材としては、黒曜石・チャート・頁岩・珪質頁岩・黒色緻密質安山岩・無斑晶ガラス質安山岩・玉随・砂岩などがみられる。

## UF

使用痕の認められる剥片類は、遺物包含層中から13点(第938図534～543、第939図544～546)、上層遺構中から9点(第1009図97、第1022図302～309)、総数22点が出土している。出土地点別では、セ28地区が17点と大半を占める。石材としては、黒曜石・チャート・頁岩などがみられる。

## 剥片類

剥片類は多量に出土している。ただし、発掘調査中に抽出できるものとなると概ね10mm以上の個体となるので、これ以下の剥片は含まれていない。微小サイズのものについては、貝層サンプル中検出のものがその実態を示すものとして参考となる。およそ800点弱が検出されている。なお、発掘調査中に抽出されたものでは、上層遺構中からのものが現状で200点ほどあるが、前述したとおりこれらについては整理作業が進行中であるため、その総数が把握できていないのでここでは扱わない。遺物包含層中からは1,312点が出土している(第939図547～552)。すべての調査地区から出土しているが、このうちセ28地区・064地区は708点・320点と、両者だけで総数の大半を占めている。石材としては、黒曜石389点、チャート362点、頁岩131点、珪質頁岩71点などとなっている。サイズの、最小7・最大91・平均29.1mm、重さは最小0.1・最大150.6・平均6.9gである。

## ナイフ形石器等

天神台遺跡の遺物包含層中出土石器のなかには、旧石器時代の遺物が散見される。これらは先述したように、縄文時代に一部に手が加えられ再利用されたものもあるが、そのままのかたちで出土したものも多い。天神台遺跡の調査においては、旧石器時代を対象とした発掘調査はおこなわれていないが、これら石器の存在から考えて、この広大な台地上には旧石器時代の生活の痕跡が少なからずあったものとみられる。遺物を包含するローム層が、縄文時代およびその後の時代の遺構によって掘り込まれたことによって、旧石器時代の遺物が姿を現し、一部は縄文時代の人々により再加工され利用されたものとみられる。

ナイフ形石器や石刃などは、遺物包含層中から6点(第951図641～646)、上層遺構中から10点(第1006図61、第1007図66、第1010図100～104、第1021図295、第1027図337・338)、総数16点が出土している。出土地点別では、064地区・セ72地区・セ28地区にみられる。石材としては、黒曜石・チャート・珪質頁岩・玉随がみられる。

## 礫器

自然礫を用いて一端に鋭い刃部を有するが、縦断面形を楔状に整形することなく、刃部の反対側の端部には打撃痕あるいはそれに伴う剥離集中が見られるものを礫器とした。楔状石器としたものより大型のものが多い。敲打痕のみで鋭い刃部のないものは後述する敲石に分類した。遺物包含層中から

2点、上層遺構中から4点（第1024図318、第1026図324、第1028図348、第1029図349）、計6点出土している。出土地点別では、セ28地区・セ54地区・SW83地区にみられる。石材としては、珪質頁岩・砂質頁岩・頁岩・砂岩が使われている。

#### 打製刃器

比較的扁平・縦長の自然礫の一端に刃部を作り出しているものを打製刃器とした。礫の自然面を多く残す。遺物包含層中から27点（第939図553・554、第940図555～565・第941図566～573・第942図574～578）、上層遺構中から3点（第1026図325・326、第1029図350）、総数30点が出土している。出土地点別では、セ28地区が22点と大半を占める。石材としては、珪質頁岩・頁岩・安山岩・輝石安山岩・多孔質輝石安山岩・ガラス質安山岩・緻密質安山岩・無斑晶質安山岩・堇青石ホルンフェルス・流紋岩・デイサイト・砂岩・凝灰質砂岩と多様である。このうち、第942図578は一応一覽表中ではこの部類に含めたが、「三叉状削器」と呼称したものである。無斑晶質安山岩の大型剥片の周囲を剥離加工し整形、上端部はやや尖る形態となる。下端部は二股に分かれる部分で欠損するが、上端と同様の形態になるとみると「三叉状」の器体となる。大型の横長タイプの石匙のような形態なのかもしれない。

#### 打製石斧

器体の周縁部や表裏面を剥離加工して全体を整形するものを打製石斧とし、前述の打製刃器と区別した。遺物包含層中から36点（第942図579・580、第943図581～588・第944図589～595・第945図596～602・第946図603～609）、上層遺構中から13点（第1007図67・第1010図105・第1026図327～331・第1027図332～336・第1029図351）、総数49点が出土している。地点別では、全地区から出土しているが、セ28地区は25点と半数を占める。形態的には、楕円・縦長のいわゆる「撥形」のものを主体とするが、第945図598、第1027図336のように「分銅形」のものも稀にみられる。石材は、頁岩・輝石安山岩・堇青石ホルンフェルス・砂岩・黒雲母片岩・緑泥片岩・輝緑凝灰岩などがみられる。

#### 磨製石斧

遺物包含層中から30点（第947図610～617・第948図618～625・第949図626～633・第950図634～639）、上層遺構中から1点（第1006図62）、総数31点が出土している。地点別では、セ28地区が22点と大半を占める。形態的には、扁平な自然礫の自然面を極力残し、必要箇所を研磨して整形、刃部を作り出すものが多い。また比較的小型のものが多い。第950図637・639のように、器体が細長で「ノミ状」をしたものもみられる。石材は、輝石安山岩・輝緑岩・堇青石ホルンフェルス・砂岩・頁岩・蛇紋岩・緑色岩・閃緑岩・ドレライトなどがみられる。

#### 環状石斧

遺物包含層中から1点出土した（第950図640）。セ28地区のI9区から出土したものである。最大長103・最大幅101・最大厚22mm・重さ280.8gを測る。石材は砂岩である。下面はほぼ平坦、上面は緩やかな起伏をもち、中央約20mmの孔周囲が平坦面をなす。側面には稜線がみられる。

#### 石錘

遺物包含層中から3点出土している（第951図647～649）。647は、扁平な無斑晶質安山岩の円礫の長軸両端に紐かけ用の袂りを施したもので、重さは119.9gある。649は、流紋岩の自然礫の短軸方向に一周する溝を施したもので、重さは112.0gある。649は、扁平な輝石安山岩の円礫の側面に一周する溝を施したもので、重さは183.1gある。648と649は、通常の石錘の形態とは異なるのであるいは

別用途のものかもしれないが、溝を紐かけ用の加工と推定しこの部類に含めた。

#### 軽石製品

遺物包含層中から80点（第952図650～663、第953図664～667）が出土している。地点別では、セ28地区が30点と最も多い。形態的には、穿孔したり溝を施したりした製品はなく、いわゆる「浮子」状ではない。面取りなどの整形痕が残る程度のものであり、それが顕著に認められるものを図示した。これら以外は、整形痕もはっきりしない資料で、あるいは海岸などに漂着した軽石を集落に持ち込んだ状態のままかもしれない。サイズのには、最小13・最大90・平均42.4mm、重さは最小0.5・最大54.5・平均11.6gである。

#### 磨石

遺物包含層中から500点（第953図668～671、第954図672～680・第955図681～688・第956図689～696・第957図697～704・第958図705～712・第959図713～722・第960図723～732・第961図733～743・第962図744～753・第963図754～763・第964図764～773・第965図774～782・第966図783～792・第967図793～800・第968図801～806）が出土している。セ73地区を除くすべての調査地区から出土しているが、このうちセ28地区・099地区は241点・144点と、両者だけで総数の大半を占めている。比較的扁平な円礫が選ばれ、その表裏面の平らな部分に摩耗痕跡をもつものが最も多い。サイズのには、最小47・最大143・平均85.7mm、重さは最小41.3・最大865.2・平均330.6gである。石材としては、安山岩・火山礫凝灰岩・輝石安山岩・凝灰岩・砂岩・石英斑岩・デイサイト・流紋岩・流紋岩質凝灰岩などがみられる。

#### 敲石

遺物包含層中から249点（第968図807～809・第969図810～819・第970図820～829・第971図830～839・第972図840～850・第973図851～862・第974図863～873・第975図874～883・第976図884～898・第977図899～908・第978図909～918・第979図919～928）が出土している。すべての調査地区から出土しているが、このうちセ28地区は139点と、半数以上を占めている。磨石よりも比較的小型の礫が選ばれ、その表裏面中央部付近に敲打痕を残すものが多い。比較的細長い礫の場合には、その上下端部に敲打痕を残すものが多くみられる。敲打痕の程度は、単発で使用したわずかに使用痕が生じた程度のものから、執拗に使用したため明瞭な敲打痕を残すものまで様々である。サイズのには、最小44・最大167・平均83.6mm、重さは最小33.2・最大848.9・平均257.0gである。石材としては、輝石安山岩・砂岩・石英斑岩・デイサイト・流紋岩・流紋岩質凝灰岩などがみられる。

#### 磨石・敲石

磨石と敲石を兼用にした石器である。摩耗と敲打の痕跡が同一面上にみられるものが多いことから、磨石としての機能を終えて敲石に転用したものとみられることもできる。遺物包含層中から33点（第980図929～936・第981図937～944・第982図945～952、第983図953～960）が出土している。セ73地区・SW83地区を除くすべての調査地区から出土しているが、このうちセ28地区は25点と大半を占める。石材としては、砂岩・石英斑岩・輝石安山岩・流紋岩質凝灰岩などがみられる。

#### 凹石

比較的扁平な円礫の表裏面中央部に、窪み状の摩耗痕が認められるものを分類した。窪み痕の周囲には、面的な摩耗痕がみられるものが多い。遺物包含層中から35点（第983図961・962、第984図963

～972・第985図973～980・第986図981～990、第987図991・992)が出土している。セ73地区・セ54地区・SW83地区を除くすべての調査地区から出土しているが、このうちセ28地区は23点と大半を占める。石材としては、輝石安山岩・多孔質輝石安山岩・スコリア質安山岩・砂岩などがみられる。

### 砥石

比較的扁平な石材が面的あるいは部分的によく摩耗している製品を分類した。擦痕状の使用痕を残すものもみられる。遺物包含層中から86点(第987図993～996・第988図997～1007・第989図1008～1015・第990図1016～1025)が出土している。セ73地区を除くすべての調査地区から出土しているが、このうちセ28地区・099地区は31点・32点と、両者だけで総数の大半を占めている。石材としては、砂岩・凝灰岩・流紋岩・輝石安山岩などがみられる。第987図996は、TJ地区出土の最大長292mm・最大幅125mm・最大厚59mm・重さ3,460gを測る砂岩製のものである。表面がほぼ平滑、裏面はやや丸みを帯びる。

### 石皿

遺物包含層中から159点(第991図1026～1033・第992図1034～1036・第993図1037～1043・第994図1044～1047・第995図1048～1054・第996図1055～1064・第997図1065～1072・第998図1073～1080・第999図1081～1088・第1000図1089～1098・第1001図1099～1105・第1002図1106～1113)が出土している。すべての調査区から出土しているが、このうちセ28区は106点と、その大半を占めている。器体の半分以下となった破片資料が多い。裏面や側面部に窪み痕をもつものがある(1043・1050・1053・1101・1107・1111)。第992図1036は、TJ地区出土の最大長388mm・最大幅273mm・最大厚92mm・重さ13,220gを測る輝石安山岩製のものである。

### 線刻礫

セ28地区から2点出土している(第1003図1120・1121)。1120は砂岩製で最大長89mm・重さ251.4g、1121は緻密質安山岩製で最大長97mm・重さ397.4gを測る。いずれも表裏面および側面に斜方向の細く浅い沈線状の彫り込みが認められる。方向は一定でなく交差も認められることから、石材の摂理など自然なものではないと判断した。

### 石棒

064地区から1点、SW83区から1点の計2点が出土している(第1003図1118・1119)。1118は最大長146mmを測る緑色片岩製、1119は最大長80mmを測る多孔質輝石安山岩製のものである。1118は、上下端部に敲打痕、表裏面に窪み痕をもつことから、石棒破損後に別用途の石器に転用されたものとみられる。

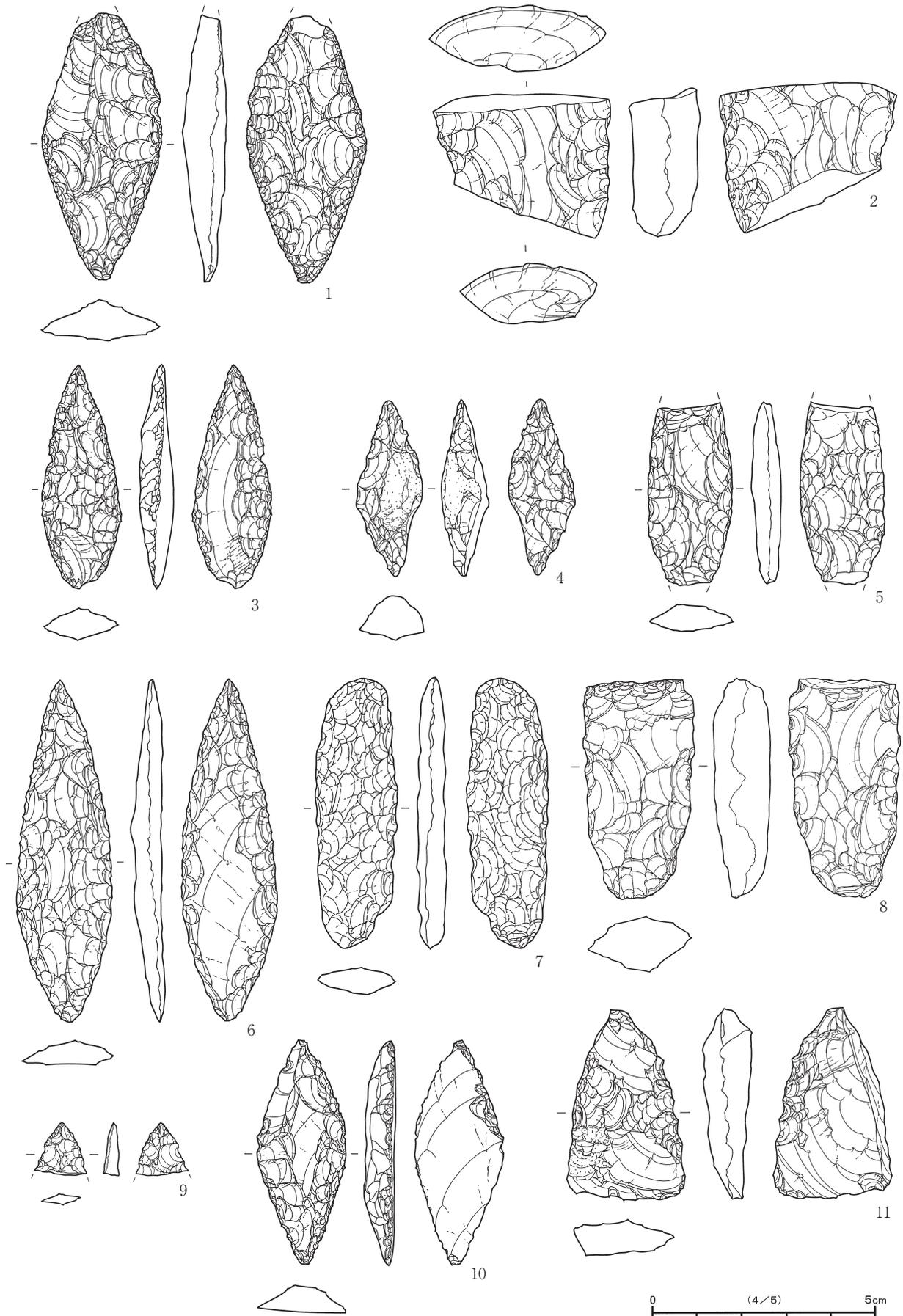
### 塊状耳飾・垂飾

塊状耳飾が4点、垂飾とみられるものが1点出土している(第1003図1114～1117・第1027図339)。1116は完形の塊状耳飾で、最大長18mm・最大幅20mm・最大厚6mm・重さ2.9gを測る。石材は滑石である。1114は残存部最大長33mm・最大厚3mm・重さ4.5gを測る。上端部が欠損し、この部分に二箇所補修穿孔が施される。石材は蛇紋岩製である。1115は最大長43mm・最大厚13mm・重さ14.5gを測る。石材は滑石製である。1117は最大幅43mm・最大厚11mmを測る製品で、下端部が残っていれば全体的に三角形になることが予想され、その上端部中央に穿孔が一箇所施される。石材はスコリア質安山岩で、垂飾には使用されないが、色彩的には赤褐色に近く比較的目につく色合いである。

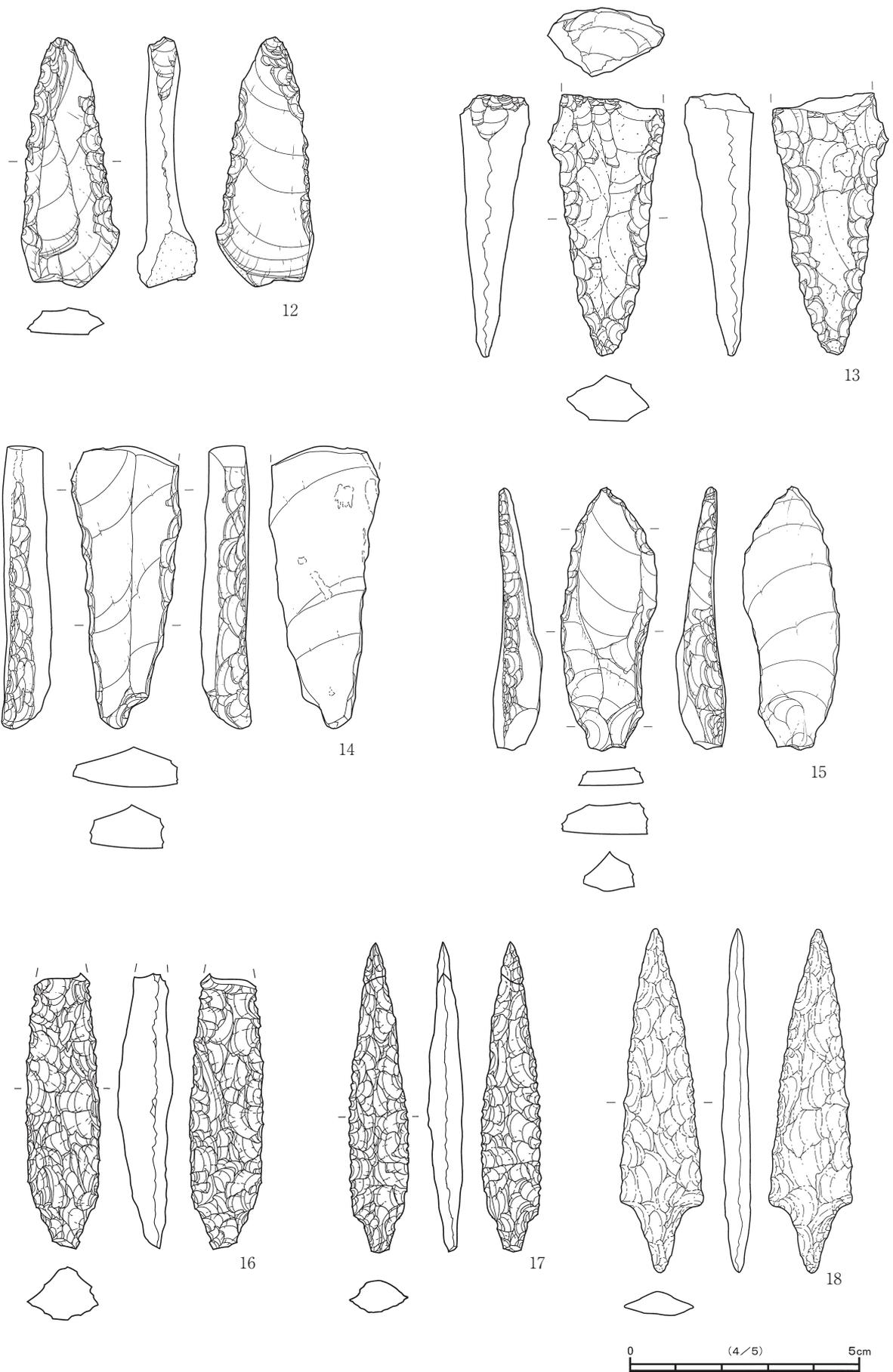




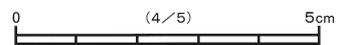
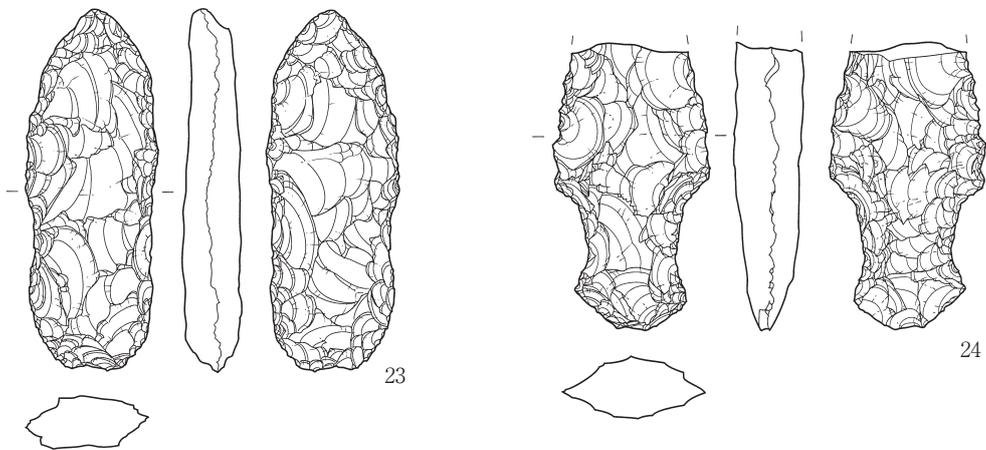
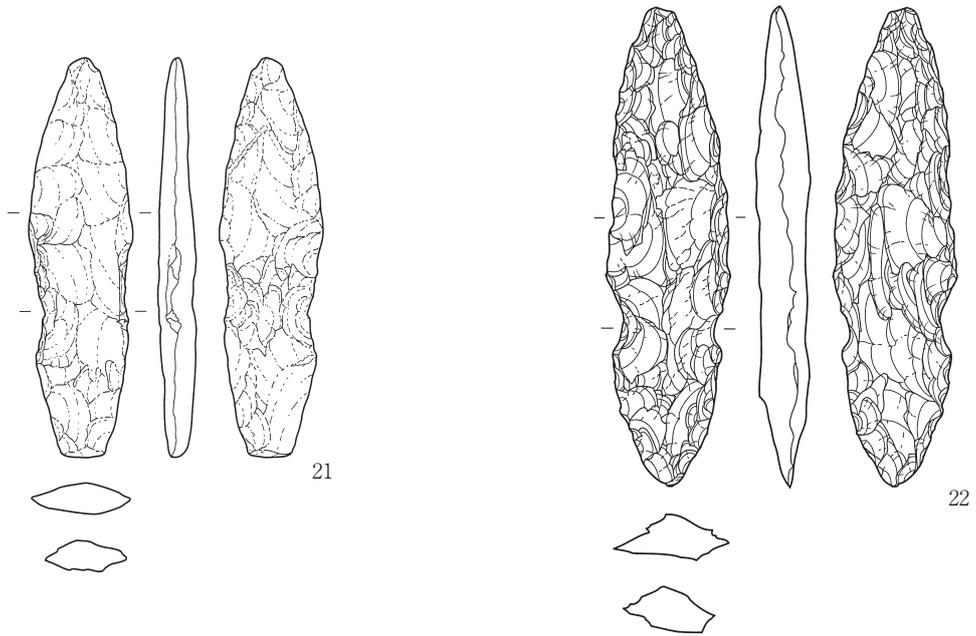
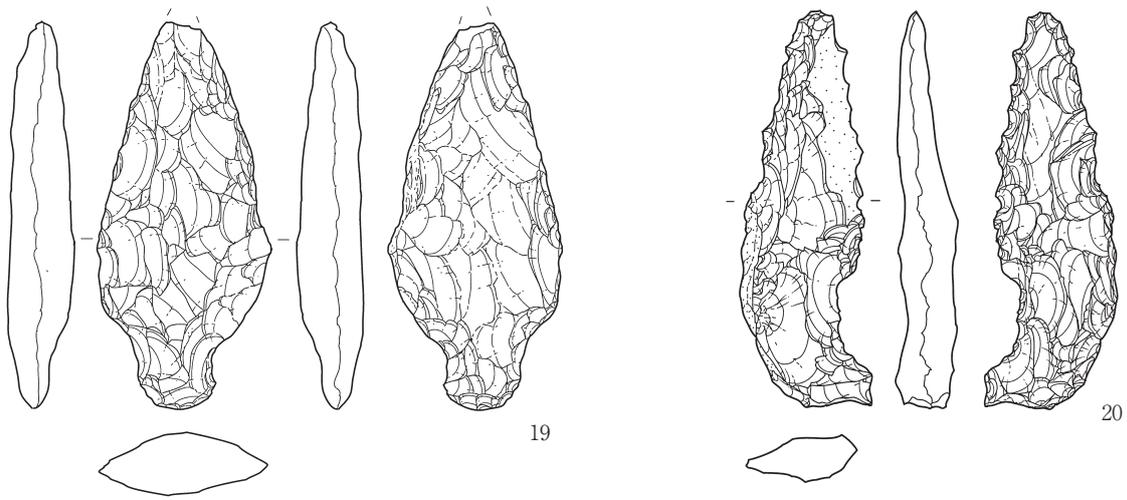




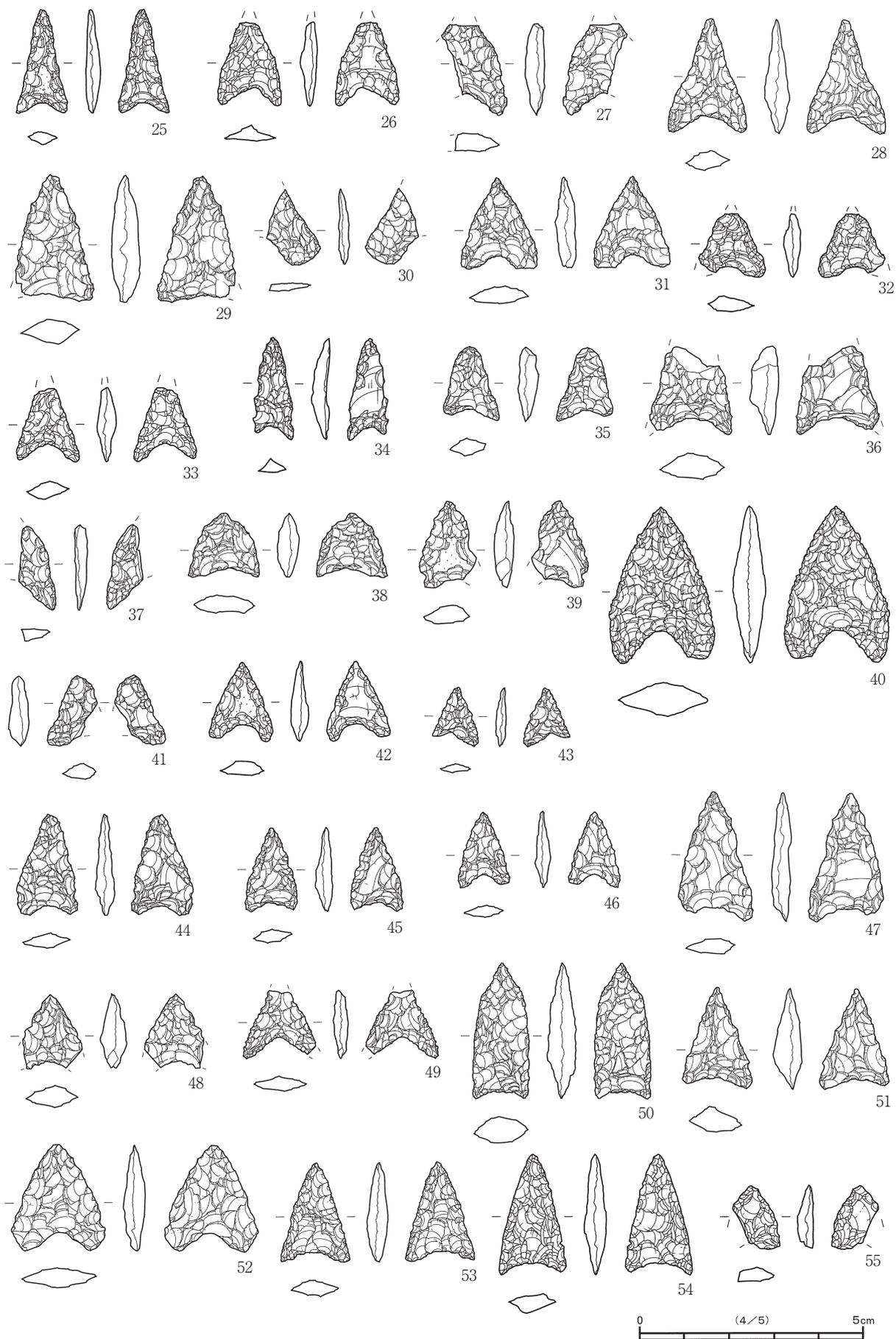
第897图 包含層出土石器实测图·1 (尖頭器1)



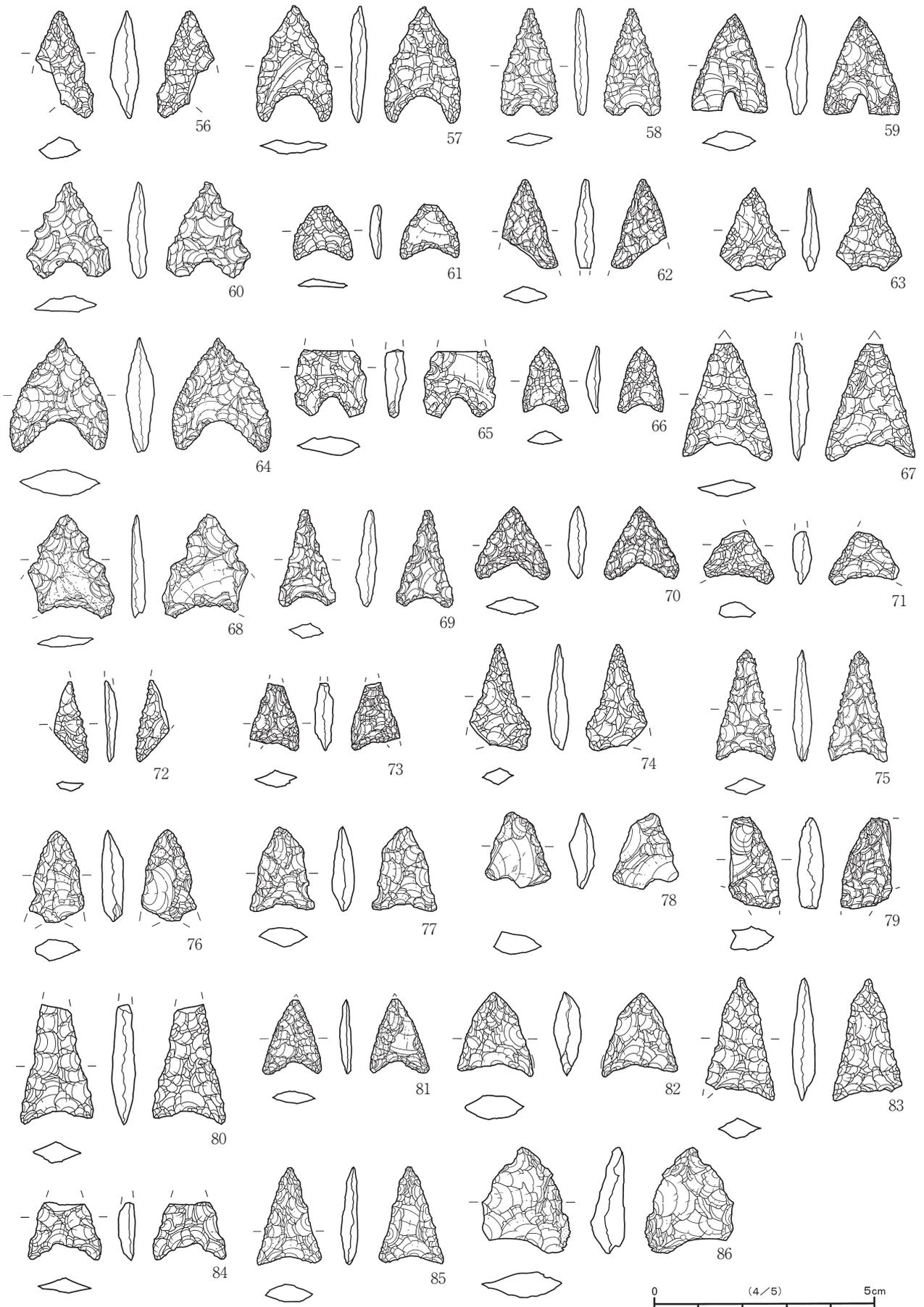
第898图 包含層出土石器实测图·2 (尖頭器2)



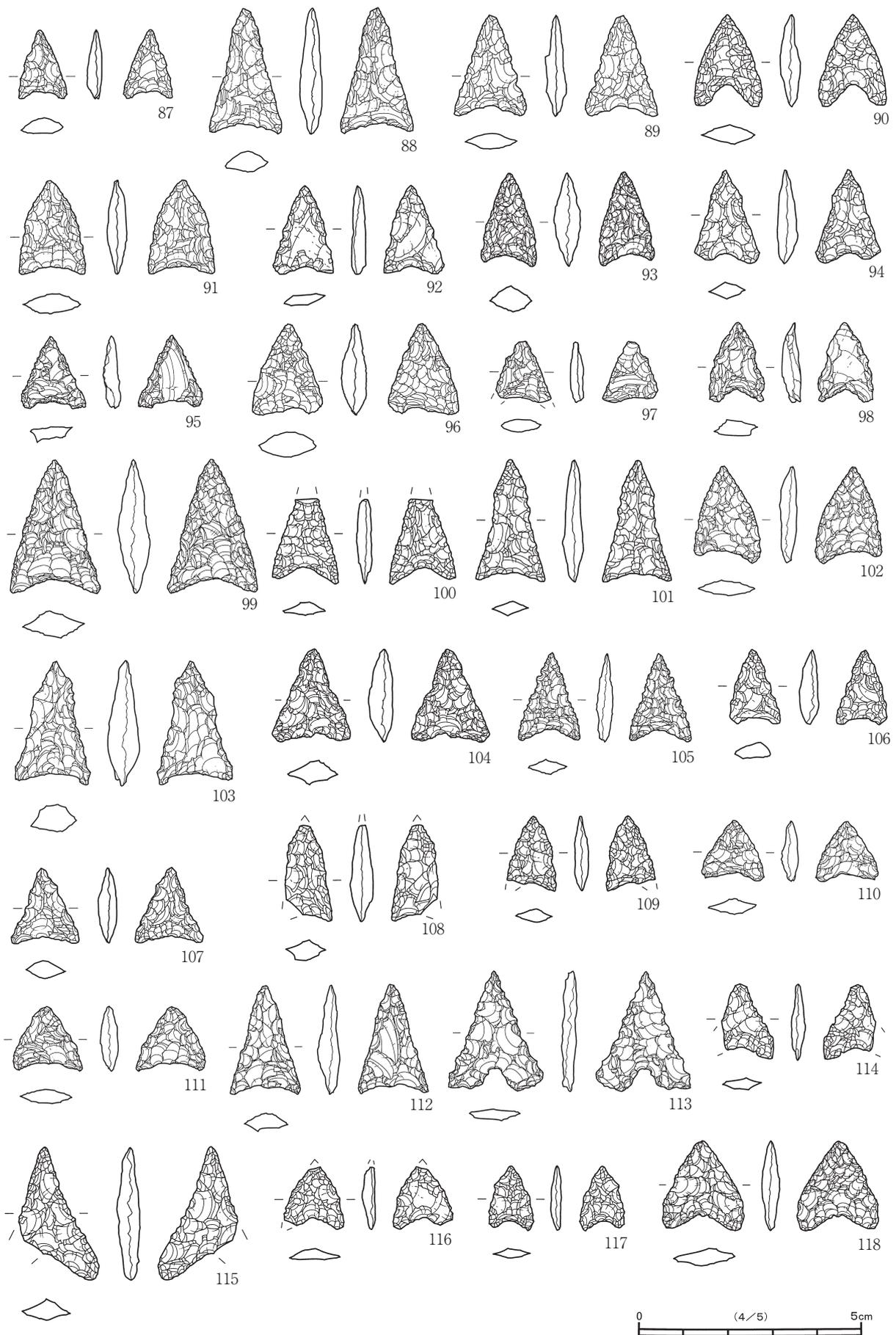
第899图 包含層出土石器実測図・3 (尖頭器3)



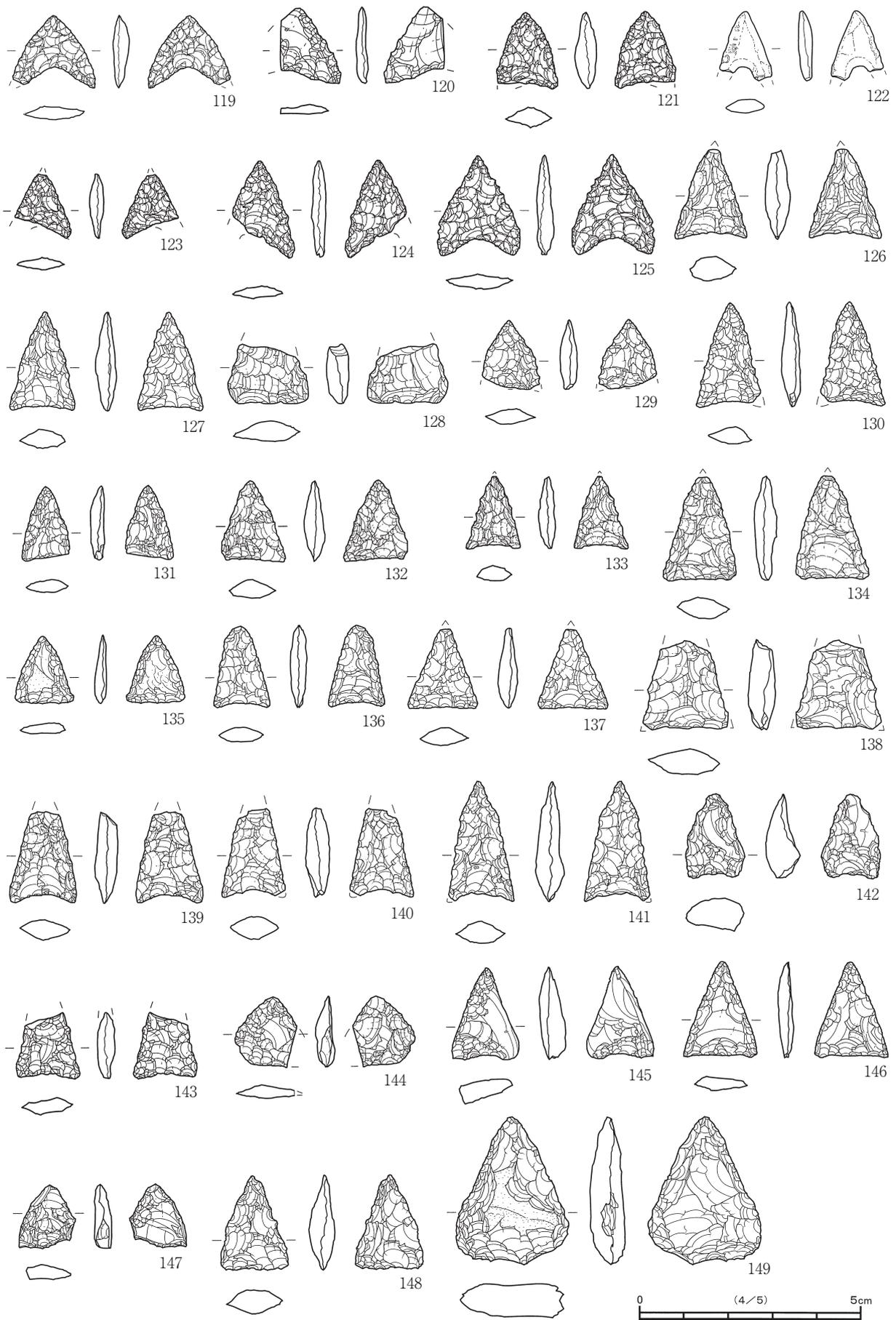
第900図 包含層出土石器実測図・4 (石鏃1)



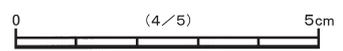
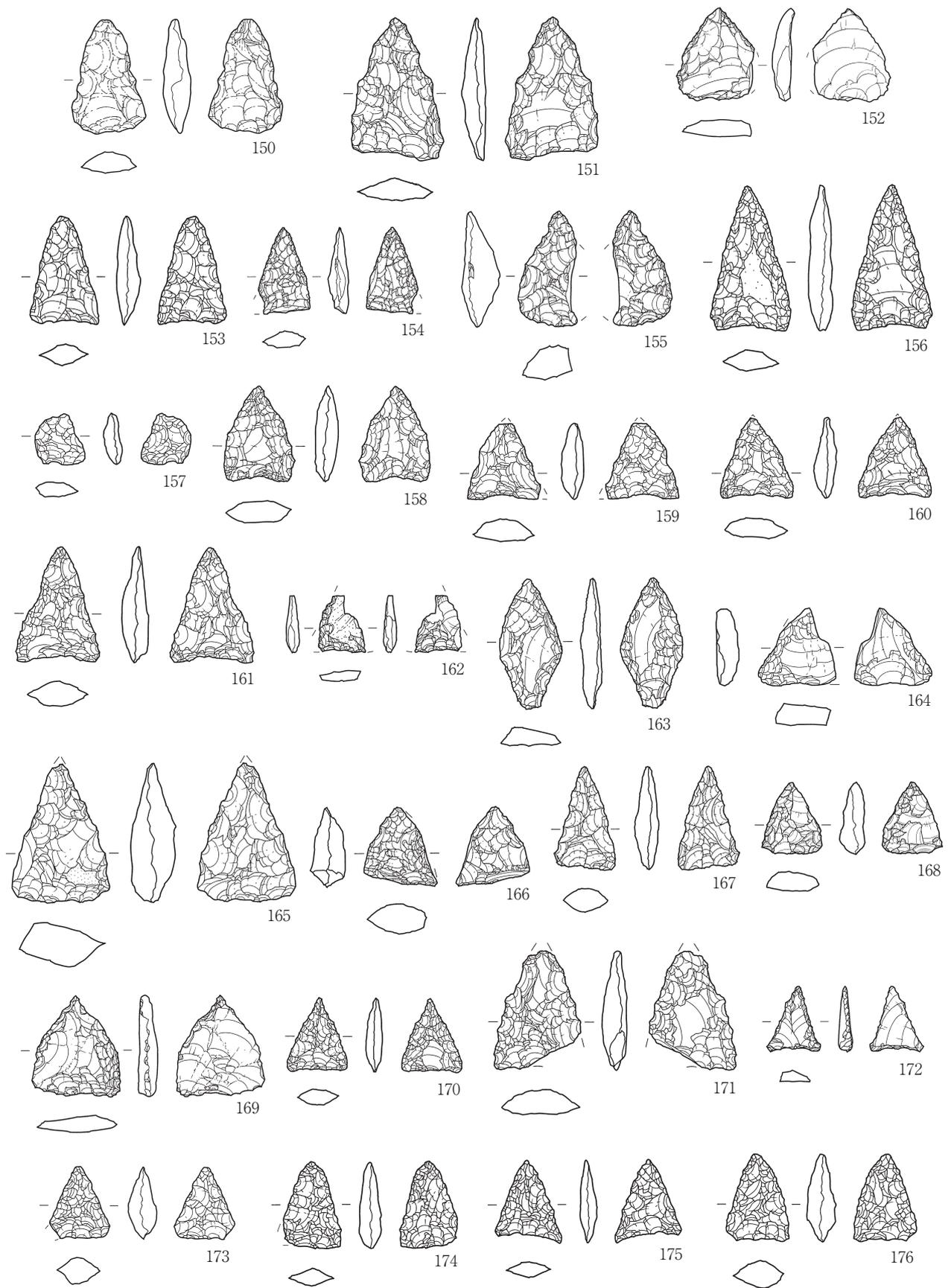
第901図 包含層出土石器実測図・5 (石鏃2)



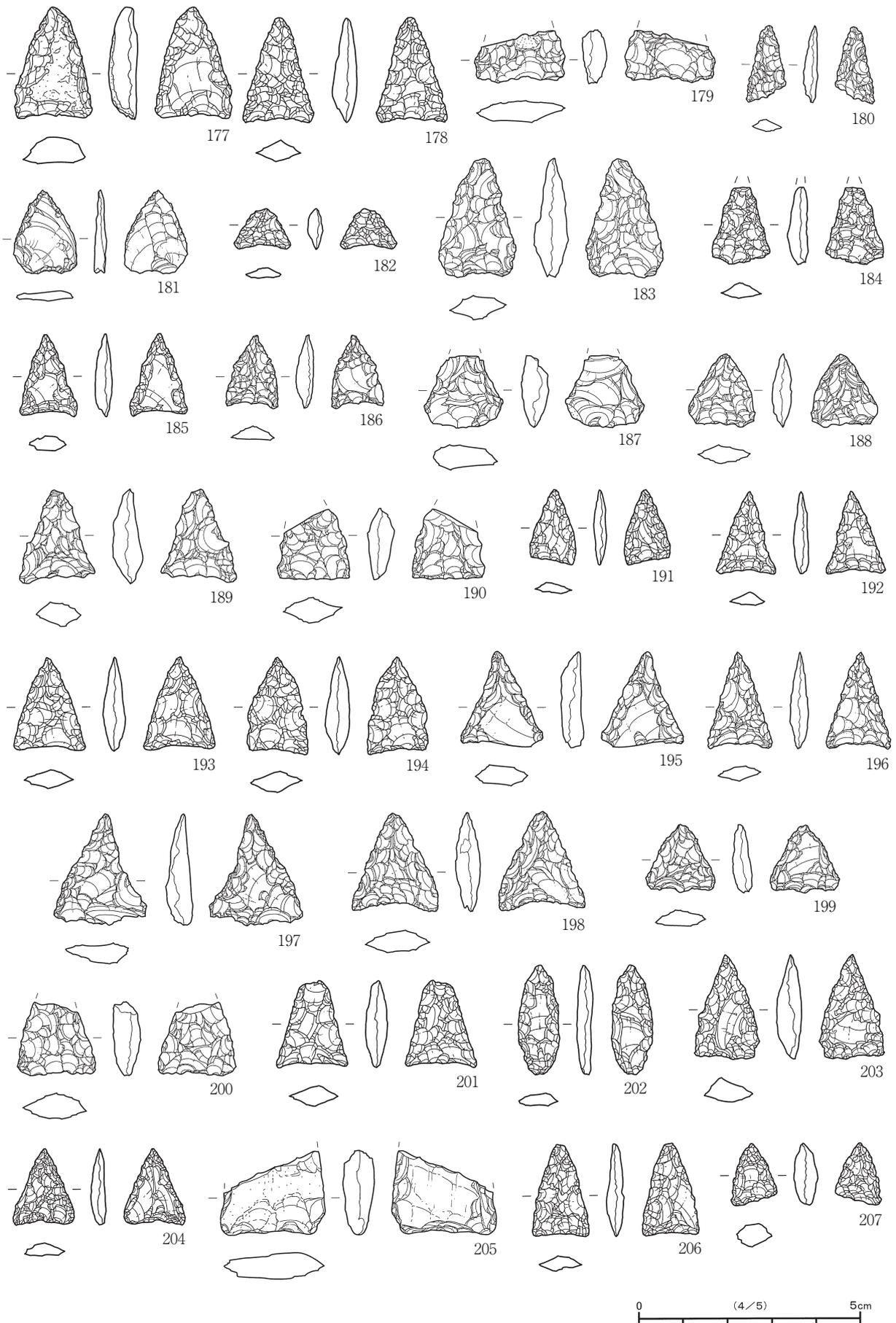
第902図 包含層出土石器実測図・6 (石鏃3)



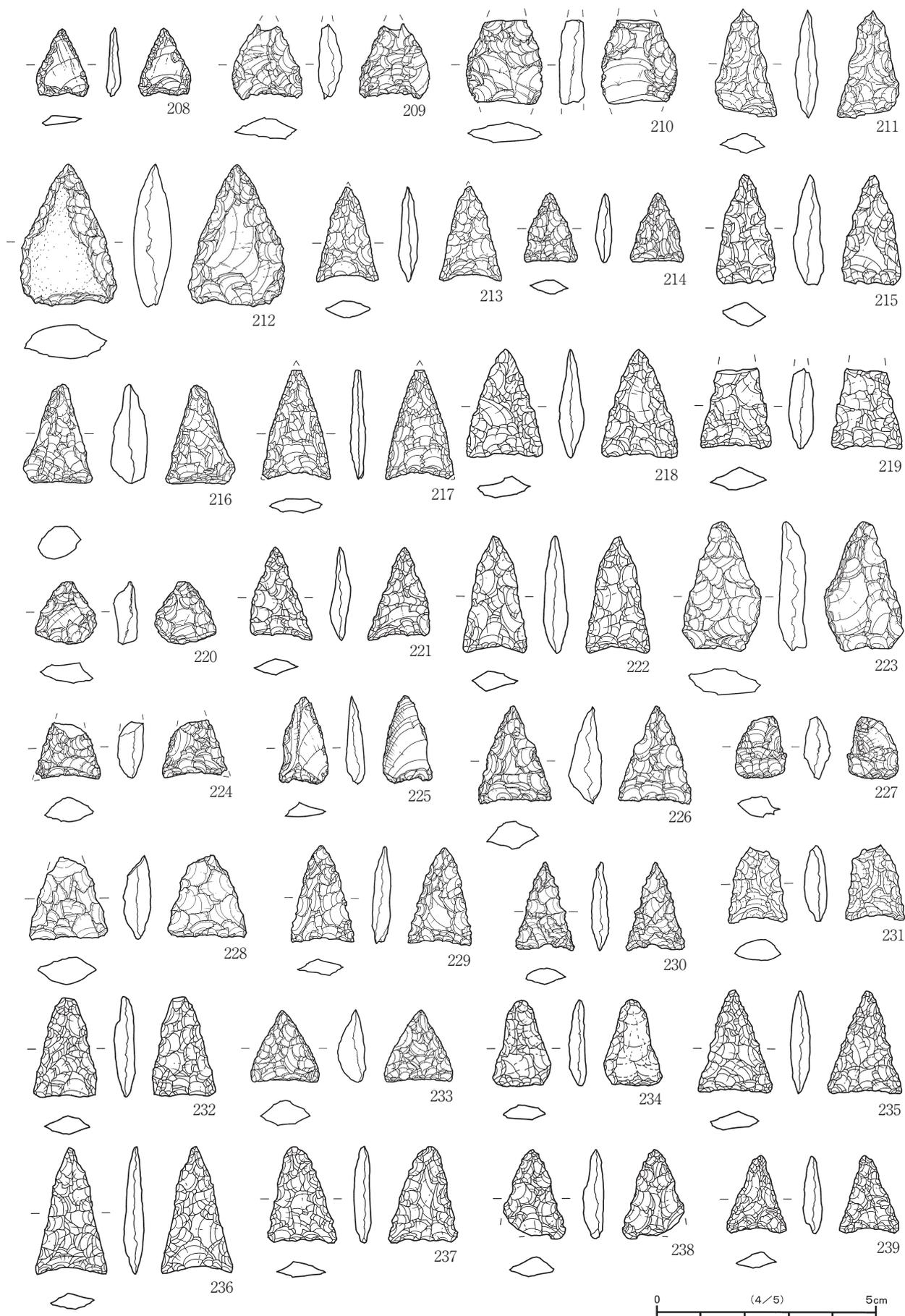
第903図 包含層出土石器実測図・7 (石鏃4)



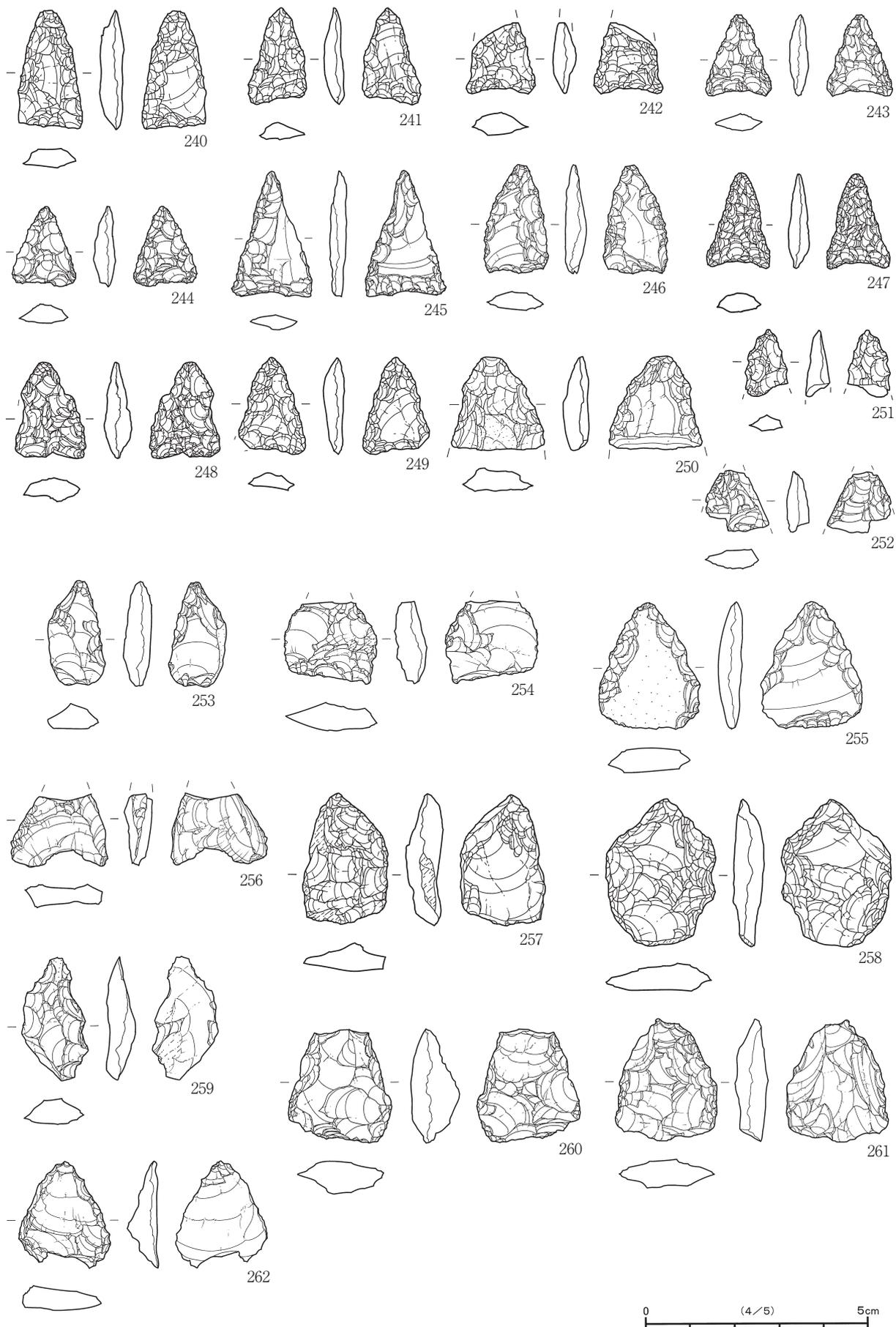
第904図 包含層出土石器実測図・8 (石鏃5)



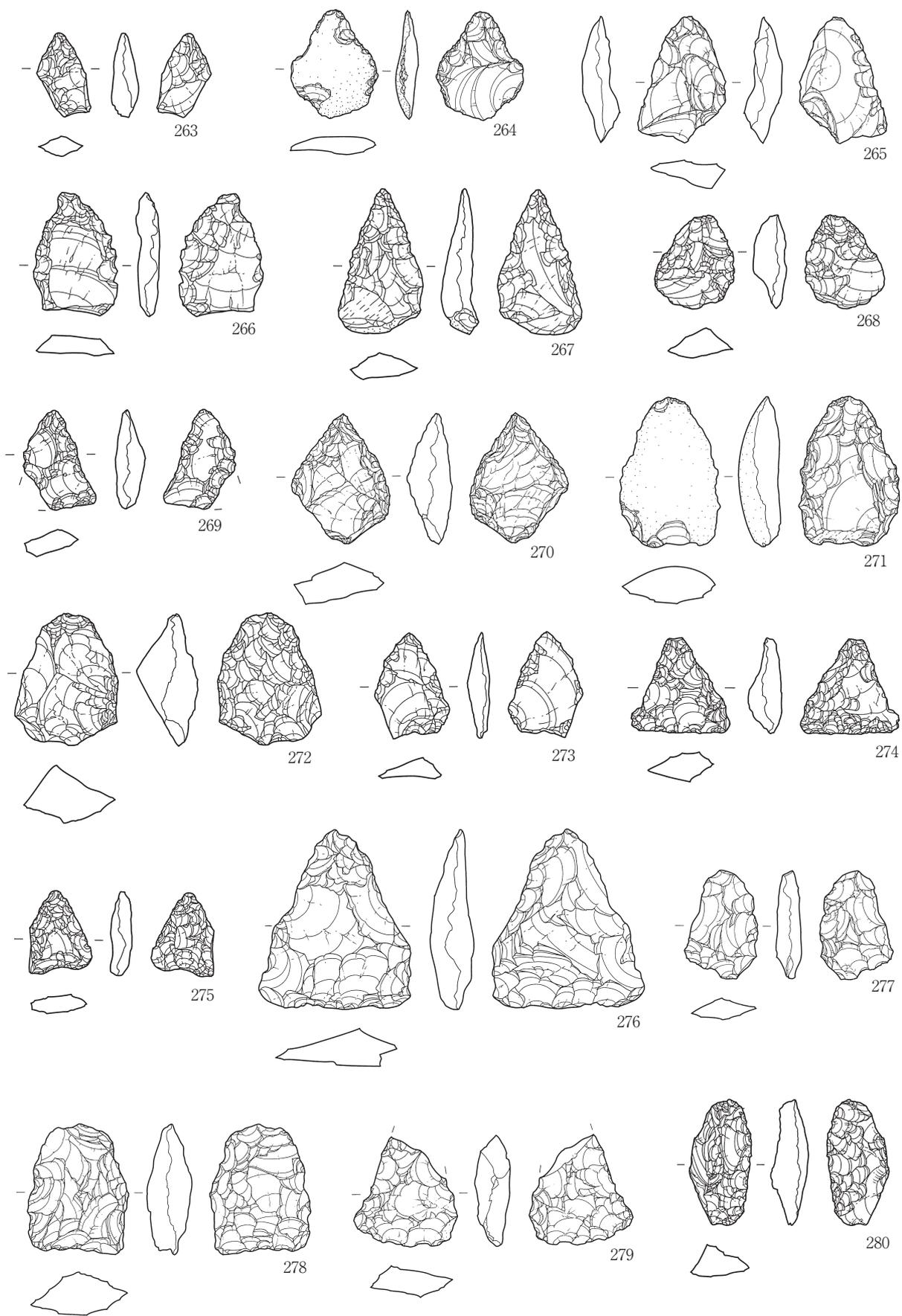
第905図 包含層出土石器実測図・9 (石鏃6)



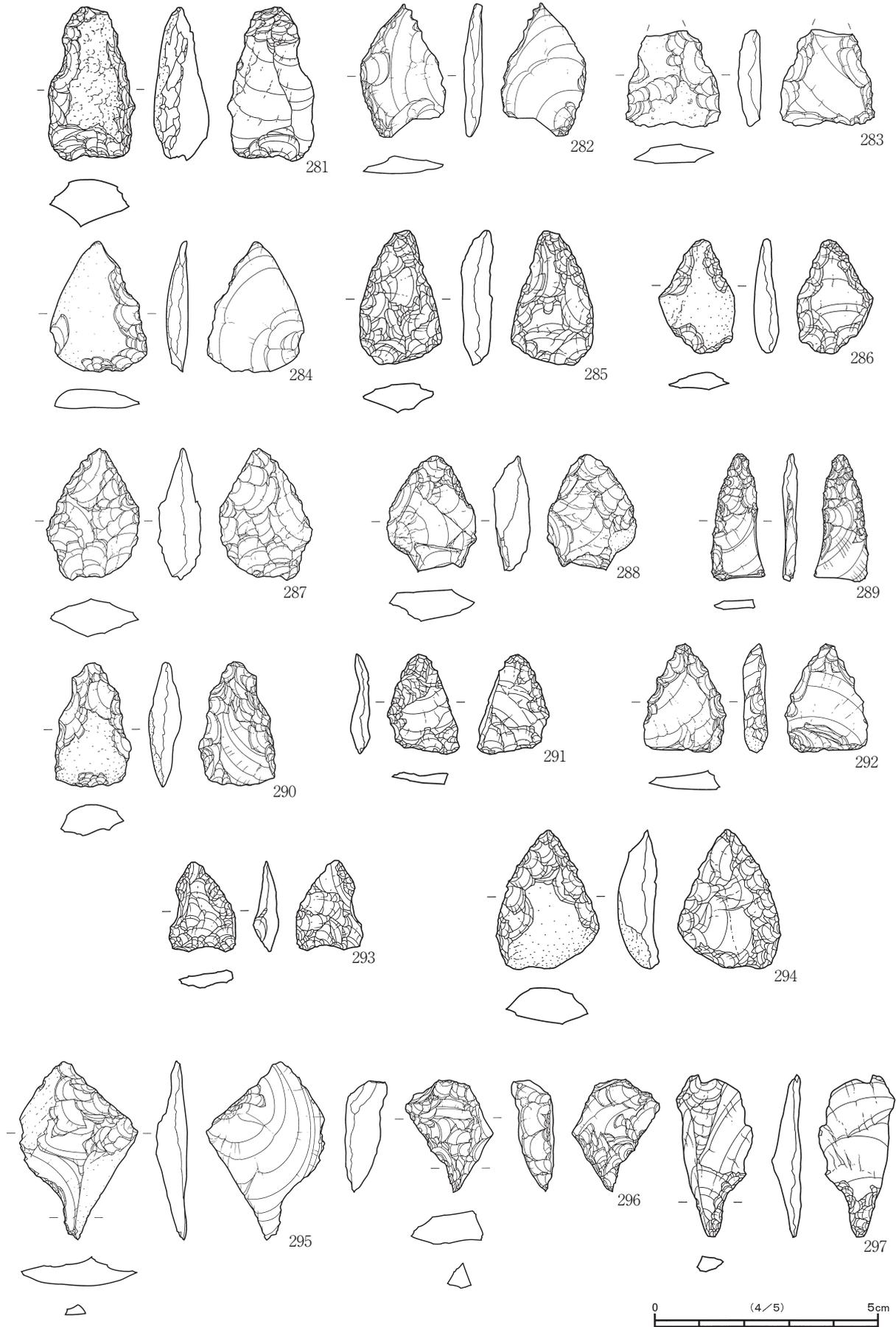
第906図 包含層出土石器実測図・10 (石鏃7)



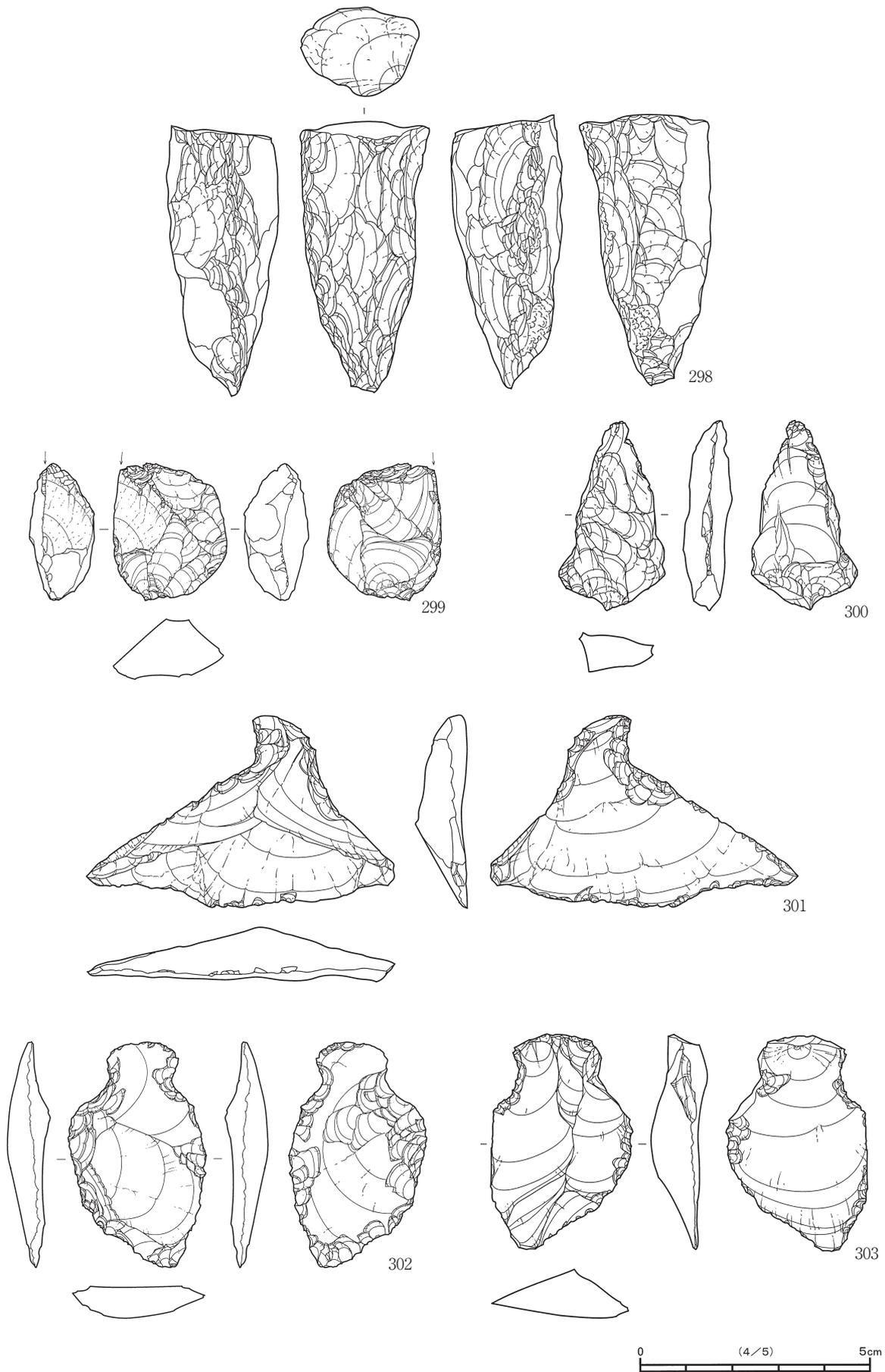
第907図 包含層出土石器実測図・11 (石鏃8、石鏃未製品1)



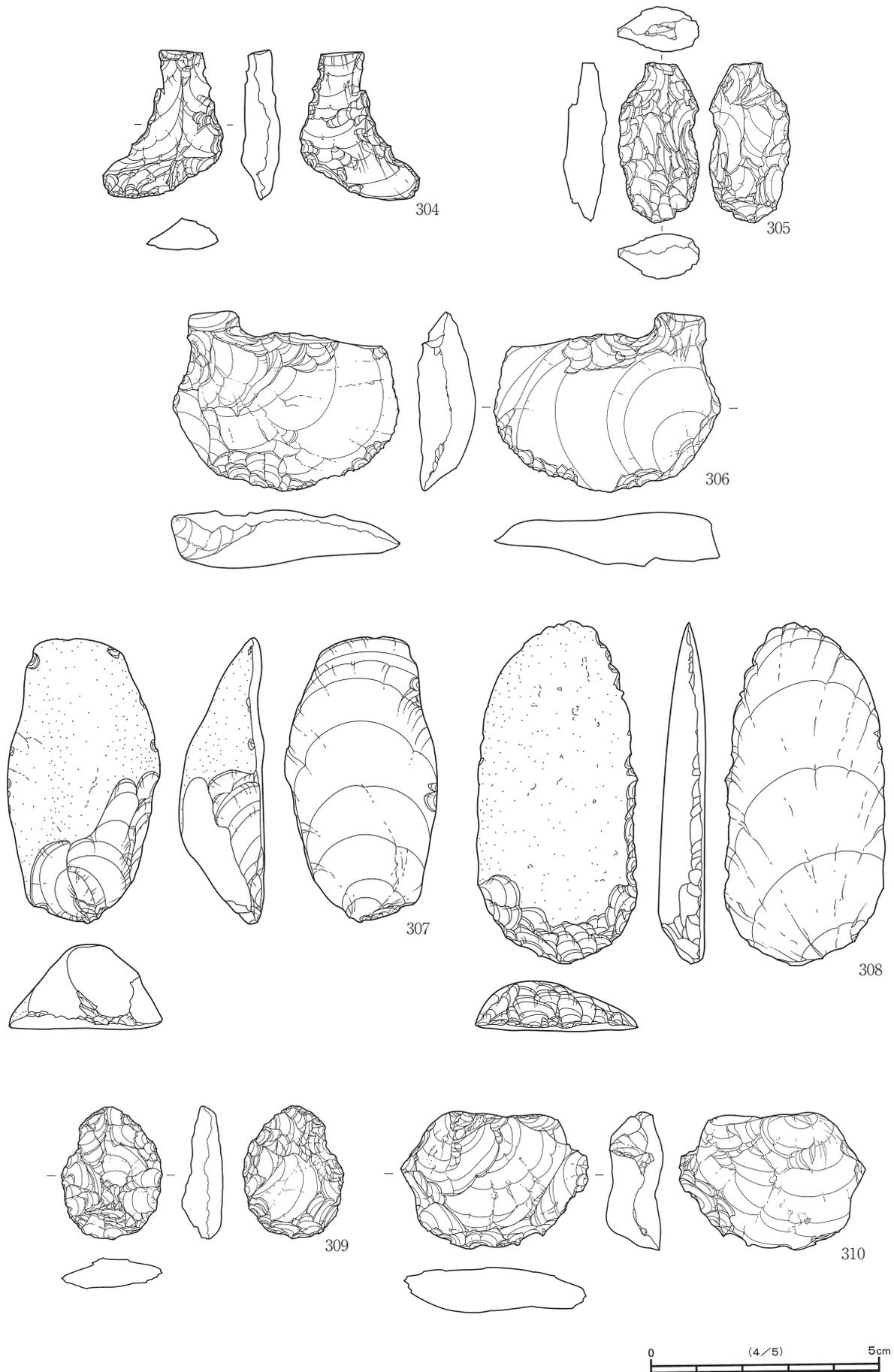
第908図 包含層出土石器実測図・12 (石鏃未製品2)



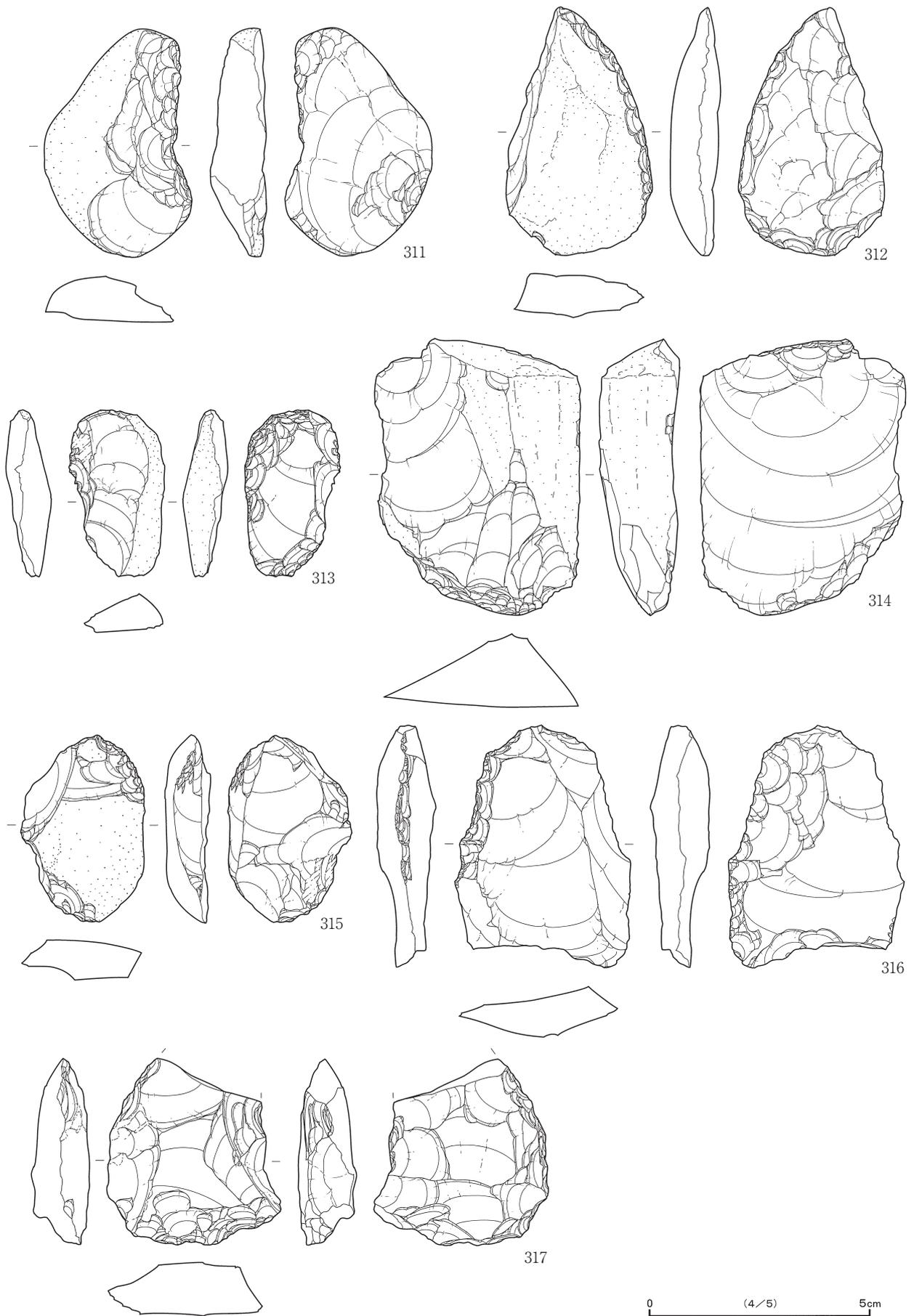
第909図 包含層出土石器実測図・13 (石鏃未製品3、石鏃)



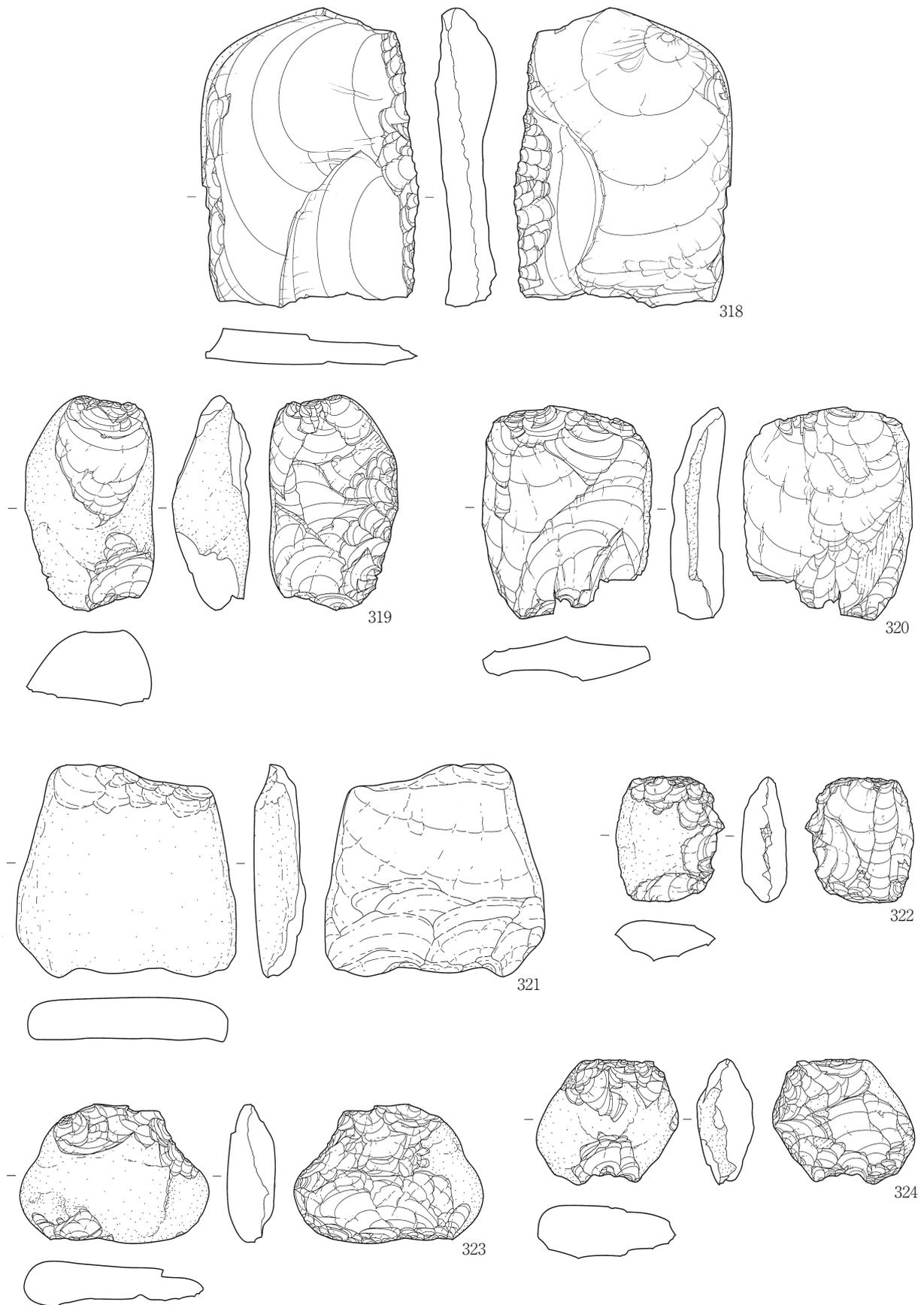
第910図 包含層出土石器実測図・14 (角錐状石器、彫器、石匙 1)



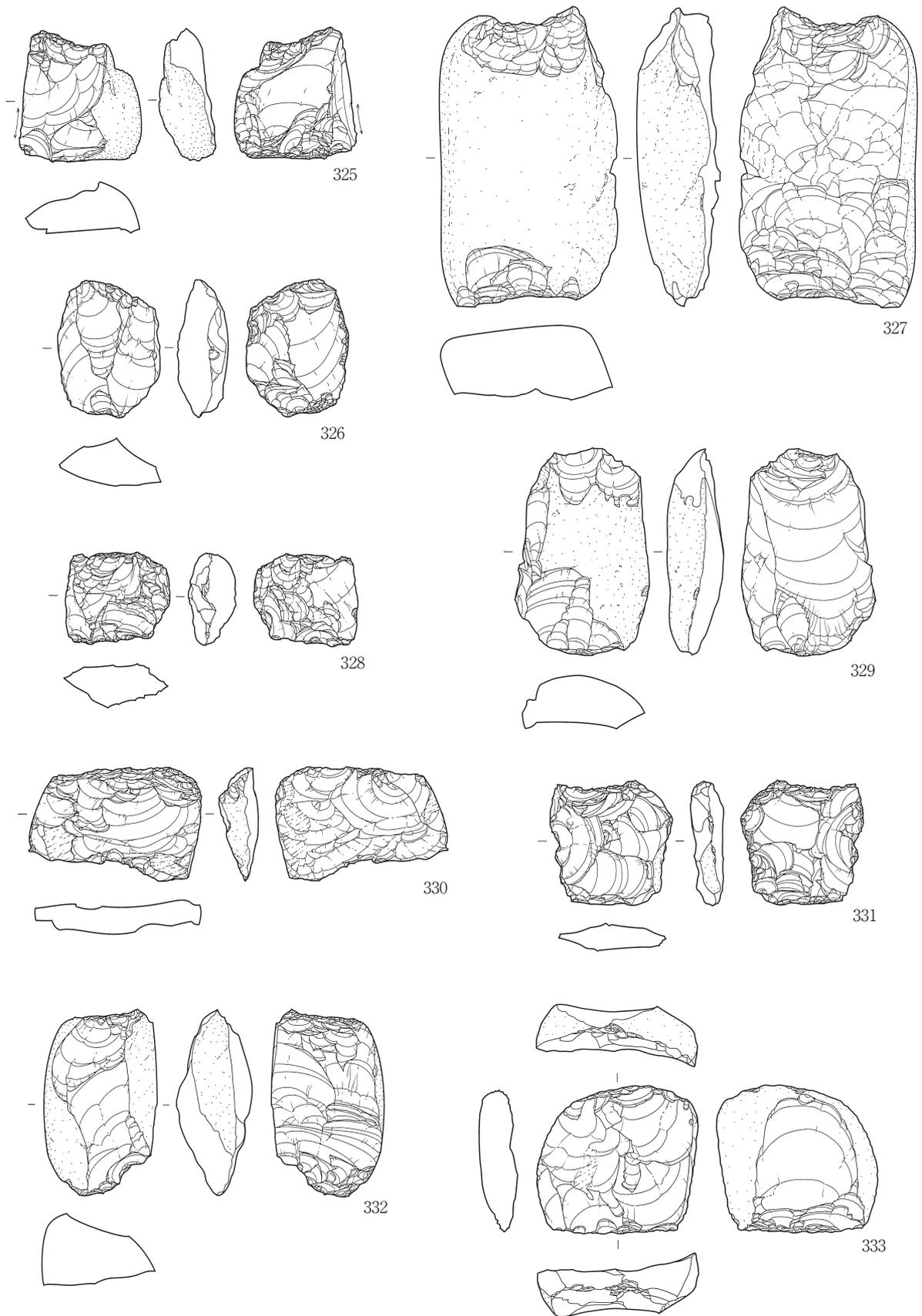
第911図 包含層出土石器実測図・15 (石匙2、搔器、スクレーパー1)



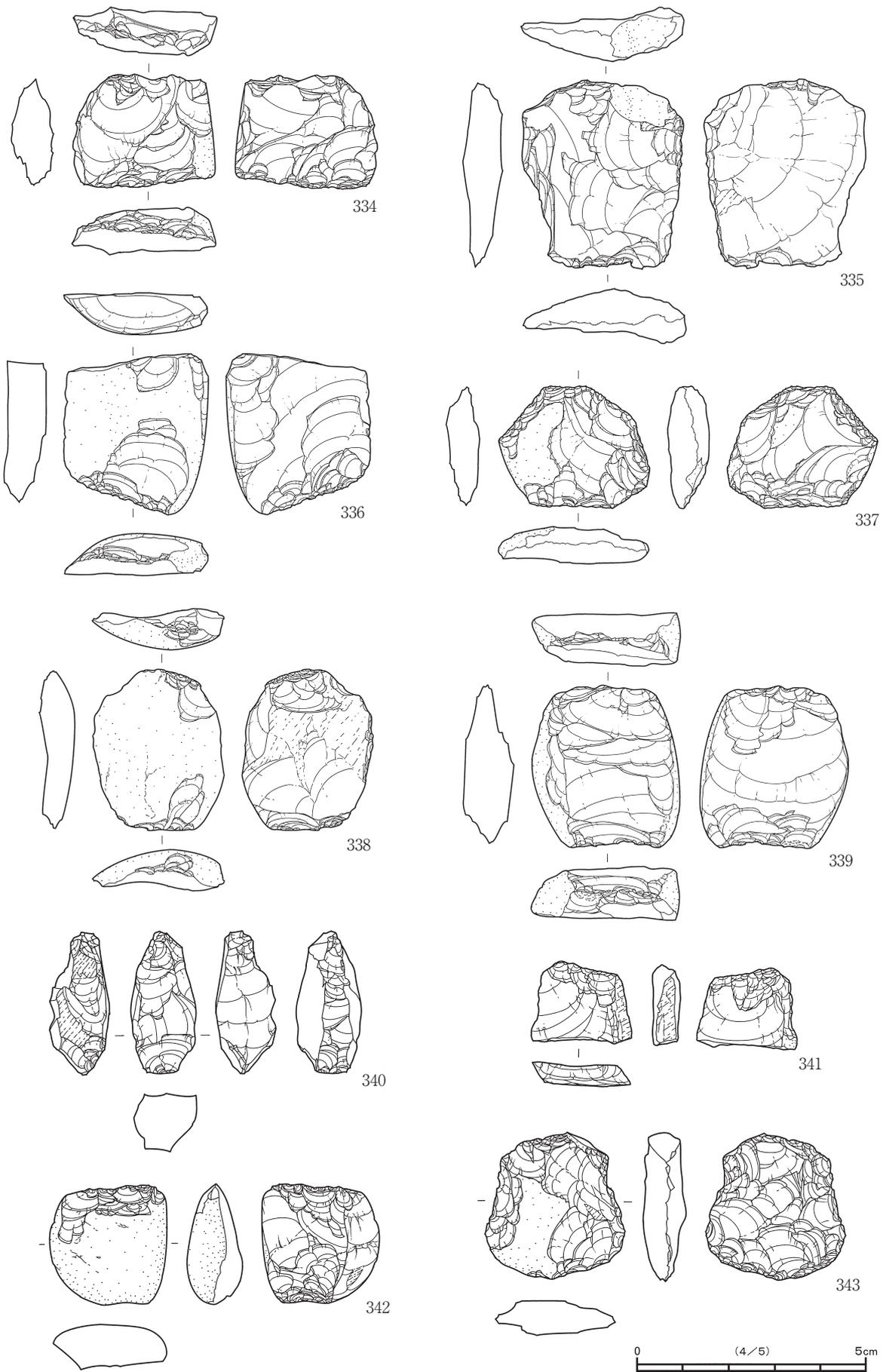
第912図 包含層出土石器実測図・16 (スクレーパー2)



第913図 包含層出土石器実測図・17 (スクレーパー3、楔形石器1)



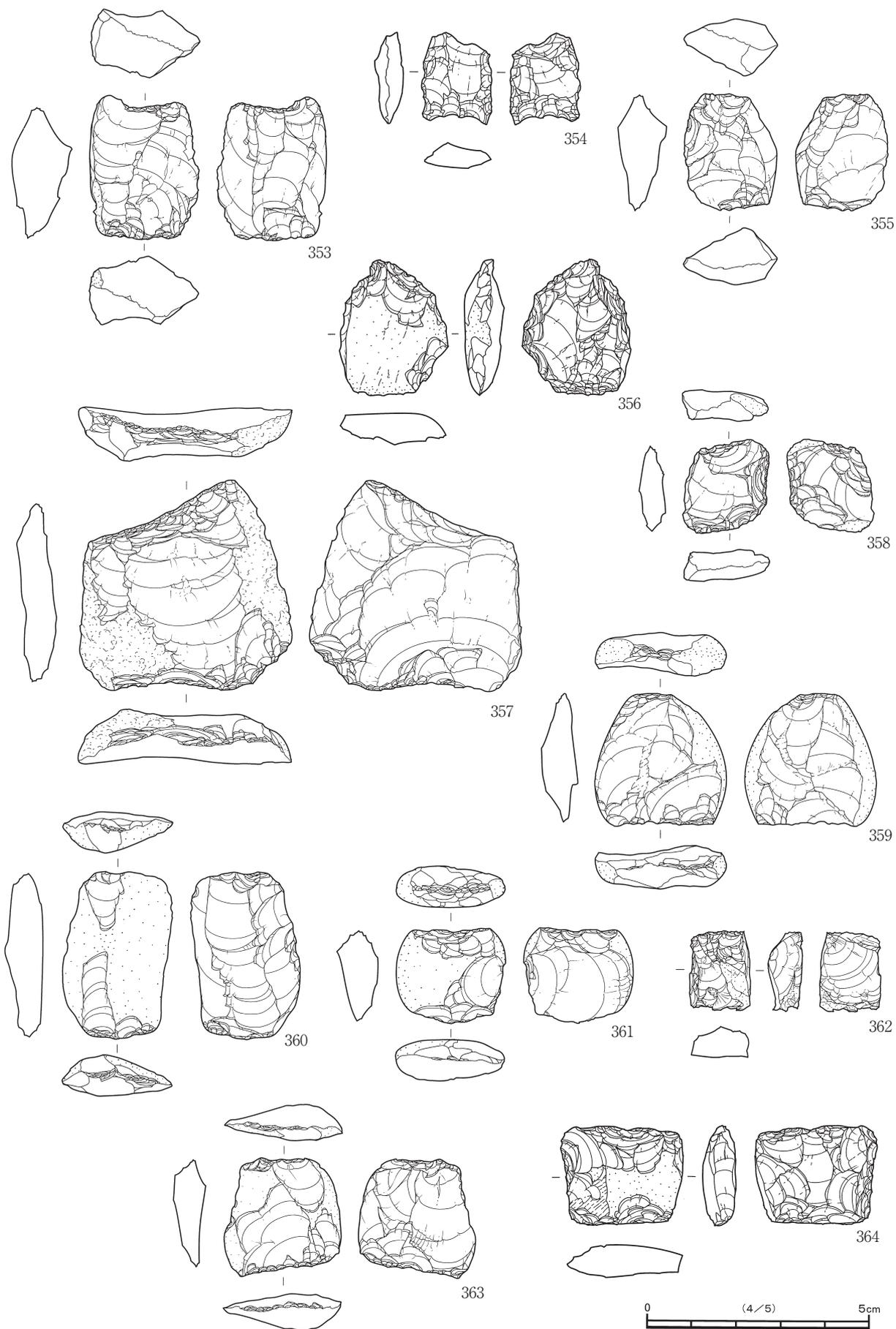
第914図 包含層出土石器実測図・18 (楔形石器2)



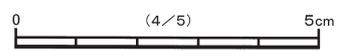
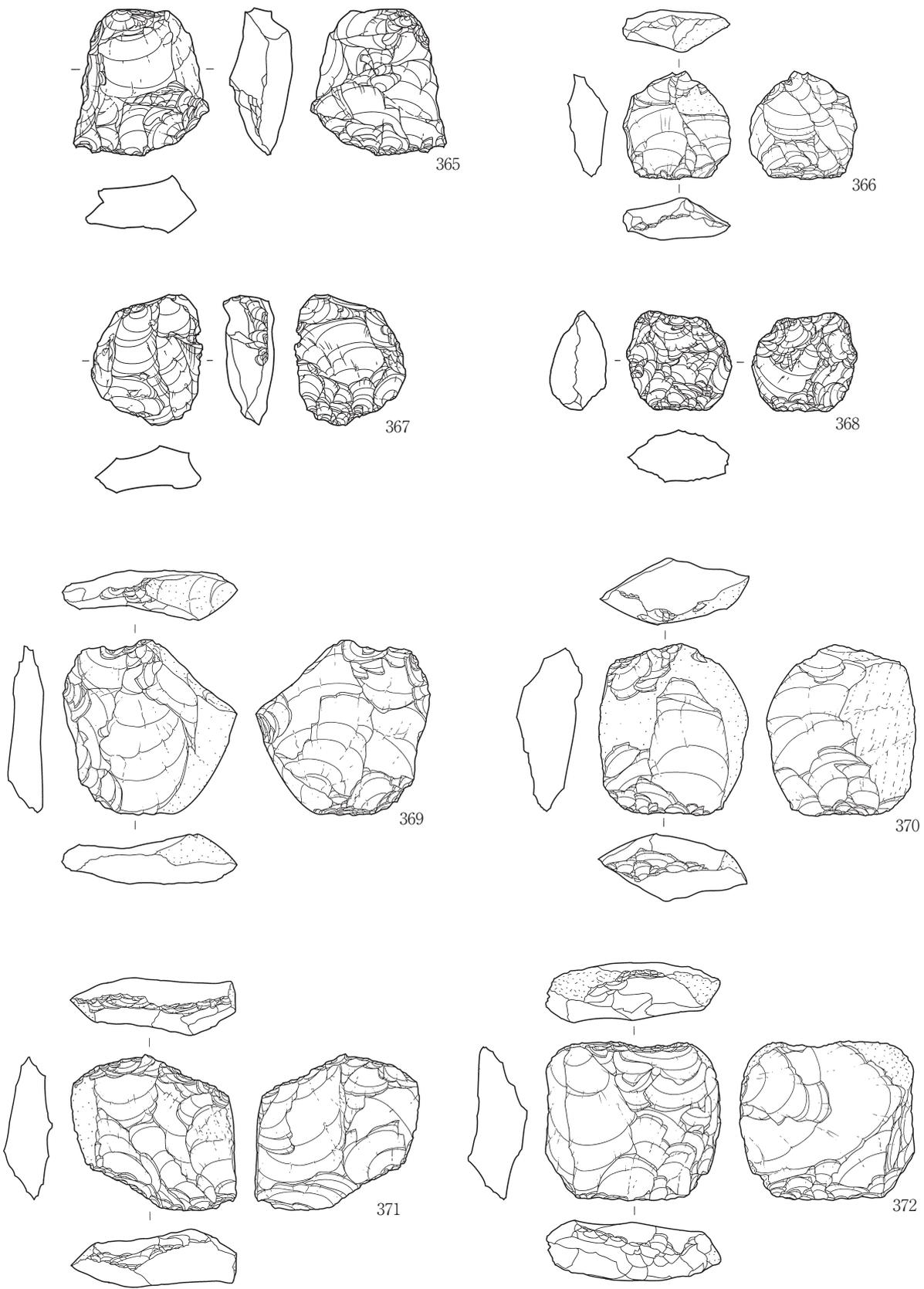
第915図 包含層出土石器実測図・19 (楔形石器3)



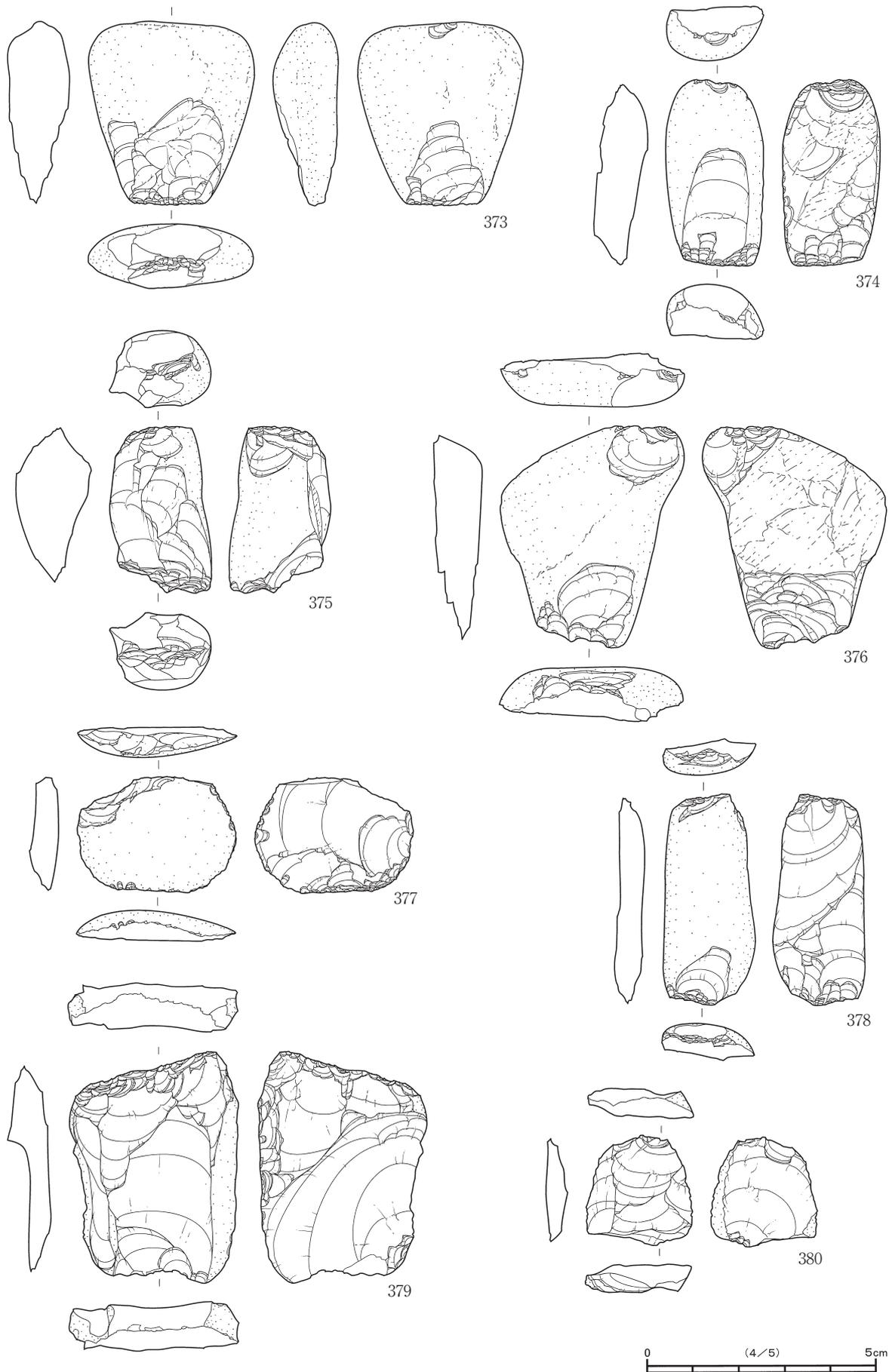
第916図 包含層出土石器実測図・20 (楔形石器4)



第917图 包含層出土石器実測図・21 (楔形石器5)



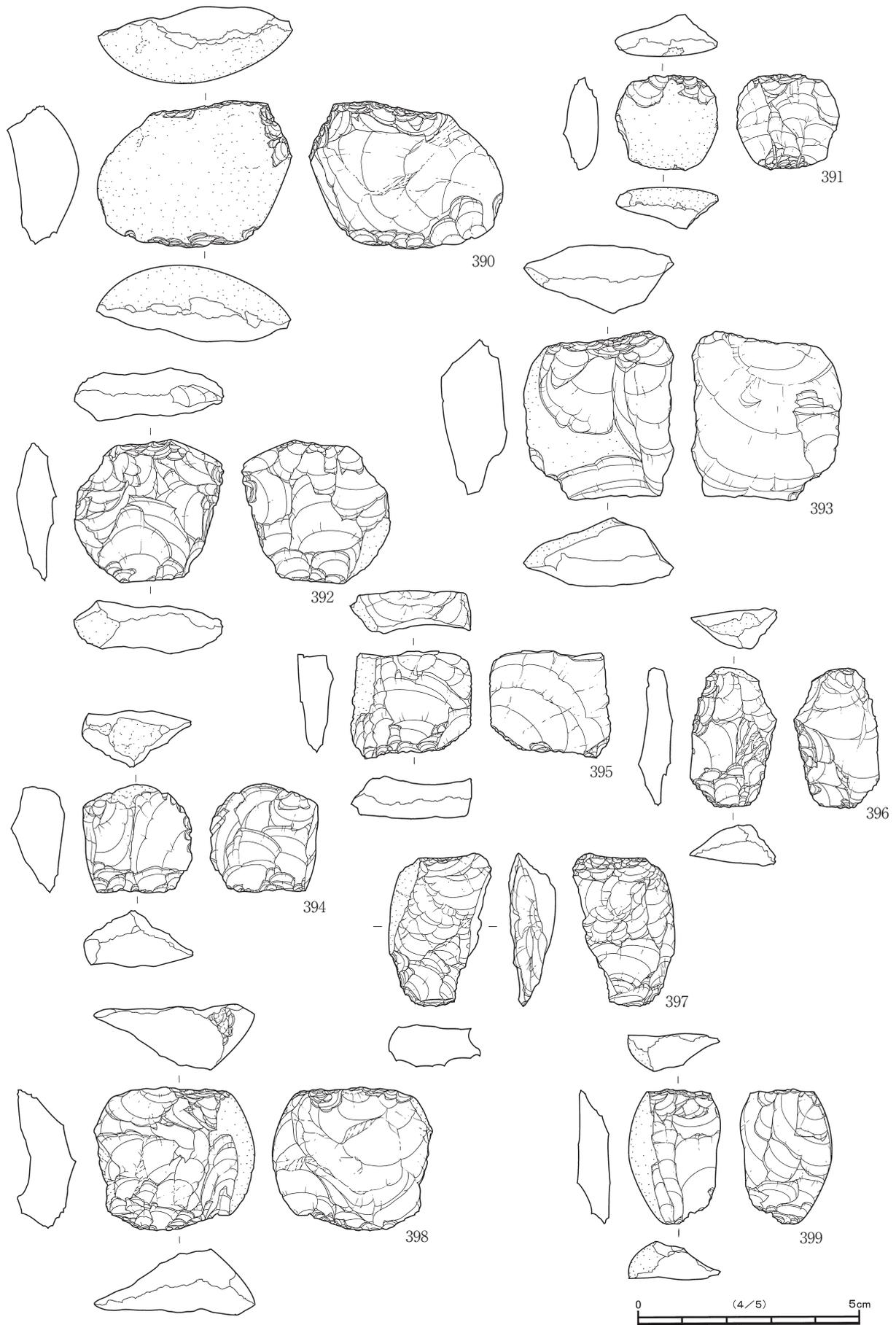
第918図 包含層出土石器実測図・22 (楔形石器6)



第919图 包含層出土石器実測図・23 (楔状石器 1)



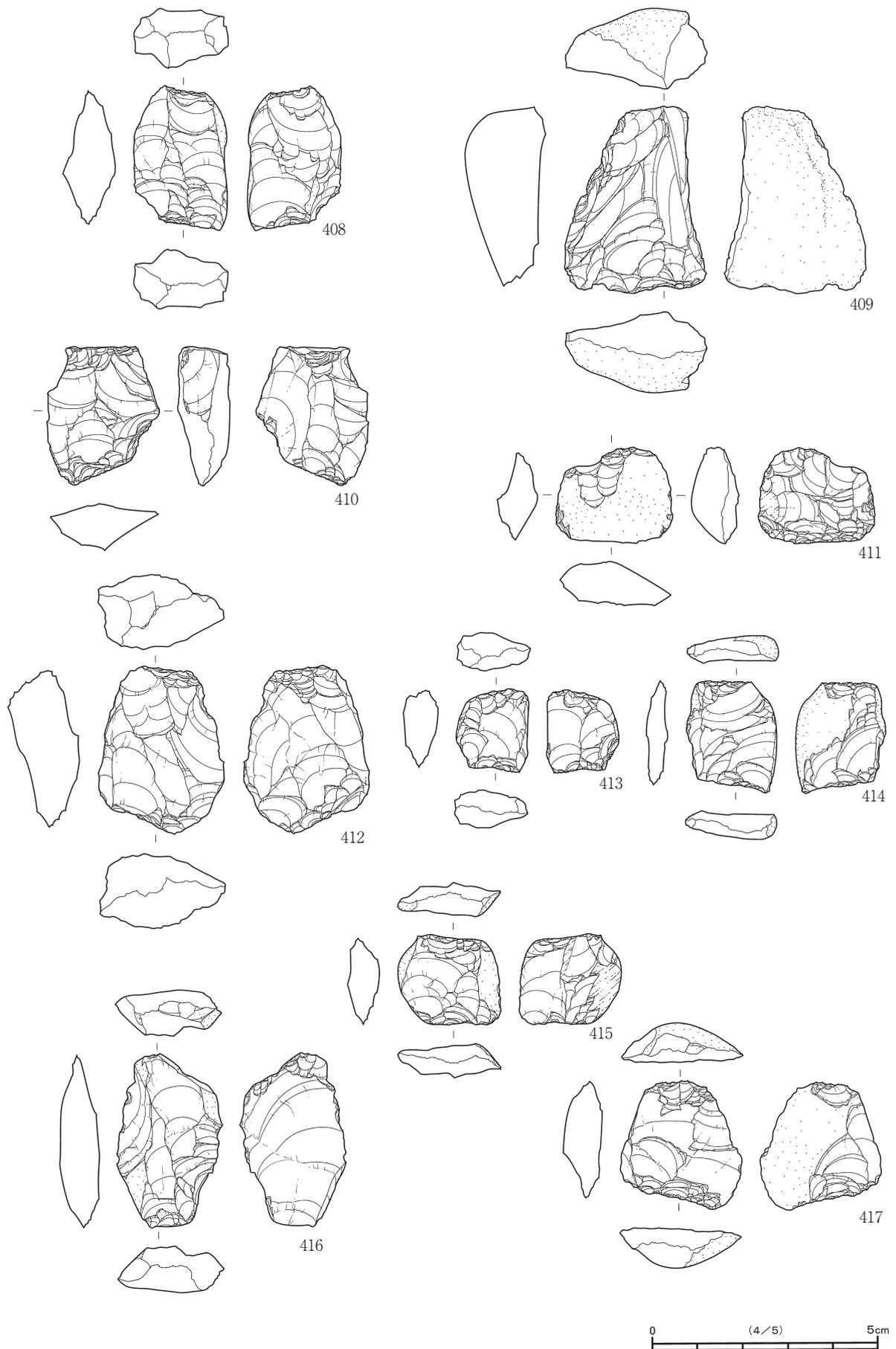
第920图 包含層出土石器実測図・24 (楔状石器 2)



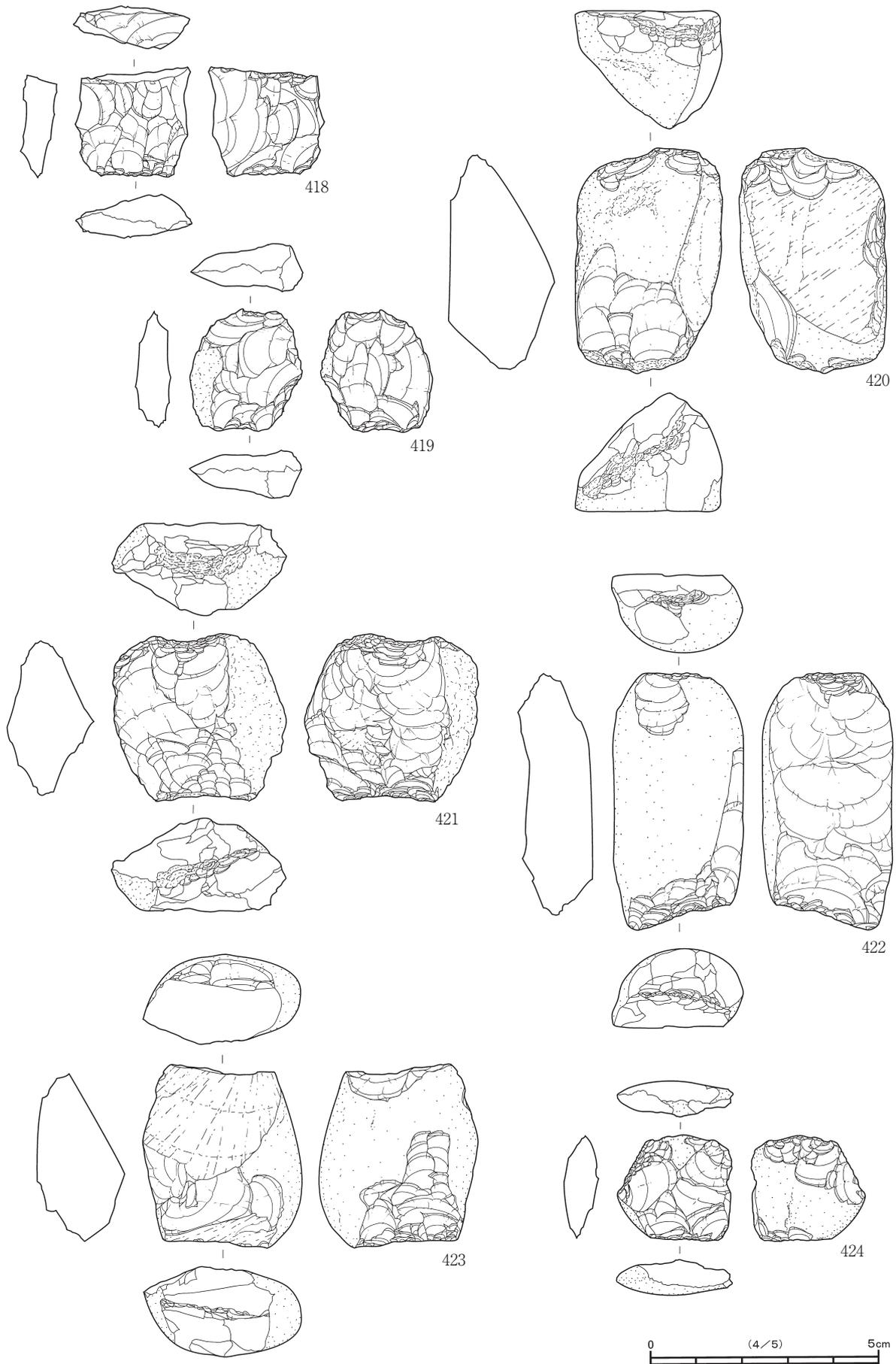
第921图 包含層出土石器実測図・25 (楔状石器3)



第922图 包含層出土石器実測図・26 (楔状石器 4)



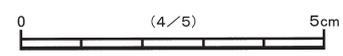
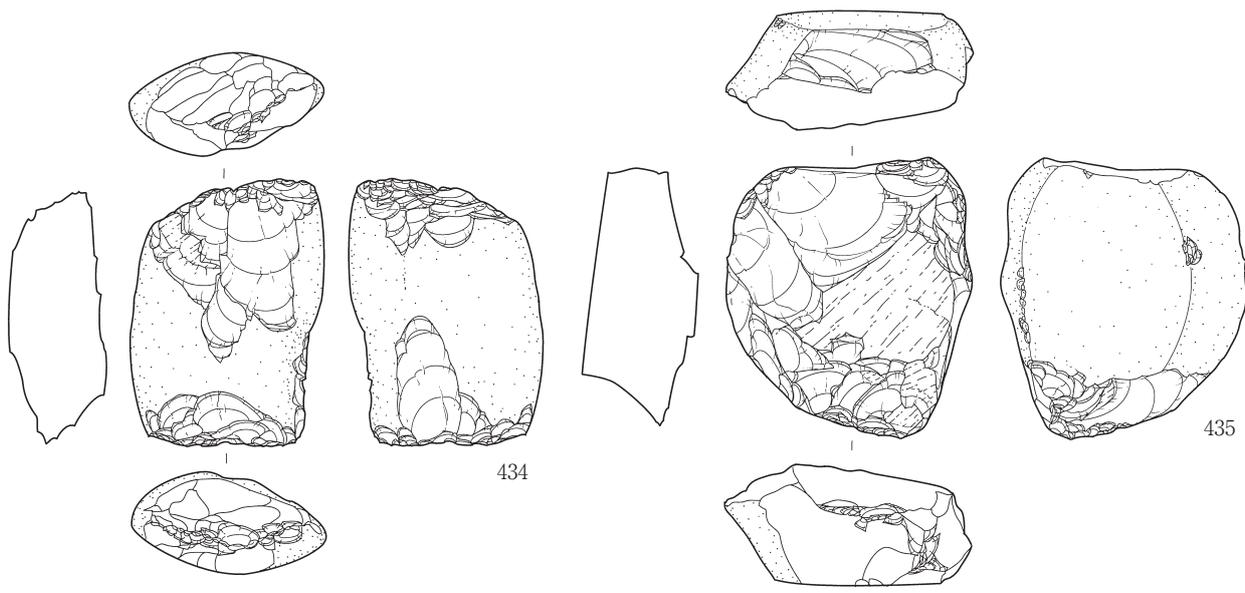
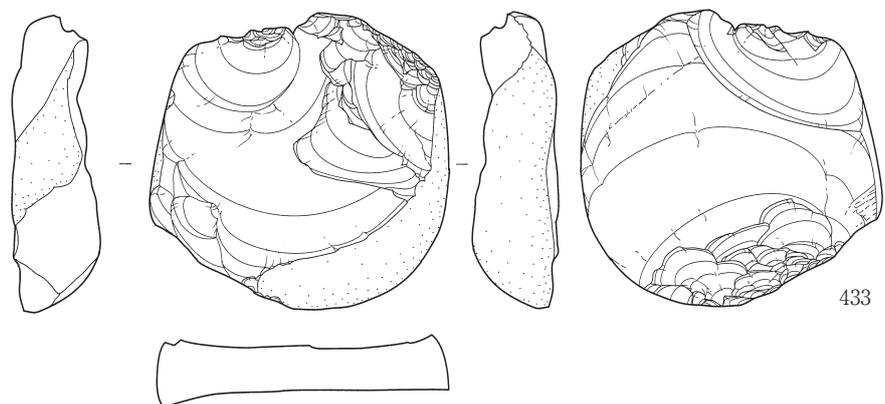
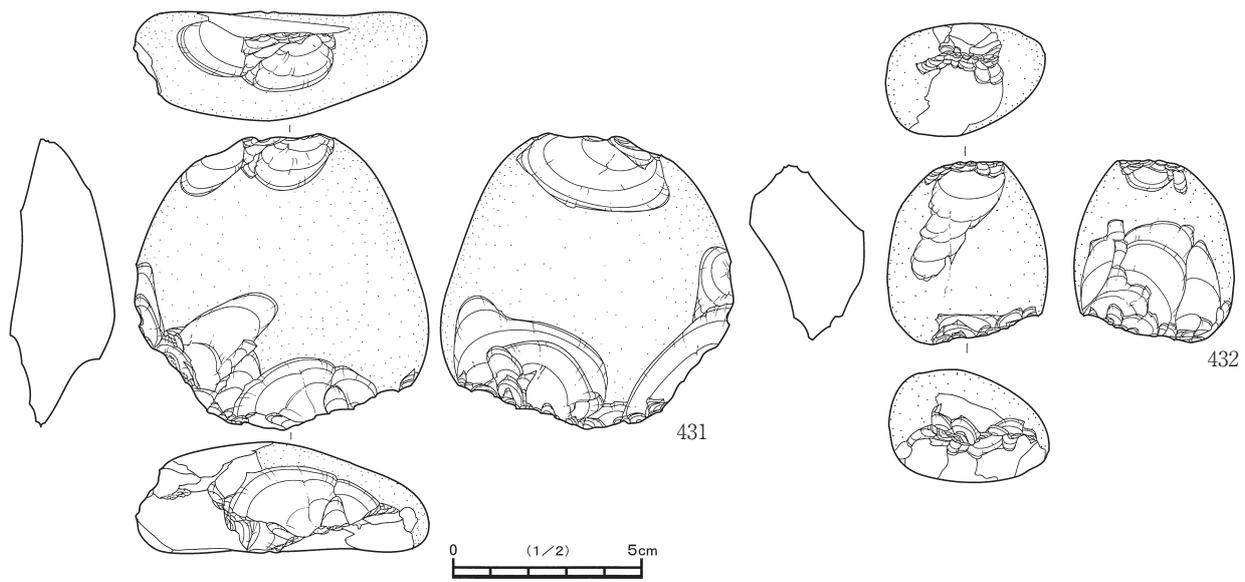
第923図 包含層出土石器実測図・27 (楔状石器5)



第924图 包含層出土石器実測図・28 (楔状石器6)



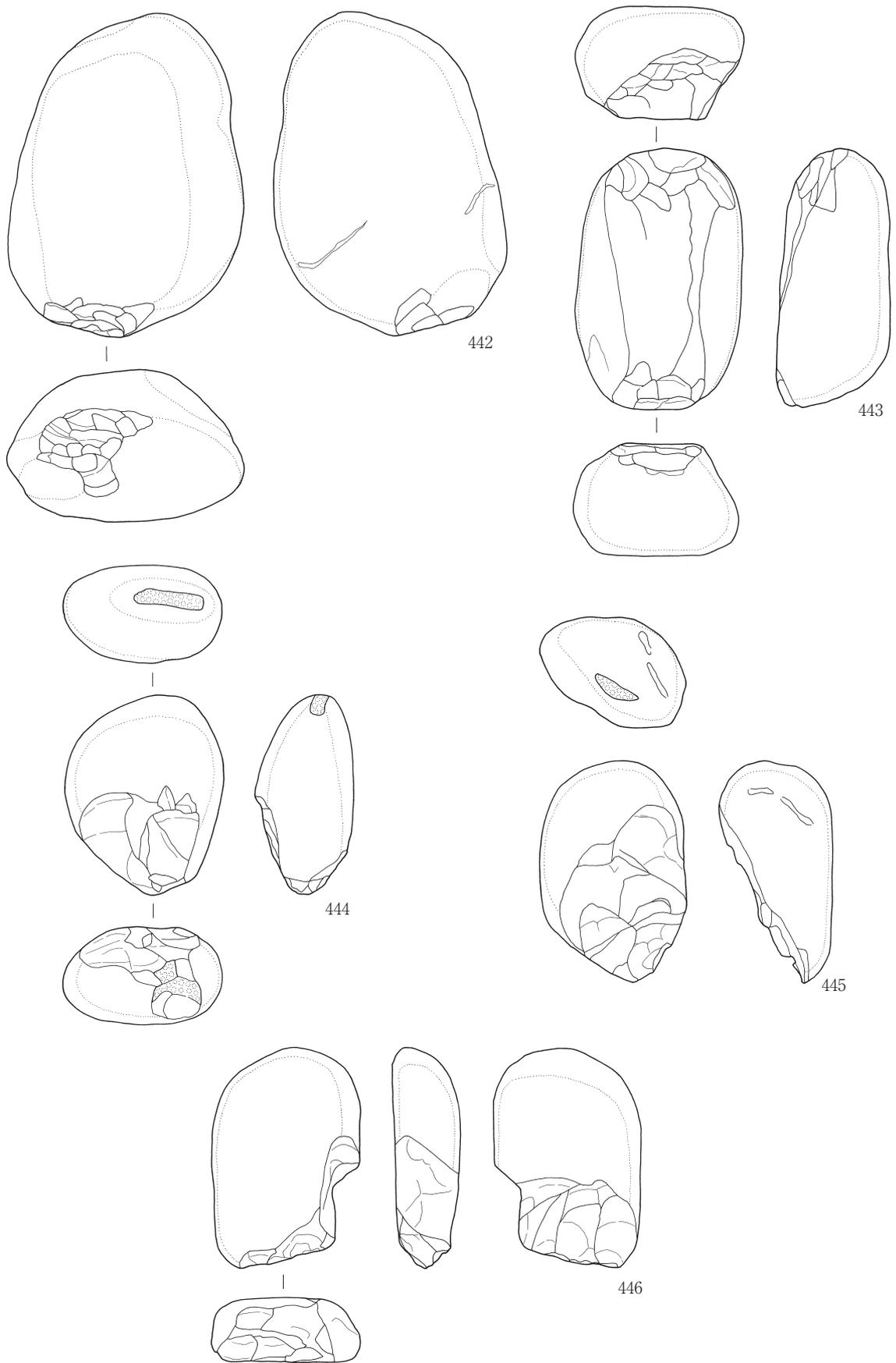
第925図 包含層出土石器実測図・29 (楔状石器7、両極石核1)



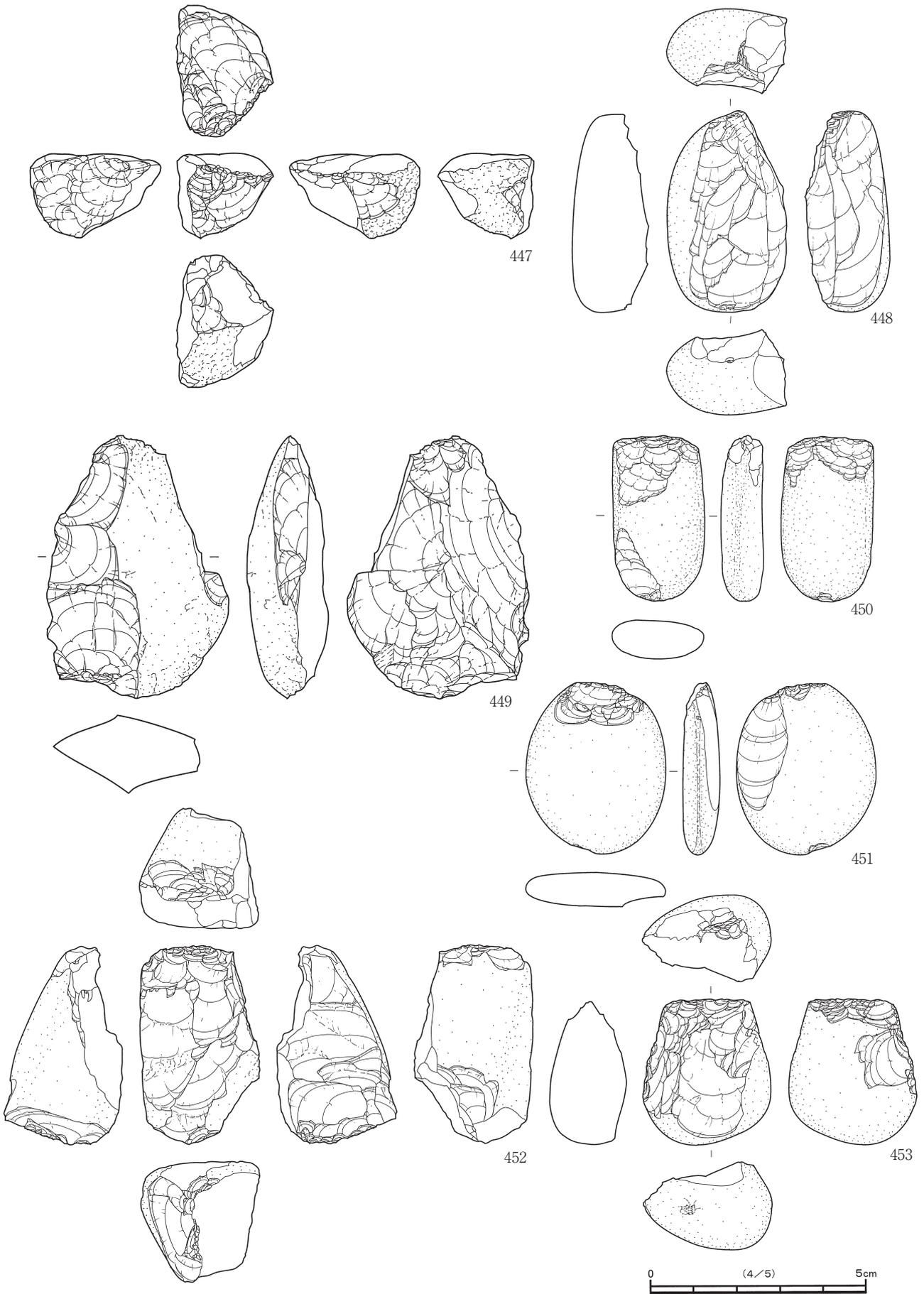
第926図 包含層出土石器実測図・30 (兩極石核2)



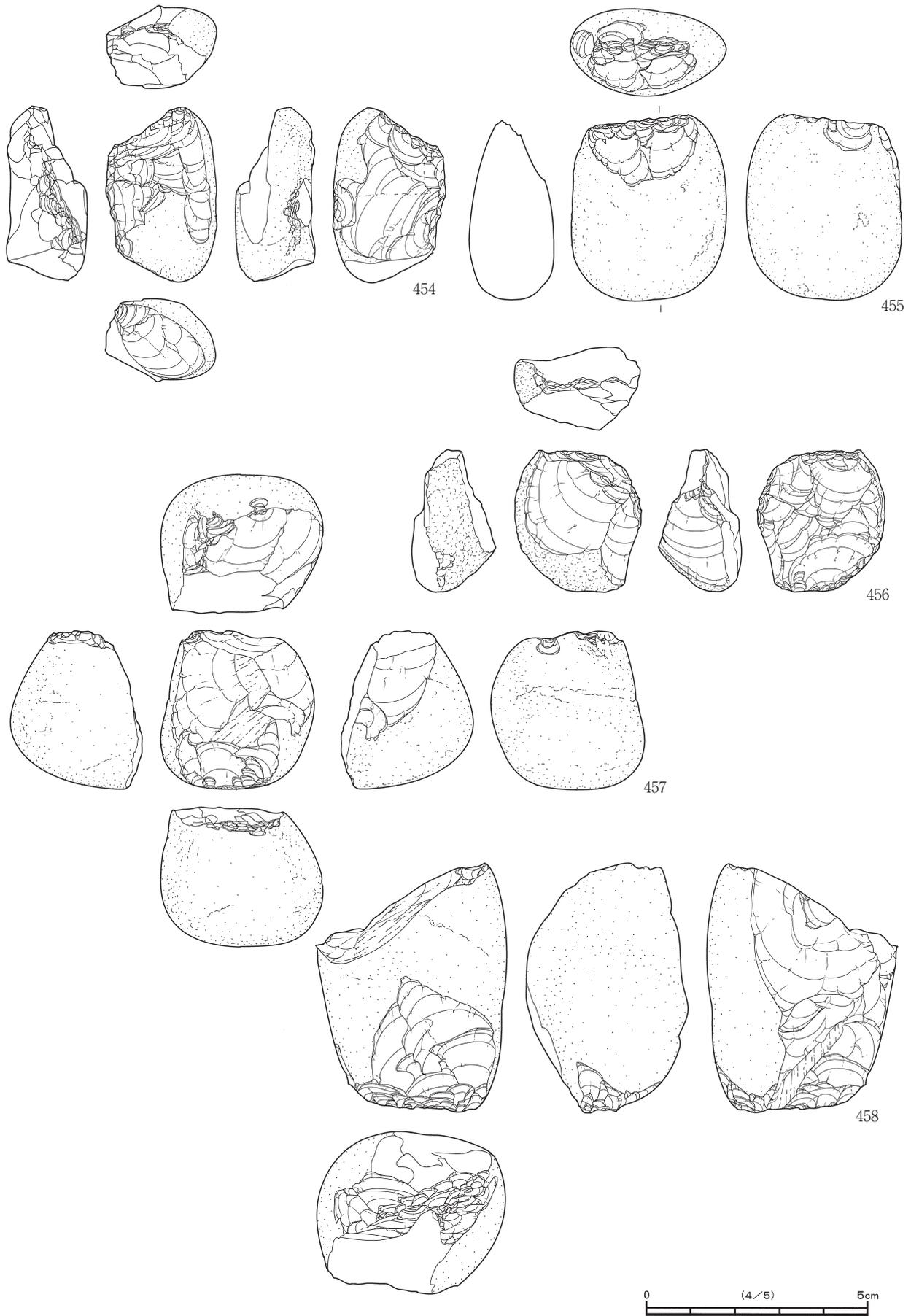
第927图 包含層出土石器実測図・31 (兩極石核3)



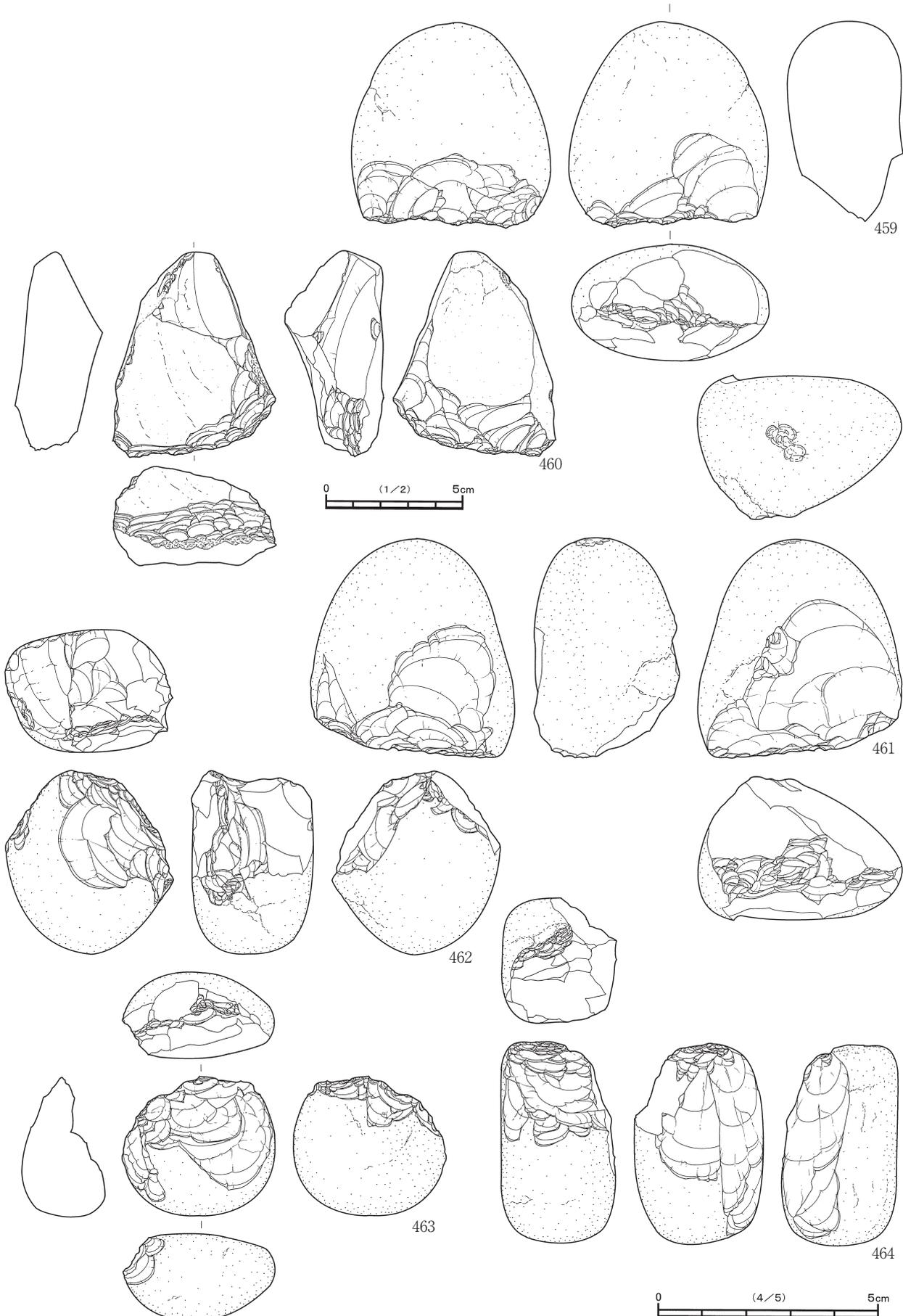
第928図 包含層出土石器実測図・32 (石核 1)



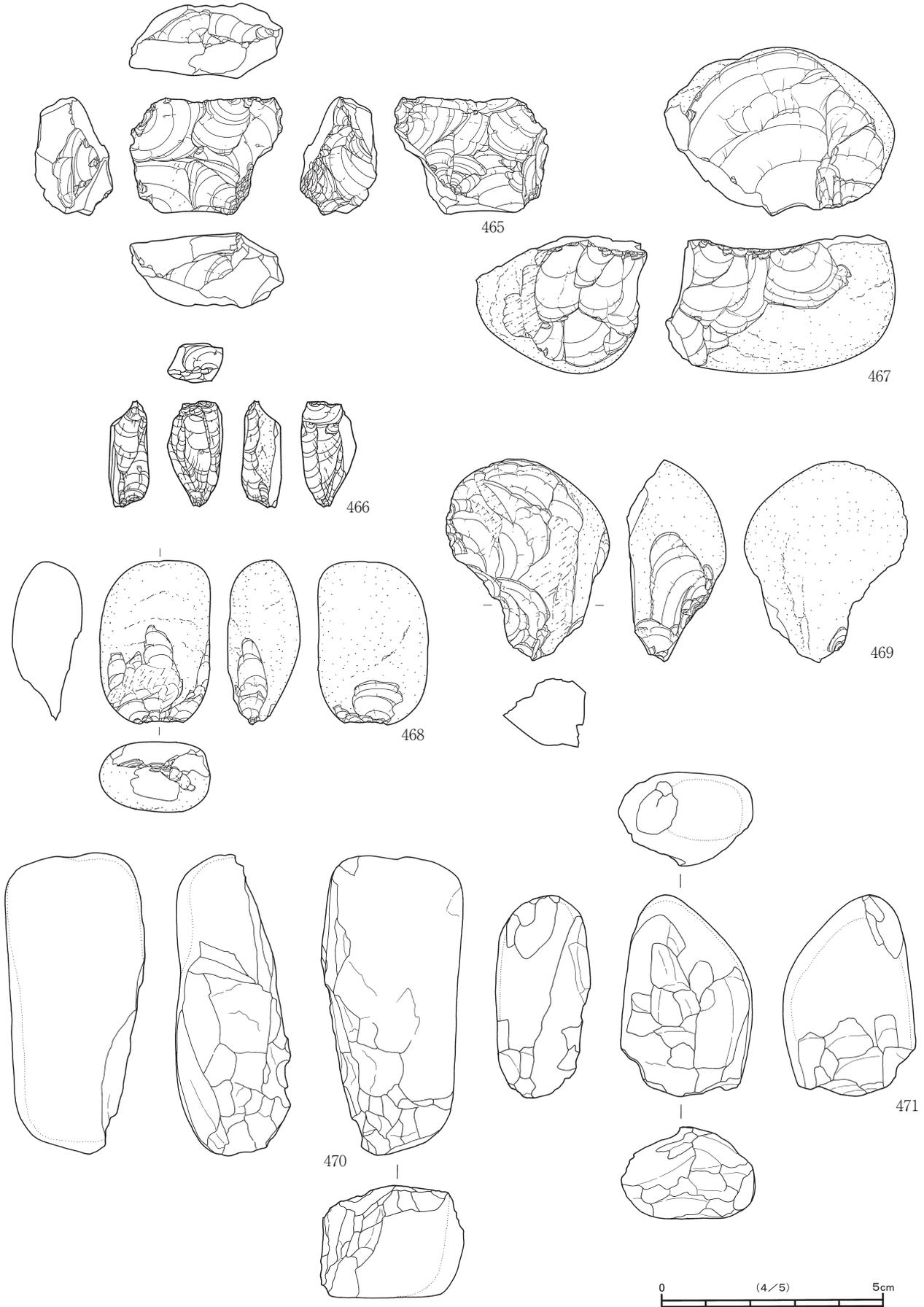
第929図 包含層出土石器実測図・33 (石核2)



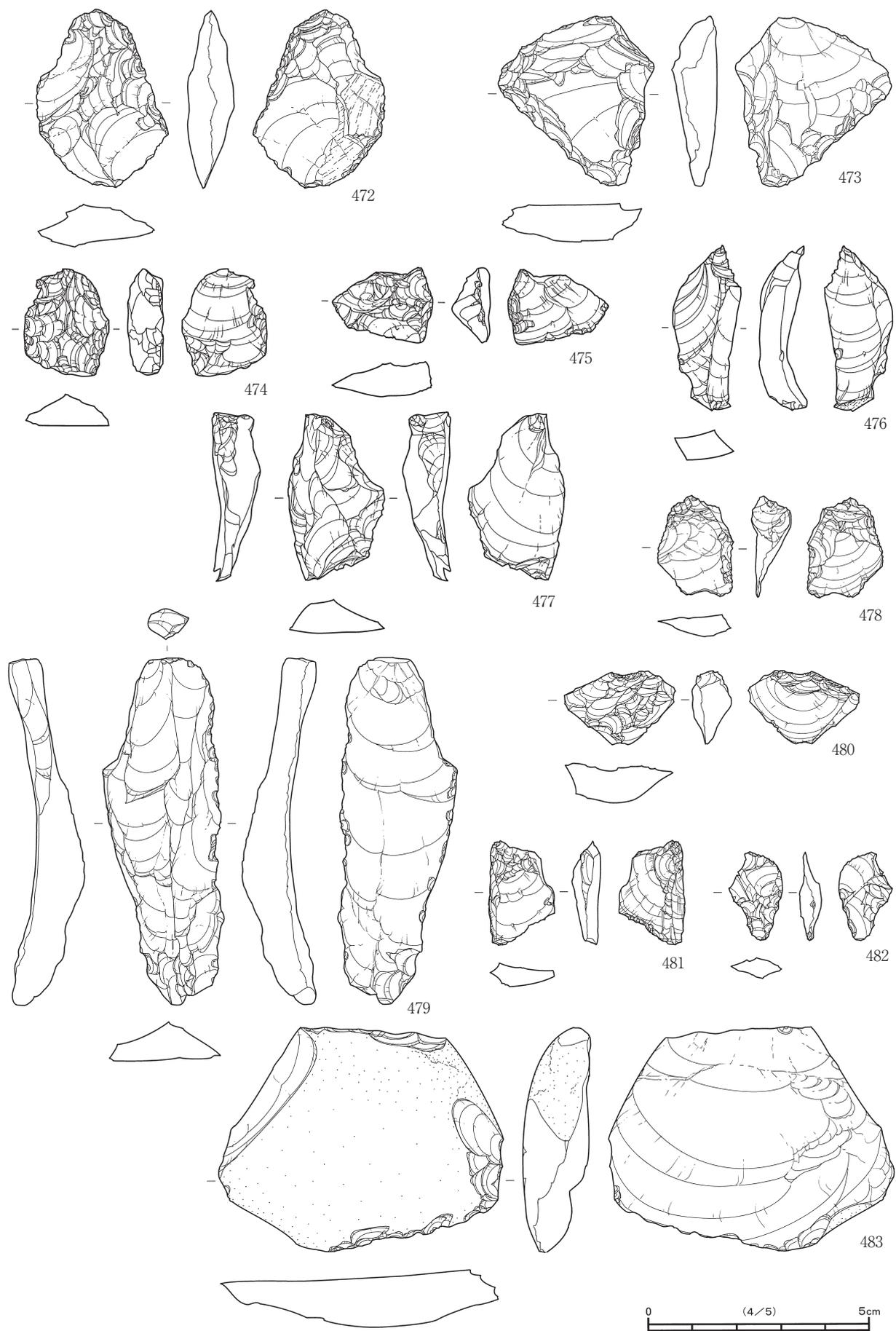
第930图 包含層出土石器実測図・34 (石核3)



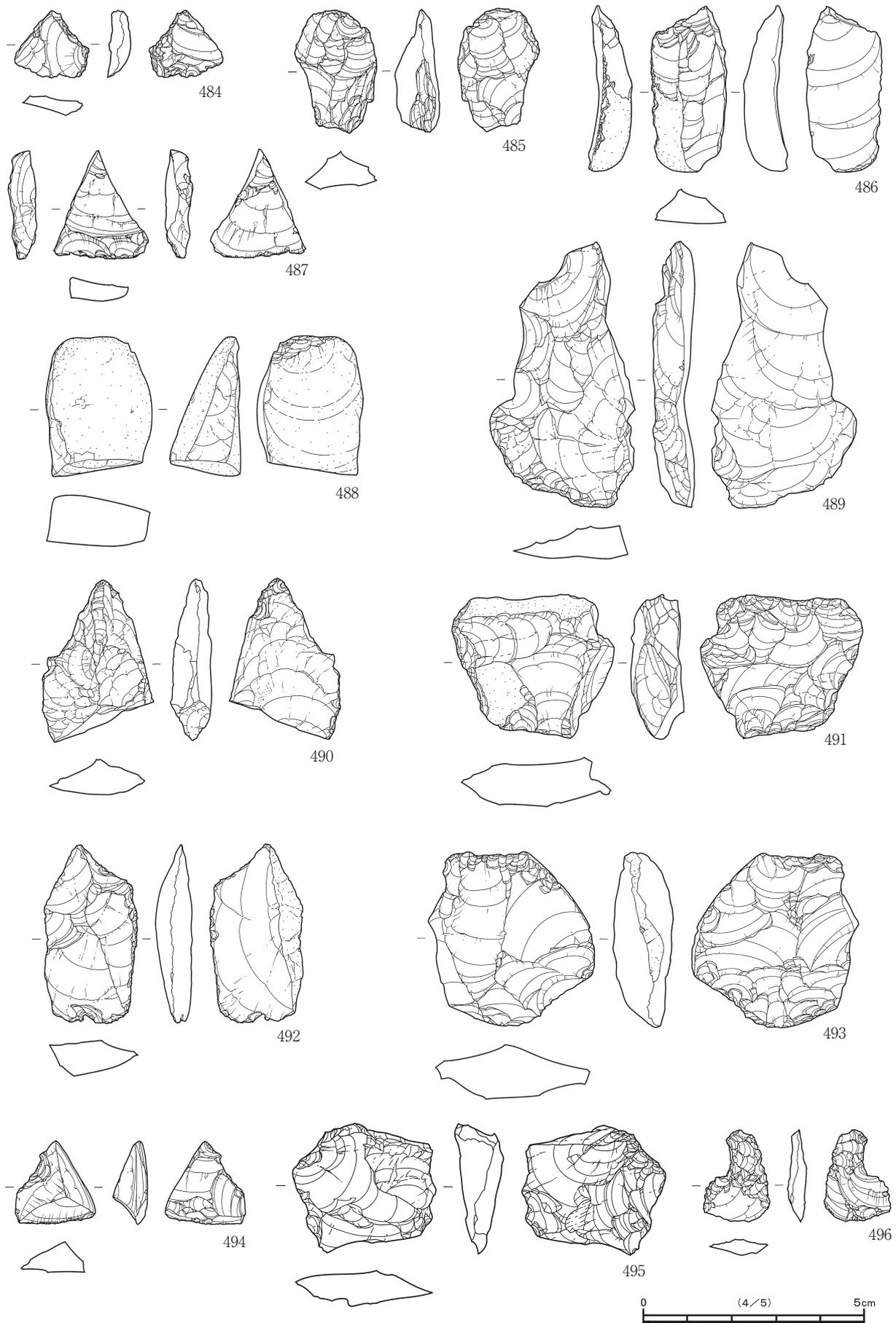
第931图 包含層出土石器実測図・35 (石核4)



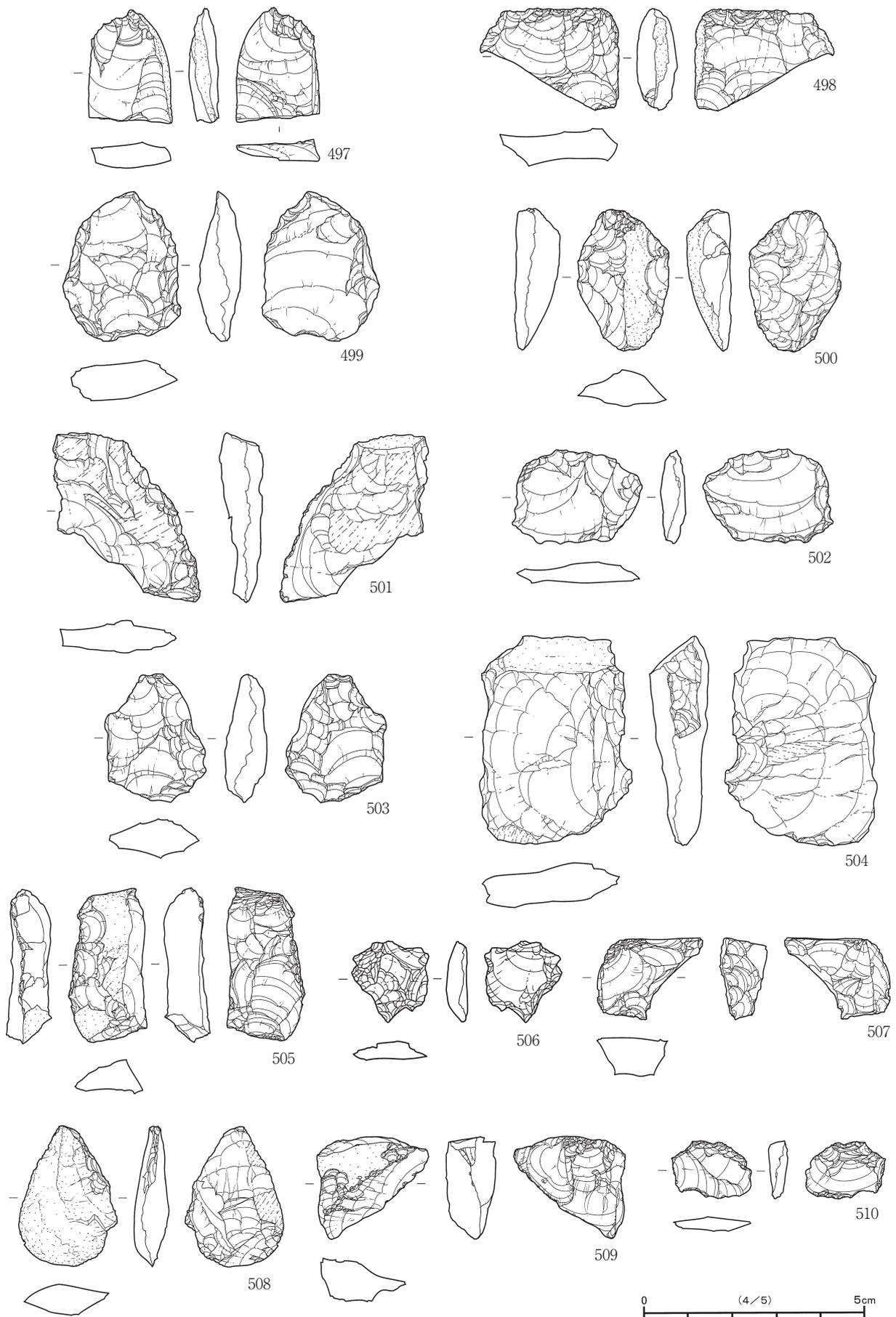
第932図 包含層出土石器実測図・36 (石核5)



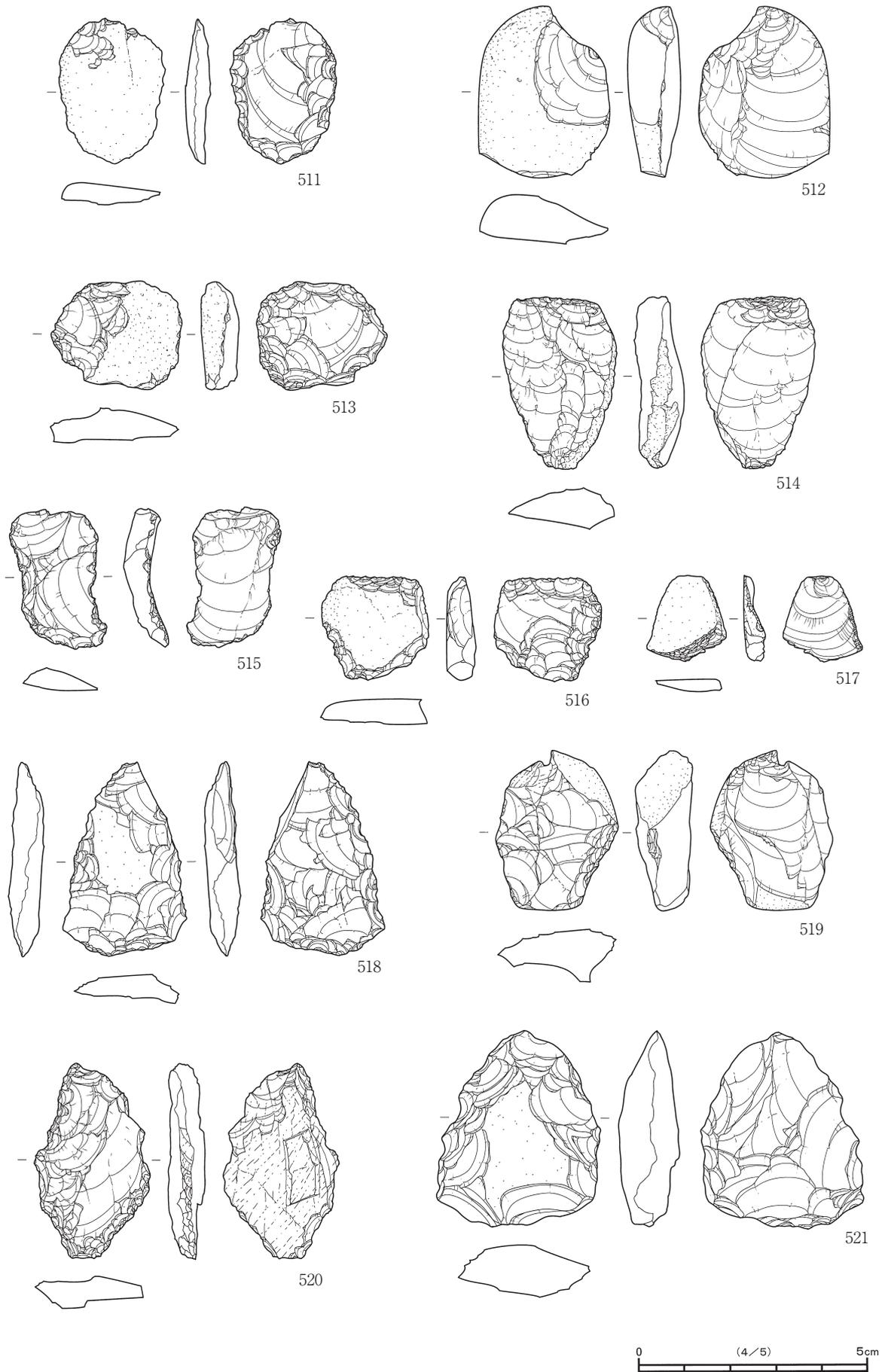
第933図 包含層出土石器実測図・37 (R F 1)



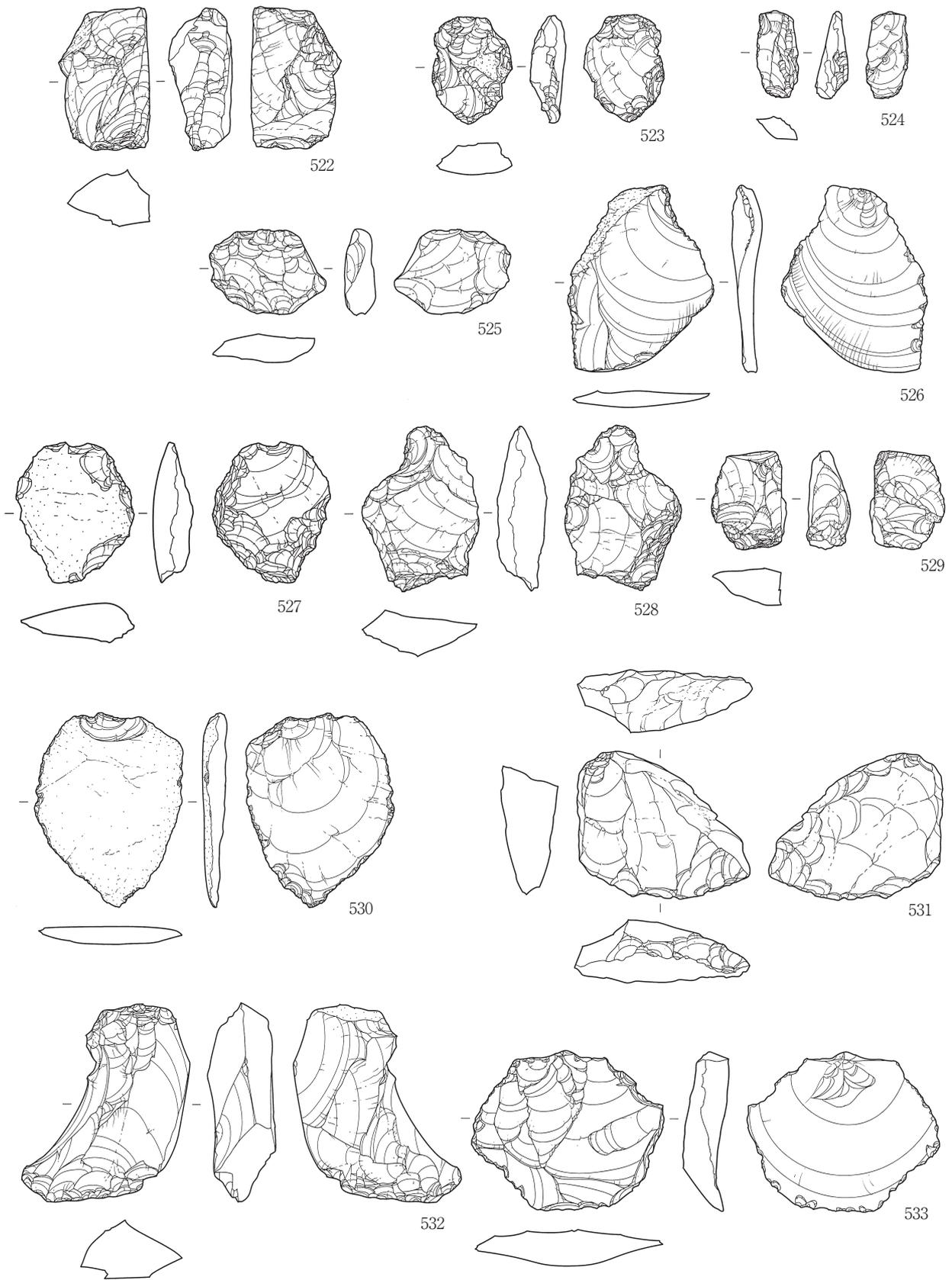
第934図 包含層出土石器実測図・38 (R F 2)



第935图 包含層出土石器実測図・39 (R F 3)

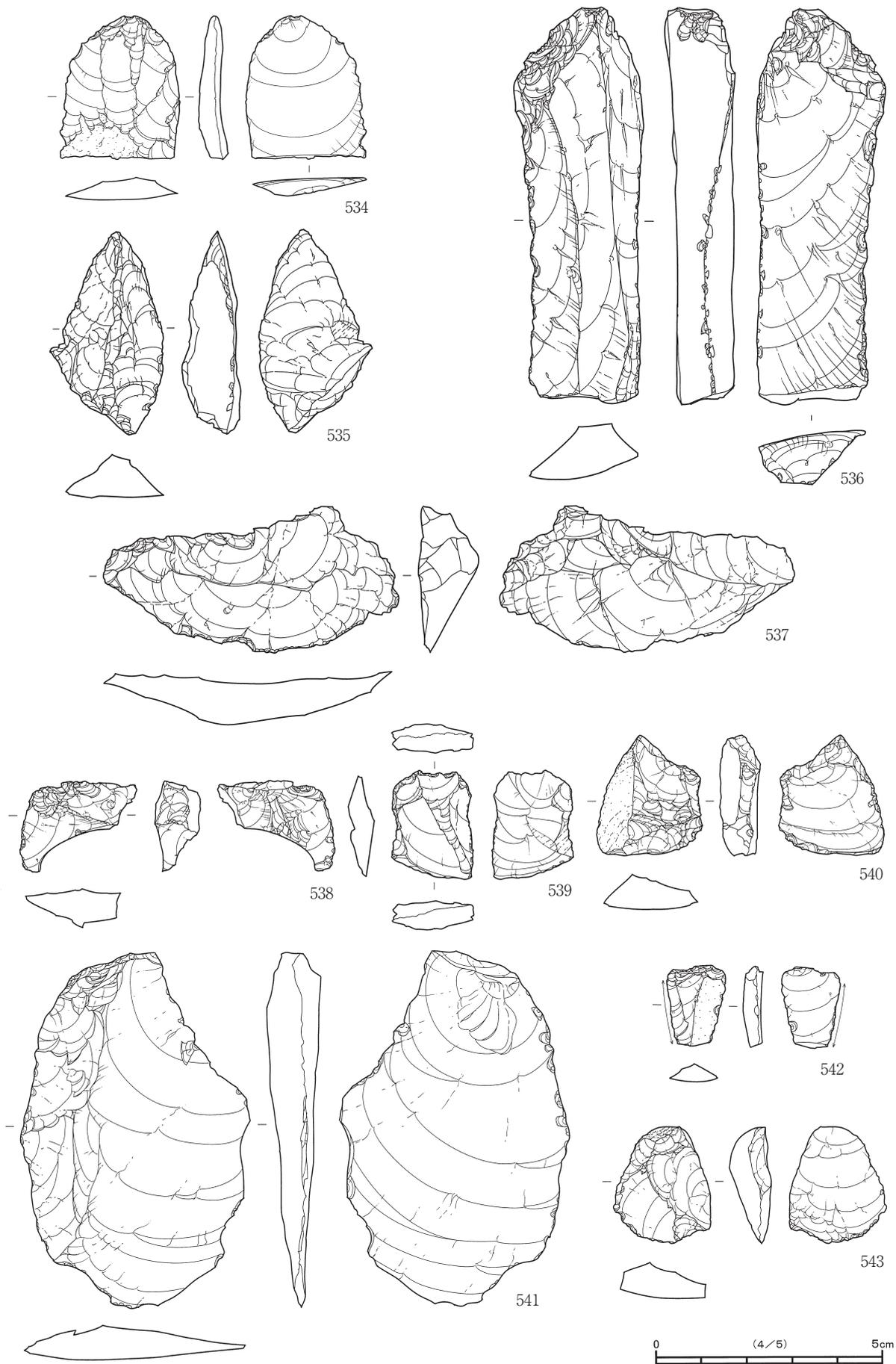


第936図 包含層出土石器実測図・40 (R F 4)

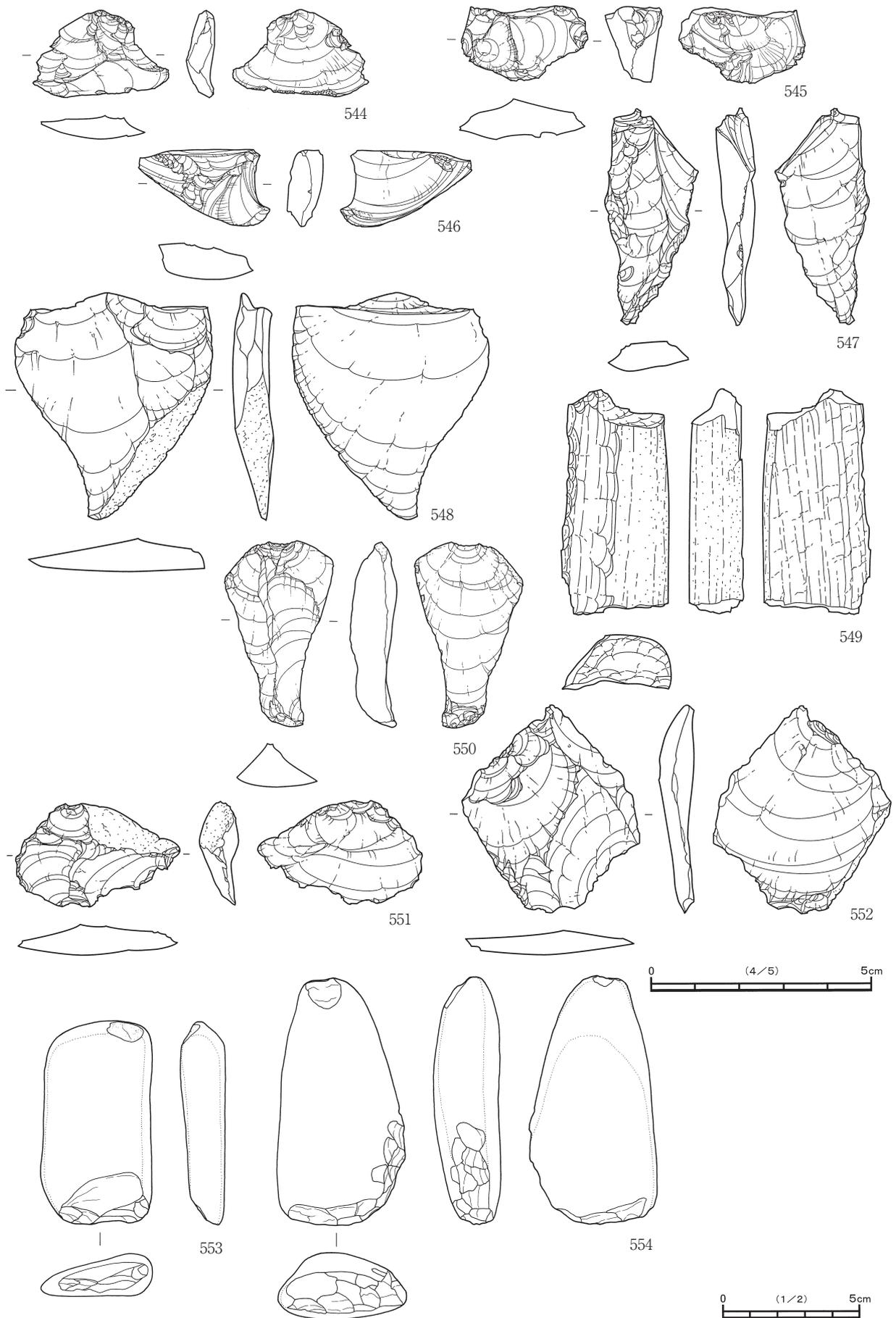


0 (4/5) 5cm

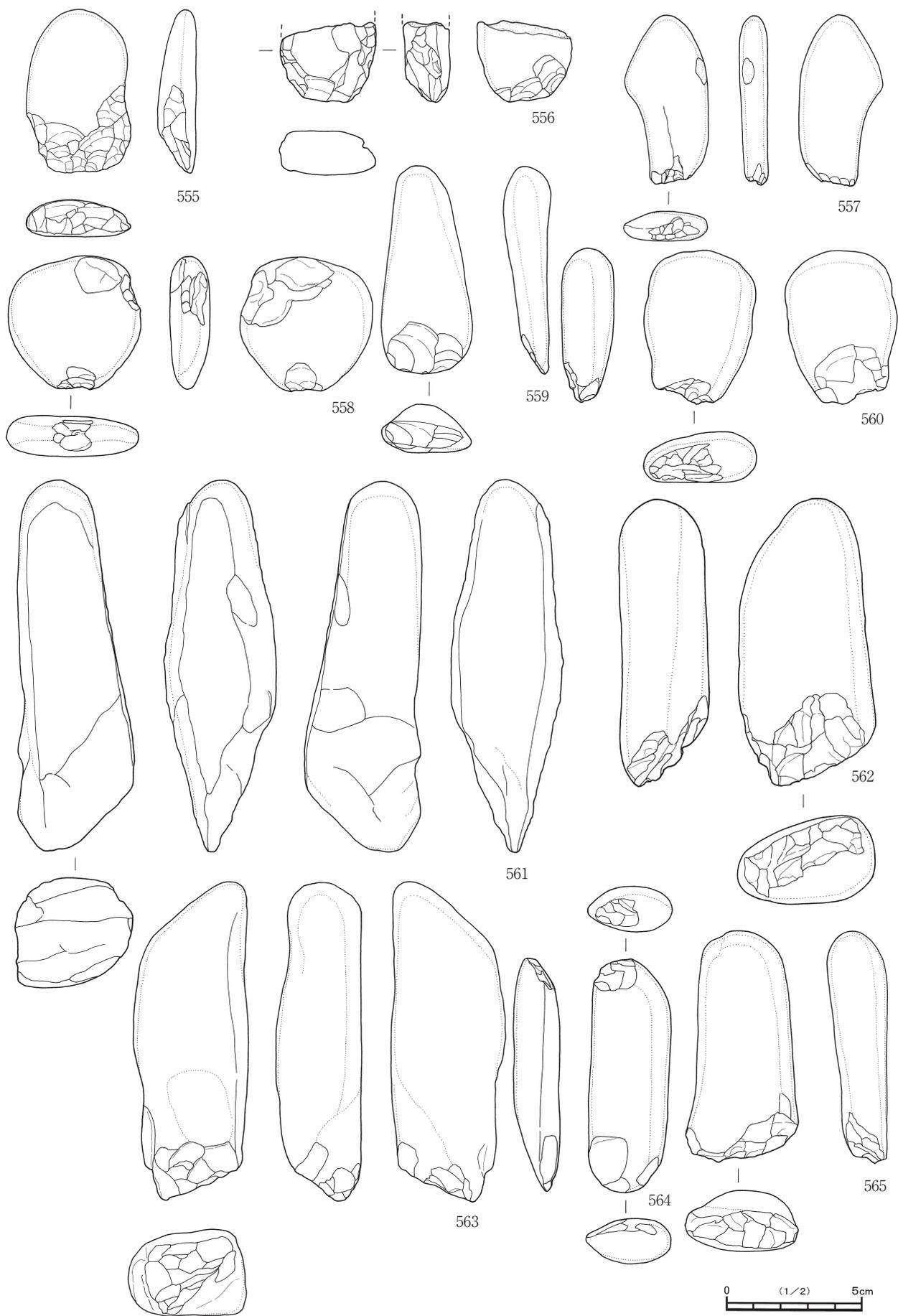
第937图 包含層出土石器実測図・41 (R F 5)



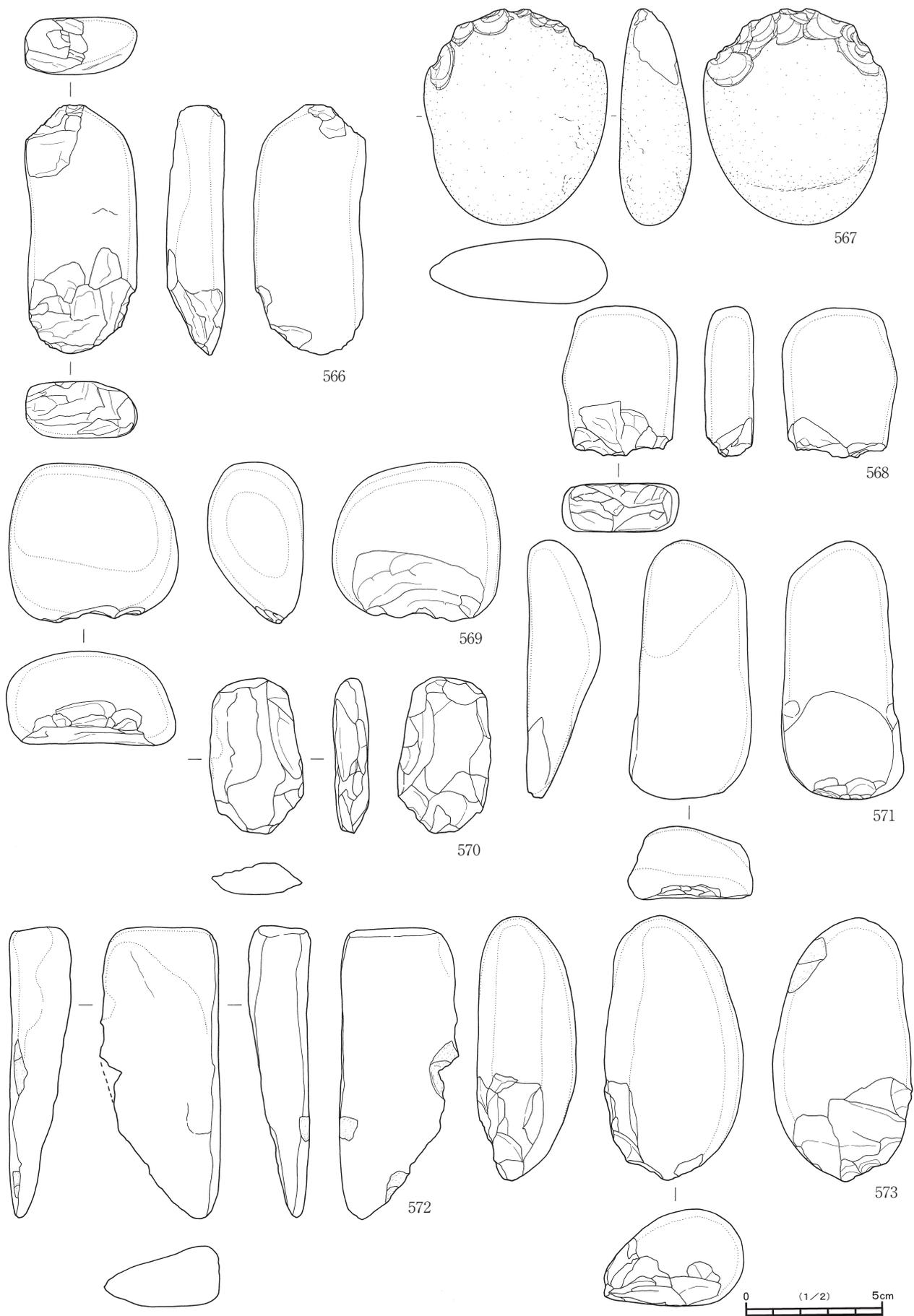
第938图 包含層出土石器実測図・42 (U F 1)



第939図 包含層出土石器実測図・43 (U F 2、その他剥片、打製刃器1)



第940图 包含層出土石器実測図・44 (打製刃器2)



第941图 包含層出土石器実測図・45 (打製刃器3)